令和8年度公立高等学校「みやぎ学力状況調査」の結果について

課 長 報 告 （ 1 ）

1　目的

○　生徒の学力状況及び学習状況等を把握し、各学校における学習指導及び進路指導等の改善に役立てる。

○　学力状況については、第2学年における、学習指導要領に示された学習内容の定着状況を把握する。

○　学習状況等については、第1学年及び第2学年の授業理解度や家庭学習時間等の学習状況、睡眠や学校生活の満足度等の心身の健康状態、志教育に関する意識を把握する。

2　調査対象

公立（県立、仙台市立、石巻市立）
高校70校　中等教育学校1校
1年生　11，619人
2年生　11，750人

3　実施期間

令和8年6月29日（月）～7月6日（月）

4　調査項目等

○　学力状況に関する調査（国語、数学、英語）：第2学年
各教科、共通問題に加え学校選択問題A・Bを設定
＊A問題／基礎的・基本的な内容の問題
＊B問題／基礎的・基本的な内容及び応用力をみる問題

○　学習状況等に関する質問調査：第1・2学年
・生徒の学習状況
・心の有り様
・志教育に係る意識等

5　調査結果の分析

○　慶應義塾大学SFC研究所に運用と保守を委託している「みやぎ学力状況調査分析システム」を用いて、学力状況及び学習状況等に関する調査の回答を集計し、県全体の傾向を分析している。

○　調査結果については、2つ以上の設問を組み合わせて集計すること（クロス集計）が可能であることから、単純な集計結果だけではわからない細かい傾向を見ることができるため、より深い分析ができる。

○　全教員が分析システムにアクセスできるため、学校ごとの分析だけでなく、学科、学年、クラス別の分析も可能となっていることから、学校運営やクラス経営、教科指導等、用途に応じた分析も可能である。

6　調査結果の活用

○　高校は、教育目標や生徒の学習・生活の実情等が学校ごとに異なることから、各校において指標となる数値を確認したり、経年度比較したりすることにより、学力状況及び学習状況等の現状を把握し、自校の学力状況及び学習状況等の分析を行い、授業改善、学習指導及び進路指導等の充実に向けた対策づくりに活かしている。

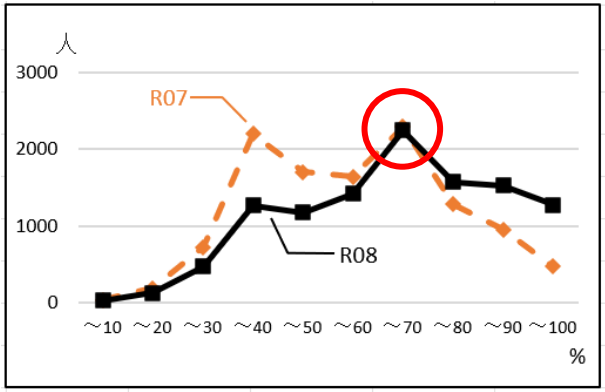
○　各校の分析状況や授業改善、学習指導及び進路指導等の充実に向けた対策の好事例については、教務主任会議等を通じて全校に紹介し、情報共有している。

令和8年度公立高等学校「みやぎ学力状況調査」の結果について

7　学力状況調査結果の概要（2学年）

（1）国語

ア　概況



（【共通問題・国語】正答率の度数分布）

- 共通問題の正答率は、63．5%。（昨年度比　＋8．1ポイント）
- 共通問題の度数分布は、正答率60%～70%付近の層が最も厚くなり、70%以上の層も増加した。
- 二つの文章を読み比べ、構成・内容の共通点を把握する問題の正答率が、昨年度の同傾向問題と比較して7．9ポイント低下した。

イ　考察と課題　（◇比較的できている点、◆課題のある点）

◇　文学的な作品の内容や構成、展開を踏まえ、登場人物の心情を捉えることは、おおむねできていたといえる。

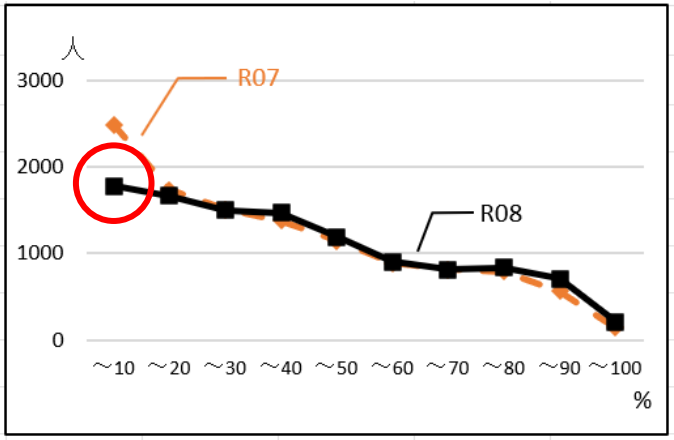
◆　論理的な文章を読んで、二つの文章を読み比べ、構成・内容の共通点を把握することに課題がある。

◆　古文において、古文を読むために必要な知識を活用し、文章中に表れているものの見方、考え方を捉えることに課題がある。

［まとめ］　A問題選択者とB問題選択者とで、共通問題の正答率分布に差が見られた。現代文、古典ともに内容把握の問題での差が顕著である。また、古文に関しては、基礎知識の問題でも差がみられた。低得点層の生徒に対しては、古文に関する基礎知識の定着を図りつつ、本文中の叙述を根拠にしながら、考える力を育成する必要がある。

（2）数学

ア　概況



（【共通問題・数学】正答率の度数分布）

- 共通問題の正答率は、42．3%。（昨年度比　＋3．3ポイント）
- 昨年度と同様に、正答率10%以下の生徒が最も多い。一方、正答率80%以上の割合は前年度から9．6ポイント上昇した。
- 「数と式」分野においては、昨年度と比較して分母の有理化において正答率が4．7ポイント上昇した。

イ　考察と課題　（◇比較的できている点、◆課題のある点）

◇　分配法則を用いて同類項をまとめる手順や分母の有理化について定着がみられる。

◆　数と式では、実数の絶対値の求め方の理解に課題がある。

◆　二次関数では、グラフを活用し二次不等式を解くことに課題がある。

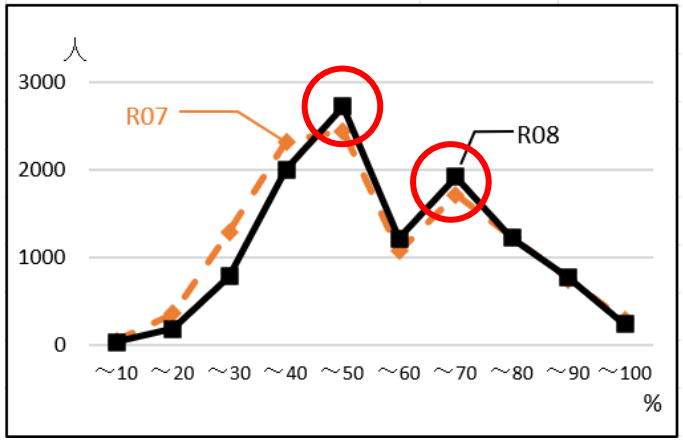
◆　データの分析では、仮説検定の考え方の理解に課題がある。

［まとめ］　高得点層が増加した一方、低得点層は依然として多い。基礎・基本の確実な定着を図る指導を継続するとともに、理解を深められるよう、既習内容と関連付けたり視覚的イメージを用いたりする活動を取り入れ、生徒の実態に応じて単元計画等を工夫する必要がある。

令和8年度公立高等学校「みやぎ学力状況調査」の結果について

(3)英語

ア　概況



（【共通問題・英語】正答率の度数分布）

- 共通問題の正答率は、53．6%。（昨年度比　＋2．4ポイント）
- 共通問題の度数分布は、M字型となっている。中間層を見ると正答率40～50%の生徒が最多となり、50～60%の生徒は少ない。
- 令和4年度以降、正答率50%台の中間層が薄い傾向が継続しており、英語の基礎学力の二極化が見られる。

イ　考察と課題　（◇比較的できている点、◆課題のある点）

◇　英語の文章を読んで、読み取る箇所が限定的である場合には、必要とする情報を探し出すことはできている。

◆　リスニングでは、発話全体の中から必要な情報を聞き取り、その状況を正しく捉えることに課題がある。

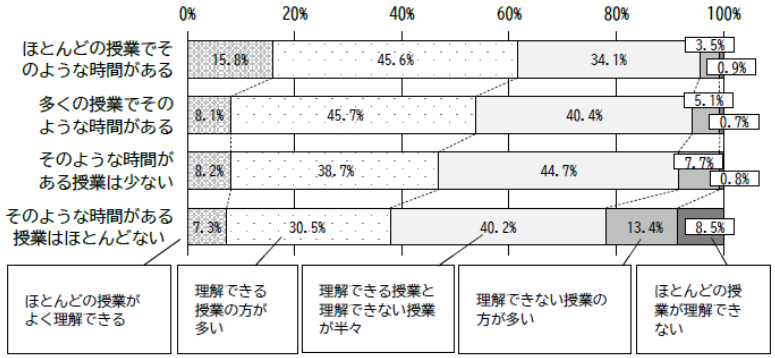
◆　英語の文章を読んで、資料中の複数の情報を処理することや、事実と意見を正しく区別することに課題がある。

［まとめ］　基礎的な文法・語法を実際のコミュニケーションを意識した場面で繰り返し活用する言語活動を充実させるとともに、ICT機器を活用し、個別最適な学習と協同的な学習を効果的に組み合わせて授業改善を図る必要がある。

8　学習状況等に関する調査結果の概要（1学年・2学年）

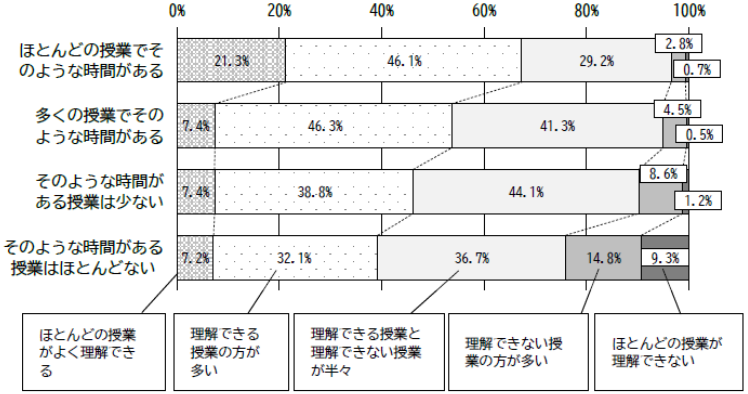
(1)学習状況

ア　自分の考えを発表したり、ペアやグループで話し合ったりする学習活動の頻度と授業理解度（2年生）



［分析］　発表や話合いの時間があると回答したグループほど、授業理解度が高い傾向がある。ペアやグループ活動に取り組ませることは、学習内容を理解させる一つの手立てとして効果的。

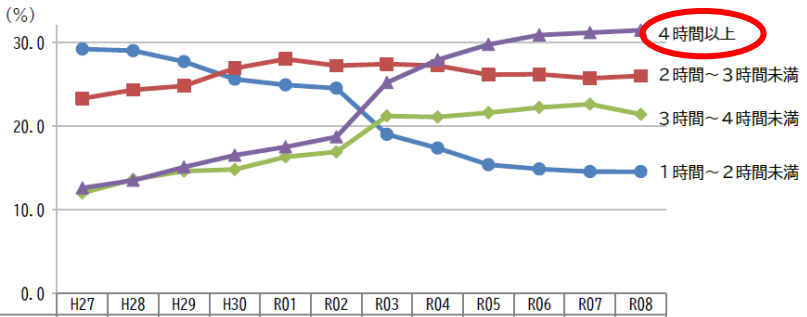
イ　授業の中で、課題を見つけたり、解決したりする学習活動の頻度と授業理解度（2年生）



［分析］　生徒自身が課題を見つけたり、解決したりする探究的な学び多く設定している授業ほど、授業理解度が高い傾向にある。

令和8年度公立高等学校「みやぎ学力状況調査」の結果について

ウ　平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間
（2年生）



	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
1時間～2時間未満	29.2	29.0	27.7	25.6	24.9	24.5	19.0	17.3	15.4	14.8	14.6	14.5
2時間～3時間未満	23.3	24.3	24.8	26.9	28.0	27.2	27.4	27.2	26.1	26.2	25.7	26.0
3時間～4時間未満	12	13.6	14.6	14.8	16.3	16.9	21.2	21.1	21.6	22.2	22.6	21.4
4時間以上	12.6	13.5	15.1	16.5	17.5	18.7	25.2	27.9	29.7	30.9	31.1	31.4

［分析］

- 令和3年度以降、長時間使用している生徒の割合が大きく増加し、「4時間以上」平日に使っている割合は3割を超えている。
- 「3時間～4時間未満」の割合は、昨年度と比較して、1．2ポイント減少している。
- スマートフォン等の長時間使用により、睡眠時間を十分に取れなくなってしまったり、家庭学習時間を確保できなくなってしまったりするなど、日常生活や学習面にも影響が及んでいる。

［まとめ］

生徒自身に日常を振り返らせ、自己の生活習慣を主体的に改善しようとする態度を養う必要がある。

引き続き、LHR等において、生徒が自己を振り返り、スマートフォンとの付き合い方や時間の使い方について考える機会を設ける等の対策を講じる。

令和８年度公立高等学校
みやぎ学力状況調査
分析結果報告書

Pick Up! 国語・数学・英語 P. 1
Ⅰ 調査の概要 P. 7
Ⅱ 学力状況に関する調査結果の分析 P. 8
1 国語
(1) 調査問題の内容 P. 8
(2) 調査結果の分析 P. 8
(3) 分析結果から考える授業づくりのポイント P.11
【資料編】各設問の正答率 等 P.13
2 数学
(1) 調査問題の内容 P.17
(2) 調査結果の分析 P.17
(3) 分析結果から考える授業づくりのポイント P.22
【資料編】各設問の正答率 等 P.24
3 英語
(1) 調査問題の内容 P.32
(2) 調査結果の分析 P.32
(3) 分析結果から考える授業づくりのポイント P.35
【資料編】各設問の正答率 等 P.37
Ⅲ 学習状況等に関する調査結果の分析 P.43
1 学習状況 P.43
2 心身の健康、志教育等 P.58
Ⅳ 学力向上に向けた今後の取組 P.61
Ⅴ 学習状況等に関する調査 設問ごとの結果 P.62
Ⅵ 学習状況に関する調査の回答と
学力状況に関する調査の共通問題正答率の関係 P.76

令和８年１１月

宮城県教育委員会

Pick Up！
国　語

改善・充実を図りたい事項①

二つの文章を読み比べ、構成・内容の共通点を把握すること

共通

令和8年度調査問題

第2問（論理的な文章）
問4　【文章１】と【文章２】の共通点を説明したものとして最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。
①　食文化を芸術文化などの他の分野の文化と比較し、食文化が集団内の共感度を強めるために重要な役割を担っていることを考察している点。
②　食に関する行為の歴史的変遷をたどりながら、長い間繰り返されてきた飲食行為によって共有された、集団的な心の状態について明らかにしている点。
③　食文化の特質について考察することで、食文化の構成要素の一つである料理が、芸術的な価値を持ち合わせていることを説明している点。
④　食と人の心との関係に言及し、日常的な食という営みが、集団に所属している人々に共通した価値観を形づくるものであることを述べている点。

設問のねらい　二つの文章を読み比べ、構成・内容の共通点を把握できるかをみる

正答率
51.9%

【表1】誤答の類型と選択

誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率(%)			
		①	②	③	④
47.5	0.6	15.9	16.7	15.0	○

【表2】過去問題との比較

Ｒ６、Ｒ７に出題した同傾向問題との比較

出題年度	R6	R7
正答率(%)	64.7	59.8

分析と考察

二つの文章を読み比べ、文章の構成や内容の共通点を把握できるかをみる問題である。

生徒はどこでつまずいたのか？

二つの文章の共通点は、食という行為と心の関係に言及し、食という営みが人々に共通した価値観を形づくるものであることを述べている点である。誤答の選択肢は一方の文章には当てはまるが、もう一方の文章には当てはまらないものや、本文で述べられていないことまで含まれている選択肢である。一方の文章の主張しか捉えることができなかったことや、それぞれの文章の主張を正しく捉え、共通点を結び付けることができなかったため、誤答の選択肢を選んでしまったと考えられる。

文章の共通点を捉えることに課題

二つの文章を読み比べ、文章の構成や内容の共通点を捉える問題の正答率は、令和６年度調査から引き続き低下している。それぞれの文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、文章に含まれている情報を相互に関係付け、共通点を捉えることに課題があるといえる。

高校入試の結果分析から

説明的な文章において、複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することに課題があることは、現１年生が受験した令和８年度高校入試の結果分析※でも指摘したとおり、継続的な課題といえる。

※令和８年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「国語」第四問　問三（二）（複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈する問題）

課題への対応

文章を読む際には、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることが大切である。二つの文章を読み比べ、それぞれの文章の書き手が自分の主張を支えるために、どのような根拠を基にして、どのような筋道で考えを述べているかを、文章の叙述を基に捉えることが必要である。その上で、それぞれの文章の主張を比較したり、関連付けたりしながら、相違点や共通点に目を向けさせることが大切である。

「授業づくりのポイント」
Ｐ．１１

Pick Up！
国　語

改善・充実を図りたい事項②

作品のものの見方、感じ方、考え方を捉え、解釈すること

共通

令和８年度調査問題

第４問（古文）
問５　本文の内容に合うものとして最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。
①　自分の意見ばかりうるさく言って話を聞かない人は、周囲から信用されなくなってしまう。
②　他人の悪口ばかり言って思いやりのない人は、自分も低く評価されることになってしまう。
③　落ち着きがなく、我慢ができない人は、非難を受けるような悪い結果を招いてしまう。
④　物事の是非を自分でよく考えもせずにすぐに行動する人は、簡単にだまされてしまう。

設問のねらい　本文に表れているものの見方、考え方を捉えられるかをみる

正答率 53.9%

【表１】誤答の類型と選択

誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率(%)			
		①	②	③	④
44.4	1.7	17.8	10.6	○	15.9

【表２】過去問題との比較

Ｒ５～Ｒ７に出題した同傾向問題との比較

出題年度	R5	R6	R7
正答率(%)	44.4	24.3	43.2

分析と考察

本文に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えられるかをみる問題である。

生徒はどこでつまずいているのか？

誤答の選択肢の選択率は、特定の選択肢に極端に偏ることなく、それぞれの選択肢に分散している【表１】。特定の誤答に集中していないことから、本文の内容を正確に捉えることができず、断片的な情報から内容を判断して選択肢を選んだと考えられる。

作品のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することに課題

作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する問題の正答率は、令和５年度は 44.4%、令和６年度は 24.3%、令和７年度は 43.2%であった【表２】。文章全体の内容や、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることに課題があるといえる。本文中で用いられている古語の意味や文脈を正確に捉えられていないため、作品の部分的、表面的な読みにとどまった可能性が考えられる。本文中で用いられている古語を拠りどころに、登場人物の言動などを通して、その人物が、どのような認識や解釈の仕方をしているかについて把握することが大切である。

高校入試の結果分析から

古典において、古典に表れたものの見方や考え方を捉えることに課題があることは、現２年生が受験した令和７年度高校入試の結果分析※でも指摘したとおり、継続的な課題といえる。

※令和７年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「国語」第五問　問二（二）（本文の叙述に基づいて、古典に表れたものの見方や考え方を捉えることができるかをみる問題）

課題への対応

本文中で用いられている古語を拠りどころに、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるためには、「登場人物の行動の背景にある価値観は何か」「現代の私たちの感覚とはどう違うのか」を生徒自身の言葉で、論述したり発表したりする活動が効果的である。その活動を通して捉えたものの見方、感じ方、考え方と、読み手の知識や経験なども踏まえて作品の内容を解釈する授業づくりをしていくことが大切である。

「授業づくりのポイント」
Ｐ．12

Pick Up！ 数 学　改善・充実を図りたい事項①

二次関数のグラフを用いて、二次不等式の解を求めること

共通

令和８年度調査問題

A－14／B－6

2次不等式 $x^2-6x+5 \geqq 0$ の解は［ソ／キ］である。

ソ/キ：
① $x \leqq -5, -1 \leqq x$　② $-5 \leqq x \leqq -1$　③ $x \leqq -3, -2 \leqq x$
④ $-3 \leqq x \leqq -2$　⑤ $x \leqq 1, 5 \leqq x$　⑥ $1 \leqq x \leqq 5$
⑦ $x \leqq 2, 3 \leqq x$　⑧ $2 \leqq x \leqq 3$

設問のねらい　二次関数のグラフとx軸との位置関係から二次不等式を解くことができるかをみる

正答率 48.6%

【表1】誤答の類型と選択

誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）				正答
		⑥	②	①	③、④、⑦、⑧	
50.5	0.9	14.7	9.0	7.4	19.4	⑤

【表2】過去問題との比較

Ｒ５～Ｒ７に出題した同傾向問題との比較

出題年度	R5	R6	R7
正答率（%）	39.8	53.3	40.7

分析と考察

二次関数のグラフとx軸との交点を調べ、二次不等式の解を求める問題である。

生徒はどこでつまずいたのか？

①または②を選択した生徒は、二次方程式 $x^2-6x+5=0$ の解の符号を誤ったもの、⑥を選択した生徒は、二次不等式 $x^2-6x+5 \geqq 0$ の解の範囲を誤ったものと推察される。

また、上記以外の選択肢を選択した生徒は、二次方程式 $x^2-6x+5=0$ を正しく解くことができなかったものと推察される。

グラフを活用し、二次不等式を解くことに課題

今年度の正答率は、令和７年度の同分野の問題と比べ、7.9 ポイント上昇した。令和７年度の問題は、1 次の項がない上に定数項が右辺にあることで、解法をイメージしづらいため、正答率が低くなったと昨年度の分析で指摘している。それに対して、今年度の二次不等式の問題は、因数分解の解法をイメージしやすかったために、正答率が上昇したと考えられる。一方、今年度と同じ形式の二次不等式で出題した令和６年度の問題と正答率を比べると、4.7 ポイント低下している。

二次関数のグラフと x 軸との交点を求めることや二次不等式を解く際にグラフを活用することに課題があるといえる。

高校入試の結果分析から

現２年生が受験した令和７年度高校入試※において、二次方程式を扱う問題の正答率が 26.8%であり、二次式の計算上での扱いは、入学時からの継続的な課題といえる。

※令和７年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「数学」第二問問題 1(2)（二次方程式を立式し処理する力をみる問題）

課題への対応

二次不等式の学習においては、対応する二次関数のグラフを図示し、x 軸との位置関係を視覚化して考えさせることが重要である。二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係を確認したり、二次関数のグラフから二次不等式の解の範囲を視覚的に判断したりできるように、グラフをかいて考察する活動を授業に取り入れることが大切である。

「授業づくりのポイント」 P．23

Pick Up ! 数 学

改善・充実を図りたい事項②

二次方程式の解の条件から、二次関数のグラフを用いて考察すること

令和8年度調査問題

B－15

2次方程式$x^2+4x+2a-3=0$ が正の解と負の解を 1 つずつもつとき、定数aの値の範囲は、a [ト] [ナ] である。

ト：　①　≦　　②　＜　　③　≧　　④　＞

ナ：　①　-3　　②　3　　③　$-\frac{3}{2}$　　④　$\frac{3}{2}$

　　⑤　$-\frac{7}{2}$　　⑥　$\frac{7}{2}$　　⑦　$-\frac{13}{8}$　　⑧　$\frac{13}{8}$

設問のねらい　二次方程式の解の条件から、対応する二次関数のグラフとy軸との交点に着目し、定数の値を求めることができるかをみる

正答率 16.8%

【表1】誤答の類型と選択

誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）				正答
		②、⑥	①、⑥	③、⑥	①、④	
79.1	4.1	11.2	7.8	5.4	3.9	②、④

【表2】過去問題との比較

Ｒ５～Ｒ７に出題した同傾向問題との比較

出題年度	R5	R6	R7
正答率（%）	5.4	28.0	17.4

分析と考察

二次方程式の解の条件から、二次関数のグラフを活用して、定数の値の範囲を求める問題である。

生徒はどこでつまずいたのか？

二次方程式が異なる２つの正の解、または、２つの負の解をもつときの、定数aの値の範囲を求める問題の過去の正答率は 10%～15%で推移していたが、今年度の正答率は若干の上昇が見られた。

ナの選択肢において⑥は、二次方程式の判別式を用いたものであり、選択率は選択肢の中で最も高かった。⑥を選択した生徒は、解の個数の条件のみに着目したと推察される。

また、トとナの選択肢の組み合わせとして「①、④」を選択した生徒は、解の符号の条件から、グラフとy軸との交点に着目できたものの、不等号の選択を誤ったものと推察される。

条件の確認とグラフの活用に課題

⑥を選択した生徒は、グラフとy軸との交点に着目できず、判別式を用いたと考えられる。このことから、解の個数を扱う問題においては、条件の一部のみに着目し、判別式のみを用いて解答に至っている傾向があると推察される。

以上の傾向から、条件を踏まえてグラフを活用することに課題があるといえる。

高校入試の結果分析から

現２年生が受験した令和７年度高校入試※において、二次関数を扱う基本的な問題の正答率は55.8%であり、二次関数の基礎的な計算は、入学時からの継続的な課題といえる。

※令和７年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「数学」第一問問題 6(二次関数を立式する力をみる問題)

課題への対応

二次関数の式に文字定数が含まれる場合、軸や頂点にその文字が含まれるかを確認することが重要である。さらに、その定数の値の変化に伴ってグラフがどのように動くかを、ＩＣＴを用いたアニメーション等で具体的に確認させることが効果的である。また、二次関数のグラフを考察する際には、グラフとx軸やy軸との位置関係を捉える活動や、計算によって得られた数値が条件を満たしているかを確認する活動、自らの解答を振り返る活動を取り入れることが大切である。

「授業づくりのポイント」
P．23

Pick Up！ 英語　改善・充実を図りたい事項①

テクストを読み、必要な複数の情報を整理して捉えること

学校選択型 A

令和８年度調査問題

8－A（４）（「読むこと」（日常的な話題）に関する問題）

According to this schedule, it is true that [　　] .　[へ]

1　Black Bears will play all their games at Star Memorial Arena until the final

2　you can watch Wolves' quarterfinal game online without paying an admission fee

3　Group 3 winner in the quarterfinal game will play a game in Johnson's Arena two days after the quarterfinal game

4　there's no chance for Night Hawks to play at Star Memorial Arena

設問のねらい　テクスト内の必要な複数の情報を整理して捉えられるかをみる

正答率 22.3%

【表1】誤答の類型と選択率

誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
		1	2	3	4
76.2	1.5	24.0	○	31.4	20.7

【表2】過去問題との比較

Ｒ６、Ｒ７に出題した同傾向問題との比較

出題年度	R6	R7
正答率（%）	25.7	32.2

分析と考察

8－A（４）は、日常的な話題に関して 150 語程度の英語で書かれたテクストを読み、必要な複数の情報を整理して捉える問題である。

生徒はどこでつまずいたのか？

（４）では、バスケットボールの試合の予定表から、試合の日時や場所、入場料などの情報を整理できるかが問われており、テクスト全体の中から必要な情報を的確に読み取り、整理して捉える必要があった。誤答の選択肢を選んだ生徒は、複数の条件や情報の詳細を整理して捉えることができず、部分的な情報から選択肢を判断したものと考えられる。

過去問題との比較

令和６年度、令和７年度も今年度と同程度の長さのテクストを読んで要点を問う問題を出題した。これらの正答率は、令和６年度は 25.7%、令和７年度は 32.2%であった【表２】。日常的な話題に関して書かれたテクストを読み、必要な複数の情報を整理して捉えることに、引き続き課題があるといえる。

高校入試の結果分析から

資料から必要な情報を整理して読み取ることに課題があることは、現１年生が受験した令和８年度高校入試の結果分析※でも指摘したとおり、継続的な課題といえる。

※令和８年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「英語」第三問１（資料から必要な情報を読み取ることができるかをみる問題）

課題への対応

ウェブサイトやパンフレットなど、必要な情報を伝えるために書かれた英文を読む活動では、その英文がどのような目的で書かれたのかについて考えることが大切である。読む活動の前には、これから読む内容を推測したり、どのようなことに気を付けて読むのかを考えたりするなどの時間を確保することが効果的である。また、生徒の実態に応じて、基本的な語句や文で言い換えたり、写真や実物などを活用したりするなどの支援を講じることも大切である。

「授業づくりのポイント」 P.35

Pick Up！
英 語

改善・充実を図りたい事項②

テクストを読み、事実と意見を区別すること

学校選択型
B

令和8年度調査問題

8－B（4）（「読むこと」（日常的な話題）に関する問題）

One common **fact** in both comments from the two past participants is that the competition [ ] .

へ

1 was meaningful so other students should participate in it
2 encouraged them to stop buying plastic bottles
3 improved their speech skills and thoughts
4 inspired them to change their behavior

設問のねらい テクスト内の情報から事実と意見を区別し、内容に合致する事実を判断できるかをみる

正答率
24.5%

【表1】誤答の類型と選択率

誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
		1	2	3	4
74.8	0.7	31.7	16.1	27.0	○

【表2】過去問題との比較

Ｒ６、Ｒ７に出題した同傾向問題との比較

出題年度	R6	R7
正答率（%）	49.9	41.7

分析と考察

8－B（4）は、日常的な話題に関して 250 語程度の英語で書かれたテクストを読み、事実と意見を区別する問題である。

生徒はどこでつまずいたのか？

（4）では、スピーチコンテストの案内から、事実と意見を区別して、内容に合致する事実を選択できるかが問われており、２人の参加者の伝えたいことに着目する必要があった。誤答の中で最も選択率が多かった１の選択肢を選んだ生徒は、“meaningful”というコメントが意見であると判断できなかったと考えられる。３の選択肢を選んだ生徒は、２人の参加者が共通して述べている事実を読み取ることができなかったと考えられる。

過去問題との比較

令和６年度、令和７年度も今年度と同程度の長さのテクストを読んで事実と意見を区別する問題を出題した。これらの正答率は、令和６年度は 49.9%、令和７年度は 41.7%であった【表２】。どの文が事実でどの文が意見なのかを区別したり、書き手の伝えたいことを捉えたりすることに、引き続き課題があるといえる。

高校入試の結果分析から

話し手や書き手が伝えたいことを正しく読み取ることに課題があることは、現２年生が受験した令和７年度高校入試の結果分析※でも指摘したとおり、継続的な課題といえる。

※令和７年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「英語」第三問５（スピーチの話し手が伝えたいことを正しく読み取ることができるかをみる問題）

課題への対応

ウェブサイトやパンフレットなど、事実を述べた部分と書き手の意見などを述べた部分とが組み合わされて構成された英文を読む際には、それらを整理して区別しながら読むことが大切である。そのため、事実が書かれている文と意見が書かれている文の特徴や用いられている語句などについて確認する活動や、テクストを読んで、どこまでが事実で、どこからが意見かを区別する活動を取り入れることが効果的である。また、読む内容に興味・関心を抱くことができるように、既存の知識や体験などを読む内容と関連付けさせるなどの配慮を講じることも大切である。

「授業づくりのポイント」
Ｐ.35

Ⅰ　調査の概要

1　学力状況に関する調査

(1) 目的　　生徒の学力状況を把握し、各学校における学習指導及び進路指導の改善に役立てる。

(2) 調査対象　　公立（県立・仙台市立・石巻市立）高等学校　　７０校
中等教育学校　　１校
２年生（中等教育学校は５年生）　　１１，７５０人

(3) 実施期間　令和８年６月２９日（月）から７月６日（月）までの間、各学校で実施

(4) 実施内容

① 実施教科

○ 国語、数学、英語の３教科

○ 該当教科の必履修科目において学習した基礎的・基本的な内容を中心に出題し、平均正答率を５０％と設定

○ 各教科、共通問題に加え学校選択問題を設定

※ 学校選択型Ａ用問題は基礎的・基本的な内容の問題を設定（数学及び英語の学校選択型Ａ用問題は義務教育段階の内容も含む）

※ 学校選択型Ｂ用問題は基礎的・基本的な内容の問題及び応用力をみる問題を設定

② 実施人数

国語　１１，１００人（Ａ問題選択５７校５，１５０人、Ｂ問題選択２８校５，９５０人）
数学　１１，０９０人（Ａ問題選択５７校５，１４７人、Ｂ問題選択２８校５，９４３人）
英語　１１，０５５人（Ａ問題選択５７校５，１３９人、Ｂ問題選択２８校５，９１６人）

※ 複数課程を併置または分校を置く学校については、各課程・分校をそれぞれ１校として学校数を算出（全日制６６校、定時制１６校、分校３校　計８５校）

2　学習状況に関する調査

(1) 目的　　生徒の学習状況等を把握し、各学校における学習指導及び進路指導の改善に役立てる。

(2) 調査対象　　公立（県立・仙台市立・石巻市立）高等学校　　７０校
中等教育学校　１校
１年生（中等教育学校は４年生）　　１１，６１９人
２年生（中等教育学校は５年生）　　１１，７５０人

(3) 実施期間　令和８年６月２９日（月）から７月６日（月）までの間、各学校で実施

(4) 実施内容

① 調査内容

生徒の学習状況、心の有り様及び志教育に係る意識等に関する質問調査

② 実施人数

１年生（中等教育学校は４年生）１１，２６３人（回収率９６．９％）
２年生（中等教育学校は５年生）１１，３４６人（回収率９６．６％）

Ⅱ　学力状況に関する調査結果の分析

1　国語

（１）　調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、高等学校第１学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を中心に出題した。なお、「現代の国語」及び「言語文化」の目標及び内容を踏まえて出題している。

（２）　調査結果の分析

（◇　比較的できている点　　◆　課題のある点）

〔知識及び技能〕　（言葉の特徴や使い方に関する事項）

『慣用表現を正しく理解することに課題』

◇　相手や場に応じた表現についての、知識や技能を活用できるかをみる問題のうち、司会の進め方を問う問題の正答率は 68.2%、参加者の発言について問う問題の正答率は 75.9%であった。相手や場に応じた話すことに関する表現については、おおむね理解できていたといえる。　［1　ク、ケ］

◆　慣用表現を正しく理解しているかをみる問題の正答率は 59.8%にとどまった。誤答のうちで選択率が最も高かったのは選択肢①であり、選択率は 29.4%であった。慣用表現を正しく理解することに課題があるといえる。

［1　カ］

〔知識及び技能〕　（情報の扱い方に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」　（論理的な文章）

『二つの文章を読み比べ、構成・内容の共通点を把握することに課題』

◇　情報と情報との関係について理解しているかをみる問題の正答率は 65.１％であり、昨年度の 56.1%から 9.0 ポイント上昇した。「しかし、」でつながれた２つの段落の関係を把握することについては、おおむね理解できていたといえる。　［2　コ］

◆　二つの文章を読み比べ、構成・内容の共通点を把握できるかをみる問題の正答率は 51.9%であり、第２問の中で最も低かった。誤答のうちで選択率が最も高かったのは選択肢②であり、選択率は 16.7%であった。②を選択した生徒は、【文章２】の「料理文化が、歴史的に生まれてくる」という文言にのみ着目し、【文章１】の筆者の主張と【文章２】の筆者の主張とを結び付けて、共通点を把握することができなかったと考えられる。　［2　ス］

〔思考力、判断力、表現力等〕 「読むこと」 （文学的な文章）

『作品の表現の仕方、表現の特色を適切に捉え、評価することに課題』

◇　語句の意味や作品の内容、展開を踏まえ、登場人物の様子を捉えられるかをみる問題の正答率は 85.0％であった。作品の内容や展開から登場人物の様子を把握することはできていたといえる。　［3　セ］

◇　作品の内容や構成、展開を踏まえ、登場人物の心情を捉えられるかをみる問題のうち、登場人物の発言の理由を問う問題の正答率は 78.1％、登場人物の心情を問う問題の正答率は 81.2％であった。「恐怖心の影を一切追い払ってしまいたかった」や「いつか自分も、あんなふうに綱の上で自由になりたい」などの叙述を基に、登場人物の心情を捉えることができていたといえる。　［3　ソ、タ］

◆　本文の表現の特色について叙述に基づいて捉えられるかをみる問題の正答率は 53.2％であり、第３問の中で最も低かった。誤答のうちで選択率が最も高かったのは選択肢①であり、選択率は 23.2％であった。①を選択した生徒は、「少しずつ潮が引くように」や「強力な耳栓が外れたみたいに」という表現が直喩であることは理解できていたが、どのような効果があるのかを正しく捉えることができなかったと考えられる。　［3　チ］

〔知識及び技能〕 （我が国の言語文化に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕 「読むこと」 （古文・漢文）

○　共通問題（古文）

『古文を読むために必要な知識を活用し、文章中に表れているものの見方、考え方を捉えることに課題』

◆　古文における動詞の活用を理解しているかをみる問題の正答率は 45.4％にとどまった。誤答のうちで選択率が最も高かったのは選択肢②であり、選択率は 32.6％であった。ラ行変格活用の終止形が「あり」であることを理解していないことや、上二段活用動詞「過ぐ」の終止形を「過ぎる」と考えてしまったと思われる。ラ行変格活用動詞や上二段活用動詞の活用の理解や見分け方に課題があるといえる。　［4　ツ］

◆　叙述から本文の内容を的確に捉えられるかをみる問題の正答率は 53.0％にとどまった。誤答のうちで選択率が最も高かったのは選択肢③であり、選択率は 21.3％であった。③を選択した生徒は、「鋳師が鐘に施した細工」を「三年の修行に励んだ後に」「鐘をついた人が必ずご利益に恵まれる」などと誤った捉え方をしてしまったと考えられる。　［4　ナ］

◆　本文に表れているものの見方、考え方を捉えられるかをみる問題の正答率は 53.9％にとどまった。「然れば、騒がしく、物念じせざらむ人は、必ずかくつたなきなり。」という一文を的確に捉え、本文がどのような教訓を読

者に提示しているかを読み取ることができなかったと考えられる。

［4　ヌ］

○　学校選択型Ａ用問題（漢文）

『本文に表れているものの見方、考え方を捉えることに課題』

◆　漢文のきまり(返り点)を理解しているかをみる問題の正答率は 59.7%であった。返り点は、漢文の内容を読み取る上での基本的な知識であるが、令和７年度実施の調査における同傾向問題と比較して 6.3 ポイント減少している。「レ点」や「一二点」の理解に課題があるといえる。［5－Ａ　ノ］

◆　本文に表れているものの見方、考え方を捉えられるかをみる問題の正答率は 38.9%であり、第５問Ａの中で最も低かった。誤答のうちで選択率が最も高かったのは選択肢①であり、選択率は 25.2%であった。問いの傍線部にある「変」という語句を「心の変化」と解釈することができず、「普通ではない、変わり者」といった誤った捉え方をしてしまっていると考えられる。言葉の意味を正確に捉え、言葉を拠りどころにし、本文に表れているものの見方、考え方を捉えることに課題があるといえる。　［5－Ａ　ヒ］

○　学校選択型Ｂ用問題（漢文）

『漢文を読むために必要な知識を活用し、叙述から本文の内容を的確に捉えることに課題』

◇　漢文のきまり（語句の読み）を理解しているかをみる問題の正答率は88.4%であった。複数ある「之」の読み方を理解し、文脈を踏まえて正しい読み方を判断できていたといえる。　［5－Ｂ　ネ］

◆　漢文のきまり(句法)を理解し、文脈に即して現代語訳することができるかをみる問題の正答率は 29.6%であり、第５問Ｂの中で最も低かった。誤答のうちで選択率が最も高かったのは選択肢④であり、選択率は 29.8%であった。使役形の用法の理解に課題があるといえる。　［5－Ｂ　ノ］

◆　叙述から本文の内容を的確に捉えられるかをみる問題の正答率は 42.2%であり、令和７年度実施の調査における同傾向問題と比較して、24.3 ポイント減少した。蘇子の西周に対しての諫言の内容を、本文の叙述から的確に捉えることができなかったと考えられる。漢文を読むために必要な知識を活用し、文章中に表れているものの見方、考え方を捉えることに課題があるといえる。　［5－Ｂ　ハ］

（３）　分析結果から考える授業づくりのポイント

POINT1 －〔知識及び技能〕（言葉の特徴や使い方に関する事項）

漢字や語句、慣用表現などについては、様々な言語表現に触れる機会を増やし、身に付けた知識を用いて実際に表現する活動を充実させましょう。

- ❑　漢字や語句、慣用表現などについての知識を定着させるためには、単なる知識の暗記にとどめず、文や文章の中で文脈に即した漢字や語句、慣用表現を理解した上で、実際に活用する機会を多く設けることが大切です。指導に当たっては、〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域における言語活動と関連付けながら学習することが大切です。
- ❑　例えば、論理的な文章や実用的な文章を読み、自分の意見や考えを論述する活動が考えられます。辞書を使い、語の意味や漢字について調べた上で、自分の意見や考えをより適切に表現するために、どのような語句を選択するかを考えながら書くことで正しく漢字を読み書きできるようになり、語彙を豊かにすることにもつながります。

POINT2 －〔知識及び技能〕（情報の扱い方に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（論理的な文章）

異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動を取り入れましょう。

- ❑　論理的な文章を読む際には、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、生徒自身の考えを深めることが大切です。
- ❑　例えば、異なる形式で書かれた複数の文章を読み、それぞれの文章において、段落ごとの関係性を図式化するなどして、どのような筋道で考えを述べているかを視覚的に捉える活動が効果的です。その上で、生徒が要旨をまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりすることで理解が深まります。

POINT3 －〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（文学的な文章）

さまざまな随筆や小説を読み比べ、表現の特色とその効果について論じたり、批評したりする活動を充実させましょう。

- ❑　文学的な文章を読む際には、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることが求められます。また、比喩などの修辞技法、語句の言い回しなど、表現の特色や効果を捉え、その表現がどのような効果を及ぼしているかについて評価できるようにすることが重要です。
- ❑　例えば、複数の文学作品を読み比べ、作品にある特徴的な表現に着目しながら評価し、評価した内容を討論する活動や、本文の表現が読者に与える印象、解釈に及ぼす影響などについて考える活動を通して、表現を味わい、自らの表現に生かせるようにすることが大切です。

POINT4 －〔知識及び技能〕（我が国の言語文化に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（古文・漢文）

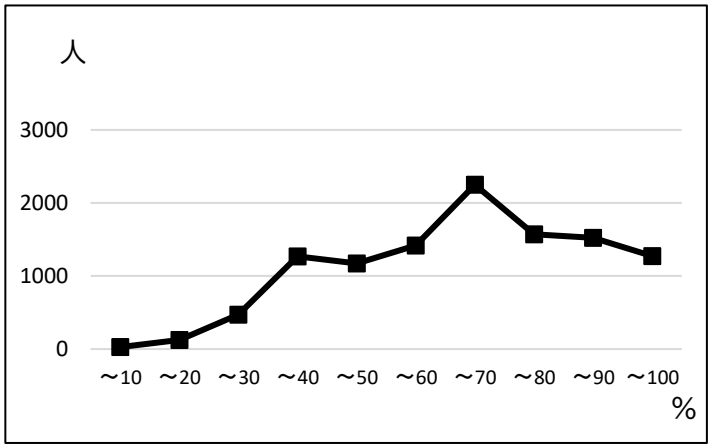
作品や文章に表れたものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する言語活動を工夫しましょう。

- ❑　古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解することが大切です。その際に、古典の原文を逐語訳することを目的とするのではなく、古典を味わうために必要となる知識を主体的に獲得しようとする態度を育て、古典そのものに対する興味・関心を広げることを目的とするように配慮する必要があります。
- ❑　作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えるには、登場人物の生き方や作品の背景にある思想、人物像について、現代の私たちの感覚との共通点や相違点に着目し、生徒自身の言葉で論述したり、発表したりする活動が効果的です。その際に、本文のどの部分、あるいは展開のどの部分から、自分の考え方が導き出せたのかなど、自分の考えの根拠となる部分や考察の過程を示しながら論じ合うことが大切です。

【資料編】

① 共通問題の正答率（調査対象全体）

共通問題の正答率　63.5%（令和７年度　55.4%）



＜概況＞

今年度の共通問題の正答率は昨年度より 8.1 ポイント上昇した。度数分布は正答率 60%台の階級の度数が最大となり、70%台以上の層が増加した。第２問では、問４の２つの文章の共通点を捉える問題の正答率が最も低かった。第３問は、問１から問３まではおおむねできていたが、問４の本文の表現の特色を捉える問題の正答率が、昨年度と同様に最も低かった。第４問では、問１の文法の知識、問２の古語の知識を問う問題の正答率が 40%台と低く、課題があるといえる。

図１　【共通問題・国語】正答率の度数分布

② 共通問題の小問ごと正答率（調査対象全体）

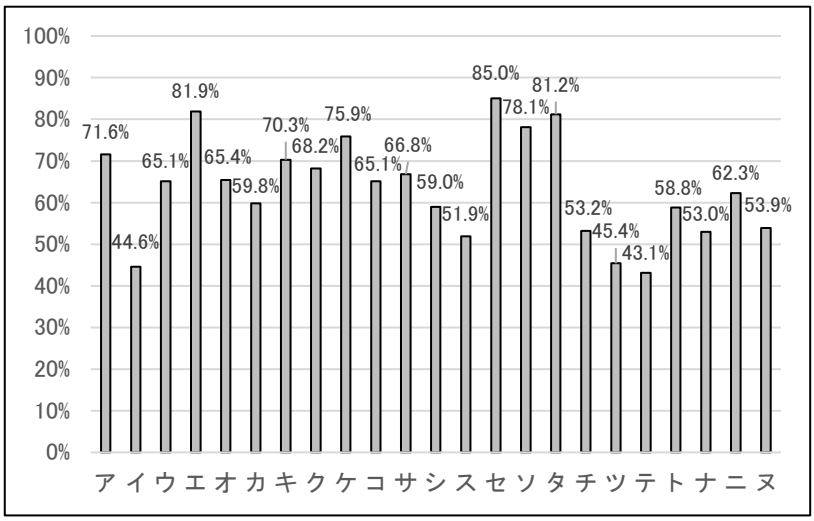


図２　【共通問題・国語】調査対象全体の小問ごと正答率

	解答記号	分類	内容
1	ア～オ	漢字･語句･文法等	漢字の読み書き
	カ	漢字･語句･文法等	慣用表現
	キ	漢字･語句･文法等	文の成分の順序や照応
	ク	漢字･語句･文法等	話合いの進め方の工夫
	ケ	漢字･語句･文法等	話し手の意図
2	コ	論理的な文章	情報と情報との関係
	サ	論理的な文章	内容把握
	シ	論理的な文章	要旨把握
	ス	論理的な文章	読み比べ
3	セ	文学的な文章	内容把握
	ソ･タ	文学的な文章	心情把握
	チ	文学的な文章	表現の特色の把握
4	ツ	古文	文法の知識
	テ･ト	古文	古語の知識
	ナ～ヌ	古文	内容把握

③ 学校選択型Ａ用問題（Ａ問題選択者）の小問ごと正答率

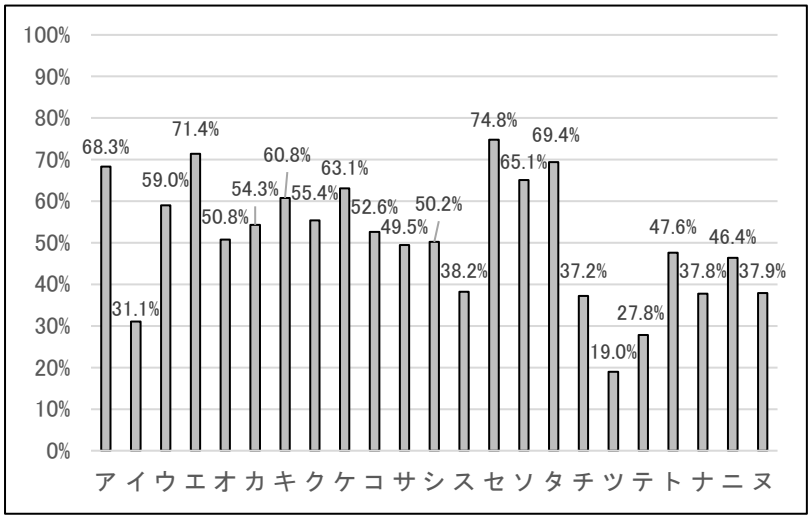


図３　【共通問題・国語】Ａ問題選択者の小問ごと正答率

	解答記号	分類	内容
1	ア～オ	漢字･語句･文法等	漢字の読み書き
	カ	漢字･語句･文法等	慣用表現
	キ	漢字･語句･文法等	文の成分の順序や照応
	ク	漢字･語句･文法等	話合いの進め方の工夫
	ケ	漢字･語句･文法等	話し手の意図
2	コ	論理的な文章	情報と情報との関係
	サ	論理的な文章	内容把握
	シ	論理的な文章	要旨把握
	ス	論理的な文章	読み比べ
3	セ	文学的な文章	内容把握
	ソ･タ	文学的な文章	心情把握
	チ	文学的な文章	表現の特色の把握
4	ツ	古文	文法の知識
	テ･ト	古文	古語の知識
	ナ～ヌ	古文	内容把握

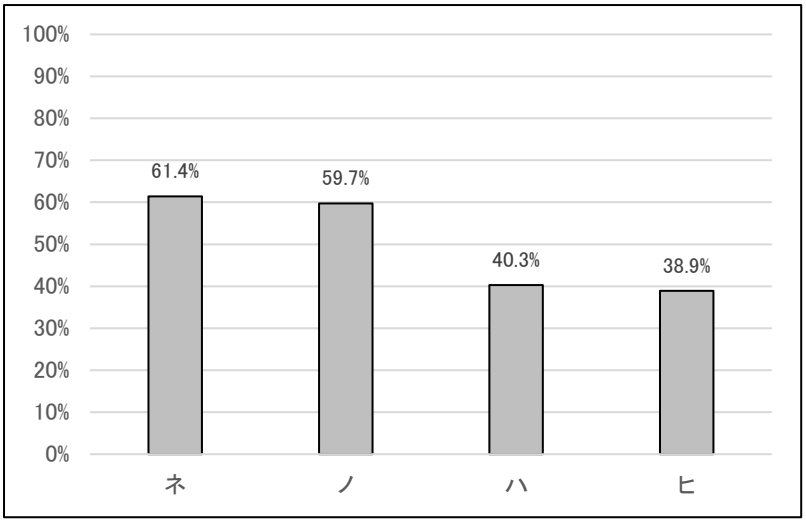


図４　【選択型Ａ用問題・国語】小問ごと正答率

学校選択型A用問題

	解答記号	分類	内容
5 A	ネ	漢文	基本語句の読み
	ノ	漢文	返り点の理解
	ハ･ヒ	漢文	内容把握

④　学校選択型Ｂ用問題（Ｂ問題選択者）の小問ごと正答率

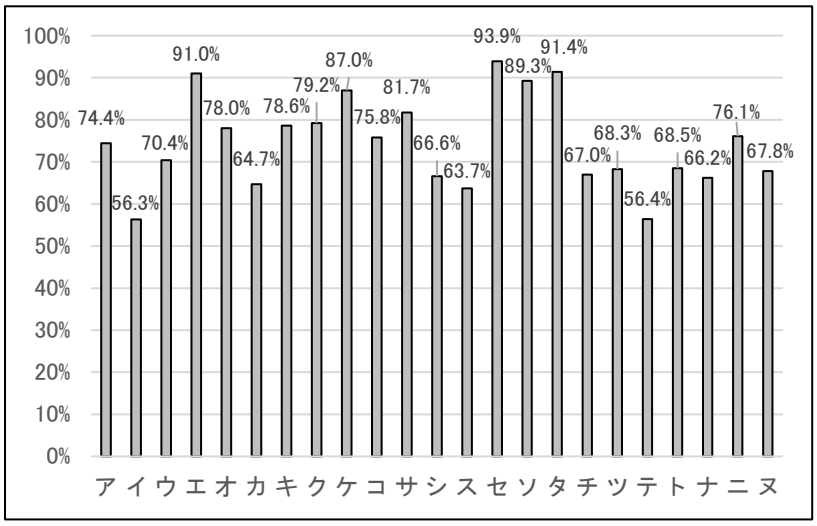


図５　【共通問題・国語】Ｂ問題選択者の小問ごと正答率

	解答記号	分類	内容
1	ア～オ	漢字･語句･文法等	漢字の読み書き
	カ	漢字･語句･文法等	慣用表現
	キ	漢字･語句･文法等	文の成分の順序や照応
	ク	漢字･語句･文法等	話合いの進め方の工夫
	ケ	漢字･語句･文法等	話し手の意図
2	コ	論理的な文章	情報と情報との関係
	サ	論理的な文章	内容把握
	シ	論理的な文章	要旨把握
	ス	論理的な文章	読み比べ
3	セ	文学的な文章	内容把握
	ソ･タ	文学的な文章	心情把握
	チ	文学的な文章	表現の特色の把握
4	ツ	古文	文法の知識
	テ･ト	古文	古語の知識
	ナ～ヌ	古文	内容把握

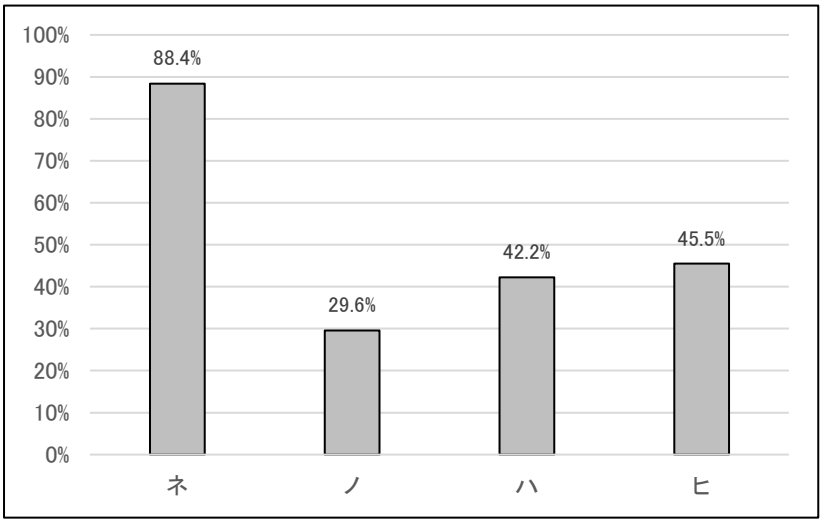


図６　【選択型Ｂ用問題・国語】小問ごと正答率

学校選択型B用問題

	解答記号	分類	内容
5 B	ネ	漢文	基本語句の読み
	ノ	漢文	句法の理解･解釈
	ハ･ヒ	漢文	内容把握

⑤　設問ごとの正答率・誤答率・無答率　等

○　共通問題

第１問　〔知識及び技能〕（言葉の特徴や使い方に関する事項）

問１は漢字の読み書き、問２は慣用表現、問３は文の成分の順序や照応、問４は相手や場に応じた表現についての理解をみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							①	②	③	④
問1	（1）	ア	①	**71.6**	28.2	0.2	○	18.0	3.8	6.5
	（2）	イ	③	**44.6**	55.2	0.2	16.1	22.5	○	16.5
	（3）	ウ	①	**65.1**	34.7	0.2	○	32.1	1.0	1.6
	（4）	エ	②	**81.9**	17.9	0.2	1.5	○	7.1	9.2
	（5）	オ	④	**65.4**	34.3	0.3	8.7	19.4	6.2	○
問２		カ	③	**59.8**	39.9	0.3	29.4	6.7	○	3.7
問３		キ	④	**70.3**	29.4	0.3	9.8	11.1	8.4	○
問4	（1）	ク	③	**68.2**	31.3	0.5	8.1	14.6	○	8.7
	（2）	ケ	②	**75.9**	23.6	0.5	7.0	○	7.6	9.0

第２問　〔知識及び技能〕（情報の扱い方に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（論理的な文章）

問１は情報と情報との関係、問２は内容把握、問３は要旨把握、問４は２つの文章を読み比べ、共通点が把握できるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
						①	②	③	④
問１	コ	②	**65.1**	34.5	0.4	15.0	○	7.5	12.1
問２	サ	①	**66.8**	32.7	0.5	○	11.4	12.3	9.0
問３	シ	②	**59.0**	40.4	0.6	10.7	○	14.4	15.3
問４	ス	④	**51.9**	47.5	0.6	15.9	16.7	15.0	○

第３問　〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（文学的な文章）

問１は内容把握、問２・問３は心情把握、問４は表現の特色を把握できるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
						①	②	③	④
問１	セ	③	**85.0**	14.4	0.6	4.1	6.4	○	3.8
問２	ソ	②	**78.1**	21.3	0.6	5.2	○	7.0	9.1
問３	タ	①	**81.2**	18.2	0.6	○	6.2	7.1	4.8
問４	チ	③	**53.2**	46.1	0.7	23.2	17.5	○	5.5

第４問　〔知識及び技能〕（我が国の言語文化に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（古文）

問１は文法の知識、問２は古語の知識、問３～５は内容把握をみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							①	②	③	④
問１		ツ	④	**45.4**	53.4	1.2	10.3	32.6	10.5	○
問２	a	テ	④	**43.1**	55.5	1.4	15.6	18.0	21.8	○
	b	ト	①	**58.8**	39.9	1.3	○	18.3	16.6	4.9
問３		ナ	②	**53.0**	45.5	1.5	12.8	○	21.3	11.4
問４		ニ	②	**62.3**	36.1	1.6	11.1	○	15.4	9.7
問５		ヌ	③	**53.9**	44.4	1.7	17.8	10.6	○	15.9

○　学校選択型Ａ用問題

第５問Ａ　〔知識及び技能〕（我が国の言語文化に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（漢文）

問１は基本語句の読み、問２は返り点の理解、問３・問４は内容把握をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
						①	②	③	④
問１	ネ	①	**61.4**	36.6	2.0	○	11.2	16.3	9.1
問２	ノ	④	**59.7**	38.2	2.1	9.7	13.0	15.6	○
問３	ハ	④	**40.3**	57.1	2.6	24.2	19.2	13.6	○
問４	ヒ	③	**38.9**	58.3	2.8	25.2	20.8	○	12.3

○　学校選択型Ｂ用問題

第５問Ｂ　〔知識及び技能〕（我が国の言語文化に関する事項）、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」（漢文）

問１は基本語句の読み、問２は句法の理解・解釈、問３・問４は内容把握をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
						①	②	③	④
問１	ネ	①	**88.4**	10.9	0.7	○	1.9	1.1	7.9
問２	ノ	③	**29.6**	69.5	0.9	21.0	18.7	○	29.8
問３	ハ	④	**42.2**	56.6	1.2	11.9	27.2	17.5	○
問４	ヒ	④	**45.5**	52.8	1.7	8.3	25.8	18.7	○

2　数学

（１）　調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、高等学校第１学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を中心に出題した。

なお、「数学Ⅰ」の目標及び内容を踏まえて出題している。また、学校選択型Ａ用問題には、義務教育段階での学習内容の定着をみることをねらいとした問題を含んでいる。

（２）　調査結果の分析

（◇　比較的できている点　　◆　課題のある点）

〔数と式〕

○　共通問題

『絶対値の意味の理解に課題』

◇　整式を整理する問題の正答率は 78.4％であり、分配法則を用いる回数が１回である令和６年度及び令和４年度の問題の正答率と同程度であった。分配法則を用い、同類項をまとめる手順についてはおおむね理解できていたといえる。　［Ａ－９　ケ／Ｂ－１　ア］

◇　分母を有理化する問題の正答率は 65.7％であり、昨年度より 4.7 ポイント上昇した。分母の有理化についてはおおむね理解できていたといえる。　［Ａ－10　コ／Ｂ－２　イ］

◆　実数の絶対値を求める問題の正答率は 34.0％であった。誤答④の選択率は 26.3％であり、誤答の選択肢の中で最も高かった。④を選択した生徒は、問題で与えられた２つの値について、その値が正なのか、負なのかに着目せずに、－の符号を＋の符号に変えて絶対値としたと考えられる。絶対値の意味の理解に課題があるといえる。　［Ａ－11　サ／Ｂ－３　ウ］

○　学校選択型Ａ用問題

『乗法公式 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ の応用に課題』

◇　累乗を含む、加法と乗法が混じった式の計算ができるかをみる問題の正答率は 77.3％であり、(負の数)^{2}の形を含む式の計算を出題した令和６年度の問題の正答率と同程度であった。計算の順序についてはおおむね理解できていたといえる。　［Ａ－２　イ］

◆　平方根の計算ができるかをみる問題の正答率は 38.3％であった。誤答①の選択率は 34.5％であり、誤答の選択肢の中で最も高かった。①を選択した生徒は$(\sqrt{a}+\sqrt{b})^2=a+b$ と計算したと考えられる。乗法公式 $(a+b)^2=$

$a^2+2ab+b^2$ の応用に課題があるといえる。　［Ａ－４　エ］

◆　分数を含む一次方程式を解くことができるかをみる問題の正答率は51.0％であった。式変形や移項で計算を誤った誤答が多く、等式の性質の理解に課題があるといえる。　［Ａ－５　オ］

○　学校選択型Ｂ用問題

『問題文を読み取り、数式を正しく処理することに課題』

◆　一次不等式の文章題は、解答方式を従来の数値記入方式から選択方式（８択）に変更した。正答率は 23.6％であり、昨年度より 9.8 ポイント低下した。誤答③の選択率は 20.2％、誤答④の選択率は 14.8％であった。③または④を選択した生徒は、最小値を答えたと考えられる。問題文の内容を読み取り、数式を正しく処理することに課題があるといえる。　［Ｂ－11　セ］

◆　命題の真偽や必要条件、十分条件を判定する問題の正答率は 34.4％であり、昨年度より 20.8 ポイント上昇した。その要因は、前提となる条件を特定しない命題の真偽と集合の包含関係を考察する問題から、具体的な２つの条件を与えて命題の真偽を考察する問題に変更したことにあると考えられる。同傾向の問題を出題した令和５年度と比較すると、今年度の正答率は 21.8 ポイント低下している。２つの命題の真偽を誤っている③と④の選択率の合計は 42.2％と高く、命題の真偽の判定に課題があるといえる。　［Ｂ－12　ソ］

〔図形と計量〕

○　共通問題

『三角比の基本事項の理解に課題』

◆　鋭角の三角比を用いて辺の長さを表すことができるかをみる問題の正答率は 31.3％であり、昨年度より 5.6 ポイント低下した。正答は正接を用いたものであったが、正弦を用いている①と⑤の選択率の合計は 22.9％であり、余弦を用いている②と⑥の選択率の合計は 22.7％であった。三角比の基本事項の理解に課題があるといえる。　［Ａ－15　タ／Ｂ－７　ク］

◆　正弦定理を活用する問題の正答率は 31.4％であり、昨年度より 2.5 ポイント低下した。誤答③の選択率は 16.4％、誤答⑤の選択率は 13.4％であった。③または⑤を選択した生徒は、$\sin 45°$の値は分かったものの、正弦定理によって成り立つ式を正しく立式できなかったと考えられる。正弦定理の活用には引き続き課題があるといえる。　［Ａ－16　チ／Ｂ－８　ケ］

◆　余弦定理を活用する問題の正答率は 30.1％であり、昨年度より 2.4 ポイント低下した。三平方の定理を用いたと考えられる誤答や、特殊な直角三角形の比 $1:2:\sqrt{3}$ を適用して答えたと考えられる誤答が多いことから、余弦

定理を用いるという発想に至っていない生徒が多数いると考えられる。余弦定理を活用するかどうかの判断に課題があるといえる。

［Ａ－17　ツ／Ｂ－９　コ］

○　学校選択型Ａ用問題

『三平方の定理が利用できる場面を判断し、三平方の定理を正しく活用することに課題』

◆　三平方の定理を活用する問題の正答率は 27.8％であり、昨年度より 3.2 ポイント低下した。誤答⑥の選択率は 22.4％であり、誤答の選択肢の中で最も高かった。⑥を選択した生徒は、特殊な直角三角形の比 $1:2:\sqrt{3}$ を$1:\sqrt{2}:3$ と間違えたと考えられる。三平方の定理が利用できる場面を判断し、三平方の定理を正しく活用することに課題があるといえる。［Ａ－７　キ］

○　学校選択型Ｂ用問題

『立体を多面的に捉えて考察することに課題』

◆　三角比の相互関係を活用する問題の正答率は 28.7％であり、昨年度より 6.8 ポイント低下した。符号のみを誤っている③の選択率は 10.1％であった。角度の条件から三角比の値の正負を判断することや、三角比の相互関係を活用して三角比の値を正しく求めることに課題があるといえる。

［Ｂ－16　ニ］

◆　正弦の値を用いて三角形の面積を求める問題の正答率は 30.6％であった。三角形の面積公式の$\frac{1}{2}$をかけ忘れた誤答が最も多かった。2 辺とその間の角の大きさが与えられた三角形において、その面積を正しく求めることに課題があるといえる。　［Ｂ－17　ヌネノハ］

◆　四面体の 1 つの頂点が球面上を動くとき、四面体の体積が最大となるような高さを求める問題の正答率は 12.4％、そのときの四面体の体積を求める問題の正答率は 10.9％であった。無答率がともに 20％を超えており、立体を多面的に捉えて考察することに課題があるといえる。

［Ｂ－17　ヒフヘホマミ］

〔二次関数〕

○　共通問題

『二次関数の式とそのグラフの対応についての理解に課題』

◇　因数分解を用いて二次方程式を解く問題の正答率は 60.3％であり、昨年度と同じ正答率であった。二次方程式を解くことについて定着がみられる。

［Ａ－13　セ／Ｂ－５　カ］

◆　平方完成をして頂点を求める問題の正答率は 30.7%であった。係数や定数項をそのまま頂点の座標としてしまった誤答が多く、頂点の座標を求めることと平方完成が結び付いていない生徒が一定数いると考えられる。平方完成の技能の定着に課題があるといえる。

［Ａ－12　シス／Ｂ－４　エオ］

◆　二次不等式を解く問題の正答率は 48.6%であった。誤答⑥の選択率は 14.7%であり、誤答の選択肢の中で最も高かった。⑥を選択した生徒は、対応する二次方程式は正しく解けたが、不等式の解は正しく表せなかったと考えられる。二次不等式と二次関数のグラフとの対応についての理解に課題があるといえる。　［Ａ－14　ソ／Ｂ－６　キ］

○　学校選択型Ａ用問題

『頂点を含む定義域に対する値域を、グラフを用いて正しく判断することに課題』

◆　頂点を含む定義域に対する値域を求める問題の正答率は 25.7%であった。④の選択率は 17.3%、⑤の選択率は 32.4%であった。④または⑤を選択した生徒は、グラフの形に着目せずに、定義域の両端を代入して値域を求めたと考えられる。頂点を含む定義域に対する値域を、グラフを用いて正しく判断することに課題があるといえる。　［Ａ－６　カ］

○　学校選択型Ｂ用問題

『二次方程式の解の条件から、二次関数のグラフを用いて考察することに課題』

◆　放物線の対称移動・平行移動に関する問題の正答率は 19.3%であった。対称移動や平行移動したグラフを式で表すことに課題があるといえる。

［Ｂ－13　タチツ］

◆　最小値の条件から場合分けをして二次関数を決定する問題の正答率は 10.8%であった。③の選択率は 35.7%、④の選択率は 8.0%であった。③または④を選択した生徒は、場合分けをしなかったと考えられる。与えられた条件と照らし合わせて、適切に場合分けすることに課題があるといえる。

［Ｂ－14　テ］

◆　二次方程式の解の条件から定数 a の値の範囲を求める問題の正答率は 16.8%であった。判別式のみを用いて範囲を求めた誤答が 27.5%と多く、二次方程式の解の条件から、二次関数のグラフを用いて考察することに課題があるといえる。　［Ｂ－15　トナ］

〔データの分析〕

○　共通問題

『仮説検定の考え方の理解に課題』

◆　仮説検定の考え方についての問題の正答率は 12.2％であり、昨年度と同様に低い数値となった。「帰無仮説が誤り⇒対立仮説を採択できない」か「帰無仮説が正しい⇒対立仮説を採択できる」とした誤答が多く、仮説検定の考え方の理解に課題があるといえる。　［Ａ－18　テトナ／Ｂ－10　サシス］

○　学校選択型Ａ用問題

『相対度数の定義の理解と定着に課題』

◆　２つのヒストグラムから読み取れる内容を選択する問題の正答率は 15.3％であった。相対度数に関して正しく述べていない①、③、④、⑦の選択率の合計は 65.3％であり、相対度数の定義の理解と定着に課題があるといえる。　［Ａ－８　ク］

○　学校選択型Ｂ用問題

『相関係数の定義の理解と定着に課題』

◆　相関係数を求める問題の正答率は 15.4％であり、昨年度より 37.8 ポイント低下した。その要因は、散布図から相関係数を推測し、４つの選択肢から選ぶ多肢選択の問題形式から、計算によって相関係数を求めて、８つの選択肢から選ぶ多肢選択の問題形式に変更したことにあると考えられる。相関係数を計算する際に分散の値を用いたと考えられる誤答が多く、相関係数の定義の理解と定着に課題があるといえる。　［Ｂ－18　ム］

◆　各データに定数を一律に加えた場合の相関係数について考察する問題の正答率は 21.6％であった。誤答⑦の選択率は 21.3％、誤答⑨の選択率は 13.7％であった。⑦または⑨を選択した生徒は、平均値に関して正しく判断ができたが、相関係数については正しく考察できなかったと考えられる。相関係数の意味を理解し、データを修正した際に相関係数がどのように変化するかを判断することに課題があるといえる。　［Ｂ－18　モ］

（３）　分析結果から考える授業づくりのポイント

POINT1 － 数と式

式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできるように、定義に立ち返って考察したり、公式が成り立つ根拠となる性質を確かめたりする活動を取り入れましょう。

- ❑　絶対値の学習において、実数の絶対値とは数直線上でその実数に対応する点と原点との距離であるという本質に立ち返り、数直線上の２点間の距離を視覚的に捉えて絶対値と対応させることが重要です。
- ❑　乗法公式を用いた展開などの式変形の場面においては、公式の基となる分配法則などの性質に立ち返るとともに、面積図などの視覚的な表現を用いるなど、公式を忘れても、その公式がなぜ成り立つのか振り返りができるような指導の工夫が大切です。

POINT2 － 図形と計量

平面図形や空間図形では、数学的論拠に基づいて図形を考察する活動を取り入れましょう。

- ❑　三角比の学習においては、辺や角などの図形の構成要素間の関係に着目して、論理的に図形を考察することが重要です。
- ❑　正弦定理や余弦定理、三角比の相互関係などの公式を導出する場面においては、既知の事柄や与えられた条件を整理し、「何が分かれば、何を求められるのか。そのために何を用いるのか。」などを明確にすることが重要です。
- ❑　空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだす力を育てるためには、ＩＣＴなどを活用して、１つの立体について様々な視点から考察させることが大切です。

POINT3 － 二次関数

必要な条件を視覚的に捉えられるように、グラフをかいて考察する活動を取り入れましょう。

- ❑　二次方程式、二次不等式などの二次関数に関連する問題においては、二次関数のグラフを用いて必要な条件を視覚的に捉えることが大切です。また、求めるものが何かを常に確認しながら進めることや、計算過程や結果を振り返って、求めた解が条件に当てはまっているのか確認することも重要です。
- ❑　生徒一人ひとりが、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察できるようになることが大切です。また、平方完成や因数分解といった式変形の結果が、対応する二次関数のグラフ上でどのような意味を持つかを、授業で繰り返し確認することも大切です。

POINT4 － データの分析

適切な統計量を選択してデータの分析を進められるように、統計量の特徴について考える活動を取り入れましょう。

- ❑　分散や標準偏差、共分散や相関係数などの統計量の学習においては、値を求められるだけではなく、その意味を理解して実際の分析に活用できるようになることが大切です。身近なテーマに対して、統計量を求めてデータの特徴を比較・分析し、その結果を互いに説明し合う活動などを取り入れて、統計量についての理解を深めることが大切です。
- ❑　仮説検定の学習では、その考え方や、それぞれの手順が何を意味しているのかを理解することが重要です。指導においては、データを分析した過程や結果について互いに説明し合う活動を取り入れることで、生徒が自分の分析の仕方や考え方を振り返り、データを根拠として考察する力や説明する力を高められるようにすることが大切です。統計量の特徴についての理解が深まってくると、探究活動の場面等においても、目的に応じた統計量を分析に活用することが期待できます。

【資料編】

①　共通問題の正答率（調査対象全体）

共通問題の正答率　42.3%（令和７年度　39.0%）

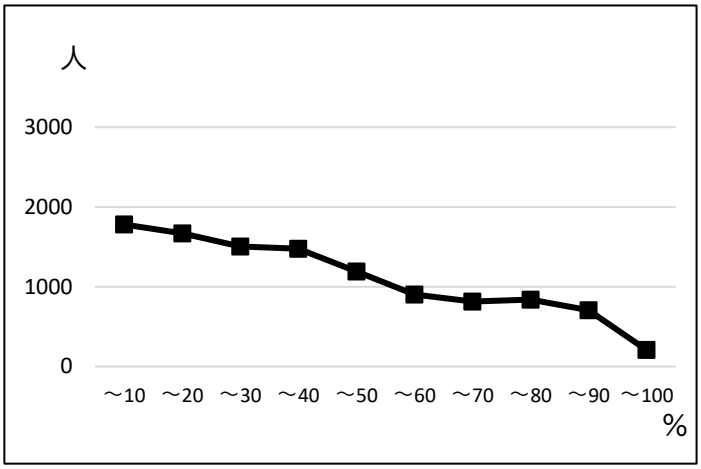


図１　【共通問題・数学】正答率の度数分布

＜概況＞

今年度の正答率は昨年度よりも 3.3 ポイント上昇した。度数分布は昨年度に引き続き、正答率10%以下の階級の度数が最大であった。正答率80%以上の割合は全体の 15.7%であり、前年度から 9.6 ポイント上昇した。小問ごとにみると、昨年度と比較して、共通問題では数と式（整式の計算）、数と式（絶対値）で 10 ポイント以上、A問題では累乗の加法と乗法で 20 ポイント以上、B問題では集合と命題で 20 ポイント以上上昇した。それ以外の問題については、昨年度と比較して 10 ポイント以上開いたものはなく、同様の傾向となった。

②　共通問題の小問ごと正答率（調査対象全体）

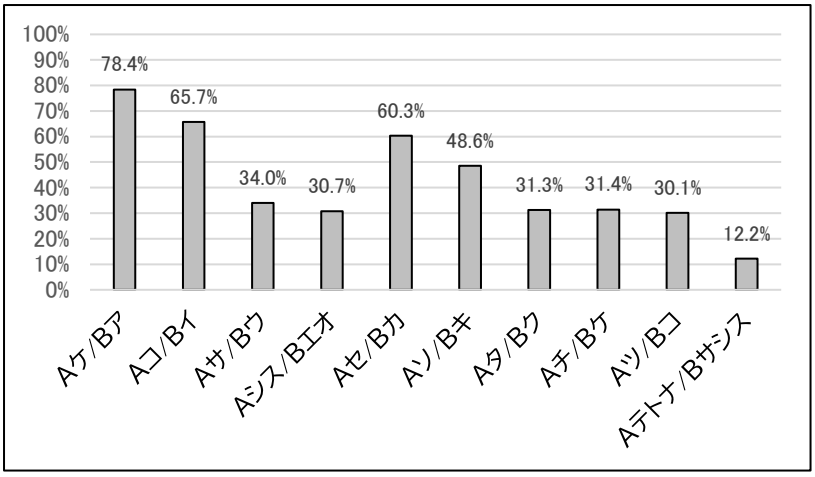


図２　【共通問題・数学】調査対象全体の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
Aケ/Bア	数と式	整式の計算
Aコ/Bイ	数と式	分母の有理化
Aサ/Bウ	数と式	絶対値
Aシス /Bエオ	二次関数	二次関数のグラフ
Aセ/Bカ	二次関数	二次方程式の解法
Aソ/Bキ	二次関数	二次不等式の解法
Aタ/Bク	図形と計量	三角比の値
Aチ/Bケ	図形と計量	正弦定理
Aツ/Bコ	図形と計量	余弦定理
Aテトナ/ Bサシス	データの分析	仮説検定の考え方

③　学校選択型Ａ用問題（Ａ問題選択者）の小問ごと正答率

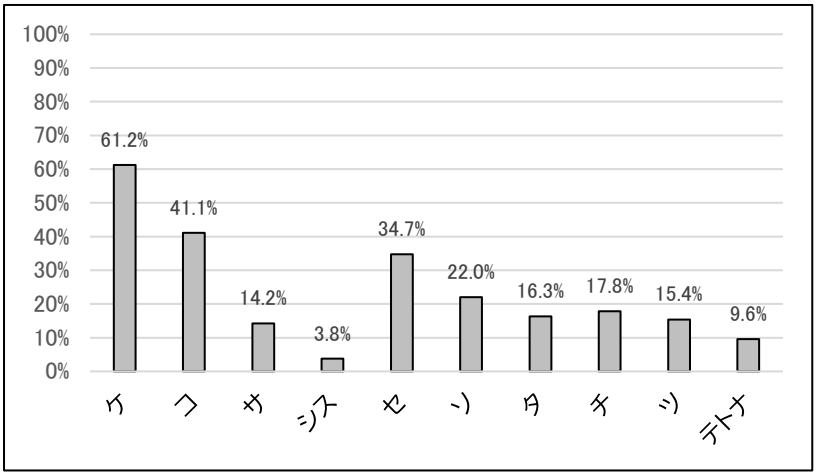


図３　【共通問題・数学】Ａ問題選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ケ	数と式	整式の計算
コ	数と式	分母の有理化
サ	数と式	絶対値
シス	二次関数	二次関数のグラフ
セ	二次関数	二次方程式の解法
ソ	二次関数	二次不等式の解法
タ	図形と計量	三角比の値
チ	図形と計量	正弦定理
ツ	図形と計量	余弦定理
テトナ	データの分析	仮説検定の考え方

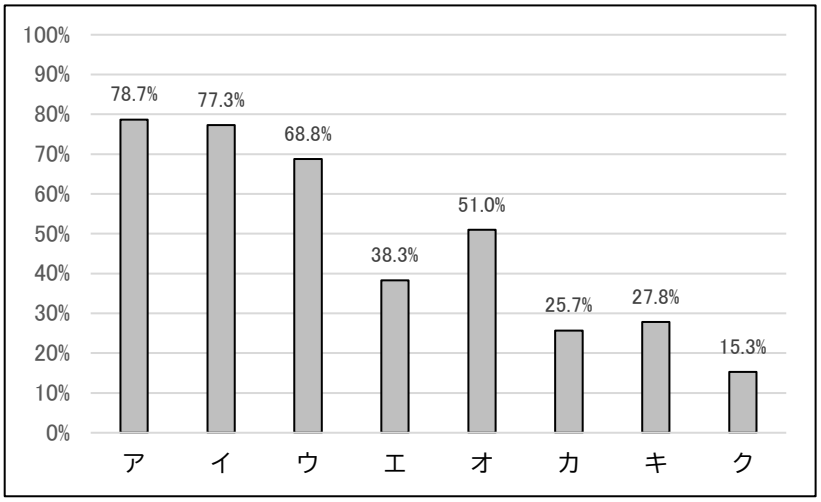


図４　【選択型Ａ用問題・数学】小問ごと正答率

学校選択型A用問題

解答記号	分類	内容
ア	数と計算(小)	分数の計算
イ	数と式(中)	整数の計算
ウ	数と式(中)	整式の展開
エ	数と式(中)	平方根の計算
オ	数と式(中)	一次方程式の解法
カ	関数(中)	関数の値域
キ	図形(中)	三平方の定理
ク	データの活用(中)	ヒストグラム

④　学校選択型Ｂ用問題（Ｂ問題選択者）の小問ごと正答率

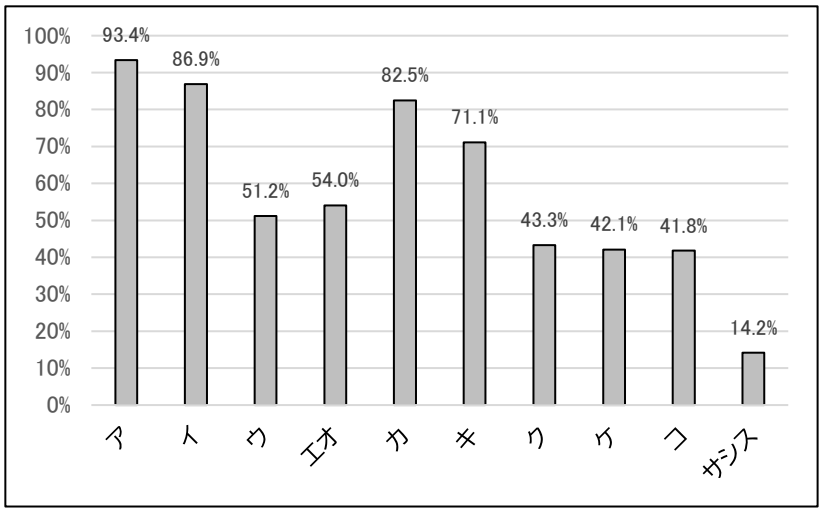


図５　【共通問題・数学】Ｂ問題選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ア	数と式	整式の計算
イ	数と式	分母の有理化
ウ	数と式	絶対値
エオ	二次関数	二次関数のグラフ
カ	二次関数	二次方程式の解法
キ	二次関数	二次不等式の解法
ク	図形と計量	三角比の値
ケ	図形と計量	正弦定理
コ	図形と計量	余弦定理
サシス	データの分析	仮説検定の考え方

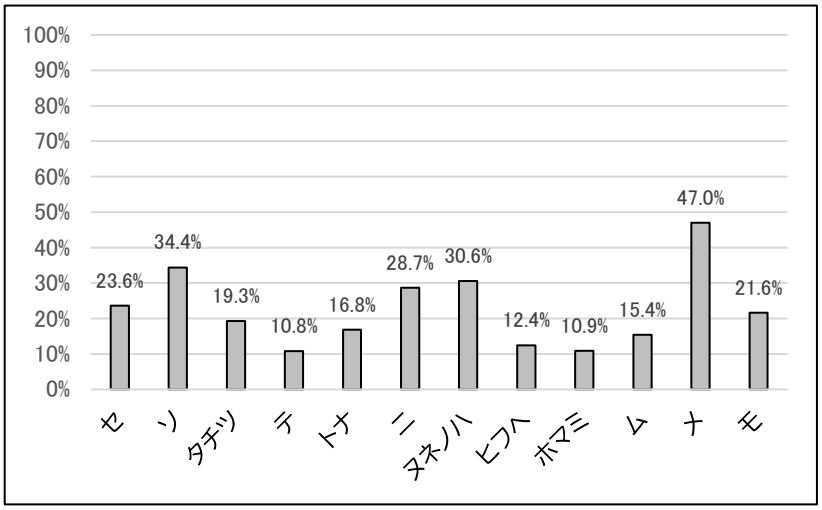


図６　【選択型Ｂ用問題・数学】小問ごと正答率

学校選択型B用問題

解答記号	分類	内容
セ	数と式	一次不等式の応用
ソ	数と式	集合と命題
タチツ	二次関数	二次関数の決定
テ	二次関数	二次関数の最大最小
トナ	二次関数	二次方程式の決定
ニ	図形と計量	三角比の相互関係
ヌネノハ	図形と計量	空間図形と三角比
ヒフヘ	図形と計量	空間図形と三角比
ホマミ	図形と計量	空間図形と三角比
ム	データの分析	データの相関
メ	データの分析	データの相関
モ	データの分析	データの相関

⑤　設問ごとの正答率・誤答率・無答率 等

	数と式	図形と計量	二次関数	データの分析
共通問題	Ａ－９～Ａ－11 Ｂ－１～Ｂ－３	Ａ－15～Ａ－17 Ｂ－７～Ｂ－９	Ａ－12～Ａ－14 Ｂ－４～Ｂ－６	Ａ－18 Ｂ－10
学校選択型Ａ用問題	Ａ－１～Ａ－５	Ａ－７	Ａ－６	Ａ－８
学校選択型Ｂ用問題	Ｂ－11、Ｂ－12	Ｂ－16、Ｂ－17	Ｂ－13～Ｂ－15	Ｂ－18

〔数と式〕

○　共通問題

Ａ－９／Ｂ－１　整式を整理して計算することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（％）	誤答率（％）	無答率（％）	誤答例
Ａ－９ Ｂ－１	ケ ア	④	**78.4**	21.2	0.4	②(4.3%)、⑤(4.1%)、 ①(3.8%)　など

Ａ－10／Ｂ－２　分母の有理化ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（％）	誤答率（％）	無答率（％）	誤答例
Ａ－10 Ｂ－２	コ イ	⑥	**65.7**	33.8	0.5	⑤(12.8%)、③(5.7%)、 ②(3.8%)　など

Ａ－11／Ｂ－３　絶対値の意味を理解し、実数の絶対値を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（％）	誤答率（％）	無答率（％）	誤答例
Ａ－11 Ｂ－３	サ ウ	③	**34.0**	65.3	0.7	④(26.3%)、⑧(15.7%)、 ①(6.3%)　など

○　学校選択型Ａ用問題

Ａ－１　通分して分数の加法ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（％）	誤答率（％）	無答率（％）	誤答例
Ａ－１	ア	⑥	**78.7**	20.9	0.4	⑤(7.9%)、①(6.6%)、 ②(2.7%)　など

Ａ－２　累乗の計算及び加法と乗法が混じった式の計算ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（％）	誤答率（％）	無答率（％）	誤答例
Ａ－２	イ	③	**77.3**	22.2	0.5	⑤(11.1%)、①(3.3%)、 ②(2.7%)　など

Ａ－３　整式の展開・整理ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－３	ウ	⑦	**68.8**	30.7	0.5	②(6.8%)、⑤(6.5%)、③(6.1%)　など

Ａ－４　平方根を含む式の計算ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－４	エ	⑥	**38.3**	61.0	0.7	①(34.5%)、⑤(8.9%)、④(5.0%)　など

Ａ－５　分数を含む一次方程式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－５	オ	④	**51.0**	48.1	0.9	⑤(11.9%)、①(11.1%)、②(6.5%)　など

○　学校選択型Ｂ用問題

Ｂ－11　問題文の内容を読み取り、数量関係を不等式で立式して解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ｂ－11	セ	⑥	**23.6**	74.5	1.9	③(20.2%)、④(14.8%)、⑧(10.2%)　など

Ｂ－12　命題の真偽と、必要条件であることを適切に捉えることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ｂ－12	ソ	⑤	**34.4**	64.9	0.7	④(24.9%)、③(17.3%)、⑥(15.6%)　など

〔図形と計量〕

○　共通問題

Ａ－15／Ｂ－７　鋭角の三角比を用いて、辺の長さを表すことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－15 Ｂ－７	タ ク	③	**31.3**	67.3	1.4	⑤(14.1%)、②(12.5%)、⑥(10.2%)　など

Ａ－16／Ｂ－８　正弦定理を用いて、外接円の半径を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－16 Ｂ－８	チ ケ	④	**31.4**	65.9	2.7	③(16.4%)、⑤(13.4%)、⑦(9.4%)　など

Ａ－17／Ｂ－９　余弦定理を用いて、三角形の辺の長さを求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－17 Ｂ－９	ツ コ	④	**30.1**	67.6	2.3	③(24.4%)、⑤(15.7%)、 ②(8.0%)　など

○　学校選択型Ａ用問題

Ａ－７　三平方の定理を用いて、直角三角形の一辺の長さを求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－７	キ	⑧	**27.8**	71.4	0.8	⑥(22.4%)、③(14.7%)、 ⑦(8.4%)　など

○　学校選択型Ｂ用問題

Ｂ－16　三角比の相互関係を理解しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ｂ－16	ニ	④	**28.7**	64.7	6.6	⑥(17.5%)、③(10.1%)、 ②(9.8%)　など

Ｂ－17　立体を考察し、三角比を用いて面積を求めることができるか、余弦定理と三角比の相互関係、正弦定理を用いて、四面体の高さを求めることができるか、及び、四面体の体積を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ｂ－17	ヌ	1	**30.6**	56.4	13.0	1-5-3-2(8.4%)、 2-2-2-2(1.5%)、 1-2-3-5(1.4%)、 1-5-2-2(1.4%)　など
	ネ	5				
	ノ	3				
	ハ	4				
	ヒ	7	**12.4**	64.4	23.2	5-3-2(2.9%)、 2-2-2(2.8%)、 3-3-3(2.5%)　など
	フ	3				
	ヘ	3				
	ホ	3	**10.9**	63.1	26.0	2-2-2(2.8%)、 3-3-3(2.4%)、 1-5-2(1.7%)　など
	マ	5				
	ミ	4				

〔二次関数〕

○　共通問題

Ａ－12／Ｂ－４　二次関数の式を適切に変形して、グラフの頂点の座標を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－12 Ｂ－４	シ エ	⑥	**30.7**	68.3	1.0	③－⑥(10.8%)、 ①－⑥(7.5%)、 ⑧－①(5.6%)　など
	ス オ	⑧				

Ａ－13／Ｂ－５　二次方程式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－13 Ｂ－５	セ カ	⑥	**60.3**	38.7	1.0	⑤(8.2%)、⑦(7.3%)、 ②(5.0%)　など

Ａ－14／Ｂ－６　二次不等式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－14 Ｂ－６	ソ キ	⑤	**48.6**	50.5	0.9	⑥(14.7%)、②(9.0%)、 ①(7.4%)　など

○　学校選択型Ａ用問題

Ａ－６　関数$y=x^2$で、xの変域に対応するyの変域を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－６	カ	②	**25.7**	73.5	0.8	⑤(32.4%)、④(17.3%)、 ③(6.2%)　など

○　学校選択型Ｂ用問題

Ｂ－13　問題文やグラフから必要な情報を読み取り、二次関数の式を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ｂ－13	タ	2	**19.3**	73.1	7.6	2-5-1(6.9%)、2-1-9(3.4%)、 4-1-1(2.8%)　など
	チ	1				
	ツ	1				

Ｂ－14　定義域と放物線の軸の位置関係を捉え、場合分けをして二次関数の最小値から定数の値を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ｂ－14	テ	⑤	**10.8**	84.9	4.3	③(35.7%)、⑦(13.2%)、⑧(8.6%)　など

Ｂ－15　二次方程式の解の条件から定数の値の範囲を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ｂ－15	ト	②	**16.8**	79.1	4.1	②－⑥(11.2%)、①－⑥(7.8%)、③－⑥(5.4%)　など
	ナ	④				

〔データの分析〕

○　共通問題

Ａ－18／Ｂ－10　仮説検定の考え方について理解しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－18 Ｂ－10	テ サ	②	**12.2**	86.6	1.2	②－①－②(23.9%)、②－②－②(16.9%)、①－①－②(13.5%)、①－②－②(10.5%)、①－①－①(10.3%)　など
	ト シ	①				
	ナ ス	①				

○　学校選択型Ａ用問題

Ａ－８　ヒストグラムからデータの相対度数、中央値、最頻値を求め、正誤を判断することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答例
Ａ－８	ク	⑤	**15.3**	83.9	0.8	⑦(30.8%)、③(20.2%)、④(10.5%)　など

○　学校選択型Ｂ用問題

Ｂ－18　相関係数を求めること、及び、データの修正による相関係数の値の変化を考察することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（％）	誤答率（％）	無答率（％）	誤答例
Ｂ－18	ム	④	**15.4**	76.1	8.5	③(31.9%)、②(15.8%)、①(10.3%)　など
	メ	①	**47.0**	45.4	7.6	②(26.0%)、③(19.5%)
	モ	⑧	**21.6**	70.8	7.6	⑦(21.3%)、⑨(13.4%)、③(8.0%)　など

3 英語

（1） 調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づき、高等学校第1学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を中心に出題した。なお、「英語コミュニケーションⅠ」の「聞くこと」及び「読むこと」の領域の内容を踏まえて出題している。

（2） 調査結果の分析

（◇ 比較的できている点 ◆ 課題のある点）

〔聞くこと〕

○ 共通問題

『発話の中から必要な情報を聞き取り、その状況を正しく捉えることに課題』

◇ 基本的な語彙や表現を用いた短い英文を聞き、その状況を適切に表す絵を選択する問題の正答率は 92.7%であった。基本的な語彙や表現は聞き取れていたといえる。 [1 ア]

◇ 長めの説明を聞き、表を完成させることを通して、必要な情報を整理し、内容を把握する問題の正答率は 92.4%であった。聞き取った情報を整理して要点を把握することはできていたといえる。 [4 キ]

◆ 短い発話を聞き、話し手の意図や発話の状況を把握する問題では、“be going to”を使った問題の正答率が、リスニング問題の中で最も低い 31.3%であった。誤答の選択肢を選んだ生徒は、部分的に聞き取った単語から判断して選択肢を選んだと考えられる。発話全体の中から必要な情報を聞き取り、その状況を正しく捉えることに課題があるといえる。 [2 ウ]

〔読むこと〕 （日常的な話題）

○ 学校選択型Ａ用問題

『資料中の複数の情報を処理することに課題』

◇ テクストの一部分から必要な情報を取り出す問題の正答率は 67.3%であった。読み取る箇所が限定的である場合に、必要な情報を探し出すことはできていたといえる。 [8A ハ]

◆ テクスト内の複数の情報を処理する問題の正答率は 23.2%であった。参加者の年齢や人数、試合の対戦表など、複数の情報から必要な情報を読み取り、読み取った条件を基に入場料などの情報を計算して処理することができなかったと考えられる。 [8A フ]

◆ テクスト内の情報の正誤を判断する問題の正答率は 22.3%であり、「読む

こと（日常的な話題）」の問題の中で最も低かった。必要な情報をテクストから読み取り、選択肢の英文と照らし合わせて正誤を判断することができなかったと考えられる。テクストを読み、必要な複数の情報を整理して捉えることに課題があるといえる。　［8A　ヘ］

○　学校選択型Ｂ用問題

『事実と意見を区別することに課題』

◇　テクストの一部分から必要な情報を取り出す問題の正答率は 62.5%であった。読み取る箇所が限定的である場合に、必要な情報を探し出すことはできていたといえる。　［8B　ヒ］

◆　テクスト内の情報から事実と意見を区別し、内容に合致する事実を選ぶ問題の正答率は 24.5%であった。誤答の選択肢 1 の選択率は 31.7%であり、選択肢の中で最も高かった。1 を選択した生徒は、書き手や話し手の思いや考えを述べたものが意見であることを理解できていなかったと考えられる。事実と意見を正しく区別することに課題があるといえる。　［8B　ヘ］

〔読むこと〕　（社会的な話題）

○　学校選択型Ａ用問題

『長めのテクストの概要や要点、書き手の意図などを的確に捉えることに課題』

◆　社会的な話題に関して書かれた長めのテクストの概要や要点を捉える問題の正答率は 36.5%、テクストが伝えているメッセージを問う問題の正答率は 22.7%であった。誤答の選択肢を選択した生徒は、全体の概要や要点を的確に捉えることができず、部分的な情報から選択肢を判断したものと考えられる。テクストの概要や要点、書き手の意図を的確に捉えることに課題があるといえる。　［9A　メ］

○　学校選択型Ｂ用問題

『テクストの概要や要点を的確に捉えることに課題』

◆　テクストの内容を要約する問題の正答率は 31.5%であり、「読むこと（社会的な話題）」の中で最も低かった。テクストの要点を正確に言い換えた選択肢を選ぶことができなかったと考えられる。事柄の順序や因果関係などを把握しながら、概要や要点を的確に捉えることに課題があるといえる。

［9B　マ］

〔コミュニケーションを支える文法・語法〕

○　共通問題

『動詞の語法や間接疑問文に関する知識・技能の定着に課題』

◆　＜動詞の語法に関する問題＞の正答率は 24.2％であった。誤答の 2 を選択した生徒は 46.5％であり、選択肢の中で最も高かった。2 を選択した生徒は、「～したこと」という日本語の意味が過去形になっていることから“visited”を選択したと考えられる。目的語の形が、動名詞の場合と不定詞の場合とで意味が異なる動詞の語法に関する知識の定着に課題があるといえる。　［6A　テ／6B　セ］

◆　＜間接疑問文の語順に関する問題＞の正答率は 21.6％であった。誤答の選択肢 2 の選択率は 56.3％であり、選択肢の中で最も高かった。2 を選択した生徒は、間接疑問文の語順＜ what time + S + V ＞を、疑問文の語順と混同したものと考えられる。間接疑問文を用いる技能の定着に課題があるといえる。　［7A　ノ／7B　ヌ］

○　学校選択型Ａ用問題

『関係詞に関する基礎的な知識の定着に課題』

◆　＜関係詞に関する問題＞の正答率は 28.0％であった。誤答の選択肢 2 の選択率は 32.8％であり、選択肢の中で最も高かった。2 を選択した生徒は、主格の関係代名詞の働きを理解できていなかったと考えられる。関係詞に関する基礎的な知識の定着に課題があるといえる。　［6A　チ］

○　学校選択型Ｂ用問題

『副詞や複合関係副詞に関する知識の定着に課題』

◆　＜副詞の用法に関する問題＞の正答率は 16.6％であった。誤答の選択肢 4 の選択率は 65.5％であり、選択肢の中で最も高かった。4 を選択した生徒は、“lately”の正しい意味を理解しておらず、“late”と混同したものと考えられる。副詞に関する知識の定着に課題があるといえる。　［6B　ト］

◆　＜複合関係副詞に関する問題＞の正答率は 9.0％であった。誤答の選択肢 4 の選択率は 54.8％であり、選択肢の中で最も高かった。4 を選択した生徒は、“however”を従属接続詞と混同したものと考えられる。誤答の選択肢 3 の選択率は 33.6％であり、選択肢の中で 4 に次いで高かった。3 を選択した生徒は、コンマに関する句読法を理解していなかった、または、“however”を接続詞と混同したと考えられる。複合関係副詞の知識の定着に課題があるといえる。　［7B　ノ］

（３）　分析結果から考える授業づくりのポイント

POINT1 － 聞くこと（日常的・社会的な話題のリスニング）

基本的な文法事項を含む英語に焦点を当てながら、話し手の意図や発話の状況を捉える活動を取り入れましょう。

- ❑　話し手の意図や発話の状況を把握できるようにするために、目的や場面、状況などの設定を明確にして「聞くこと」の活動を行うことが大切です。
- ❑　話し手の意図や発話の状況を的確に把握できるようにするためには、代動詞や動詞の時制などの基本的な文法事項を確認することが大切です。例えば、リスニング活動の前に、be going to などの時制に焦点を当て、それらが実際の音声の中でどのように発音されるかを全体で確認するとともに、「まだ実際には行っていない」、「これからの予定である」といった時制が表す状況を確認する活動が効果的です。このような活動を通して、話し手の意図や発話の状況をより的確に把握できるようになることが期待できます。
- ❑　また、１人１台端末を活用して、発話の状況を考えながら、繰り返し聞いたり音読したりする活動や、発話全体を通して話し手が何を伝えたいのか、発話の状況や使用されている文法事項はどのようなものかなどを、ペアやグループで話し合う活動も考えられます。これらの活動を通して、発話の中から必要な情報を捉え、全体として何を伝えようとしているのかを把握できるようになることが期待できます。

POINT2 － 読むこと（日常的な話題）

身近な話題に関するテクストを読み、テクストの書かれた目的や書き手の意図、テクストに書かれている事実を正確に読み取る活動を取り入れましょう。

- ❑　読み取ったテクストの概要や要点、書き手の意図を、「書くこと」や「話すこと」の活動の中でまとめる活動や、自分の考えを表現する活動など、複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を展開することが大切です。
- ❑　例えば、生徒が住んでいる地域や興味を持っている偉人について、エッセイやウェブサイトなど複数の資料を読んで、その概要や要点をまとめ、その内容を話したり書いたりして伝える活動が考えられます。これらの活動を通して、テクストから必要な情報を捉えられるようになることが期待できます。
- ❑　また、生徒にとって身近な話題について書かれたテクストを読む際は、そのテクストが書かれた目的や書き手の意図を、ペアやグループで話し合う活

動なども効果的です。

- ❑　テクストを読んで、事実と書き手の意見とを区別する活動や、与えられた目的や場面、状況などを踏まえて、複数の情報を処理する活動を取り入れることで、テクストに書かれている事実と書き手の意見とを的確に区別できるようにしましょう。

POINT3 － 読むこと（社会的な話題）

テクストを読み、読み取った情報を整理したり要約したりすることで、概要や要点を捉える活動を取り入れましょう。

- ❑　「読むこと」の活動においては、「話すこと」や「書くこと」などの複数の領域を結びつけた統合的な言語活動の中で、読み取った概要や要点を表現できるようにすることが大切です。
- ❑　例えば、社会的な話題についてのテクストを読む際は、論理的な文章の構成や展開を促えながら、読み取った情報を整理したり、内容を要約して話したりすることで、概要や要点をより的確に把握できるようになることが期待できます。
- ❑　また、書き手の主張や根拠のキーワードをメモにまとめる活動や、各段落のトピックセンテンスに着目して、書かれている内容を推測するなどの活動も効果的です。論理的な文章の構成の組み立て方を理解することで、概要や要点を意識しながら読むことができるようになることが期待できます。

POINT4 － コミュニケーションを支える文法・語法

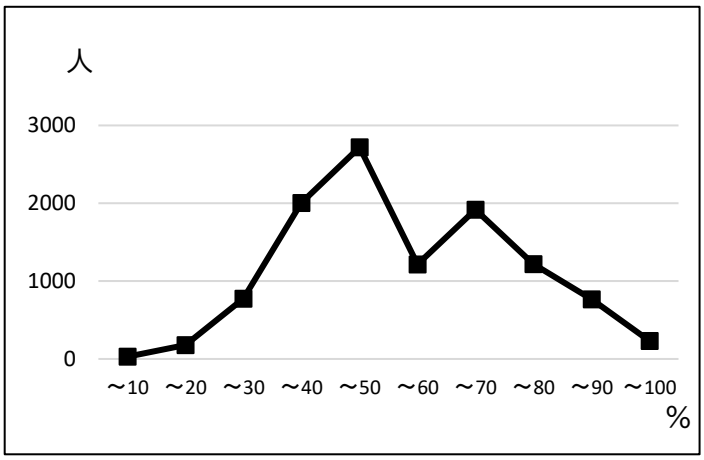
文法・語法の知識を活用できるように、実際のコミュニケーションを意識した表現活動を増やしましょう。

- ❑　文法・語法の知識・技能を定着させるためには、実際のコミュニケーションを意識した目的や場面、状況などを設定し、それらを繰り返し活用できるような活動を増やしましょう。
- ❑　生徒が自分の考えや気持ちを表現したり、伝え合ったりする活動を積極的に取り入れ、授業の帯活動やパフォーマンステストの中で、既習の文法項目を活用する機会を増やしましょう。
- ❑　文法事項の指導に当たっては、生徒が誤りを恐れずに、英語で自分の考えや気持ちを表現できるようにすることが大切です。過度に文法的な正しさのみを強調したり、用語や用法の区別などの指導が中心となったりしないよう配慮しつつ、教師と生徒との英語でのやり取りの中で、適切にフィードバックを与えることが大切です。

【資料編】

① 共通問題の正答率（調査対象全体）

共通問題の正答率　53.6%（令和７年度　51.2%）

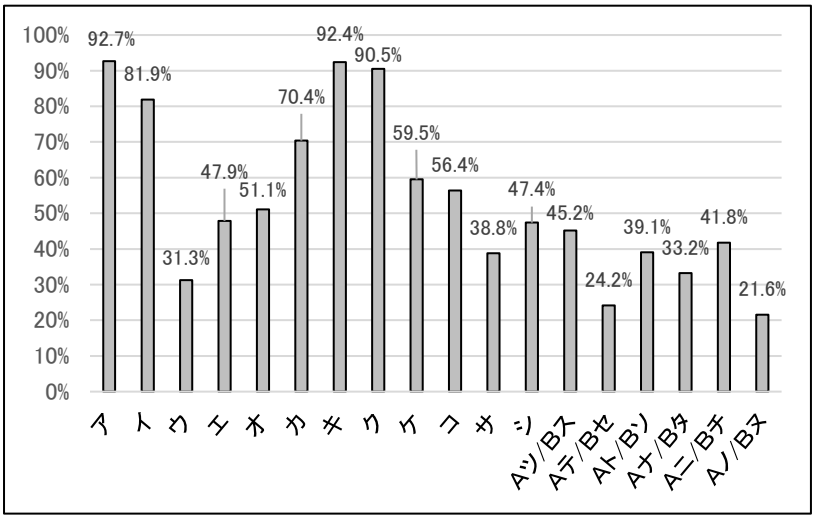


＜概況＞

昨年度同様、正答率 50%台の中間層が薄いM字型のグラフとなった。階級の度数についても、昨年度同様、40%～50%が最大となった。平均正答率は、昨年度から 2.4 ポイント上昇した。「読むこと（日常的な話題）」においては、A問題選択者では、テクスト内の必要な複数の情報を整理して捉えることに、B問題選択者では、事実と意見を区別することに、課題があるといえる。

図１　【共通問題・英語】正答率の度数分布

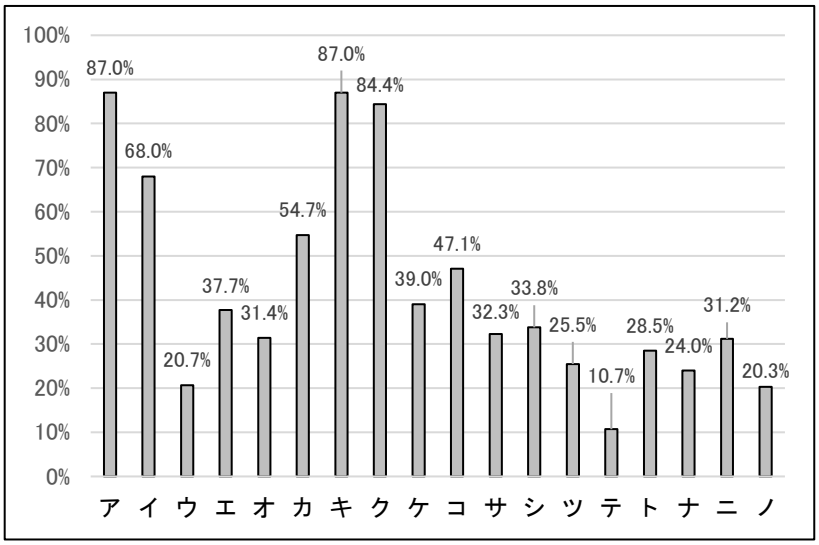
② 共通問題の小問ごと正答率（調査対象全体）



	解答記号	分類	内容
1	ア・イ	聞くこと(リスニング)	短い発話(イラスト付き)
2	ウ・エ	聞くこと(リスニング)	短い発話
3	オ・カ	聞くこと(リスニング)	短い対話(場面の情報付き)
4	キ～コ	聞くこと(リスニング)	長めの説明
5	サ・シ	聞くこと(リスニング)	長めの対話
6	Aツ/Bス	コミュニケーションを支える文法・語法	助動詞(受動態)
	Aテ/Bセ	コミュニケーションを支える文法・語法	動詞の語法(動名詞)
	Aト/Bソ	コミュニケーションを支える文法・語法	使役動詞
	Aナ/Bタ	コミュニケーションを支える文法・語法	代名詞
	Aニ/Bチ	コミュニケーションを支える文法・語法	仮定法
7	Aノ/Bヌ	コミュニケーションを支える文法・語法	整序

図２　【共通問題・英語】調査対象全体の小問ごと正答率

③ 学校選択型Ａ用問題（Ａ問題選択者）の小問ごと正答率



	解答記号	分類	内容
1	ア・イ	聞くこと(リスニング)	短い発話(イラスト付き)
2	ウ・エ	聞くこと(リスニング)	短い発話
3	オ・カ	聞くこと(リスニング)	短い対話(場面の情報付き)
4	キ～コ	聞くこと(リスニング)	長めの説明
5	サ・シ	聞くこと(リスニング)	長めの対話
6	Aツ/Bス	コミュニケーションを支える文法・語法	助動詞(受動態)
	Aテ/Bセ	コミュニケーションを支える文法・語法	動詞の語法(動名詞)
	Aト/Bソ	コミュニケーションを支える文法・語法	使役動詞
	Aナ/Bタ	コミュニケーションを支える文法・語法	代名詞
	Aニ/Bチ	コミュニケーションを支える文法・語法	仮定法
7	Aノ/Bヌ	コミュニケーションを支える文法・語法	整序

図３　【共通問題・英語】Ａ問題選択者の小問ごと正答率

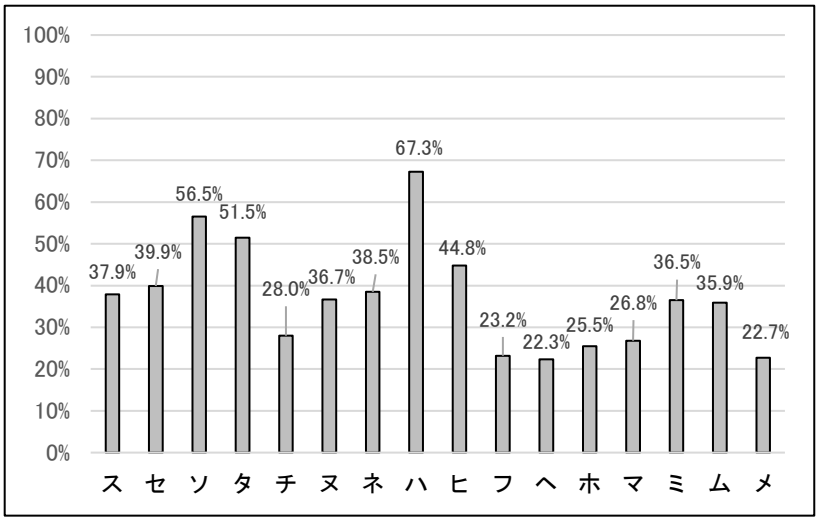


図４　【選択型Ａ用問題・英語】小問ごと正答率

学校選択型A用問題

	解答記号	分類	内容
6	ス	コミュニケーションを支える文法・語法	時制（過去形）
	セ	コミュニケーションを支える文法・語法	人称代名詞
	ソ	コミュニケーションを支える文法・語法	分詞（後置修飾）
	タ	コミュニケーションを支える文法・語法	不定詞（副詞用法）
	チ	コミュニケーションを支える文法・語法	関係詞
7	ヌ	コミュニケーションを支える文法・語法	整序
	ネ	コミュニケーションを支える文法・語法	整序
8	ハ～ヘ	読むこと（日常的な話題）	情報検索
9	ホ～メ	読むこと（社会的な話題）	内容理解

④　学校選択型Ｂ用問題（Ｂ問題選択者）の小問ごと正答率

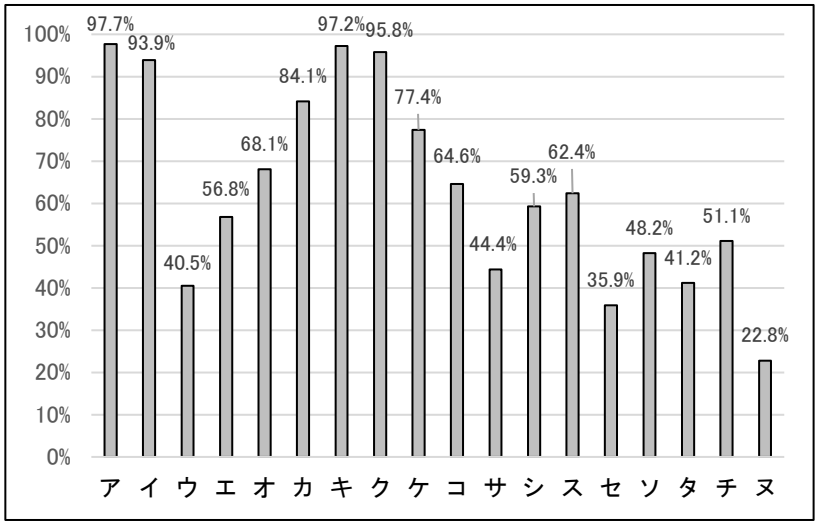


図５　【共通問題・英語】Ｂ問題選択者の小問ごと正答率

	解答記号	分類	内容
1	ア・イ	聞くこと（リスニング）	短い発話（イラスト付き）
2	ウ・エ	聞くこと（リスニング）	短い発話
3	オ・カ	聞くこと（リスニング）	短い対話（場面の情報付き）
4	キ～コ	聞くこと（リスニング）	長めの説明
5	サ・シ	聞くこと（リスニング）	長めの対話
6	Aツ/Bス	コミュニケーションを支える文法・語法	助動詞（受動態）
	Aテ/Bセ	コミュニケーションを支える文法・語法	動詞の語法（動名詞）
	Aト/Bソ	コミュニケーションを支える文法・語法	使役動詞
	Aナ/Bタ	コミュニケーションを支える文法・語法	代名詞
	Aニ/Bチ	コミュニケーションを支える文法・語法	仮定法
7	Aノ/Bヌ	コミュニケーションを支える文法・語法	整序

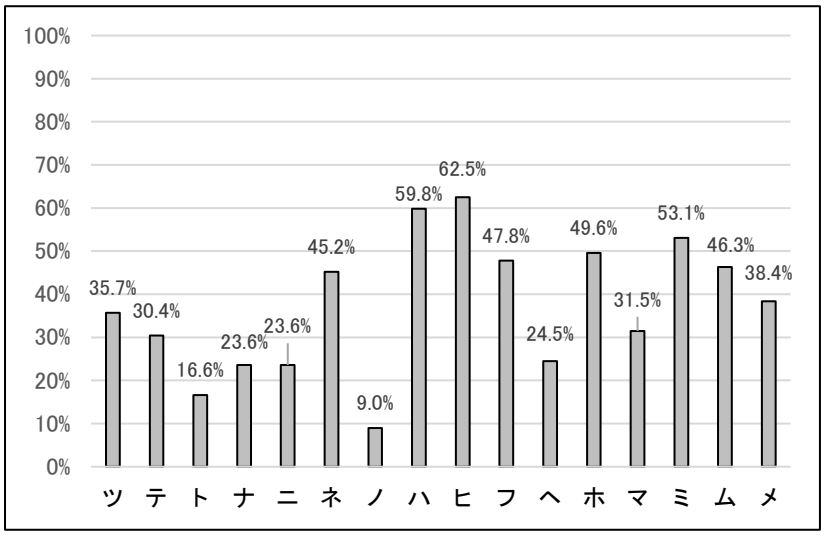


図６　【選択型Ｂ用問題・英語】小問ごと正答率

学校選択型B用問題

	解答記号	分類	内容
6	ツ	コミュニケーションを支える文法・語法	副詞節（時や条件）
	テ	コミュニケーションを支える文法・語法	関係詞
	ト	コミュニケーションを支える文法・語法	副詞の用法
	ナ	コミュニケーションを支える文法・語法	倒置（否定語）
	ニ	コミュニケーションを支える文法・語法	分詞構文
7	ネ	コミュニケーションを支える文法・語法	整序
	ノ	コミュニケーションを支える文法・語法	整序
8	ハ～ヘ	読むこと（日常的な話題）	情報検索
9	ホ～メ	読むこと（社会的な話題）	内容理解

⑤　設問ごとの正答率・誤答率・無答率　等

○　共通問題

〔聞くこと〕（リスニング）

1　短い発話を聞き、対応するイラストを選ぶことを通じて、発話の状況を把握することができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
1	（1）	ア	2	**92.7**	7.1	0.2	2.9	○	2.5	1.7
	（2）	イ	1	**81.9**	17.9	0.2	○	6.5	7.5	3.9

2　短い発話を聞き、話し手の状況を把握することができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
2	（1）	ウ	4	**31.3**	68.5	0.2	32.0	15.7	20.8	○
	（2）	エ	2	**47.9**	51.7	0.4	6.5	○	36.7	8.5

3　場面に関する説明を参考にしながら短い対話を聞き、概要や要点を把握することができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
3	（1）	オ	2	**51.1**	48.6	0.3	10.1	○	30.3	8.2
	（2）	カ	4	**70.4**	29.4	0.2	5.2	7.0	17.1	○

4　長めの説明を聞き、表を完成させることを通じて、必要な情報を整理し、内容を把握することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
						1	2	3	4
4	キ	2	**92.4**	7.4	0.2	3.3	○	2.2	1.8
	ク	1	**90.5**	9.3	0.2	○	3.8	2.4	3.1
	ケ	1	**59.5**	40.2	0.3	○	4.7	6.7	28.8
	コ	3	**56.4**	43.3	0.3	3.4	3.8	○	36.1

5　長めの対話を聞き、必要な情報を整理して、概要や要点を把握することができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
5	（1）	サ	1	**38.8**	60.8	0.4	○	31.0	23.8	6.1
	（2）	シ	4	**47.4**	52.2	0.4	18.9	14.6	18.7	○

〔読むこと〕（日常的な話題）

○　学校選択型Ａ用問題

8－Ａ　日常的な話題に関して書かれたテクストについて、目的に応じて必要な情報を読み取り、書き手の意図を捉えることができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
8	（1）	ハ	2	**67.3**	31.7	1.0	14.1	○	10.6	7.0
	（2）	ヒ	1	**44.8**	53.9	1.3	○	14.3	21.1	18.5
	（3）	フ	3	**23.2**	75.5	1.3	27.0	35.9	○	12.6
	（4）	ヘ	2	**22.3**	76.2	1.5	24.0	○	31.4	20.7

○　学校選択型Ｂ用問題

8－Ｂ　日常的な話題に関して書かれたテクストについて、目的に応じて必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
8	（1）	ハ	3	**59.8**	39.7	0.5	11.4	20.3	○	8.0
	（2）	ヒ	1	**62.5**	37.1	0.4	○	12.8	15.2	9.1
	（3）	フ	2	**47.8**	51.6	0.6	9.8	○	14.4	27.4
	（4）	ヘ	4	**24.5**	74.8	0.7	31.7	16.1	27.0	○

〔読むこと〕（社会的な話題）

○　学校選択型Ａ用問題

9－Ａ　社会的な話題に関して書かれたテクストについて、その概要や要点を的確に把握することができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
9	（1）	ホ	4	**25.5**	72.8	1.7	16.3	34.3	22.3	○
	（2）	マ	3	**26.8**	71.3	1.9	23.2	29.5	○	18.6
	（3）	ミ	1	**36.5**	61.6	1.9	○	19.9	27.0	14.7
	（4）	ム	3	**35.9**	62.0	2.1	15.6	29.5	○	16.9
	（5）	メ	4	**22.7**	75.2	2.1	20.1	24.2	30.8	○

○　学校選択型Ｂ用問題

9－B　社会的な話題に関して書かれたテクストについて、その概要や要点を的確に把握することができるかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
9	（1）	ホ	4	**49.6**	49.8	0.6	22.0	16.0	11.7	○
	（2）	マ	1	**31.5**	67.6	0.9	○	21.7	28.6	17.2
	（3）	ミ	2	**53.1**	45.6	1.3	12.6	○	20.7	12.4
	（4）	ム	3	**46.3**	52.3	1.4	14.1	20.1	○	18.1
	（5）	メ	3	**38.4**	59.7	1.9	17.3	22.2	○	20.1

〔コミュニケーションを支える文法・語法〕

○　共通問題

6　（文法･語法）

英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文法事項に関する知識が定着しているかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
6	A(6) B(1)	ツ ス	4	**45.2**	54.4	0.4	32.9	7.1	14.4	○
	A(7) B(2)	テ セ	3	**24.2**	75.4	0.4	5.7	46.5	○	23.2
	A(8) B(3)	ト ソ	1	**39.1**	60.6	0.3	○	18.5	24.2	17.9
	A(9) B(4)	ナ タ	3	**33.2**	66.4	0.4	25.4	26.2	○	14.8
	A(10) B(5)	ニ チ	2	**41.8**	57.8	0.4	15.6	○	17.8	24.3

7　（整序）

英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文構造に関する知識と、それを適切に運用する技能が身に付いているかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
7	A(3) B(1)	ノ ヌ	3	**21.6**	77.9	0.5	9.7	56.3	○	11.8

○　学校選択型Ａ用問題

6　（文法･語法）

英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文法事項に関する知識が定着しているかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
6	（1）	ス	2	**37.9**	61.6	0.5	29.0	○	21.2	11.4
	（2）	セ	4	**39.9**	59.6	0.5	3.7	7.3	48.5	○
	（3）	ソ	3	**56.5**	42.9	0.6	18.5	14.0	○	10.5
	（4）	タ	4	**51.5**	48.0	0.5	15.4	18.2	14.3	○
	（5）	チ	1	**28.0**	71.4	0.6	○	32.8	16.1	22.5

7　（整序）

英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文構造に関する知識と、それを適切に運用する技能が身に付いているかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
7	（1）	ヌ	2	**36.7**	62.6	0.7	11.5	○	33.5	17.6
	（2）	ネ	4	**38.5**	60.7	0.8	18.3	19.7	22.7	○

○　学校選択型Ｂ用問題

6　（文法･語法）

英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文法事項に関する知識が定着しているかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率（%）	誤答率（%）	無答率（%）	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
6	（6）	ツ	1	**35.7**	64.2	0.1	○	7.6	34.6	22.0
	（7）	テ	4	**30.4**	69.4	0.2	13.1	3.7	52.6	○
	（8）	ト	3	**16.6**	83.2	0.2	10.7	7.0	○	65.5
	（9）	ナ	2	**23.6**	76.1	0.3	48.7	○	20.3	7.1
	(10)	ニ	4	**23.6**	76.2	0.2	24.7	10.5	41.0	○

7　（整序）

英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文構造に関する知識と、それを適切に運用する技能が身に付いているかをみる問題

問題番号		解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率（%）			
							1	2	3	4
7	（2）	ネ	3	**45.2**	54.6	0.2	38.6	5.6	○	10.5
	（3）	ノ	2	**9.0**	90.8	0.2	2.4	○	33.6	54.8

Ⅲ　学習状況等に関する調査結果の分析

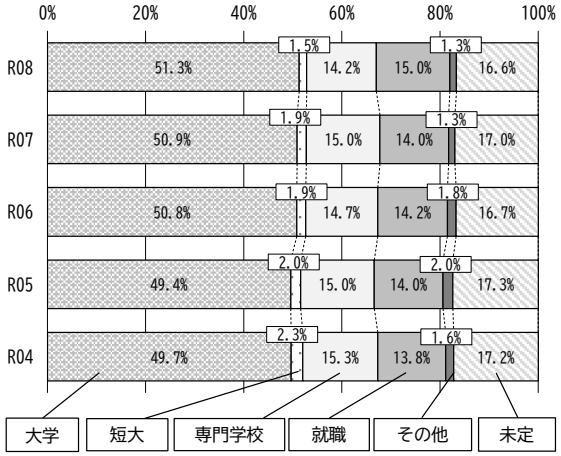
※　Ｒ７から学習状況等に関する調査をオンライン方式で実施し、Ｑ１～Ｑ７は学校名・学年・組・出席番号・氏名などの情報である。なお、Ｒ８の質問内容は、Ｒ７以前と変更はない。

1　学習状況

（１）高校卒業後の進路希望について

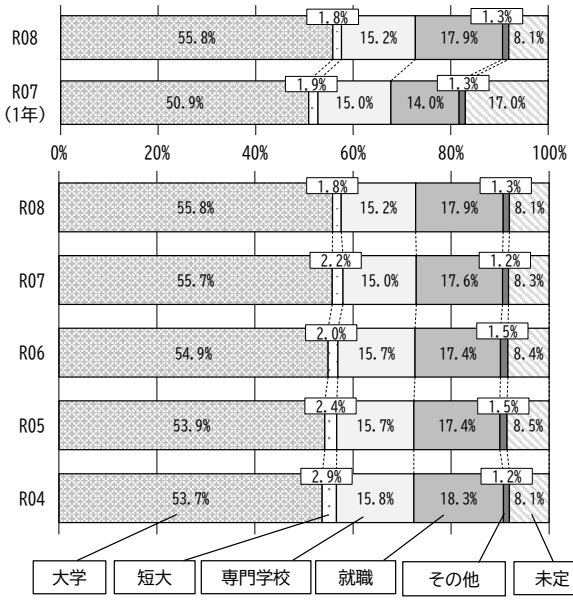
①　高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものを１つ選んでください【Ｑ８】

〔１年生〕



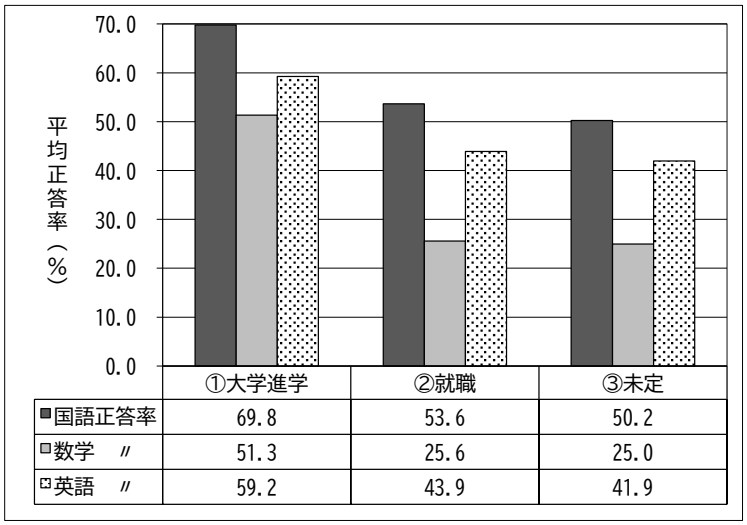
○　大学への進学希望の割合が、Ｒ６以降年々増加している。
○　就職希望の割合は増加傾向にあり、短大、専門学校への進学希望の割合は減少傾向にある。

〔２年生〕



○　１年時と比べ、未定の割合が大きく減少し、大学への進学と就職希望の割合が増加した。
○　大学への進学希望の割合は年々増加しており、過去５年間で最も高くなった。

②　進路希望別正答率



	①大学進学	②就職	③未定
■国語正答率	69.8	53.6	50.2
□数学　〃	51.3	25.6	25.0
▨英語　〃	59.2	43.9	41.9

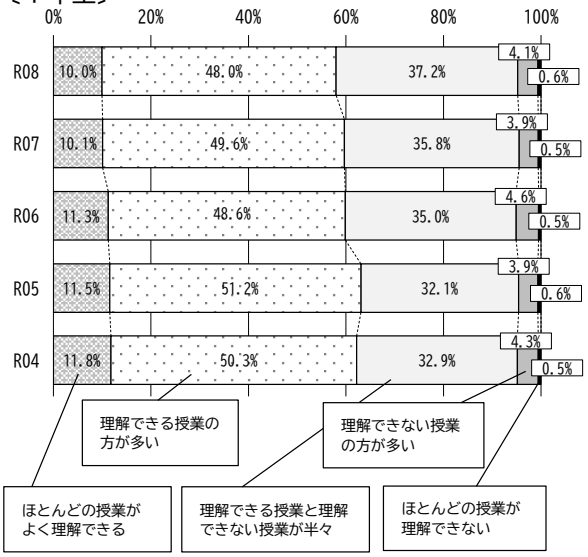
①　大学進学
　国公私立の４年制大学への進学を希望している生徒
②　就職
　民間及び公務員への就職を希望している生徒
③　未定

○　いずれの教科も、大学進学希望者と就職希望者・進路希望未定者の正答率には大きな開きがある。就職希望者と進学希望未定者の正答率には、大きな差はみられない。

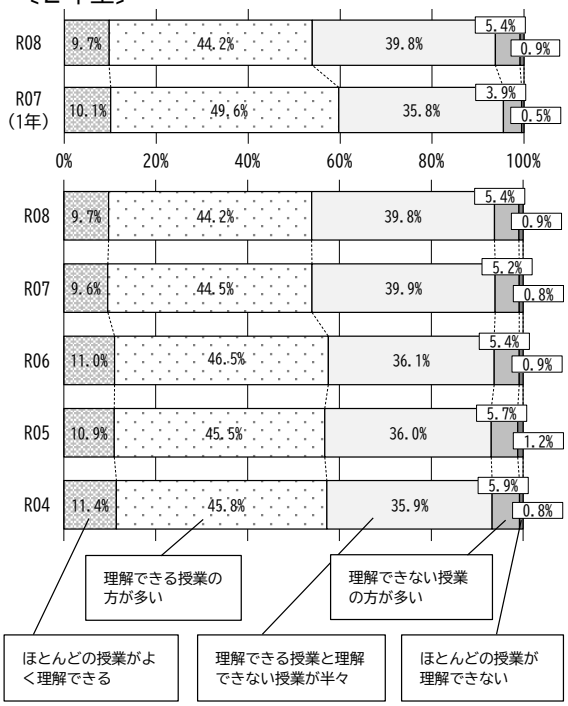
（２）授業理解度と家庭学習の仕方について

①　授業の内容がどの程度理解できますか【Ｑ１１】

〔１年生〕



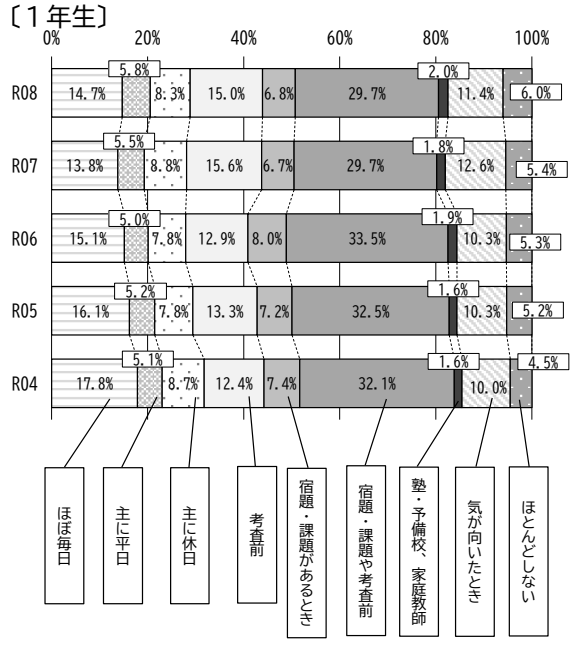
〔２年生〕



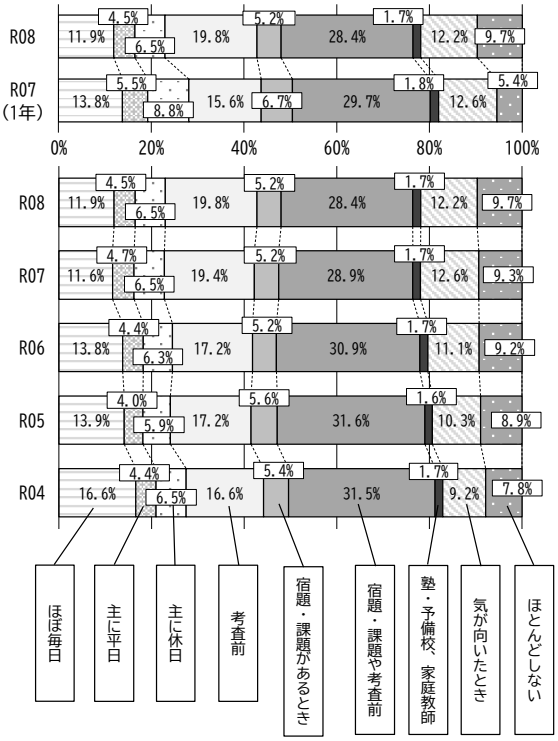
○　１年生は、Ｒ４、Ｒ５では肯定的な回答の割合が６割を超えていたが、Ｒ６以降は６割を切っている。
○　２年生は、１年時と比べ、肯定的な回答の割合が減少した。また、Ｒ４～Ｒ６と比べ、Ｒ７、Ｒ８では肯定的な回答の割合が減少している。

②　家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか【Ｑ２３】

〔１年生〕



〔２年生〕

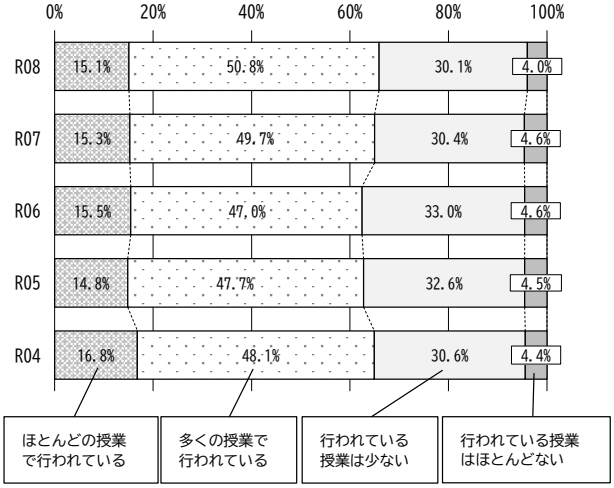


○　１、２年生ともに、「ほぼ毎日」の割合が減少傾向にあったが、Ｒ７と比べるとやや増加している。
○　２年生は、１年時と比べ、「ほとんどしない」の割合が増加している。

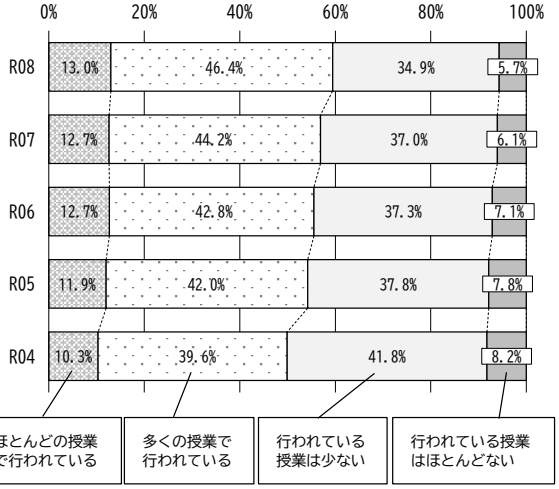
（３）授業における学習目標の提示や振り返りについて

① 授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか【Ｑ１３】

〔１年生〕

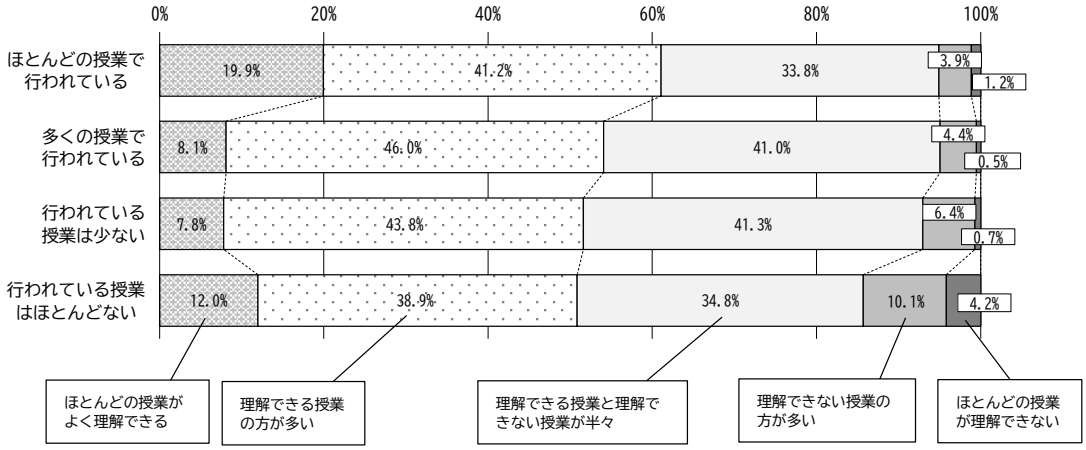


〔２年生〕



○ １年生は、「ほとんどの授業で行われている」「多くの授業で行われている」と肯定的な回答をした生徒の割合が６割を超えている。２年生においても、肯定的な回答の割合が年々増加しており、生徒に学習の見通しをもたせ、学習したことを振り返る機会を設ける授業改善が進められていることがうかがえる。

② 授業での学習目標の提示や振り返りと授業理解度（２年生）【Ｑ１１】【Ｑ１３】

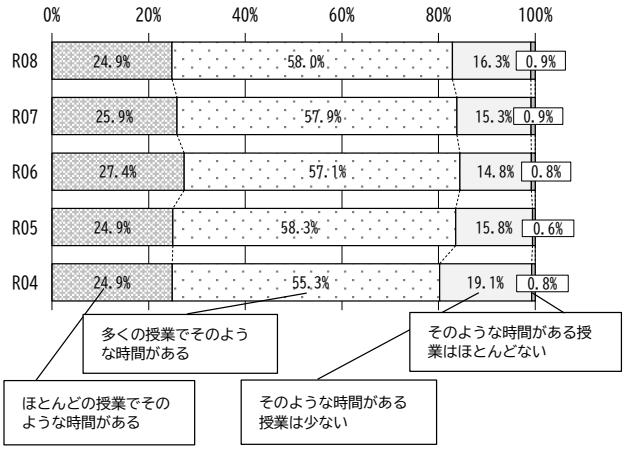


○ 「ほとんどの授業で行われている」と回答したグループほど、授業理解度が高い傾向にある。
○ 「行われている授業はほとんどない」と回答したグループでは、「理解できない授業の方が多い」と「ほとんどの授業が理解できない」を合わせた割合が最も高い。
○ 授業において、学習目標を提示したり、学習したことを振り返る機会を設定したりすることは、学習内容の理解の促進につながると考えられる。

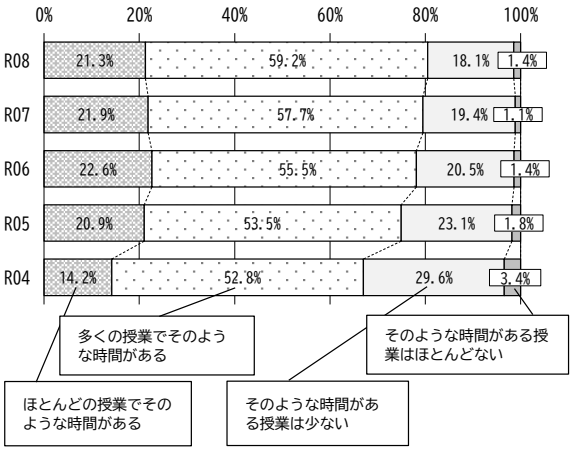
（４）自分の考えを発表したり、ペアやグループで話し合ったりする学習活動について

① 授業の中で、自分の考えを発表したり、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか【Ｑ１４】

〔１年生〕

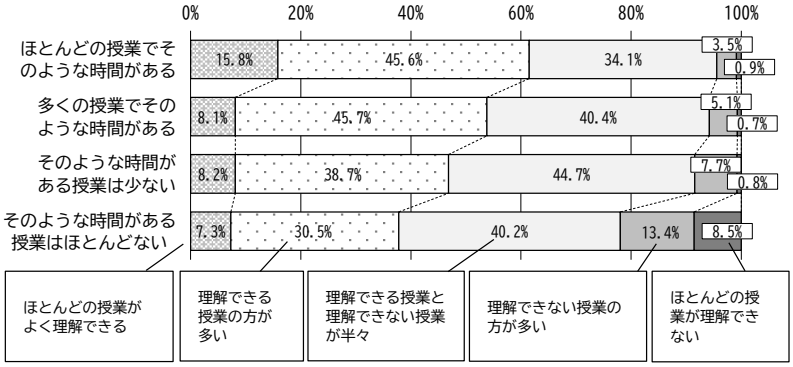


〔２年生〕



○ １、２年生ともに、８割程度の生徒が「ほとんどの授業でそのような時間がある」「多くの授業でそのような時間がある」と肯定的な回答をしている。学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図る授業が、各校で行われている様子がうかがえる。

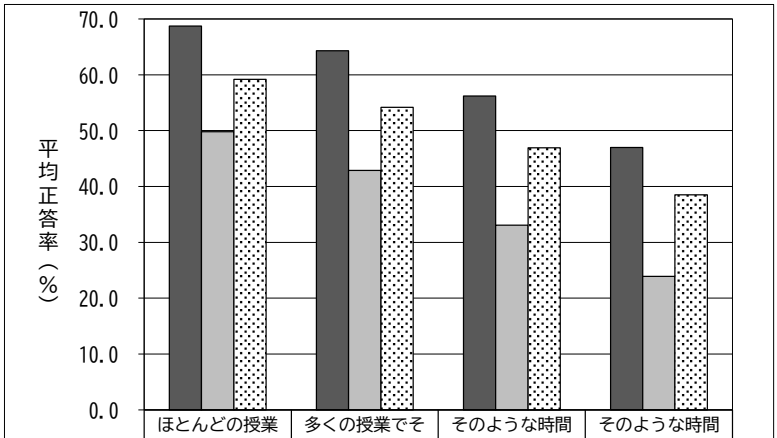
② 自分の考えを発表したり、ペアやグループで話し合ったりする学習活動と授業理解度（２年生）【Ｑ１１】【Ｑ１４】



○ 自分の考えを発表したり、ペアやグループで話し合ったりする学習活動の時間がある授業が多いグループほど、理解できる授業が多いと回答している。

○ 「そのような時間がある授業はほとんどない」と回答したグループは、ほかのグループと比べ、授業理解度が著しく低い。

③ 自分の考えを発表したり、ペアやグループで話し合ったりする学習活動と正答率



	ほとんどの授業でそのような時間がある	多くの授業でそのような時間がある	そのような時間がある授業は少ない	そのような時間がある授業はほとんどない
■国語正答率	68.8	64.3	56.2	47.0
□数学 〃	49.8	42.9	33.1	23.9
□英語 〃	59.2	54.2	46.9	38.5

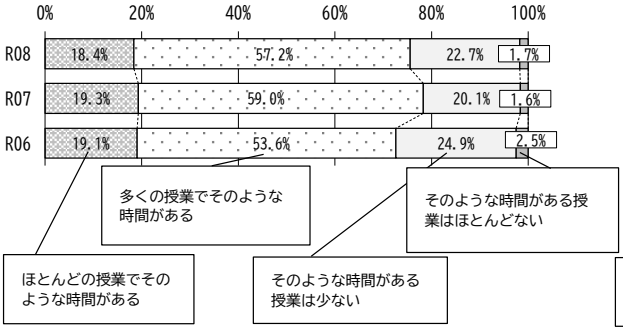
○ 全ての教科において、発表や話合いの時間がある授業が多いグループほど、正答率が高い。

○ 発表や話合いの時間を効果的に設定し、生徒が自分の考えを伝えたり、他者の意見に触れたりする機会を設けることは、学習内容の定着に寄与すると考えられる。

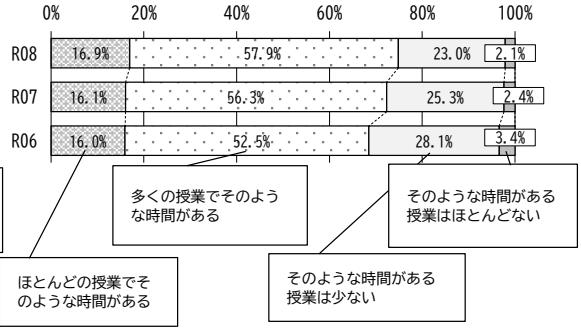
（５）課題を見つけたり、解決したりする学習活動について

①　授業の中で、あなたが課題を見つけたり、解決したりする時間がありますか【Ｑ１５】

〔１年生〕

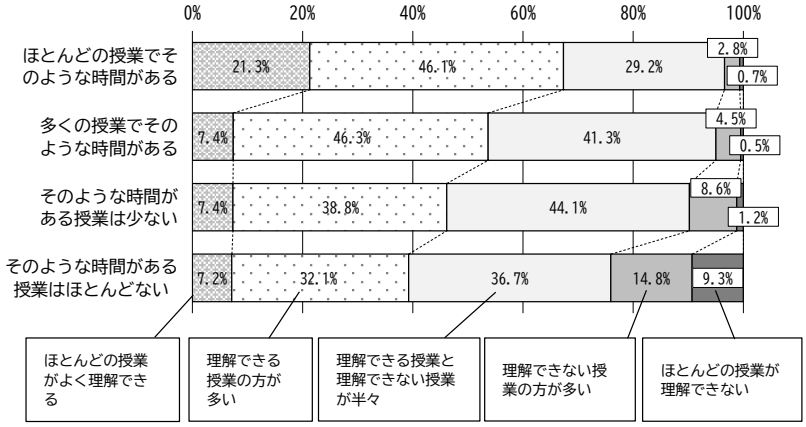


〔２年生〕



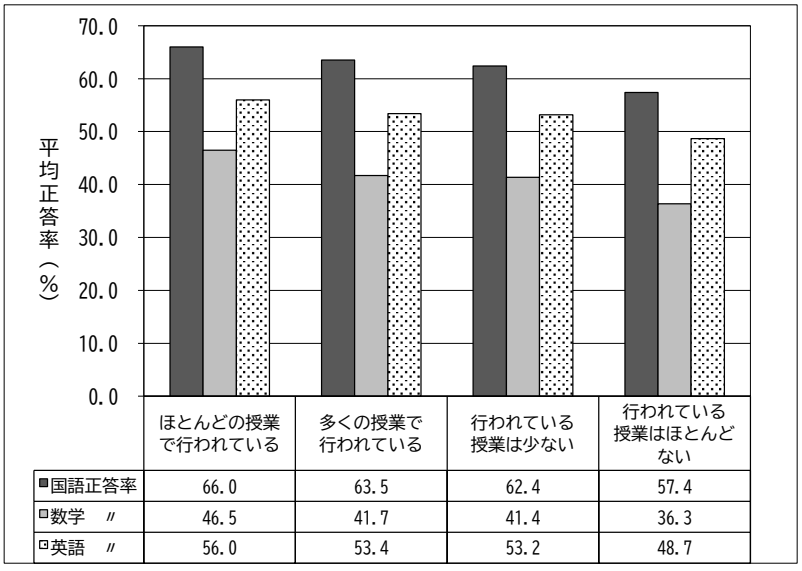
○　１、２年生ともに、授業中に課題を見つけたり、解決したりする時間があると回答した割合は７割を超えており、各校で課題発見・解決を意識した授業が展開されている様子がうかがえる。
○　２年生は、肯定的な回答が年々増加している。

②　課題を見つけたり、解決したりする学習活動と授業理解度（２年生）【Ｑ１１】【Ｑ１５】



○ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動の時間がある授業が多いグループほど、理解できる授業が多いと回答している。
○ 「そのような時間がある授業はほとんどない」と回答したグループは、ほかのグループと比べ、授業理解度が著しく低い。

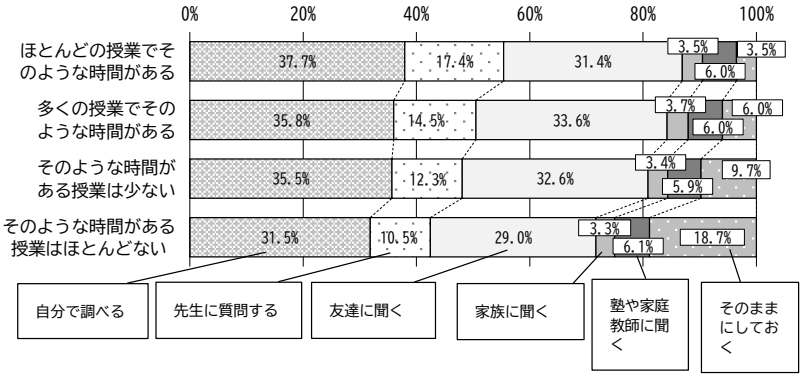
③　課題を見つけたり、解決したりする学習活動と正答率



	ほとんどの授業で行われている	多くの授業で行われている	行われている授業は少ない	行われている授業はほとんどない
■国語正答率	66.0	63.5	62.4	57.4
▨数学　〃	46.5	41.7	41.4	36.3
⊡英語　〃	56.0	53.4	53.2	48.7

○ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動の時間がある授業が多いグループほど、正答率が高い傾向がみられる。
○ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動を取り入れることが、知識や技能の定着や、思考力、判断力、表現力等の育成につながっていると考えられる。

④　課題を見つけたり、解決したりする学習活動と分からないことがあるときの行動（２年生）
【Ｑ１２】【Ｑ１５】

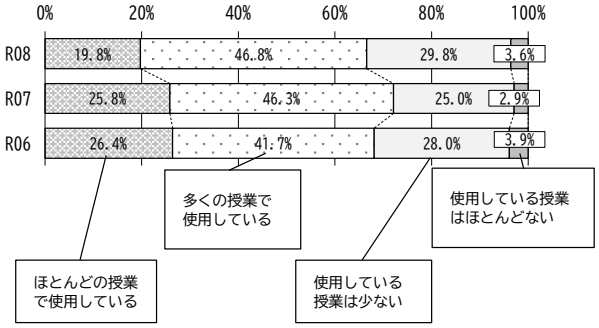


○ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動の時間がある授業が多いグループほど、分からないことを解決しようとする傾向がみられる。
○ 「そのような時間がある授業はほとんどない」と回答したグループでも、８割以上の生徒が、分からないことを解決しようと行動している。
○ 生徒が様々な物事の中から課題を発見し、その解決に向けて適切な方法や手段を選択できるようにしていくことが重要である。

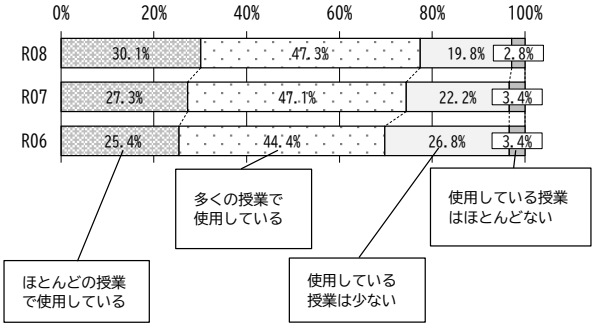
（６）授業におけるＩＣＴ機器の使用について

①　授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのＩＣＴ機器を使用していますか【Ｑ１６】

〔１年生〕



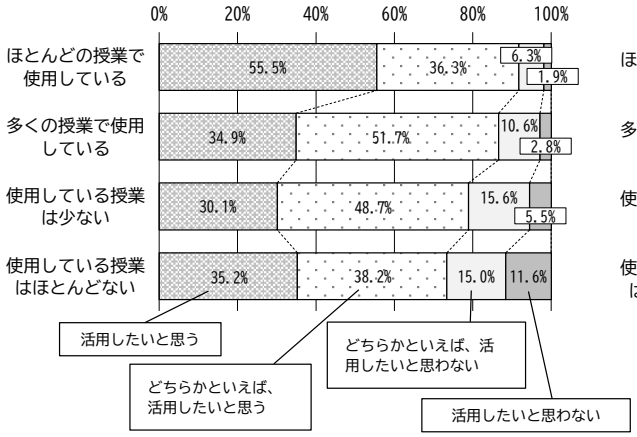
〔２年生〕



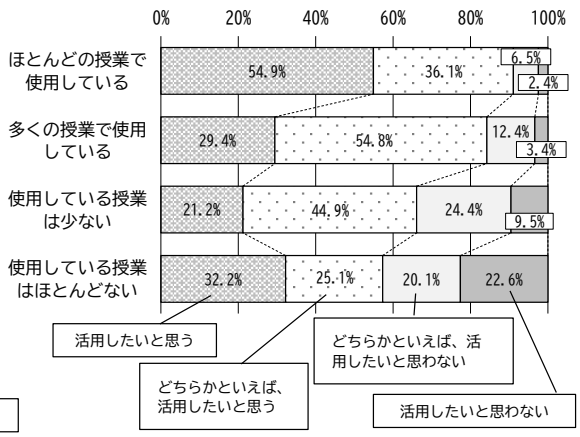
○　１年生は、ほとんどの授業や多くの授業で使用しているという回答の割合が減少した。
○　２年生は、ＩＣＴ機器を使用している授業の割合が年々増加している。

②　ＩＣＴ機器の使用と授業でよりＩＣＴ機器を活用することへの意識【Ｑ１６】【Ｑ１７】

〔１年生〕



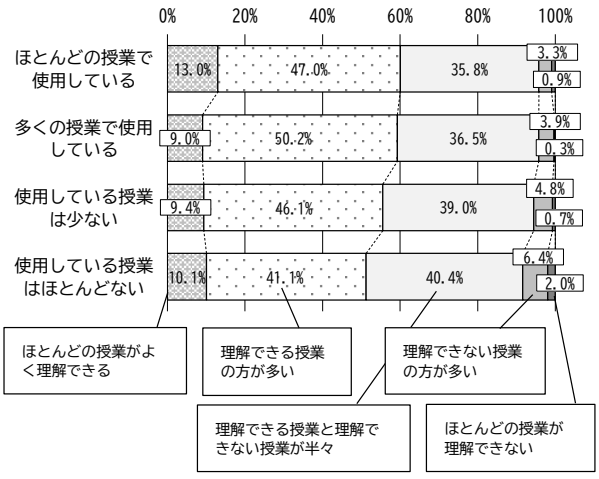
〔２年生〕



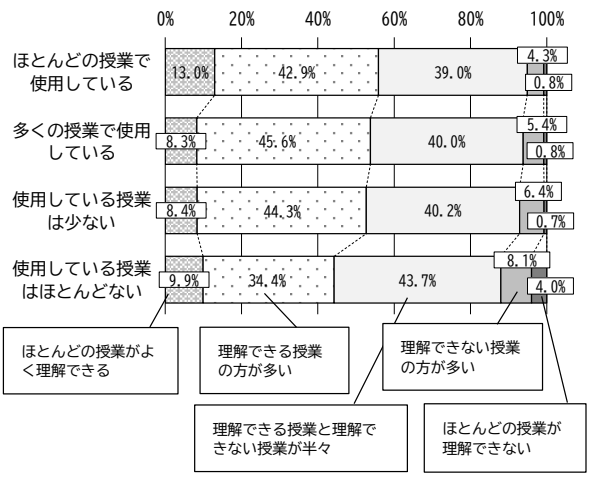
○　授業でＩＣＴ機器を多く使用しているグループほど、よりＩＣＴ機器を活用したいという意識が高い傾向にある。
○　１年生では、使用している授業は少ない、ほとんどないと回答したグループにおいても、７割以上の生徒が、よりＩＣＴ機器を活用したいと考えている。

③　ＩＣＴ機器の使用と授業理解度【Ｑ１１】【Ｑ１６】

〔１年生〕



〔２年生〕

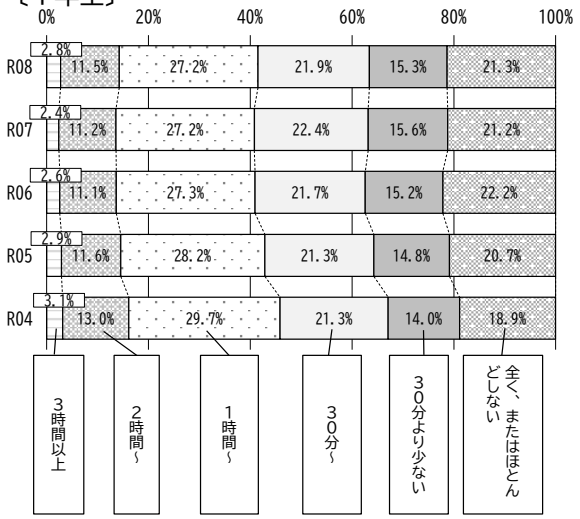


○　授業でＩＣＴ機器を多く使用しているグループほど、授業理解度が高い傾向にある。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、より一層、ＩＣＴ機器を活用した学習活動を充実させる必要がある。

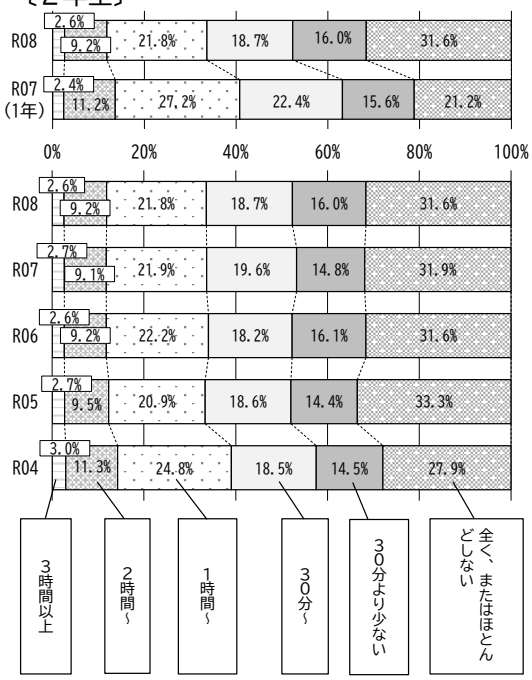
（7）平日の家庭学習時間について

① 平日、学校の授業時間以外に１日当たりどのくらいの時間、勉強していますか【Ｑ２１】

〔１年生〕

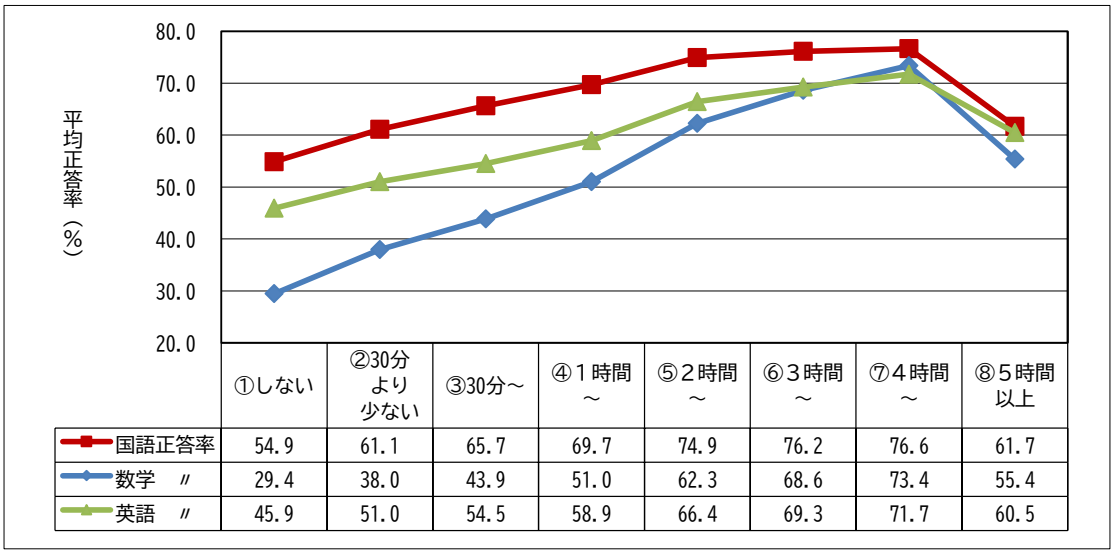


〔２年生〕



○ １年生は、Ｒ６以降、全体の傾向に大きな変化はみられないが、Ｒ４、Ｒ５と比べると、１時間以上学習している生徒の割合が減少している。
○ ２年生は、Ｒ５以降、全体の傾向に大きな変化はみられない。１年時と比べ、「全く、またはほとんど勉強しない」生徒の割合が増加するのも、例年と同様である。

② 家庭学習時間と正答率



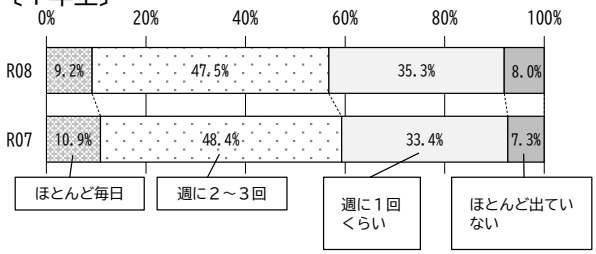
	①しない	②30分より少ない	③30分～	④１時間～	⑤２時間～	⑥３時間～	⑦４時間～	⑧５時間以上
国語正答率	54.9	61.1	65.7	69.7	74.9	76.2	76.6	61.7
数学　〃	29.4	38.0	43.9	51.0	62.3	68.6	73.4	55.4
英語　〃	45.9	51.0	54.5	58.9	66.4	69.3	71.7	60.5

○ いずれの教科も、平日に家庭学習時間を２～４時間確保できているグループは、平均正答率が高い。家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するように配慮することが必要である。

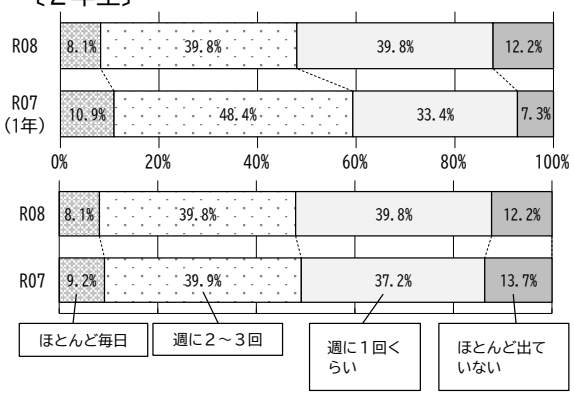
（８）宿題・課題の頻度について

①　学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか【Ｑ１８】

〔１年生〕



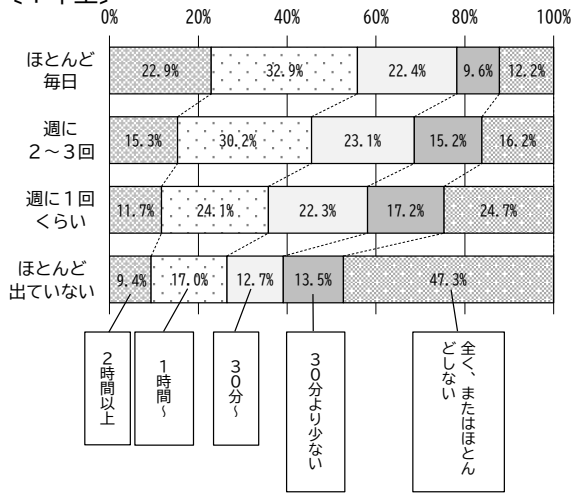
〔２年生〕



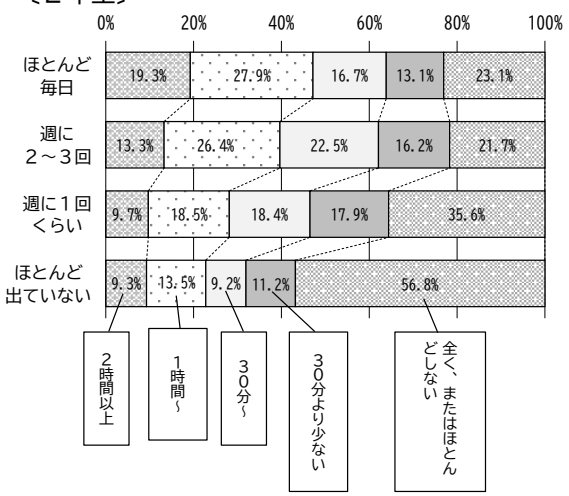
○　１、２年生ともに、Ｒ７と比べ、週に２～３回以上宿題・課題が出されている割合が減少している。
○　２年生は、１年時と比べ、宿題・課題がほとんど出ていない割合が増加している。

②　宿題・課題が課される頻度と平日の家庭学習時間【Ｑ１８】【Ｑ２１】

〔１年生〕

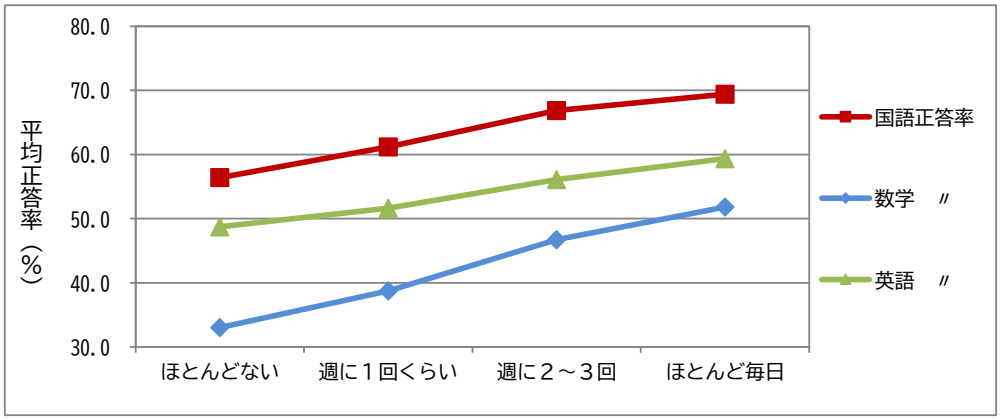


〔２年生〕



○　１、２年生ともに、宿題・課題が課される頻度が高いほど、平日の家庭学習時間が長くなる傾向にある。
○　宿題・課題がほとんど出ていないグループでは、家庭学習を全く、またはほとんど行っていない割合が高い。

③　宿題・課題の頻度と正答率

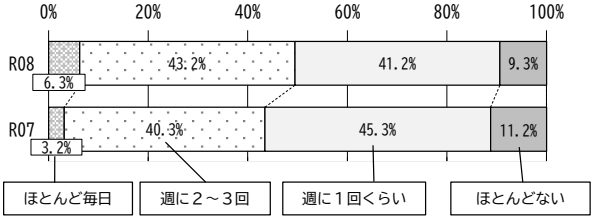


○　宿題・課題の頻度が高くなるにつれ、いずれの教科も平均正答率が高くなっている。
○　宿題・課題を課すことは、学習習慣の確立や学習内容の定着に一定の効果があると考えられる。学習計画の立て方や効果的な学び方について指導しながら、宿題・課題を適切に課すことが重要である。

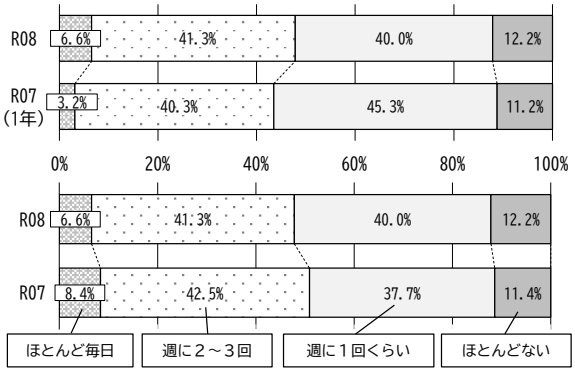
（9）テストの頻度について

① 学校ではどのくらいの割合でテスト（小テストや確認テストを含む）がありますか【Q１９】

〔１年生〕



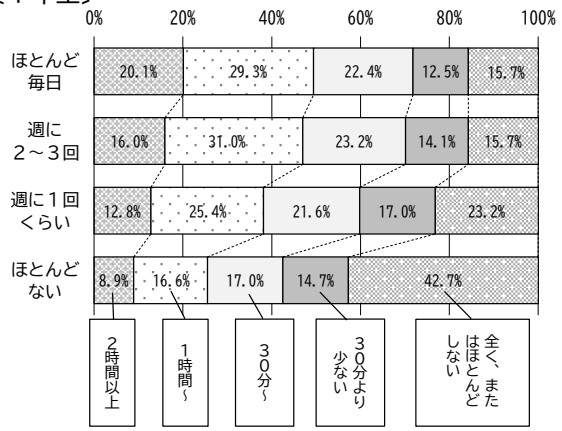
〔２年生〕



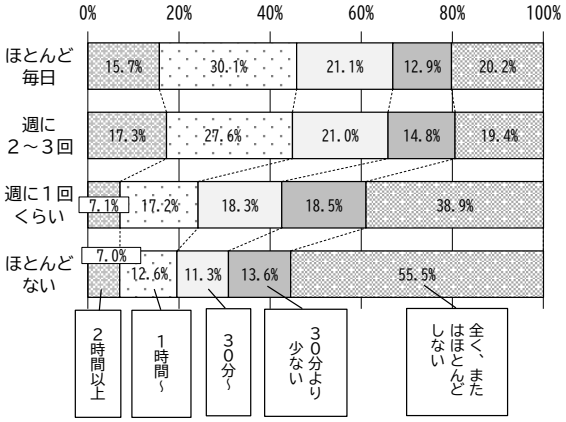
○ １年生は、Ｒ７と比べ、週に２～３回以上の割合が増加しているが、２年生は減少している。
○ ２年生は、１年時と比べ、週に２～３回以上の割合が増加しているが、ほとんどない割合も増加している。

② テストの頻度と平日の家庭学習時間【Q１９】【Q２１】

〔１年生〕

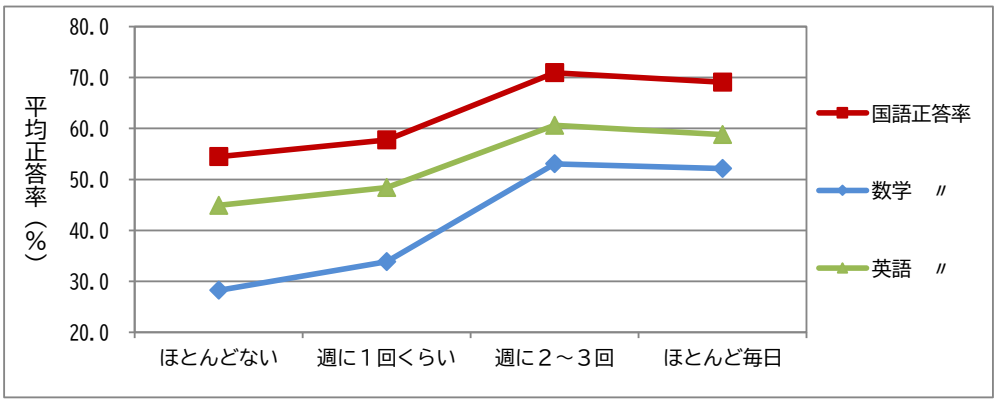


〔２年生〕



○ １、２年生ともに、テストの頻度が高いと、家庭学習時間が長い傾向にある。ただし、２年生では、「ほとんど毎日」のグループよりも「週に２～３回」のグループの方が「２時間以上」の割合が高い。
○ 「ほとんどない」と回答したグループでは、家庭学習を全く、またはほとんど行っていない割合が高い。

③ テストの頻度と正答率

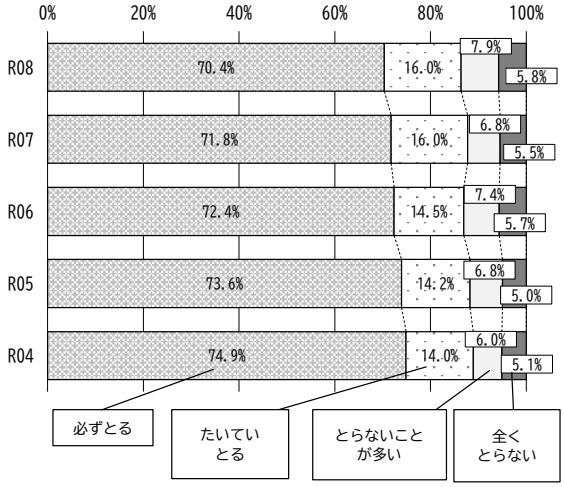


○ テストの頻度について「ほとんど毎日」「週に２～３回」と回答したグループと、「週に１回くらい」「ほとんどない」と回答したグループを比べると、各教科の正答率に大きな開きがみられる。
○ 「ほとんど毎日」と回答したグループよりも「週に２～３回」と回答したグループの方が、いずれの教科も正答率が高い。
○ テストは、学習習慣の確立や学習内容の定着に一定の効果があると考えられるが、学校や生徒の実態に応じて適切に実施することが重要である。

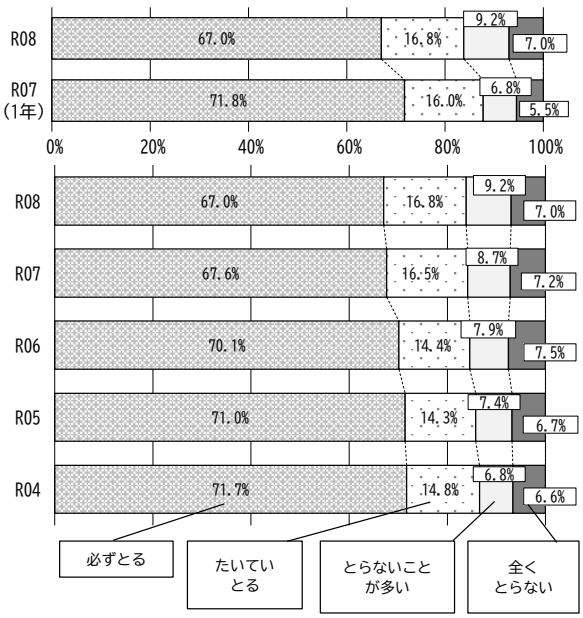
（10）朝食摂取の習慣

①　学校に行く前に朝食をとりますか【Ｑ２７】

〔１年生〕

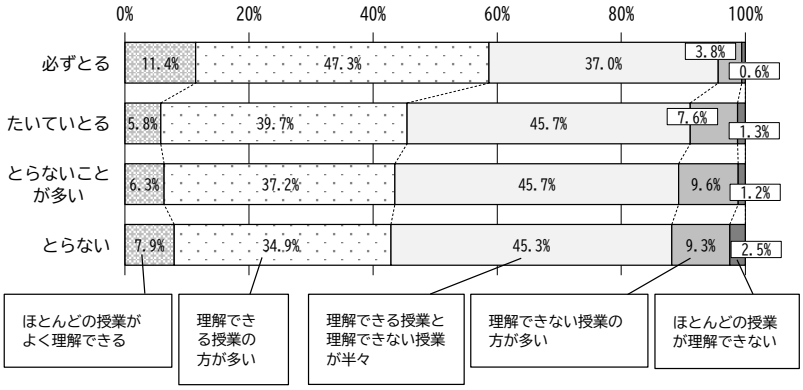


〔２年生〕



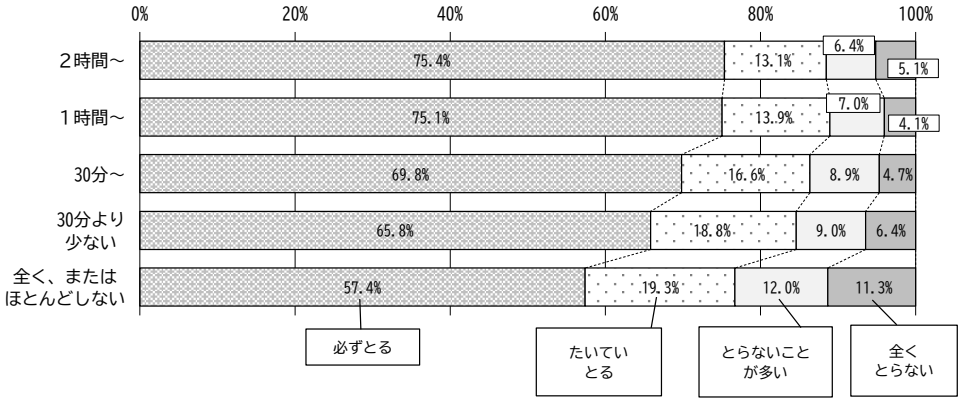
○　１、２年生ともに、「必ずとる」「たいていとる」を合わせた割合が８割を超えているが、「必ずとる」の割合が年々減少している。
○　２年生は、１年時と比べ、朝食をとらない生徒が増加している。

②　朝食摂取習慣と授業理解度（２年生）【Ｑ１１】【Ｑ２７】



○　「必ずとる」と回答したグループは、ほかのグループと比べ、授業理解度が高い。

③　平日の学習時間と朝食摂取習慣（２年生）【Ｑ２１】【Ｑ２７】

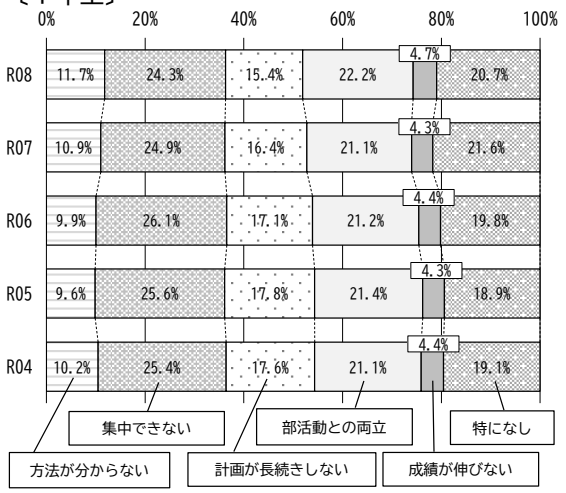


○　平日に１時間以上学習していると回答した生徒のうち、７割以上が朝食を「必ずとる」と回答している。
○　朝食摂取習慣の確立は、授業の理解や、学習習慣の確立につながると考えられる。

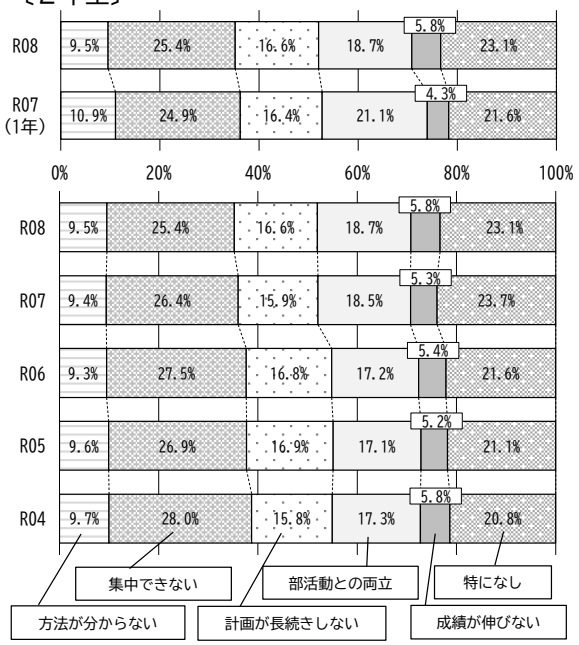
（11）家庭学習をする上での悩みと平日の生活について

①　家庭学習をする上で悩んでいることはありますか【Ｑ２５】

〔１年生〕



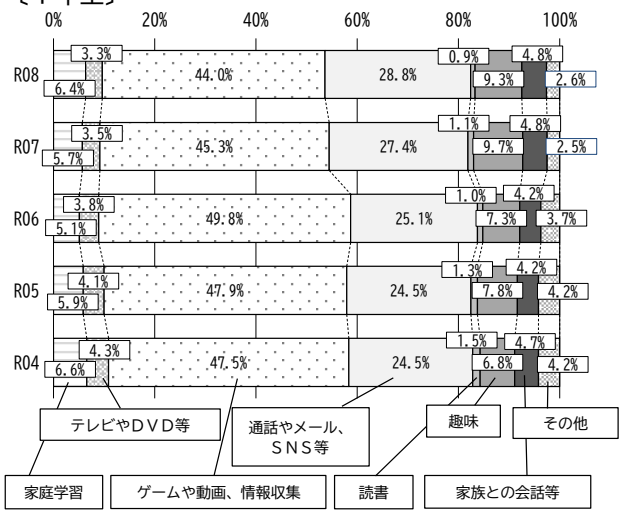
〔２年生〕



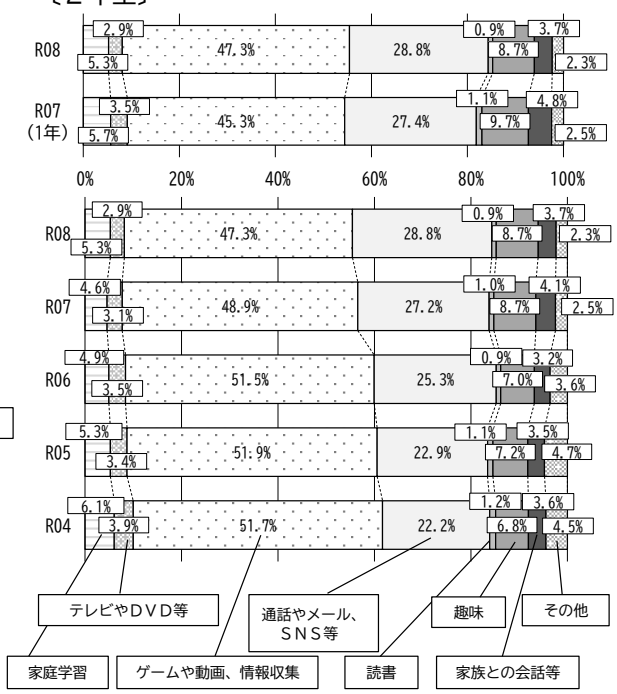
○　１、２年生ともに、「集中できない」の割合が最も高いが、年々減少傾向にある。
○　１年生は、「計画が長続きしない」の割合が減少傾向にある。
○　２年生は、１年時に比べ、「特になし」の割合が増加している。

②　平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか【Ｑ２９】

〔１年生〕



〔２年生〕

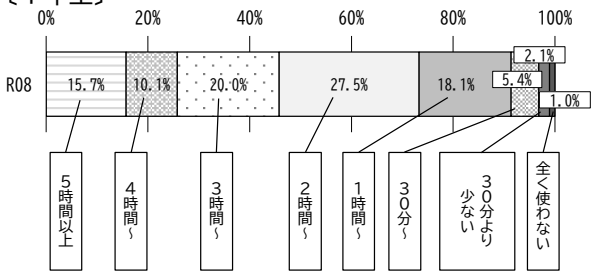


○　１、２年生ともに、「ゲームや動画、情報収集」の割合が最も高いが、減少傾向にあり、「通話やメール、ＳＮＳ等」の割合が年々増加している。

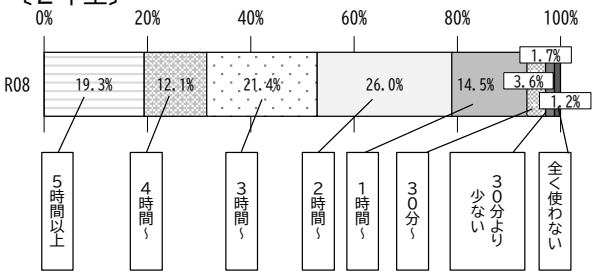
（12）スマートフォンや携帯電話の使用時間と使用する場面について

① 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか【Ｑ３０】

〔１年生〕



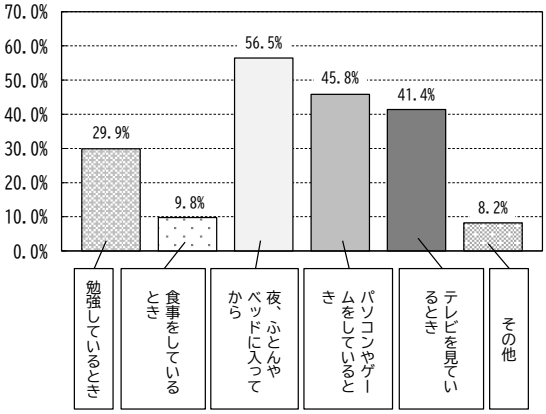
〔２年生〕



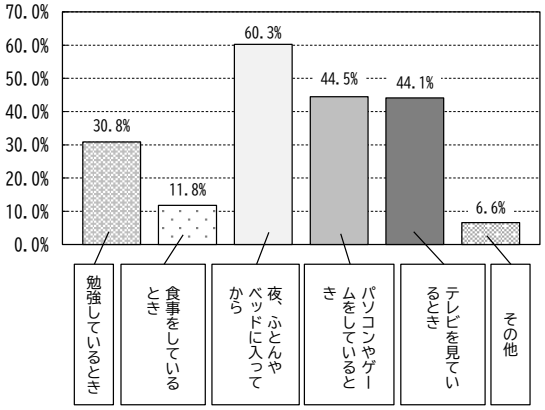
○ １、２年生ともに、７割以上の生徒が、平日に２時間以上スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使用している。

② 普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でメールやメッセージ（ＬＩＮＥ等）のやりとりをすることがありますか【Ｑ３７】

〔１年生〕

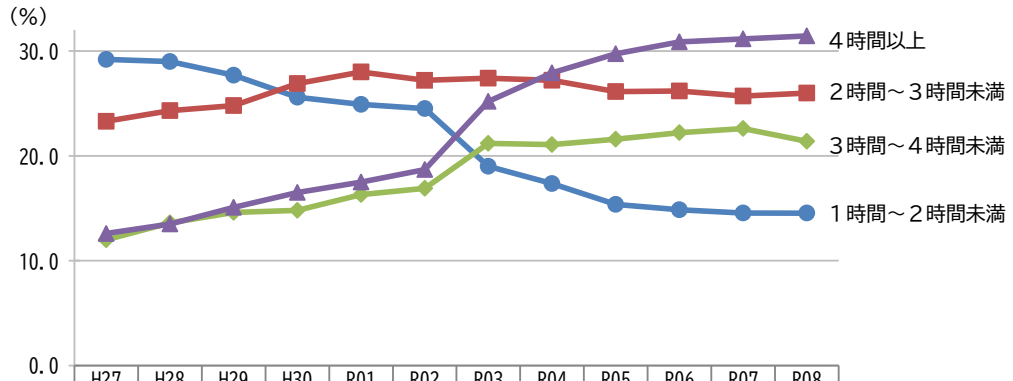


〔２年生〕



○ １、２年生ともに、６割程度の生徒が「夜、ふとんやベッドに入ってから」と回答しており、睡眠への影響が懸念される。

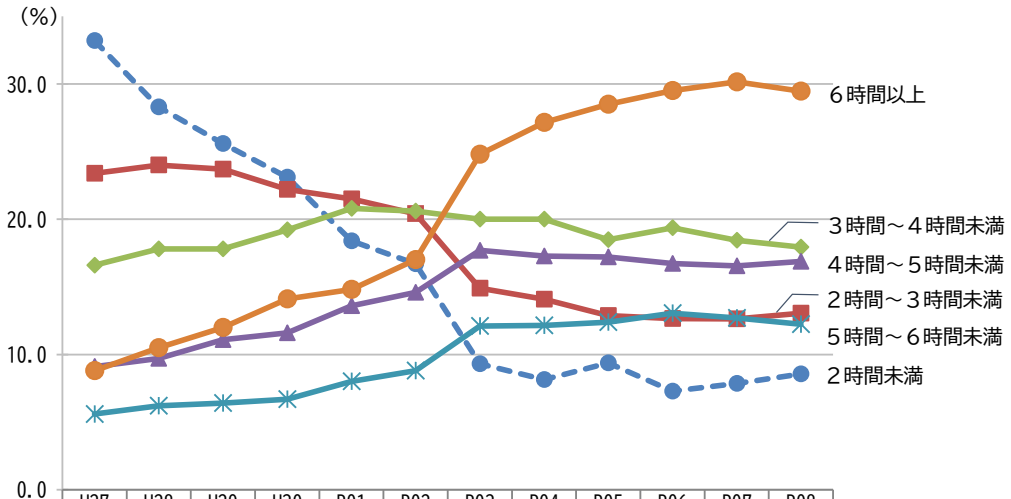
③ 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか（２年生）【Ｑ３０】
※本項目の統計開始年度からの推移



	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
１時間～２時間未満	29.2	29.0	27.7	25.6	24.9	24.5	19.0	17.3	15.4	14.8	14.6	14.5
２時間～３時間未満	23.3	24.3	24.8	26.9	28.0	27.2	27.4	27.2	26.1	26.2	25.7	26.0
３時間～４時間未満	12	13.6	14.6	14.8	16.3	16.9	21.2	21.1	21.6	22.2	22.6	21.4
４時間以上	12.6	13.5	15.1	16.5	17.5	18.7	25.2	27.9	29.7	30.9	31.1	31.4

○ 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は、感染予防措置としての休校があったＲ２を境に、「１時間～２時間未満」が大きく減少し、「４時間以上」が大きく増加した。以降、「４時間以上」は年々増加している。

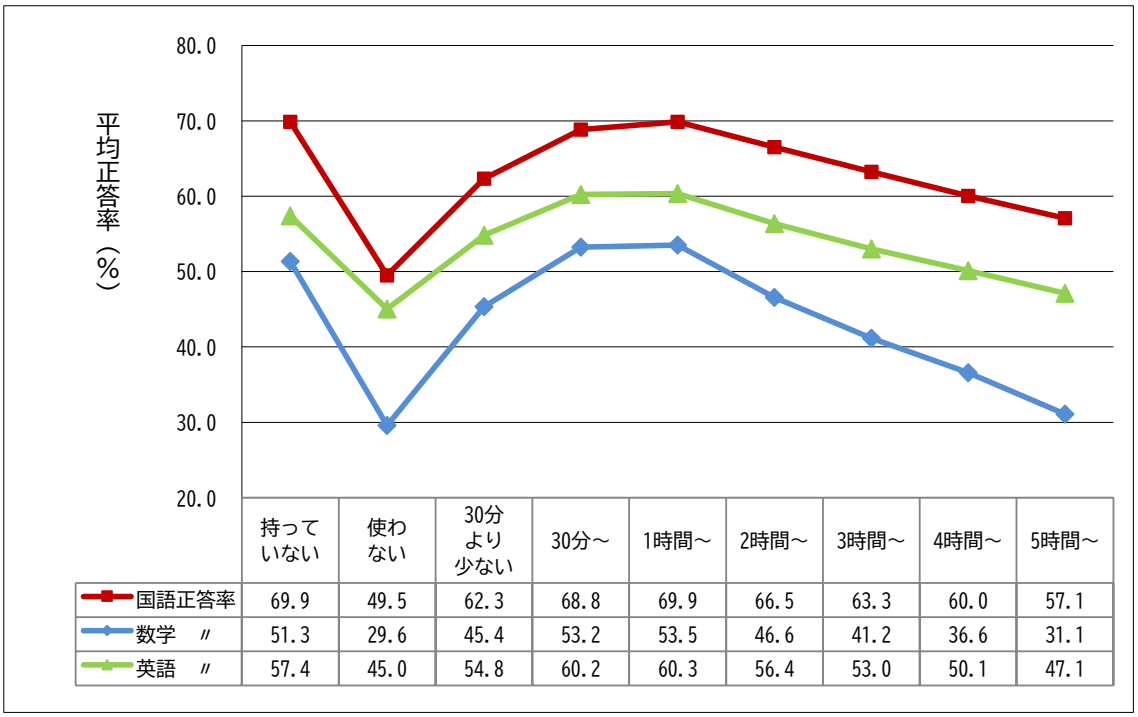
④　休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか（２年生）【Ｑ３４】
※本項目の統計開始年度からの推移



	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
２時間未満	33.2	28.3	25.6	23.1	18.4	16.7	9.3	8.2	9.4	7.3	7.8	8.6
２時間～３時間未満	23.4	24.0	23.7	22.2	21.5	20.4	14.9	14.1	12.9	12.7	12.6	13.1
３時間～４時間未満	16.6	17.8	17.8	19.2	20.8	20.6	20.0	20.0	18.5	19.4	18.4	17.9
４時間～５時間未満	9.1	9.7	11.1	11.6	13.6	14.6	17.7	17.3	17.2	16.7	16.5	16.9
５時間～６時間未満	5.6	6.2	6.4	6.7	8.0	8.8	12.1	12.1	12.4	13.0	12.7	12.2
６時間以上	8.8	10.5	12.0	14.1	14.8	17.0	24.8	27.2	28.5	29.5	30.2	29.5

○　休日も平日と同様に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は、Ｒ２を境に大きく増加している。
○　Ｒ７と比べると、「２時間未満」の割合がやや増加し、５時間以上の割合はやや減少したものの、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で長時間使用する状況が続いている。

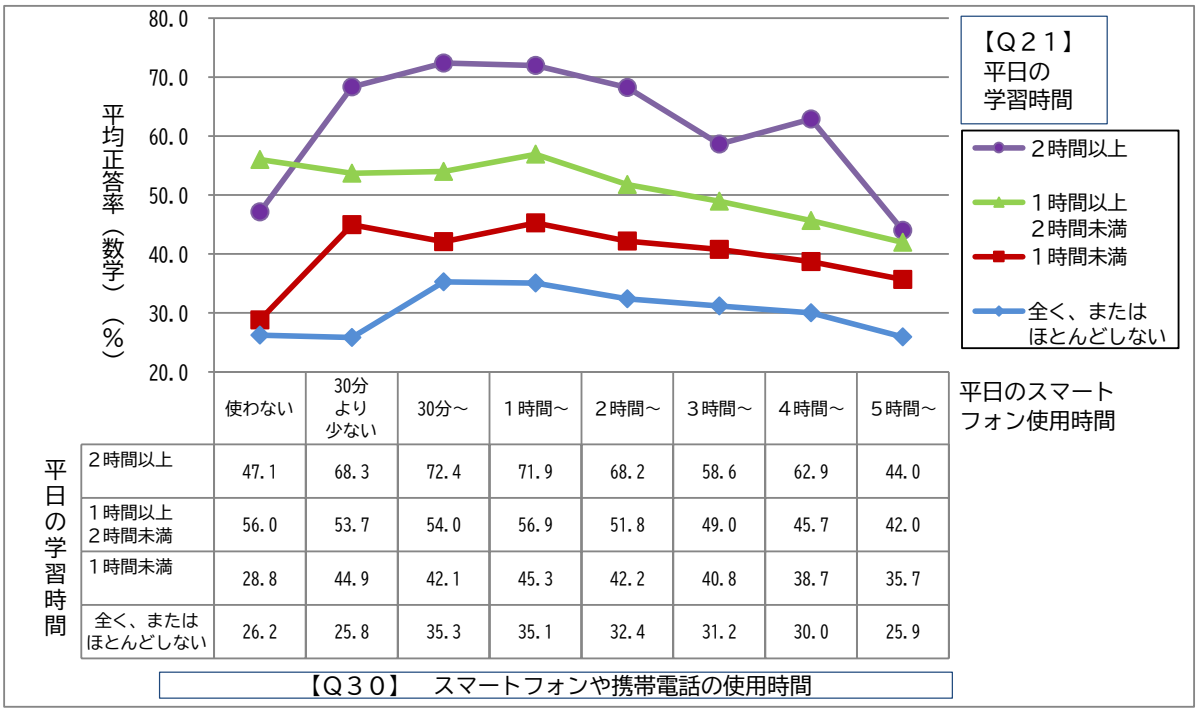
⑤　平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間と正答率



	持っていない	使わない	30分より少ない	30分～	1時間～	2時間～	3時間～	4時間～	5時間～
国語正答率	69.9	49.5	62.3	68.8	69.9	66.5	63.3	60.0	57.1
数学　〃	51.3	29.6	45.4	53.2	53.5	46.6	41.2	36.6	31.1
英語　〃	57.4	45.0	54.8	60.2	60.3	56.4	53.0	50.1	47.1

○　平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使っていると回答した中では、「30分～」「1時間～」のグループの正答率が高く、「２時間～」を超えると正答率は減少している。

⑥　平日の学習時間と、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間と数学の正答率



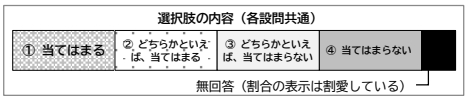
平日の学習時間	使わない	30分より少ない	30分～	1時間～	2時間～	3時間～	4時間～	5時間～
2時間以上	47.1	68.3	72.4	71.9	68.2	58.6	62.9	44.0
1時間以上2時間未満	56.0	53.7	54.0	56.9	51.8	49.0	45.7	42.0
1時間未満	28.8	44.9	42.1	45.3	42.2	40.8	38.7	35.7
全く、またはほとんどしない	26.2	25.8	35.3	35.1	32.4	31.2	30.0	25.9

平日のスマートフォン使用時間

【Q30】　スマートフォンや携帯電話の使用時間

○ 学習時間が同じでも、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で２時間以上使っていると、正答率が低下する傾向がみられる。
○ 国語、英語においても同様の傾向がみられ、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使用する時間が増えるほど正答率が低下している。
○ ＩＣＴ機器については、用途や使用時間を決めてから使用するなど、家庭との連携を図りながら、有効に活用できるように指導していく必要がある。

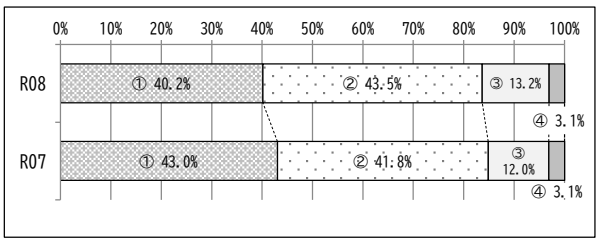
2 心身の健康、志教育等



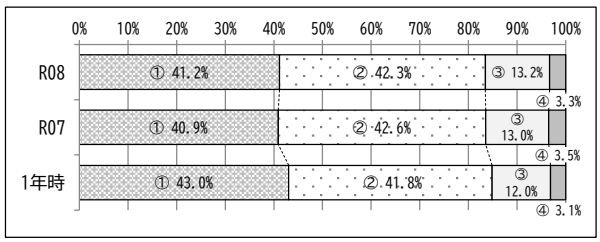
（1）心と体の安定について

① 毎日同じくらいの時刻に寝ている(生活習慣について)【Q４０】

〔１年生〕



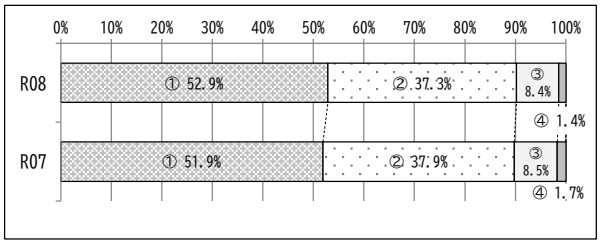
〔２年生〕



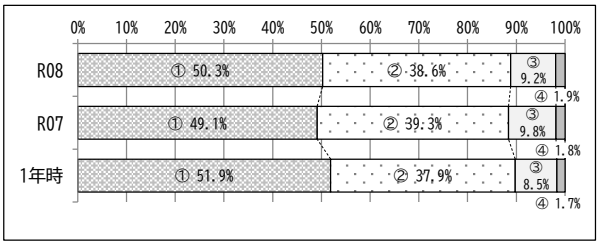
○ １年生は、「①当てはまる」の割合が減少している。
○ ２年生は、１年時と比べ、「①当てはまる」の割合が減少している。

② 体調はよい(生活習慣について)【Q４１】

〔１年生〕



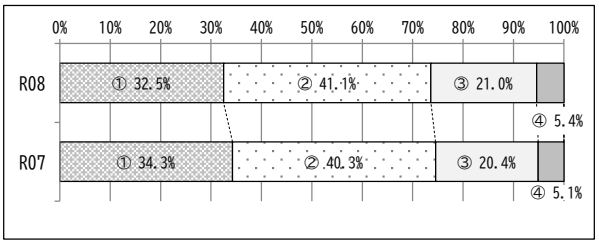
〔２年生〕



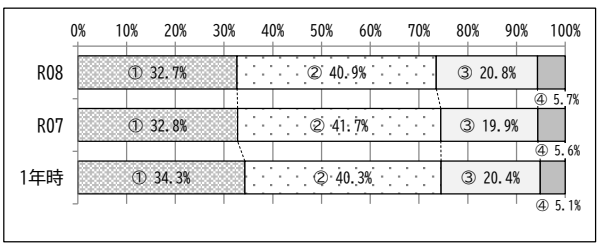
○ １、２年生ともに、「①当てはまる」の割合が増加している。
○ ２年生は、１年時と比べ、「①当てはまる」の割合が減少している。

③ 熟睡ができている(睡眠について)【Q４２】

〔１年生〕



〔２年生〕

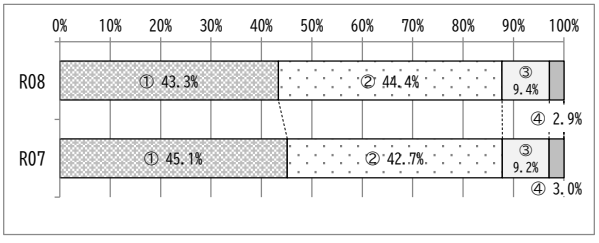


○ １、２年生ともに、肯定的な回答の割合に大きな変化はみられない。
○ ２年生は、１年時と比べ、「①当てはまる」の割合が減少している。

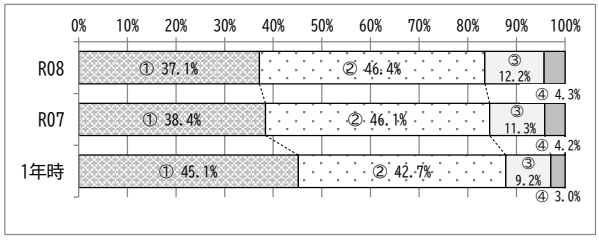
（2）学校生活について

① 学校生活に充実感や満足感を感じている(学校生活について)【Q４３】

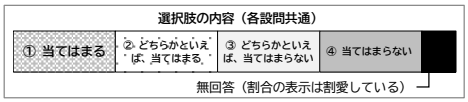
〔１年生〕



〔２年生〕



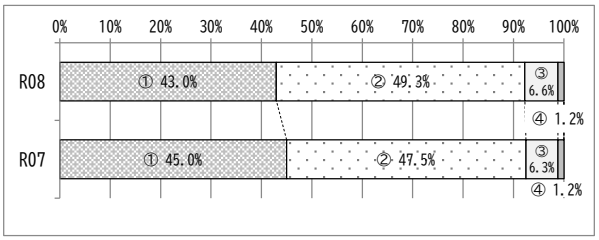
○ １、２年生ともに、「①当てはまる」の割合が減少しているものの、肯定的な回答の割合に大きな変化はみられない。
○ ２年生は、１年時と比べ、肯定的な回答の割合が減少している。



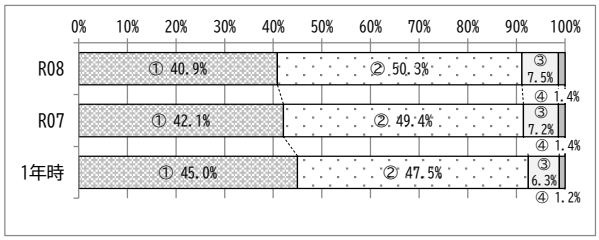
（３）「志教育」に係る意識について　１

①　人が困っている時は、進んで助けるようにしている〈かかわる〉（他者理解について）【Ｑ４６】

〔１年生〕



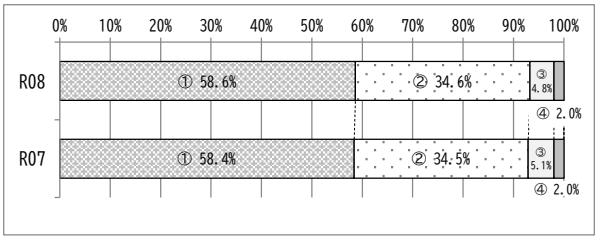
〔２年生〕



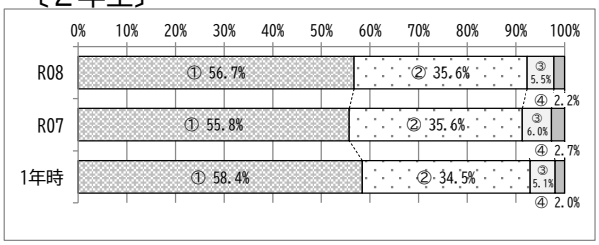
○ １、２年生ともに、肯定的な回答の割合が９割を超えている。
○ ２年生は、１年時と比べ、肯定的な回答の割合が減少している。

②　人の役に立つ人間になりたいと思っている〈もとめる〉（志について）【Ｑ５３】

〔１年生〕



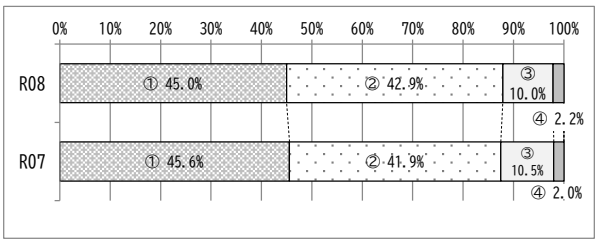
〔２年生〕



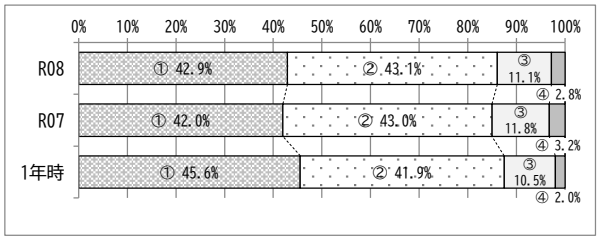
○ １、２年生ともに、肯定的な回答の割合が９割を超えている。
○ ２年生は、１年時と比べ、「①当てはまる」の割合が減少している。

③　クラスや学校の行事等に積極的に取り組んでいる〈はたす〉（学校行事について）【Ｑ６５】

〔１年生〕



〔２年生〕

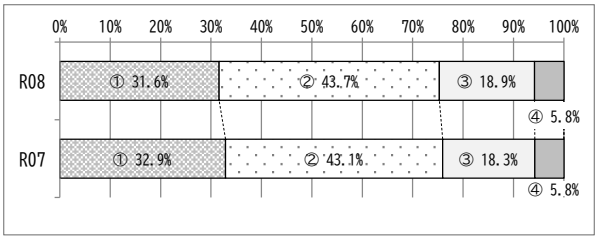


○ １、２年生ともに、回答の内訳に大きな変化はみられない。
○ ２年生は、１年時と比べ、「①当てはまる」の割合が減少している。

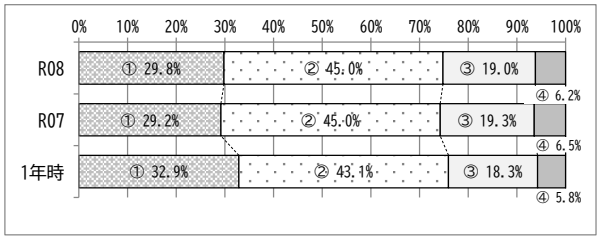
（４）「志教育」に係る意識について　２

①　自分の個性や適性が分かっている〈もとめる〉（自己理解について）【Ｑ５６】

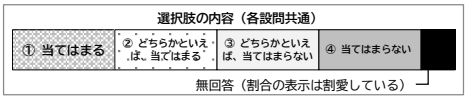
〔１年生〕



〔２年生〕

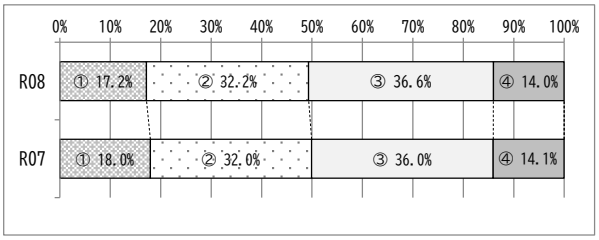


○ １、２年生ともに、肯定的な回答の割合に大きな変化はみられない。
○ ２年生は、１年時と比べ、肯定的な回答の割合が減少している。

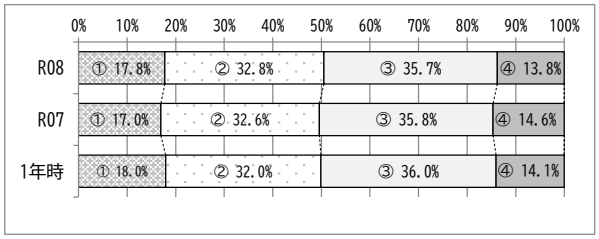


② 自分の個性や適性が、学校や社会でどのように生かせるかをイメージできている〈もとめる・はたす〉（有用感について）【Q５７】

〔１年生〕



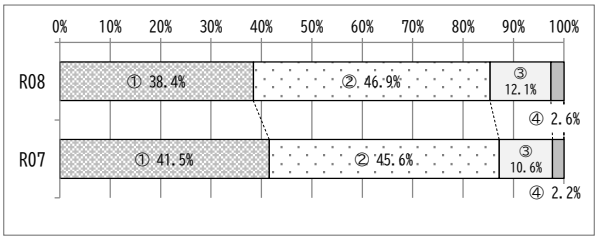
〔２年生〕



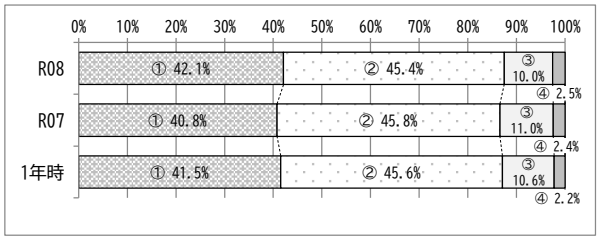
○ １、２年生ともに、回答の内訳に大きな変化はみられず、肯定的な回答の割合は５割程度である。Ｑ５６と比較すると、自分の個性や適性を把握はしているが、それが学校や社会でどのように生かせるかをイメージできていない生徒が一定数いると考えられる。

③ 働くことの意義を理解している〈もとめる・はたす〉（勤労観･職業観について）【Q６２】

〔１年生〕



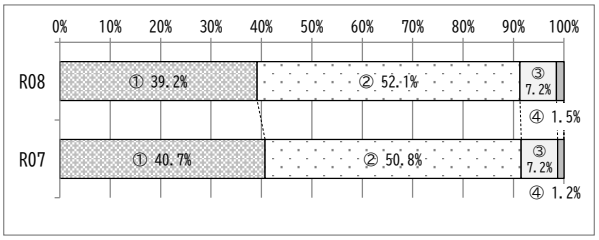
〔２年生〕



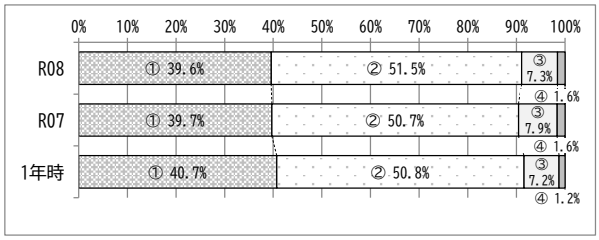
○ 肯定的な回答の割合が、１年生は減少し、２年生は増加した。
○ ２年生は、１年時と比べ、回答の内訳に大きな変化はみられない。

④ 自分の役割に責任を持って行動している〈もとめる・はたす〉（有用感について）【Q６４】

〔１年生〕



〔２年生〕



○ １、２年生ともに、肯定的な回答の割合に大きな変化はみられない。
○ ２年生は、１年時と比べ、肯定的な回答の割合に大きな変化はみられない。

Ⅳ 学力向上に向けた今後の取組

急激に変化している社会の中で、一人一人の生徒が課題を見いだし、学び、考え、判断、行動し、持続可能な社会の創り手となるために、次の3つの資質・能力の育成を目指す。

- **○ 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」**
- **○ 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」**
- **○ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」**

そのために、以下の取組を行う。

○ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

ICT を効果的に活用して、これまで以上に個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることにより、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図る。また、各単元の開始時などに、単元の目標や評価規準を生徒に示し、「目標や振り返りを意識した授業」を実践するとともに、学んだことを次の学びや生活に生かす力を育み、生徒が自己調整しながら、粘り強く学習に取り組む姿勢を養う。

○ 「探究的な学び」の充実

総合的な探究の時間のみならず、各教科・科目の授業においても「探究的な学び」の充実を図る。生徒が良質な問いをつくることができるように問いの焦点を示し、シンキングツール等の考えるための技法を活用しながら問いと向き合い、探究を繰り返しながら「深い学び」に誘うことを目指す。

○ 家庭と学校が連携し、基本的生活習慣を確立する力の育成、情報モラル教育の充実

スマートフォンや SNS は利便性が高い一方で、長時間使用や依存により学習時間や睡眠時間が減少するなど、負の影響を及ぼす場合もある。日常生活を振り返り、使用時間を自ら見直すなど、生活習慣を主体的に改善しようとする態度を養うことが必要となる。また、SNS による誹謗中傷のトラブル事例など生徒に身近な話題を扱うなど当事者意識を高めるために、家庭と学校が連携して情報モラル教育を充実させるとともに、情報の真偽を見極める力の育成など情報活用能力と一体的に指導することも大切である。

○ 「志教育」の充実

自身の特性や長所を、社会や集団の中でどのように生かせるか把握できていない生徒もいるため、社会人講師を招いての講演会や、地域と連携した活動等をとおして社会性や勤労観を養い、社会や集団の中で果たすべき自己の役割を考えながら、将来のよりよい生き方を主体的に求めていく姿勢を養う。

学 力 向 上

主体的・対話的で深い学び	充実した探究活動	学習意欲の喚起

＜ 各学校 ＞

- ○ 学力・学習状況等の把握、生徒との面談
- ○ 指導力・授業力向上研修
- ○ 指導の手引き、事例集等の活用
- ○ 「志教育」の推進
- ○ 家庭、県教委や関係機関との連携

＜ 家庭 ＞

- ○ 生活習慣の改善を促す
  - □ 状況の把握と情報共有
  - □ スマートフォン等の利用についてルール作り
  - □ 睡眠時間、家庭学習時間の確保
- ○ 学校、県教委との連携

＜ 県教育委員会 ＞

○学力・学習状況等調査	○高大連携事業	○クラフトマン21事業
○授業力向上支援	○地域に開かれた高校魅力化	○進路達成支援
○学びの基礎づくり支援	○専門教育次世代人財育成	○高校生マナーアップ運動
○ネクストフロンティアHS	○SSH、IB、DXハイスクール	○高校生フォーラム開催
○クロスキャンパスネットワーク	○理系人材育成支援	○ICTを活用した心の健康観察

Ⅴ　学習状況等に関する調査　設問ごとの結果

※ 表中の数値は選択割合（%）
（無回答・マークミス等の割合は示していない）

Q８　高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものはどれですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	22.5	21.4	43.6	42.5	48.2	46.4	24.4	26.3	23.4	23.0	37.8	36.9	① ４年制国公立大学
R07	*22.3*	*22.3*	*43.3*	*43.3*	*47.3*	*45.9*	*25.1*	*25.1*	*21.4*	*20.6*	*37.1*	*36.4*	
R08	9.1	16.0	15.5	20.7	15.6	21.8	10.1	14.3	10.6	14.6	13.5	18.9	② ４年制私立大学
R07	*10.5*	*15.3*	*14.7*	*21.2*	*16.7*	*22.0*	*9.7*	*14.0*	*11.0*	*17.9*	*13.8*	*19.3*	
R08	2.4	1.6	1.3	1.4	0.9	1.6	2.4	2.5	2.0	2.3	1.5	1.8	③ 短期大学
R07	*1.6*	*2.3*	*1.6*	*1.7*	*1.5*	*2.1*	*3.1*	*2.9*	*2.5*	*2.7*	*1.9*	*2.2*	
R08	14.9	17.9	11.8	13.5	12.5	13.2	18.8	17.5	18.0	19.2	14.2	15.2	④ 専修学校(専門学校等)・各種学校
R07	*16.2*	*20.5*	*14.2*	*10.0*	*12.4*	*13.9*	*18.9*	*17.6*	*18.1*	*20.7*	*15.0*	*15.0*	
R08	19.0	25.0	10.3	12.9	7.2	7.2	13.8	20.2	13.9	17.3	10.9	13.7	⑤ 民間就職
R07	*17.0*	*22.5*	*10.7*	*13.7*	*5.6*	*7.4*	*14.4*	*22.6*	*12.5*	*14.9*	*10.2*	*13.9*	
R08	6.0	5.6	2.6	1.9	3.2	3.0	6.8	8.2	4.6	6.3	4.0	4.2	⑥ 公務員就職
R07	*5.2*	*6.4*	*2.3*	*2.2*	*2.4*	*2.1*	*7.1*	*6.4*	*5.4*	*5.5*	*3.7*	*3.7*	
R08	0.5	0.4	0.2	0.1	0.0	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.2	0.2	⑦ 家業
R07	*0.6*	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.1*	*0.1*	*0.4*	*0.1*	*0.4*	*0.5*	*0.3*	*0.2*	
R08	24.0	10.8	13.7	6.0	11.3	5.6	22.2	9.8	25.9	15.5	16.6	8.1	⑧ 未定
R07	*24.8*	*9.6*	*12.5*	*6.8*	*13.2*	*5.5*	*20.3*	*10.3*	*27.1*	*15.5*	*17.0*	*8.3*	
R08	1.4	1.3	0.9	1.0	1.2	1.0	1.4	0.9	1.4	1.4	1.2	1.0	⑨ その他
R07	*1.9*	*0.8*	*0.6*	*0.8*	*0.9*	*1.0*	*1.0*	*0.9*	*1.6*	*1.8*	*1.0*	*1.0*	

Q９　自分の進路希望の達成について、どのように考えていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	55.1	60.4	64.0	70.7	62.2	72.4	53.2	64.8	50.6	59.4	59.1	68.0	① 卒業までに達成しようと思っている
R07	*53.6*	*60.0*	*63.0*	*69.9*	*61.0*	*70.2*	*54.9*	*63.0*	*50.5*	*57.5*	*58.6*	*66.4*	
R08	11.5	7.6	8.0	6.3	8.6	6.7	12.3	8.6	11.6	10.0	9.6	7.4	② 達成するまで、卒業後１、２年かかってもかまわないと思っている
R07	*10.8*	*8.8*	*7.0*	*6.6*	*7.8*	*5.3*	*11.2*	*8.6*	*14.6*	*10.1*	*9.3*	*7.1*	
R08	20.0	16.0	16.7	13.2	17.5	12.4	18.4	15.6	20.1	15.6	18.0	13.9	③ 達成が困難な場合、卒業までに他の進路に変えてもいいと思っている
R07	*17.4*	*15.0*	*18.6*	*13.7*	*17.8*	*14.2*	*19.4*	*16.5*	*19.2*	*16.1*	*18.4*	*14.8*	
R08	8.8	10.4	8.6	7.1	8.7	6.3	10.2	8.6	12.0	10.5	9.3	7.8	④ 何とかなるだろうと思っている
R07	*11.1*	*12.1*	*8.7*	*7.2*	*9.7*	*7.7*	*10.4*	*8.8*	*10.5*	*10.7*	*9.8*	*8.5*	
R08	4.6	5.6	2.8	2.6	3.0	2.2	6.0	2.5	5.7	4.4	3.9	2.9	⑤ あまり考えないようにしている
R07	*7.1*	*4.1*	*2.7*	*2.7*	*3.6*	*2.6*	*4.0*	*3.0*	*5.2*	*5.6*	*4.0*	*3.2*	

Q１０　普段どんな気持ちで勉強していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	14.4	9.8	13.3	11.4	13.7	11.5	14.5	12.4	11.5	10.0	13.5	11.3	① わからないことでも自分の力で答えを見つけられるようになりたい
R07	*11.4*	*10.6*	*13.4*	*11.0*	*13.9*	*10.7*	*14.9*	*12.4*	*13.6*	*9.6*	*13.7*	*10.9*	
R08	12.2	12.4	12.4	10.2	12.4	9.4	11.4	10.8	13.3	12.2	12.3	10.5	② 多くのことを知り、社会に出て役立つ力を身に付けたい
R07	*13.0*	*11.3*	*10.8*	*10.6*	*11.8*	*9.7*	*13.3*	*10.9*	*13.1*	*11.4*	*12.1*	*10.5*	
R08	14.4	13.1	20.2	21.1	19.1	21.0	13.0	16.5	12.7	14.6	17.2	18.8	③ 入学試験や就職試験に備えたい
R07	*14.0*	*15.6*	*17.7*	*19.7*	*17.4*	*19.7*	*12.3*	*13.7*	*13.4*	*12.8*	*15.8*	*17.4*	
R08	3.6	2.3	3.2	2.9	3.1	2.3	2.0	2.5	3.1	3.6	3.0	2.7	④ 親や先生にほめられたい
R07	*2.1*	*2.4*	*3.2*	*2.4*	*3.3*	*2.1*	*2.9*	*2.3*	*2.9*	*2.8*	*3.0*	*2.3*	
R08	36.3	39.9	33.9	34.3	35.1	36.6	38.3	36.3	39.8	35.9	36.0	36.2	⑤ 成績を上げたい
R07	*36.5*	*35.6*	*37.1*	*36.7*	*36.5*	*37.7*	*39.2*	*37.4*	*36.3*	*37.8*	*37.1*	*37.2*	
R08	3.9	3.8	3.6	3.3	2.8	3.2	3.7	3.3	3.9	3.2	3.4	3.3	⑥ 先生や家族に言われているから勉強している
R07	*2.9*	*3.9*	*3.5*	*3.0*	*3.3*	*3.5*	*2.9*	*2.9*	*3.8*	*3.3*	*3.3*	*3.3*	
R08	14.9	18.5	12.5	16.2	12.9	15.1	16.6	17.3	14.7	20.0	13.8	16.6	⑦ 特に考えていない
R07	*19.2*	*20.1*	*13.6*	*15.6*	*13.0*	*15.7*	*14.1*	*19.9*	*16.2*	*21.4*	*14.3*	*17.5*	
R08	0.3	0.3	1.0	0.6	0.8	0.8	0.4	1.0	0.8	0.6	0.8	0.7	⑧ その他
R07	*0.8*	*0.6*	*0.7*	*0.9*	*0.8*	*0.9*	*0.3*	*0.4*	*0.7*	*0.8*	*0.7*	*0.8*	

Q１１　授業の内容がどの程度理解できますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	9.6	9.3	12.4	11.7	9.2	9.7	8.0	7.3	9.7	9.1	10.0	9.7	① ほとんどの授業がよく理解できる
R07	*9.3*	*7.7*	*10.4*	*10.8*	*10.6*	*8.8*	*8.3*	*10.8*	*11.2*	*9.1*	*10.1*	*9.6*	
R08	47.4	39.9	50.3	42.9	49.1	46.2	44.0	43.9	45.7	44.8	48.0	44.2	② 理解できる授業の方が多い
R07	*45.8*	*42.4*	*48.1*	*46.5*	*52.1*	*44.5*	*47.3*	*43.7*	*51.3*	*42.5*	*49.6*	*44.5*	
R08	37.4	43.8	33.3	38.8	36.6	37.9	43.4	43.2	39.6	40.4	37.2	39.8	③ 理解できる授業と理解できない授業が半分くらいずつある
R07	*39.3*	*40.5*	*37.2*	*37.6*	*33.3*	*40.5*	*39.3*	*40.1*	*33.1*	*42.1*	*35.8*	*39.9*	
R08	4.5	6.5	3.4	5.6	4.6	5.4	4.2	4.8	4.1	4.7	4.1	5.4	④ 理解できない授業の方が多い
R07	*4.8*	*8.0*	*3.9*	*4.4*	*3.4*	*5.3*	*4.8*	*4.8*	*3.7*	*5.2*	*3.9*	*5.2*	
R08	1.1	0.5	0.6	0.9	0.5	0.9	0.4	0.9	1.0	1.1	0.6	0.9	⑤ ほとんどの授業が理解できない
R07	*0.7*	*1.3*	*0.5*	*0.7*	*0.6*	*0.8*	*0.3*	*0.7*	*0.7*	*1.1*	*0.5*	*0.8*	

Ｑ１２　授業でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。（該当するものをすべて選んでください。）

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	68.3	63.7	73.3	72.4	75.4	76.4	68.8	73.4	69.3	71.9	72.4	73.1	ア 自分で調べる
R07	*59.9*	*60.5*	*68.4*	*69.4*	*70.6*	*69.2*	*69.0*	*65.6*	*67.4*	*62.5*	*68.4*	*67.0*	
R08	42.9	38.3	31.2	24.2	31.6	26.5	36.8	35.1	41.1	34.4	34.5	29.3	イ 学校の先生に質問する
R07	*35.8*	*40.2*	*30.4*	*27.4*	*32.5*	*27.6*	*40.9*	*34.0*	*41.1*	*35.3*	*34.7*	*30.7*	
R08	75.2	68.8	70.3	65.2	71.0	66.2	73.5	69.6	72.4	67.0	71.8	66.8	ウ 友達に聞く
R07	*72.5*	*73.2*	*71.7*	*67.1*	*74.7*	*69.7*	*73.8*	*71.3*	*73.4*	*70.4*	*73.4*	*69.7*	
R08	11.5	7.2	14.1	8.0	14.7	7.8	13.0	6.2	12.2	5.8	13.7	7.3	エ 家族に聞く
R07	*11.9*	*6.4*	*14.8*	*8.2*	*15.5*	*8.8*	*11.8*	*8.4*	*13.2*	*6.6*	*14.1*	*8.1*	
R08	8.9	8.5	17.7	12.7	17.2	13.6	12.5	11.3	13.3	10.8	15.4	12.2	オ 塾・予備校や家庭教師の先生に質問する
R07	*10.5*	*8.3*	*15.9*	*14.1*	*16.1*	*12.8*	*12.9*	*10.6*	*12.5*	*9.7*	*14.6*	*12.0*	
R08	11.5	13.2	11.4	13.7	11.3	13.9	12.0	12.7	10.6	12.4	11.4	13.4	カ そのままにしておく
R07	*12.5*	*13.6*	*11.4*	*11.8*	*10.6*	*13.0*	*10.9*	*11.8*	*9.5*	*15.1*	*10.9*	*12.8*	
R08	0.5	0.9	0.8	1.3	0.7	1.5	0.4	0.4	0.6	0.7	0.6	1.1	キ その他
R07	*0.3*	*0.3*	*0.3*	*0.5*	*0.4*	*0.5*	*0.4*	*0.5*	*0.5*	*0.5*	*0.4*	*0.5*	

Ｑ１３　授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	18.0	16.5	13.5	11.0	15.4	12.2	14.0	15.2	17.0	14.1	15.1	13.0	① ほとんどの授業で行われている
R07	*16.0*	*14.6*	*13.4*	*11.8*	*14.5*	*11.2*	*19.0*	*16.4*	*16.4*	*12.0*	*15.3*	*12.7*	
R08	59.8	52.9	48.5	42.6	50.9	45.8	49.4	49.1	51.4	48.2	50.8	46.4	② 多くの授業で行われている
R07	*51.6*	*45.5*	*45.7*	*41.4*	*51.0*	*43.3*	*50.5*	*48.4*	*52.2*	*46.2*	*49.7*	*44.2*	
R08	20.8	28.1	32.5	39.0	29.8	35.1	33.0	32.3	28.5	33.8	30.1	34.9	③ 行われている授業は少ない
R07	*28.0*	*35.8*	*34.5*	*39.5*	*30.6*	*38.6*	*26.9*	*30.6*	*27.4*	*37.0*	*30.4*	*37.0*	
R08	1.4	2.6	5.4	7.4	3.9	6.8	3.5	3.5	3.2	3.8	4.0	5.7	④ 行われている授業はほとんどない
R07	*4.3*	*4.1*	*6.4*	*7.3*	*3.9*	*6.8*	*3.6*	*4.6*	*4.0*	*4.9*	*4.6*	*6.1*	

Ｑ１４　授業の中で、自分の考えを発表したり、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	20.7	21.6	22.2	18.5	33.1	26.5	18.1	19.1	18.9	14.8	24.9	21.3	① ほとんどの授業でそのような時間がある
R07	*22.4*	*12.2*	*23.2*	*20.6*	*33.0*	*27.5*	*22.1*	*20.3*	*18.9*	*17.9*	*25.9*	*21.9*	
R08	60.6	56.7	61.2	61.3	53.9	58.9	59.7	61.9	58.6	54.3	58.0	59.2	② 多くの授業でそのような時間がある
R07	*62.1*	*57.9*	*60.6*	*59.7*	*53.7*	*56.5*	*62.5*	*58.8*	*54.9*	*55.1*	*57.9*	*57.7*	
R08	18.1	19.8	15.4	18.6	12.6	13.7	21.0	18.0	20.9	28.1	16.3	18.1	③ そのような時間がある授業は少ない
R07	*14.5*	*28.2*	*15.6*	*18.8*	*12.4*	*15.1*	*14.4*	*20.0*	*24.8*	*25.1*	*15.3*	*19.4*	
R08	0.7	1.9	1.1	1.6	0.4	0.9	1.1	1.1	1.6	2.8	0.9	1.4	④ そのような時間がある授業はほとんどない
R07	*1.0*	*1.7*	*0.6*	*0.9*	*0.8*	*0.9*	*1.0*	*0.9*	*1.4*	*1.9*	*0.9*	*1.1*	

Ｑ１５　授業の中で、あなたが課題を見つけたり、解決したりする時間がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	16.2	16.7	17.5	15.8	20.3	18.7	15.6	16.6	19.9	14.9	18.4	16.9	① ほとんどの授業でそのような時間がある
R07	*19.0*	*14.0*	*17.8*	*15.5*	*20.0*	*16.3*	*20.5*	*17.9*	*19.0*	*15.5*	*19.3*	*16.1*	
R08	61.2	61.6	57.7	57.3	55.2	57.3	59.5	59.6	56.1	56.2	57.2	57.9	② 多くの授業でそのような時間がある
R07	*59.2*	*58.1*	*58.4*	*55.9*	*59.6*	*55.6*	*58.9*	*57.7*	*58.2*	*55.7*	*59.0*	*56.3*	
R08	20.3	20.3	23.0	24.5	23.1	21.9	23.1	22.0	22.1	26.6	22.7	23.0	③ そのような時間がある授業は少ない
R07	*20.3*	*25.2*	*21.9*	*25.9*	*19.0*	*25.8*	*18.8*	*22.8*	*20.9*	*25.9*	*20.1*	*25.3*	
R08	2.3	1.5	1.8	2.3	1.4	2.1	1.7	1.8	2.0	2.3	1.7	2.1	④ そのような時間がある授業はほとんどない
R07	*1.5*	*2.7*	*1.9*	*2.7*	*1.3*	*2.2*	*1.7*	*1.7*	*1.9*	*2.8*	*1.6*	*2.4*	

Ｑ１６　授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのＩＣＴ機器を使用していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	26.7	31.4	12.1	20.8	26.1	35.7	19.7	37.8	14.0	23.0	19.8	30.1	① ほとんどの授業で使用している
R07	*31.0*	*27.6*	*16.8*	*17.7*	*33.2*	*32.6*	*29.5*	*33.5*	*15.4*	*23.7*	*25.8*	*27.3*	
R08	55.2	45.3	46.5	46.5	46.7	48.8	47.8	48.0	41.5	45.3	46.8	47.3	② 多くの授業で使用している
R07	*45.8*	*45.0*	*45.2*	*50.8*	*47.6*	*45.6*	*50.0*	*49.6*	*40.5*	*42.2*	*46.3*	*47.1*	
R08	17.3	20.0	35.8	28.9	24.7	14.3	30.3	13.3	38.7	24.1	29.8	19.8	③ 使用している授業は少ない
R07	*20.8*	*22.6*	*34.3*	*27.9*	*17.5*	*19.4*	*19.6*	*16.0*	*36.4*	*26.1*	*25.0*	*22.2*	
R08	0.9	3.4	5.6	3.8	2.5	1.3	2.2	0.9	5.9	7.6	3.6	2.8	④ 使用している授業はほとんどない
R07	*2.5*	*4.8*	*3.7*	*3.6*	*1.6*	*2.3*	*0.9*	*0.9*	*7.7*	*8.0*	*2.9*	*3.4*	

Ｑ１７　授業でもっとタブレットやパソコンなどのＩＣＴ機器を活用したいと思いますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	38.5	37.5	36.1	32.1	37.3	36.5	40.0	39.6	37.8	33.5	37.6	35.6	① 活用したいと思う
R07	*37.3*	*35.2*	*32.0*	*33.4*	*35.2*	*39.3*	*36.7*	*42.0*	*33.9*	*36.3*	*34.6*	*37.4*	
R08	49.7	48.0	46.2	46.1	46.4	45.8	48.7	46.0	48.6	47.5	47.3	46.4	② どちらかといえば、活用したいと思う
R07	*47.5*	*48.5*	*48.4*	*45.0*	*47.2*	*43.4*	*48.5*	*45.9*	*48.0*	*46.8*	*47.8*	*45.1*	
R08	9.1	10.6	12.9	15.7	12.5	12.7	8.7	11.3	9.9	13.4	11.4	13.2	③ どちらかといえば、活用したいと思わない
R07	*11.8*	*12.4*	*14.1*	*15.6*	*13.5*	*13.7*	*11.3*	*9.3*	*12.7*	*12.0*	*13.0*	*13.2*	
R08	2.6	3.9	4.8	6.0	3.8	4.9	2.6	3.0	3.7	5.5	3.8	4.9	④ 活用したいと思わない
R07	*3.4*	*3.9*	*5.5*	*6.0*	*4.1*	*3.6*	*3.6*	*2.7*	*5.5*	*4.8*	*4.5*	*4.3*	

Ｑ１８　学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	3.0	3.8	10.4	10.5	12.6	9.3	5.7	3.5	5.4	8.9	9.2	8.1	① ほとんど毎日出ている
R07	*12.2*	*6.0*	*13.2*	*9.5*	*12.9*	*12.5*	*5.4*	*5.9*	*6.5*	*6.1*	*10.9*	*9.2*	
R08	36.6	30.9	52.4	41.5	50.3	42.9	45.7	36.4	38.8	38.2	47.5	39.8	② 週に２～３回出ている
R07	*38.7*	*30.8*	*50.4*	*41.8*	*49.5*	*42.4*	*47.0*	*39.9*	*50.2*	*35.6*	*48.4*	*39.9*	
R08	50.6	45.6	29.1	36.8	29.8	36.7	42.9	50.0	43.7	37.5	35.3	39.8	③ 週に１回くらい出ている
R07	*39.3*	*40.4*	*30.0*	*36.9*	*31.3*	*32.8*	*40.9*	*43.8*	*32.5*	*39.6*	*33.4*	*37.2*	
R08	9.8	19.8	8.0	11.2	7.2	11.0	5.6	10.0	12.1	15.4	8.0	12.2	④ ほとんど出ていない
R07	*9.8*	*22.8*	*6.5*	*11.9*	*6.3*	*12.3*	*6.8*	*10.4*	*10.8*	*18.8*	*7.3*	*13.7*	

Ｑ１９　学校ではどのくらいの割合でテスト（小テストや確認テストを含む。）がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	2.6	4.4	4.0	9.3	5.2	6.3	8.3	3.1	13.7	7.3	6.3	6.6	① ほとんど毎日ある
R07	*2.1*	*2.1*	*2.9*	*12.0*	*4.0*	*6.7*	*2.6*	*7.9*	*2.8*	*10.8*	*3.2*	*8.4*	
R08	21.9	28.0	46.7	42.2	47.8	49.3	38.5	28.6	42.5	42.1	43.2	41.3	② 週に２～３回ある
R07	*21.8*	*20.9*	*41.9*	*42.7*	*45.1*	*52.8*	*34.9*	*29.0*	*43.8*	*46.7*	*40.3*	*42.5*	
R08	57.0	50.2	41.5	37.2	40.0	36.7	42.2	54.1	32.5	29.9	41.2	40.0	③ 週に１回くらいある
R07	*57.0*	*60.1*	*43.5*	*35.4*	*42.7*	*33.1*	*52.5*	*46.5*	*38.9*	*27.8*	*45.3*	*37.7*	
R08	18.5	17.4	7.8	11.2	7.0	7.6	11.0	14.2	11.2	20.7	9.3	12.2	④ ほとんどない
R07	*19.2*	*16.9*	*11.7*	*10.0*	*8.3*	*7.4*	*10.0*	*16.6*	*14.5*	*14.7*	*11.2*	*11.4*	

Ｑ２０　あなたが受けたい授業はどんな授業ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	45.3	40.8	39.2	43.9	39.7	41.4	44.4	43.4	42.3	41.4	41.1	42.3	① 基礎・基本からじっくりわかるまで教えてくれる授業
R07	*39.0*	*40.5*	*41.9*	*39.0*	*38.5*	*41.4*	*43.3*	*39.0*	*43.2*	*38.5*	*40.8*	*39.9*	
R08	6.3	5.2	10.4	8.2	10.1	9.1	6.4	5.6	8.1	5.5	9.0	7.5	② 発展的な内容まで教えてくれる授業
R07	*5.2*	*7.2*	*9.4*	*9.2*	*10.7*	*8.2*	*7.2*	*8.0*	*6.4*	*7.1*	*8.7*	*8.2*	
R08	12.2	11.5	12.1	7.4	12.1	10.5	12.6	10.6	13.5	10.4	12.4	9.8	③ ペアやグループで自分の考えを発表したり、話し合ったりする授業
R07	*14.6*	*10.8*	*11.2*	*10.9*	*13.4*	*9.5*	*12.1*	*12.1*	*13.4*	*9.5*	*12.7*	*10.4*	
R08	22.1	24.9	24.6	24.9	25.7	23.5	23.1	24.4	19.7	25.4	23.9	24.4	④ 興味や関心がもてるような授業
R07	*25.7*	*24.2*	*24.1*	*25.9*	*25.0*	*25.3*	*23.3*	*25.2*	*23.5*	*25.3*	*24.4*	*25.3*	
R08	9.9	10.5	10.3	12.4	10.2	13.2	9.8	12.1	10.2	11.4	10.1	12.4	⑤ 進路希望達成につながる授業
R07	*10.2*	*12.5*	*9.8*	*11.4*	*9.9*	*13.0*	*9.4*	*11.2*	*8.4*	*12.8*	*9.6*	*12.2*	
R08	4.2	7.1	3.5	3.1	2.4	2.3	3.7	4.0	6.1	5.9	3.5	3.7	⑥ 資格取得につながる授業
R07	*5.4*	*4.7*	*3.5*	*3.6*	*2.5*	*2.6*	*4.6*	*4.5*	*5.0*	*6.8*	*3.7*	*3.9*	

Ｑ２１　平日（テスト期間や長期休業中などを除く、通常の月曜日から金曜日）、学校の授業時間以外に１日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	26.9	42.4	21.9	29.1	19.2	29.2	21.6	32.6	22.0	34.8	21.3	31.6	① 全く、またはほとんどしない
R07	*29.3*	*42.2*	*21.1*	*29.9*	*19.3*	*28.2*	*20.1*	*32.3*	*22.4*	*38.6*	*21.2*	*31.9*	
R08	17.6	16.9	14.9	16.4	14.6	15.5	17.1	17.2	13.9	14.5	15.3	16.0	② ３０分より少ない
R07	*19.3*	*14.8*	*16.3*	*14.4*	*15.1*	*15.0*	*14.0*	*16.1*	*15.1*	*13.6*	*15.6*	*14.8*	
R08	20.6	16.4	21.6	19.0	22.0	18.4	22.3	19.5	22.8	19.9	21.9	18.7	③ ３０分～
R07	*20.0*	*18.7*	*22.7*	*20.6*	*21.5*	*19.8*	*25.2*	*20.0*	*22.5*	*16.8*	*22.4*	*19.6*	
R08	24.6	16.7	27.6	22.6	28.5	22.7	25.5	21.6	26.8	21.3	27.2	21.8	④ １時間～
R07	*22.2*	*16.8*	*26.4*	*22.6*	*28.4*	*22.8*	*28.1*	*22.0*	*27.5*	*21.5*	*27.2*	*21.9*	
R08	8.5	6.2	10.8	9.8	12.7	11.3	11.1	6.8	11.9	7.5	11.5	9.2	⑤ ２時間～
R07	*7.5*	*6.1*	*11.0*	*9.5*	*12.9*	*10.9*	*10.5*	*8.3*	*10.5*	*6.9*	*11.2*	*9.1*	
R08	1.1	0.9	2.6	2.5	2.3	2.3	2.0	1.5	2.0	1.3	2.2	1.9	⑥ ３時間～
R07	*0.9*	*1.1*	*2.0*	*2.3*	*2.2*	*2.5*	*1.6*	*0.8*	*1.8*	*1.5*	*1.9*	*1.9*	
R08	0.2	0.1	0.3	0.5	0.5	0.5	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	⑦ ４時間～
R07	*0.4*	*0.1*	*0.5*	*0.5*	*0.3*	*0.6*	*0.4*	*0.4*	*0.1*	*0.7*	*0.3*	*0.5*	
R08	0.5	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	⑧ ５時間以上
R07	*0.3*	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	*0.2*	*0.2*	*0.2*	*0.1*	*0.5*	*0.2*	*0.3*	

Ｑ２２　休日に、１日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	26.6	41.1	21.8	30.0	17.7	27.4	21.3	31.6	24.0	34.3	20.9	30.9	① 全く、またはほとんどしない
R07	*28.6*	*40.5*	*20.2*	*29.3*	*17.5*	*25.4*	*19.1*	*31.1*	*23.4*	*37.4*	*20.2*	*30.3*	
R08	14.7	14.2	12.1	11.7	10.5	10.7	12.9	12.3	10.6	11.9	11.7	11.7	② ３０分より少ない
R07	*13.6*	*12.2*	*11.1*	*10.7*	*10.8*	*10.8*	*10.9*	*11.0*	*12.3*	*9.8*	*11.3*	*10.8*	
R08	15.7	12.0	13.7	12.3	13.9	12.5	15.9	14.1	14.7	14.7	14.4	12.9	③ ３０分～
R07	*14.6*	*12.2*	*14.1*	*13.1*	*13.4*	*12.7*	*15.1*	*15.2*	*15.1*	*11.7*	*14.2*	*13.1*	
R08	20.0	15.3	19.5	19.2	20.7	18.4	21.0	20.7	23.0	19.6	20.7	18.9	④ １時間～
R07	*23.1*	*17.8*	*21.6*	*19.3*	*21.3*	*19.6*	*23.9*	*19.2*	*23.2*	*18.3*	*22.2*	*19.1*	
R08	13.8	9.9	16.2	12.7	17.5	13.1	16.7	12.1	16.0	11.5	16.5	12.3	⑤ ２時間～
R07	*11.9*	*9.9*	*16.7*	*13.5*	*16.8*	*15.1*	*19.1*	*13.7*	*16.1*	*13.1*	*16.6*	*13.8*	
R08	5.4	4.4	9.0	8.0	10.7	9.0	8.0	5.1	7.0	4.5	8.9	7.1	⑥ ３時間～
R07	*5.2*	*4.3*	*9.5*	*7.8*	*10.8*	*8.5*	*7.9*	*6.1*	*6.7*	*5.3*	*9.0*	*7.1*	
R08	2.0	1.2	4.1	2.9	5.0	4.3	2.4	1.9	2.9	1.6	3.8	3.0	⑦ ４時間～
R07	*1.5*	*1.7*	*3.8*	*3.2*	*4.9*	*4.0*	*2.5*	*1.7*	*1.3*	*2.6*	*3.5*	*3.0*	
R08	1.1	0.7	2.3	1.7	2.2	2.7	1.0	1.2	0.9	0.9	1.8	1.8	⑧ ５時間～
R07	*0.8*	*0.9*	*1.9*	*1.5*	*2.6*	*2.1*	*0.7*	*1.1*	*1.1*	*0.8*	*1.8*	*1.5*	
R08	0.4	0.5	0.8	0.6	1.0	1.1	0.4	0.3	0.4	0.5	0.7	0.7	⑨ ６時間～
R07	*0.2*	*0.1*	*0.6*	*0.7*	*1.2*	*0.9*	*0.4*	*0.5*	*0.3*	*0.5*	*0.7*	*0.7*	
R08	0.3	0.7	0.5	0.9	0.8	0.9	0.4	0.5	0.5	0.4	0.6	0.8	⑩ ７時間以上
R07	*0.5*	*0.4*	*0.5*	*0.9*	*0.5*	*0.8*	*0.3*	*0.3*	*0.5*	*0.5*	*0.5*	*0.7*	

Ｑ２３　家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	7.8	4.6	15.2	13.0	19.3	16.0	9.0	8.0	12.5	8.2	14.7	11.9	① ほぼ毎日している
R07	*6.0*	*7.2*	*14.4*	*11.9*	*18.2*	*14.3*	*10.2*	*9.3*	*10.4*	*9.2*	*13.8*	*11.6*	
R08	5.9	3.8	6.0	5.0	5.2	4.9	6.1	4.1	6.6	3.8	5.8	4.5	② 主に平日にしている
R07	*5.3*	*4.7*	*6.0*	*5.2*	*5.2*	*4.7*	*5.4*	*4.1*	*5.3*	*4.2*	*5.5*	*4.7*	
R08	10.2	6.3	8.0	6.3	7.7	6.0	10.1	8.3	7.4	5.8	8.3	6.5	③ 主に休日にしている
R07	*10.5*	*5.9*	*8.4*	*6.7*	*8.6*	*6.6*	*10.3*	*6.4*	*7.4*	*6.7*	*8.8*	*6.5*	
R08	15.8	24.2	16.2	18.7	13.7	19.0	14.0	19.7	16.8	21.5	15.0	19.8	④ 主に定期考査前にしている
R07	*18.1*	*21.4*	*16.2*	*20.9*	*14.7*	*18.3*	*14.4*	*18.9*	*16.4*	*18.8*	*15.6*	*19.4*	
R08	8.2	5.6	6.0	5.4	6.7	4.9	8.1	5.9	6.3	4.6	6.8	5.2	⑤ 主に宿題・課題のあるときにしている
R07	*6.7*	*5.9*	*6.3*	*5.3*	*6.4*	*4.6*	*8.1*	*6.1*	*6.7*	*5.0*	*6.7*	*5.2*	
R08	31.8	26.4	28.7	29.0	30.0	27.1	31.4	30.5	28.1	29.5	29.7	28.4	⑥ 主に宿題・課題のあるときと定期考査前にしている
R07	*27.2*	*28.4*	*29.9*	*27.5*	*29.3*	*29.5*	*31.1*	*31.0*	*30.2*	*28.0*	*29.7*	*28.9*	
R08	1.4	1.2	2.6	1.9	1.7	1.8	1.9	1.4	2.1	1.6	2.0	1.7	⑦ 主に塾・予備校のあるときや家庭教師の先生が来るときにしている
R07	*2.6*	*1.2*	*2.0*	*1.8*	*1.7*	*1.8*	*1.1*	*1.7*	*1.8*	*1.3*	*1.8*	*1.7*	
R08	11.6	14.3	11.1	11.4	10.4	11.4	13.2	12.5	12.7	13.9	11.4	12.2	⑧ 気が向いたときにしている
R07	*14.3*	*12.9*	*11.6*	*11.7*	*11.5*	*12.1*	*14.1*	*14.1*	*14.2*	*13.7*	*12.6*	*12.6*	
R08	7.0	13.3	6.1	9.1	5.1	8.8	6.1	9.5	7.0	10.9	6.0	9.7	⑨ 家庭学習はほとんどしない
R07	*9.1*	*12.4*	*5.1*	*8.8*	*4.2*	*8.0*	*5.1*	*8.3*	*7.6*	*12.8*	*5.4*	*9.3*	
R08	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.4	0.1	0.2	0.2	⑩ その他
R07	*0.2*	*0.0*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.2*	*0.1*	*0.1*	*0.2*	*0.1*	*0.1*	

Ｑ２４　学習塾等（家庭教師の先生に教わっている場合も含む。）で、どのように勉強していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	4.5	3.8	9.5	8.7	7.8	7.8	3.0	3.7	4.6	3.1	6.8	6.4	① 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している
R07	*4.5*	*2.5*	*8.9*	*8.0*	*7.9*	*6.6*	*3.7*	*2.6*	*3.1*	*3.6*	*6.6*	*5.5*	
R08	10.1	8.4	9.8	11.2	10.3	9.7	12.9	13.2	12.0	13.3	10.8	11.0	② 学校の勉強でよくわからなかった内容を勉強している
R07	*10.8*	*10.3*	*11.1*	*11.8*	*10.5*	*11.1*	*12.9*	*9.0*	*12.5*	*11.6*	*11.3*	*10.9*	
R08	6.0	6.4	11.8	9.0	10.7	10.6	8.3	6.4	9.3	6.9	10.0	8.7	③ 上記①、②の両方の内容を勉強している
R07	*8.7*	*5.5*	*9.1*	*9.3*	*10.5*	*8.1*	*7.1*	*7.6*	*8.5*	*7.1*	*9.2*	*8.0*	
R08	1.6	0.7	1.3	1.5	1.3	1.7	0.8	1.4	1.4	1.3	1.3	1.5	④ 上記①、②の内容のどちらともいえない
R07	*0.8*	*1.1*	*1.5*	*1.6*	*1.4*	*2.1*	*1.1*	*1.5*	*1.6*	*2.2*	*1.4*	*1.8*	
R08	77.8	80.7	67.7	69.7	70.0	70.2	75.0	75.3	72.6	75.5	71.2	72.5	⑤ 学習塾等に通っていない
R07	*75.2*	*80.6*	*69.4*	*69.4*	*69.7*	*72.1*	*75.2*	*79.2*	*74.3*	*75.5*	*71.6*	*73.8*	

Q２５　家庭学習をする上で悩んでいることはありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	12.3	11.1	10.8	9.0	10.2	8.7	14.6	10.7	13.6	10.2	11.7	9.5	① 家庭学習の方法が分からない
R07	*13.3*	*11.5*	*10.6*	*8.4*	*9.9*	*8.8*	*12.7*	*9.8*	*10.9*	*10.8*	*10.9*	*9.4*	
R08	20.5	20.4	26.1	25.1	26.2	27.9	21.4	25.0	21.1	23.1	24.3	25.4	② 家庭学習に集中できない
R07	*19.2*	*23.6*	*25.3*	*27.3*	*27.3*	*28.1*	*23.1*	*24.8*	*24.1*	*24.1*	*24.9*	*26.4*	
R08	16.0	15.6	15.5	16.8	14.6	16.3	15.1	16.7	17.6	17.9	15.4	16.6	③ 学習の計画を立ててても長続きしない
R07	*15.1*	*17.4*	*16.4*	*14.4*	*15.1*	*15.8*	*18.9*	*17.6*	*17.9*	*16.5*	*16.4*	*15.9*	
R08	20.2	17.2	23.2	20.4	25.6	20.3	19.5	16.7	15.4	13.6	22.2	18.7	④ 家庭学習と部活動の両立が難しい
R07	*19.8*	*16.5*	*22.6*	*19.3*	*23.9*	*21.2*	*17.3*	*15.9*	*15.6*	*14.0*	*21.1*	*18.5*	
R08	3.7	5.9	3.9	5.7	4.8	5.7	5.6	6.6	5.4	5.0	4.7	5.8	⑤ 家庭学習を一生懸命やっても成績が伸びない
R07	*3.1*	*5.1*	*4.1*	*5.4*	*4.6*	*5.6*	*4.2*	*5.6*	*4.6*	*4.2*	*4.3*	*5.3*	
R08	26.1	29.3	19.5	22.0	17.6	20.0	23.0	23.6	25.8	29.6	20.7	23.1	⑥ 特に悩みはない
R07	*28.8*	*25.1*	*20.3*	*24.2*	*18.4*	*19.9*	*22.8*	*25.9*	*26.2*	*29.7*	*21.6*	*23.7*	
R08	1.2	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	0.7	0.9	1.1	0.6	1.0	0.9	⑦ その他
R07	*0.8*	*0.9*	*0.8*	*1.0*	*0.8*	*0.7*	*1.1*	*0.5*	*0.7*	*0.7*	*0.8*	*0.8*	

Q２６　自宅でＩＣＴ機器やオンラインを用いた学習を実施する（した）場合に、自分にとって不都合なこと（不都合だったこと）は何ですか。（該当するものをすべて選んでください。）

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	2.0	3.1	2.2	2.9	2.0	2.7	1.9	2.7	1.9	2.2	2.0	2.7	ア パソコンやタブレット、スマホなどの機器がない（使用できない）
R07	*2.2*	*2.4*	*1.9*	*2.9*	*1.7*	*1.8*	*1.9*	*2.3*	*3.7*	*3.2*	*2.1*	*2.4*	
R08	14.8	15.6	14.2	14.9	12.5	13.3	13.1	15.9	14.2	14.9	13.5	14.6	イ 課題を印刷する機器がない（印刷できない）
R07	*14.9*	*18.2*	*14.7*	*13.8*	*14.6*	*14.0*	*15.9*	*16.6*	*15.0*	*17.7*	*14.9*	*15.2*	
R08	15.8	14.2	16.2	14.6	16.1	14.4	14.6	14.8	18.5	12.9	16.2	14.3	ウ 通信速度が遅い
R07	*16.1*	*12.7*	*17.0*	*14.1*	*15.5*	*12.7*	*14.7*	*14.2*	*15.3*	*15.9*	*15.8*	*13.7*	
R08	4.0	5.0	4.8	4.3	4.9	4.7	4.1	5.6	6.2	4.3	4.9	4.7	エ 通信料金が高額になる
R07	*5.5*	*3.8*	*5.4*	*5.2*	*4.6*	*3.7*	*4.7*	*4.1*	*5.8*	*5.8*	*5.1*	*4.4*	
R08	5.2	3.2	4.4	3.6	3.4	2.6	4.1	3.6	5.2	5.1	4.2	3.4	オ セキュリティが心配
R07	*4.4*	*4.2*	*3.5*	*3.4*	*3.5*	*2.4*	*4.5*	*3.3*	*5.5*	*4.3*	*4.0*	*3.2*	
R08	11.4	8.5	12.2	10.4	12.4	8.6	10.5	11.6	12.7	11.2	12.0	9.9	カ 操作の方法が分からない
R07	*11.7*	*11.0*	*11.4*	*10.7*	*12.2*	*9.3*	*12.2*	*9.9*	*11.5*	*10.8*	*11.9*	*10.1*	
R08	19.8	25.3	23.2	27.0	26.7	31.1	22.0	24.7	23.1	23.6	24.0	27.5	キ 集中できない、やる気が起きない
R07	*26.4*	*27.8*	*26.1*	*26.7*	*29.0*	*27.3*	*22.9*	*23.1*	*22.5*	*23.8*	*26.2*	*26.1*	
R08	50.8	48.5	46.4	44.5	46.2	45.6	50.3	47.9	46.4	49.7	47.3	46.5	ク 不都合なことはない
R07	*45.2*	*45.9*	*43.8*	*46.2*	*43.5*	*47.7*	*50.1*	*48.5*	*48.6*	*45.7*	*45.4*	*47.0*	
R08	2.3	1.0	1.1	1.2	1.5	1.8	1.3	1.1	1.0	1.0	1.4	1.4	ケ その他
R07	*0.9*	*0.9*	*1.2*	*1.8*	*1.4*	*1.6*	*1.6*	*1.0*	*1.6*	*1.1*	*1.4*	*1.4*	

Q２７　学校に行く前に朝食をとりますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	63.3	60.2	73.3	68.2	72.9	70.4	67.6	64.2	65.2	63.5	70.4	67.0	① 必ずとる
R07	*64.8*	*61.1*	*74.2*	*69.6*	*74.3*	*69.6*	*69.3*	*66.2*	*67.4*	*64.6*	*71.8*	*67.6*	
R08	19.5	19.0	14.5	17.5	15.1	14.7	16.5	17.9	18.9	18.3	16.0	16.8	② たいていとる
R07	*19.0*	*17.6*	*14.8*	*15.8*	*14.7*	*15.7*	*16.9*	*17.7*	*19.1*	*17.7*	*16.0*	*16.5*	
R08	9.1	12.9	6.6	7.9	7.6	8.6	8.9	10.3	9.1	9.3	7.9	9.2	③ とらないことが多い
R07	*8.2*	*11.6*	*6.3*	*8.2*	*6.1*	*8.1*	*7.7*	*8.4*	*7.5*	*10.0*	*6.8*	*8.7*	
R08	8.1	7.9	5.6	6.4	4.5	6.2	7.0	7.6	6.7	9.0	5.8	7.0	④ 全く、またはほとんどとらない
R07	*8.0*	*9.8*	*4.7*	*6.4*	*4.9*	*6.6*	*6.1*	*7.7*	*6.0*	*7.7*	*5.5*	*7.2*	

Q２８　平日の睡眠時間は１日当たり、どのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	0.5	1.0	0.2	0.8	0.4	0.6	0.9	1.0	0.7	0.9	0.5	0.8	① ３時間より少ない
R07	*1.3*	*0.6*	*0.2*	*0.5*	*0.4*	*0.7*	*0.4*	*0.6*	*0.5*	*1.2*	*0.4*	*0.7*	
R08	3.2	1.9	1.9	2.3	2.2	2.0	1.9	3.2	3.6	3.7	2.3	2.5	② ３時間～４時間未満
R07	*1.8*	*2.7*	*1.7*	*2.4*	*1.7*	*2.3*	*2.7*	*2.1*	*2.4*	*3.8*	*1.9*	*2.5*	
R08	8.1	10.6	8.2	9.4	7.3	7.9	8.3	10.1	7.8	8.7	7.8	9.0	③ ４時間～５時間未満
R07	*8.3*	*8.0*	*6.9*	*9.4*	*7.8*	*9.4*	*8.8*	*9.3*	*8.9*	*6.9*	*7.9*	*8.9*	
R08	23.1	26.8	26.8	29.0	26.8	29.8	25.9	26.9	23.8	26.1	25.9	28.4	④ ５時間～６時間未満
R07	*24.5*	*24.9*	*27.5*	*27.6*	*25.3*	*28.8*	*25.0*	*24.8*	*22.2*	*26.7*	*25.4*	*27.2*	
R08	38.1	39.2	37.1	39.3	40.0	40.3	35.5	37.4	36.3	37.5	37.9	39.1	⑤ ６時間～７時間未満
R07	*38.0*	*40.2*	*39.8*	*39.8*	*40.3*	*40.0*	*37.9*	*40.2*	*39.0*	*37.0*	*39.4*	*39.6*	
R08	21.9	15.9	20.9	15.8	19.2	16.4	21.3	17.2	21.5	17.7	20.5	16.5	⑥ ７時間～８時間未満
R07	*20.3*	*20.0*	*19.8*	*17.3*	*20.5*	*16.2*	*18.9*	*18.1*	*21.5*	*19.5*	*20.1*	*17.6*	
R08	4.4	4.1	4.1	2.8	3.4	2.5	5.2	3.5	5.3	4.4	4.2	3.1	⑦ ８時間～９時間未満
R07	*4.9*	*3.1*	*3.5*	*2.5*	*3.2*	*2.2*	*5.1*	*4.0*	*4.5*	*4.0*	*3.9*	*2.9*	
R08	0.9	0.6	0.9	0.5	0.6	0.4	1.0	0.8	1.0	0.9	0.8	0.6	⑧ ９時間以上
R07	*0.8*	*0.7*	*0.7*	*0.5*	*0.9*	*0.5*	*1.2*	*0.8*	*1.1*	*0.9*	*0.9*	*0.6*	

Ｑ２９　平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	2.2	2.4	6.5	5.7	8.9	7.4	3.8	3.1	4.9	3.3	6.4	5.3	① 家庭学習
R07	*3.1*	*2.0*	*5.8*	*5.0*	*8.1*	*6.0*	*3.5*	*3.6*	*3.3*	*2.9*	*5.7*	*4.6*	
R08	2.8	2.2	3.3	3.2	3.8	2.7	2.9	3.1	2.8	3.0	3.3	2.9	② テレビ（録画を含む）やＤＶＤ等
R07	*2.3*	*3.0*	*4.0*	*3.4*	*3.4*	*3.6*	*3.0*	*1.8*	*4.0*	*3.0*	*3.5*	*3.1*	
R08	27.0	31.0	27.3	28.1	29.2	28.7	31.5	29.0	28.3	29.1	28.8	28.8	③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、ＳＮＳ等
R07	*28.7*	*27.8*	*27.8*	*23.7*	*26.6*	*28.8*	*26.5*	*27.6*	*29.3*	*28.7*	*27.4*	*27.2*	
R08	41.3	43.3	41.0	41.3	36.2	40.5	37.1	41.3	39.8	43.6	38.5	41.5	④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
R07	*41.1*	*46.3*	*39.1*	*44.3*	*38.4*	*40.3*	*42.4*	*44.4*	*39.5*	*43.9*	*39.6*	*43.0*	
R08	6.6	6.3	5.3	6.2	4.9	5.0	6.4	6.3	5.4	6.6	5.5	5.9	⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
R07	*7.8*	*6.2*	*5.7*	*6.2*	*5.2*	*5.3*	*5.6*	*6.5*	*5.5*	*5.9*	*5.7*	*5.9*	
R08	0.9	0.9	1.0	1.0	0.8	1.0	0.8	0.8	0.7	0.8	0.9	0.9	⑥ 読書
R07	*0.9*	*1.1*	*1.3*	*1.2*	*1.0*	*0.6*	*1.0*	*0.9*	*1.5*	*1.5*	*1.1*	*1.0*	
R08	11.9	9.0	8.7	8.4	8.2	8.4	10.6	9.7	10.1	8.7	9.3	8.7	⑦ 趣味（①～⑥を除く）
R07	*10.2*	*8.3*	*9.0*	*9.0*	*9.5*	*8.2*	*10.0*	*9.5*	*11.1*	*8.7*	*9.7*	*8.7*	
R08	5.2	3.3	4.2	3.6	4.9	3.7	5.3	4.7	5.2	3.1	4.8	3.7	⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
R07	*3.9*	*3.2*	*4.7*	*4.0*	*5.2*	*4.5*	*5.6*	*3.9*	*4.0*	*3.9*	*4.8*	*4.1*	
R08	2.1	1.7	2.7	2.6	3.1	2.7	1.6	2.0	2.8	1.7	2.6	2.3	⑨ その他
R07	*2.0*	*2.0*	*2.6*	*3.2*	*2.7*	*2.7*	*2.4*	*1.8*	*1.8*	*1.5*	*2.5*	*2.5*	

Ｑ３０　平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は１日当たりどのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	1.5	1.2	0.9	1.6	1.1	0.9	0.8	1.3	1.2	0.9	1.0	1.2	① 全く使わない
R07	*1.3*	*0.4*	*0.8*	*0.9*	*0.8*	*0.6*	*0.7*	*0.8*	*0.5*	*1.5*	*0.8*	*0.8*	
R08	1.7	1.7	2.1	1.7	2.6	2.1	2.0	1.2	1.5	1.1	2.1	1.7	② ３０分より少ない
R07	*1.7*	*1.3*	*2.2*	*1.7*	*2.6*	*1.4*	*2.0*	*1.5*	*1.8*	*1.3*	*2.2*	*1.5*	
R08	4.2	2.1	4.9	3.7	7.1	4.2	4.1	3.7	4.2	2.9	5.4	3.6	③ ３０分～１時間未満
R07	*2.6*	*2.6*	*5.0*	*3.3*	*6.4*	*4.5*	*4.6*	*3.5*	*3.5*	*2.6*	*5.0*	*3.6*	
R08	13.2	9.9	18.5	12.5	21.6	18.4	15.7	14.5	13.6	11.2	18.1	14.5	④ １時間～２時間未満
R07	*12.5*	*12.0*	*18.8*	*13.3*	*23.1*	*17.9*	*17.5*	*12.8*	*16.3*	*12.0*	*19.2*	*14.6*	
R08	27.1	23.1	27.6	25.8	28.9	27.4	25.5	25.7	26.1	24.8	27.5	26.0	⑤ ２時間～３時間未満
R07	*24.8*	*22.8*	*27.9*	*25.6*	*28.4*	*28.3*	*29.1*	*24.7*	*25.9*	*22.2*	*27.8*	*25.7*	
R08	20.0	20.8	21.0	23.4	18.4	20.3	21.0	20.5	20.7	21.5	20.0	21.4	⑥ ３時間～４時間未満
R07	*23.6*	*24.6*	*21.0*	*22.8*	*18.8*	*21.4*	*21.3*	*23.2*	*20.0*	*23.4*	*20.4*	*22.6*	
R08	12.5	15.1	9.7	12.1	8.7	11.0	11.4	11.7	11.4	13.6	10.1	12.1	⑦ ４時間～５時間未満
R07	*12.8*	*13.6*	*11.0*	*12.7*	*8.1*	*10.0*	*9.1*	*12.0*	*11.8*	*13.0*	*9.9*	*11.8*	
R08	19.5	26.0	15.2	19.1	11.5	15.5	19.2	21.0	21.3	23.9	15.7	19.3	⑧ ５時間以上
R07	*20.7*	*22.5*	*13.2*	*19.7*	*11.7*	*15.8*	*15.4*	*21.5*	*20.0*	*23.9*	*14.5*	*19.4*	
R08	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	⑨ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R07	*0.0*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.3*	*0.1*	*0.2*	*0.0*	*0.2*	*0.1*	

Ｑ３１　平日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	6.3	6.4	3.8	4.6	4.2	3.8	7.3	5.6	7.4	6.5	5.2	4.9	① 相手との通話
R07	*7.1*	*5.0*	*3.6*	*3.7*	*4.0*	*3.5*	*5.1*	*4.9*	*7.5*	*7.6*	*4.8*	*4.4*	
R08	2.9	2.8	3.7	3.4	4.2	2.7	3.3	2.7	4.1	2.3	3.8	2.8	② メール
R07	*3.6*	*2.4*	*4.0*	*2.4*	*3.4*	*3.0*	*3.8*	*2.2*	*3.7*	*2.3*	*3.7*	*2.5*	
R08	40.0	39.6	42.3	41.6	43.6	41.6	39.2	36.3	36.1	38.1	41.3	40.1	③ ＳＮＳ（ＬＩＮＥ、Ｘ［旧ツイッター］、インスタグラム等）
R07	*36.6*	*36.6*	*40.4*	*37.8*	*39.3*	*41.9*	*35.8*	*34.4*	*36.5*	*34.1*	*38.4*	*38.1*	
R08	25.1	25.2	25.4	26.8	23.8	28.8	24.8	28.7	26.6	27.9	24.9	27.8	④ 動画サイト
R07	*25.7*	*31.3*	*26.4*	*30.7*	*28.2*	*30.6*	*28.5*	*30.5*	*26.4*	*32.3*	*27.3*	*30.9*	
R08	11.1	11.9	11.3	11.1	12.2	11.0	12.0	12.9	11.5	12.4	11.7	11.6	⑤ 音楽サイトや音楽プレーヤー
R07	*12.5*	*11.2*	*12.1*	*10.8*	*12.5*	*10.9*	*12.9*	*12.0*	*12.4*	*9.7*	*12.5*	*10.9*	
R08	13.1	12.5	12.0	11.1	10.4	10.7	12.2	12.5	12.7	11.4	11.6	11.3	⑥ オンラインゲーム
R07	*12.5*	*12.2*	*12.0*	*12.5*	*10.7*	*8.9*	*12.3*	*14.5*	*11.4*	*12.8*	*11.6*	*11.6*	
R08	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	⑦ ブログや掲示板
R07	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	*0.4*	*0.1*	*0.2*	*0.1*	*0.1*	*0.3*	*0.3*	*0.2*	
R08	0.4	1.2	1.1	1.0	1.3	1.0	0.6	0.8	1.0	1.0	1.1	1.0	⑧ 情報・ニュース等の検索
R07	*1.1*	*0.8*	*1.0*	*1.5*	*1.3*	*0.8*	*0.9*	*1.1*	*1.4*	*0.5*	*1.2*	*1.0*	
R08	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	⑨ 静止画や動画の撮影
R07	*0.6*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.2*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	*0.2*	
R08	0.2	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R07	*0.0*	*0.3*	*0.2*	*0.2*	*0.1*	*0.1*	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.1*	*0.2*	*0.2*	

Ｑ３２　平日に、１日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	65.4	69.5	61.5	69.7	63.2	71.8	57.9	63.5	59.6	64.2	61.6	68.7	① 全く、またはほとんどしない
R07	62.2	68.2	61.7	68.2	62.9	69.7	56.7	60.4	58.5	64.9	61.0	67.0	
R08	18.3	16.2	22.8	16.1	21.5	14.7	23.8	20.2	21.2	19.4	21.9	16.7	② ３０分より少ない
R07	20.6	17.0	22.2	17.1	21.2	17.0	23.6	23.5	21.7	17.1	21.8	18.1	
R08	10.3	9.0	9.9	8.2	10.3	8.7	12.2	9.7	12.7	9.7	10.8	8.9	③ ３０分～１時間未満
R07	12.2	8.6	10.7	9.1	10.5	8.9	12.7	10.6	12.3	10.8	11.3	9.5	
R08	4.0	3.3	3.8	3.7	3.0	2.8	4.0	4.3	4.6	3.7	3.7	3.4	④ １時間～２時間未満
R07	4.0	4.1	3.3	3.0	3.5	3.0	4.8	3.3	4.4	3.7	3.8	3.2	
R08	1.5	0.8	1.3	1.3	1.1	1.1	1.3	1.5	1.3	1.5	1.3	1.2	⑤ ２時間～３時間未満
R07	0.4	1.4	1.0	1.5	1.3	0.8	1.5	1.0	1.6	1.9	1.2	1.2	
R08	0.2	0.6	0.5	0.6	0.5	0.4	0.6	0.3	0.4	0.7	0.5	0.5	⑥ ３時間～４時間未満
R07	0.3	0.4	0.6	0.6	0.4	0.3	0.3	0.6	0.7	0.9	0.5	0.5	
R08	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	⑦ ４時間～５時間未満
R07	0.2	0.1	0.2	0.2	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2	
R08	0.1	0.5	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1	0.8	0.1	0.4	⑧ ５時間以上
R07	0.3	0.3	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3	

Ｑ３３　休日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	3.0	2.6	5.5	5.1	7.4	5.6	2.8	2.4	3.9	2.3	5.3	4.3	① 家庭学習
R07	2.4	1.4	5.3	4.9	6.3	5.5	3.4	2.5	2.5	2.7	4.7	4.1	
R08	3.4	2.6	4.6	3.9	5.1	3.9	3.5	3.5	3.1	2.9	4.3	3.6	② テレビ（録画を含む）やＤＶＤ等
R07	3.6	4.0	4.8	4.1	4.8	4.5	3.5	3.6	4.4	4.1	4.4	4.1	
R08	23.1	27.4	22.8	23.3	24.4	23.9	26.7	24.9	23.3	24.4	24.1	24.3	③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、ＳＮＳ等
R07	23.2	21.8	21.1	20.2	21.8	22.7	21.7	21.9	23.8	23.3	22.0	21.9	
R08	37.4	38.7	37.7	38.3	34.0	38.0	34.9	38.2	38.5	38.3	36.0	38.2	④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
R07	37.1	45.5	37.4	40.8	35.6	37.4	38.6	41.8	36.0	40.1	36.7	40.1	
R08	8.1	7.7	5.9	6.9	5.6	6.2	6.7	7.5	6.3	7.2	6.2	6.8	⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
R07	6.8	6.7	6.8	7.4	5.9	6.6	7.7	7.5	6.4	7.1	6.6	7.0	
R08	0.7	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	0.8	0.9	1.3	1.0	1.0	⑥ 読書
R07	0.6	0.2	0.9	0.9	0.9	0.6	0.8	1.0	0.9	1.2	0.9	0.8	
R08	15.3	13.5	15.8	14.6	14.8	14.3	17.3	16.4	15.7	16.0	15.7	14.8	⑦ 趣味（①～⑥を除く）
R07	17.5	13.0	16.7	14.3	16.1	15.0	17.3	15.4	18.6	14.4	16.9	14.6	
R08	4.8	3.1	3.5	3.2	4.1	4.1	3.8	4.0	4.3	3.6	4.0	3.7	⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
R07	5.3	3.7	4.0	3.8	5.0	4.2	4.4	3.3	4.8	3.5	4.6	3.8	
R08	4.2	3.4	3.1	3.7	3.7	3.1	3.3	2.4	3.9	4.0	3.5	3.3	⑨ その他
R07	3.6	3.8	3.1	3.7	3.6	3.4	2.6	3.0	2.7	3.6	3.2	3.5	

Ｑ３４　休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は１日当たりどのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	2.2	2.4	1.6	1.8	1.2	1.5	1.5	1.5	1.5	2.1	1.5	1.7	① 全く使わない
R07	1.6	1.3	1.2	2.0	1.2	1.4	0.8	1.4	1.3	1.9	1.2	1.6	
R08	2.0	1.5	2.1	2.1	1.9	1.5	1.9	1.8	1.7	1.4	1.9	1.7	② ３０分より少ない
R07	2.3	1.1	1.8	1.8	1.9	1.3	1.8	1.1	1.8	2.2	1.9	1.5	
R08	2.1	1.6	2.4	2.0	3.1	1.9	2.1	2.3	1.7	2.1	2.5	2.0	③ ３０分～１時間未満
R07	1.7	1.3	2.1	1.5	3.0	2.3	2.1	1.7	2.0	1.2	2.3	1.8	
R08	3.9	3.2	6.3	4.7	8.1	5.9	5.2	4.2	5.0	4.3	6.4	4.8	④ １時間～２時間未満
R07	4.2	3.9	7.0	4.6	7.6	5.8	5.6	3.0	5.5	3.6	6.5	4.6	
R08	14.1	10.6	15.9	12.6	18.1	15.6	14.2	11.7	13.1	10.3	15.9	13.1	⑤ ２時間～３時間未満
R07	11.5	10.2	17.3	12.3	18.9	14.9	14.8	11.3	13.1	10.5	16.4	12.6	
R08	18.5	13.7	20.3	18.0	21.9	19.9	17.8	16.9	18.9	16.3	20.2	17.9	⑥ ３時間～４時間未満
R07	19.2	17.2	19.3	18.6	20.7	20.4	19.6	16.2	18.5	16.3	19.8	18.4	
R08	16.4	15.8	16.7	17.1	15.3	17.4	16.1	16.0	14.6	17.0	15.8	16.9	⑦ ４時間～５時間未満
R07	16.5	15.5	15.8	16.8	15.7	16.7	16.4	17.4	15.7	15.0	15.9	16.5	
R08	11.0	15.5	10.8	12.7	9.7	11.0	11.3	11.7	13.1	13.0	10.8	12.2	⑧ ５時間～６時間未満
R07	12.8	14.9	11.7	12.2	10.3	11.6	11.8	13.3	12.7	14.4	11.4	12.7	
R08	29.7	35.7	23.8	28.8	20.6	25.2	29.7	33.5	30.4	33.4	24.9	29.5	⑨ ６時間以上
R07	30.2	34.4	23.8	30.1	20.6	25.4	26.7	34.4	29.3	34.9	24.4	30.2	
R08	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R07	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	

Ｑ３５　休日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	6.5	5.1	3.3	4.0	3.9	2.8	6.3	4.9	5.9	5.3	4.6	4.0	① 相手との通話
R07	*4.9*	*5.3*	*3.7*	*2.8*	*3.0*	*3.2*	*5.0*	*4.6*	*6.2*	*5.9*	*4.1*	*3.9*	
R08	2.5	2.0	2.6	2.6	2.9	1.9	1.9	2.2	3.0	1.9	2.6	2.2	② メール
R07	*3.5*	*1.7*	*2.2*	*1.9*	*2.6*	*1.9*	*2.3*	*1.4*	*3.3*	*2.4*	*2.6*	*1.9*	
R08	38.0	38.0	40.3	41.4	41.5	40.1	38.5	34.7	34.9	37.3	39.5	39.1	③ ＳＮＳ（ＬＩＮＥ、Ｘ［旧ツイッター］、インスタグラム等）
R07	*35.1*	*32.2*	*38.0*	*35.0*	*37.7*	*38.5*	*32.7*	*31.8*	*34.4*	*30.9*	*36.3*	*34.9*	
R08	27.4	29.7	31.6	31.3	30.9	35.6	30.7	33.1	31.0	32.5	30.8	33.2	④ 動画サイト
R07	*31.2*	*39.0*	*33.5*	*38.4*	*35.0*	*37.4*	*35.6*	*37.5*	*32.5*	*38.6*	*34.0*	*38.0*	
R08	7.9	8.3	6.9	6.5	7.4	6.4	9.0	9.9	9.3	8.3	7.8	7.4	⑤ 音楽サイトや音楽プレーヤー
R07	*8.6*	*7.1*	*6.8*	*7.0*	*7.3*	*6.5*	*8.7*	*7.2*	*8.1*	*6.7*	*7.6*	*6.8*	
R08	16.4	15.1	14.0	12.9	11.7	11.5	12.5	14.0	14.6	13.2	13.2	12.8	⑥ オンラインゲーム
R07	*15.0*	*13.4*	*14.0*	*13.1*	*12.8*	*11.1*	*14.5*	*16.4*	*13.6*	*14.4*	*13.7*	*13.1*	
R08	0.1	0.4	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	⑦ ブログや掲示板
R07	*0.4*	*0.1*	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	*0.2*	*0.0*	*0.1*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	
R08	0.3	1.1	0.9	0.7	1.3	0.9	0.7	0.7	0.8	0.7	1.0	0.8	⑧ 情報・ニュース等の検索
R07	*0.9*	*0.7*	*1.1*	*1.1*	*1.0*	*0.8*	*0.5*	*0.9*	*1.2*	*0.5*	*1.0*	*0.8*	
R08	0.5	0.2	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	0.2	0.2	⑨ 静止画や動画の撮影
R07	*0.4*	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.1*	*0.2*	*0.2*	*0.1*	*0.3*	*0.3*	*0.2*	*0.2*	
R08	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R07	*0.0*	*0.2*	*0.2*	*0.2*	*0.1*	*0.1*	*0.3*	*0.2*	*0.2*	*0.1*	*0.2*	*0.1*	

Ｑ３６　休日に、１日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	67.4	70.8	65.5	71.3	65.7	71.3	63.4	67.5	61.9	69.3	64.9	70.4	① 全く、またはほとんどしない
R07	*64.4*	*70.6*	*65.7*	*70.1*	*64.5*	*70.4*	*63.6*	*68.0*	*63.3*	*68.7*	*64.5*	*69.7*	
R08	14.5	12.6	15.9	13.5	16.5	13.6	16.6	15.1	16.3	12.4	16.2	13.6	② ３０分より少ない
R07	*15.5*	*13.1*	*15.8*	*13.7*	*17.4*	*13.7*	*15.7*	*14.6*	*16.2*	*12.6*	*16.4*	*13.7*	
R08	10.0	8.5	9.2	6.8	9.5	7.6	10.1	8.5	10.3	9.2	9.7	7.8	③ ３０分～１時間未満
R07	*12.3*	*8.4*	*9.6*	*7.4*	*8.8*	*8.5*	*10.3*	*9.2*	*10.2*	*8.3*	*9.7*	*8.3*	
R08	5.0	3.5	5.1	4.6	5.0	4.1	5.0	5.1	6.1	4.5	5.2	4.4	④ １時間～２時間未満
R07	*4.9*	*4.4*	*5.5*	*4.8*	*5.6*	*4.2*	*6.0*	*4.0*	*5.3*	*4.8*	*5.5*	*4.4*	
R08	1.8	2.3	2.4	1.8	1.8	1.6	2.9	2.0	2.9	1.7	2.3	1.8	⑤ ２時間～３時間未満
R07	*1.7*	*1.8*	*2.0*	*1.9*	*1.9*	*1.5*	*2.6*	*2.2*	*2.3*	*2.2*	*2.1*	*1.8*	
R08	0.2	0.8	1.0	0.7	0.6	0.6	1.2	1.0	1.2	0.9	0.9	0.8	⑥ ３時間～４時間未満
R07	*0.5*	*0.9*	*0.6*	*0.9*	*0.7*	*0.7*	*0.7*	*0.8*	*1.5*	*1.7*	*0.8*	*0.9*	
R08	0.2	0.6	0.4	0.6	0.3	0.5	0.4	0.5	0.5	0.6	0.4	0.6	⑦ ４時間～５時間未満
R07	*0.2*	*0.3*	*0.4*	*0.4*	*0.5*	*0.3*	*0.5*	*0.3*	*0.3*	*0.6*	*0.4*	*0.4*	
R08	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.3	0.5	0.2	0.3	⑧ ５時間～６時間未満
R07	*0.2*	*0.2*	*0.3*	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	*0.3*	*0.1*	*0.5*	*0.2*	*0.3*	
R08	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	⑨ ６時間～７時間未満
R07	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.2*	*0.1*	*0.1*	*0.1*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	*0.1*	*0.2*	
R08	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.7	0.2	0.2	⑩ ７時間以上
R07	*0.3*	*0.2*	*0.2*	*0.3*	*0.2*	*0.2*	*0.4*	*0.4*	*0.5*	*0.3*	*0.3*	*0.3*	

Ｑ３７　普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でメールやメッセージ（ＬＩＮＥ等）のやりとりをすることがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	25.0	26.5	29.9	32.1	30.7	31.8	31.8	30.4	28.7	29.1	29.9	30.8	ア 家庭で勉強しているとき
R07	*23.0*	*26.0*	*28.0*	*31.2*	*29.6*	*31.0*	*29.7*	*33.9*	*26.2*	*30.1*	*28.2*	*31.0*	
R08	9.5	9.4	9.6	11.7	10.3	12.3	9.1	12.8	9.6	10.7	9.8	11.8	イ 家族と一緒に食事をしているとき
R07	*9.0*	*8.6*	*10.3*	*11.5*	*9.2*	*11.6*	*10.0*	*10.5*	*9.3*	*10.8*	*9.6*	*11.0*	
R08	59.3	64.7	54.6	59.2	54.3	58.2	60.2	62.1	59.9	62.8	56.5	60.3	ウ 夜、ふとんやベッドに入ってから
R07	*60.7*	*61.0*	*52.2*	*55.9*	*50.6*	*59.1*	*59.3*	*61.2*	*58.6*	*62.4*	*54.3*	*59.2*	
R08	47.6	46.1	48.4	45.2	43.8	44.2	44.9	43.0	46.2	44.3	45.8	44.5	エ パソコンやゲームをしているとき
R07	*47.6*	*45.0*	*46.2*	*45.5*	*45.9*	*42.5*	*42.9*	*46.2*	*47.1*	*43.9*	*45.8*	*44.3*	
R08	36.8	36.4	43.8	46.7	45.0	49.0	36.6	38.4	35.6	37.2	41.4	44.1	オ テレビを見ているとき
R07	*38.3*	*38.2*	*45.0*	*47.3*	*47.6*	*51.0*	*37.4*	*38.5*	*38.7*	*40.8*	*43.3*	*45.5*	
R08	0.7	0.3	0.6	0.9	0.5	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	カ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R07	*0.1*	*0.5*	*0.5*	*0.8*	*0.4*	*0.6*	*0.6*	*0.5*	*0.4*	*0.7*	*0.4*	*0.6*	
R08	7.7	5.7	8.2	6.2	9.0	7.0	7.3	6.6	7.5	6.8	8.2	6.6	キ その他
R07	*7.4*	*6.3*	*8.2*	*7.0*	*9.1*	*6.7*	*7.0*	*6.1*	*7.8*	*5.6*	*8.2*	*6.5*	

Ｑ３８　インターネットの利用に関して、どのような経験をしたことがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	76.9	76.6	80.7	79.0	81.7	80.6	78.2	78.8	76.5	76.5	79.8	79.0	ア 気がつくと、思ったより長い時間ネットをしていることがある
R07	*78.5*	*78.3*	*80.1*	*77.7*	*80.9*	*81.6*	*78.8*	*80.7*	*77.1*	*78.4*	*79.7*	*79.7*	
R08	33.5	33.8	37.1	37.0	37.6	41.3	34.0	37.3	33.7	32.8	36.1	37.8	イ やるべき事があっても、まず先にSNSサイトやメールをチェックする
R07	*35.3*	*33.4*	*35.1*	*35.8*	*37.4*	*39.6*	*33.7*	*35.1*	*31.5*	*33.4*	*35.2*	*36.5*	
R08	16.8	14.5	18.3	20.7	18.6	20.5	16.4	15.5	16.3	14.5	17.7	18.5	ウ ネットが原因で、勉強に悪影響が出て成績が下がった
R07	*14.6*	*16.9*	*16.3*	*21.2*	*17.5*	*21.1*	*14.2*	*16.2*	*13.5*	*14.8*	*15.9*	*19.1*	
R08	36.3	35.4	34.7	35.4	36.1	37.4	35.1	36.2	32.9	31.1	35.2	35.7	エ 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている
R07	*30.2*	*34.2*	*31.5*	*35.6*	*33.3*	*36.9*	*33.6*	*35.0*	*29.6*	*32.7*	*32.1*	*35.5*	
R08	16.1	13.4	14.9	14.0	13.1	14.1	15.6	14.2	17.3	17.4	14.8	14.5	オ ネットで新しく知り合いを作ることがある
R07	*18.4*	*14.9*	*15.4*	*15.3*	*14.4*	*15.3*	*16.6*	*15.1*	*19.6*	*17.8*	*16.1*	*15.5*	
R08	27.5	18.5	28.3	27.4	29.3	28.9	24.3	23.0	25.1	21.4	27.5	25.7	カ ネットをする時間や頻度を減らそうとしても、できないことがある
R07	*19.8*	*20.8*	*25.6*	*25.0*	*28.0*	*28.4*	*23.0*	*21.9*	*22.4*	*22.2*	*25.1*	*25.0*	
R08	6.5	4.3	8.2	7.1	8.8	7.4	5.3	4.9	6.1	5.8	7.5	6.4	キ ネットをする時間や回数、内容を家族や先生に隠そうとすることがある
R07	*4.5*	*6.0*	*7.9*	*7.9*	*7.2*	*7.3*	*5.9*	*5.1*	*6.2*	*5.0*	*6.8*	*6.7*	
R08	3.2	2.8	3.5	3.6	3.2	3.4	3.0	3.4	2.9	3.9	3.2	3.5	ク ネットをしていない時はイライラしたり憂鬱な気持ちになったりする
R07	*2.5*	*3.4*	*3.4*	*3.5*	*3.3*	*3.2*	*3.0*	*2.9*	*4.1*	*2.6*	*3.3*	*3.2*	
R08	6.3	5.4	5.9	6.2	5.6	6.3	5.5	5.8	5.9	5.5	5.8	6.0	ケ 家族や友人と外出するよりもネットを利用することを選ぶことがある
R07	*5.6*	*6.4*	*5.8*	*7.1*	*5.4*	*6.6*	*6.5*	*6.6*	*7.1*	*6.7*	*5.9*	*6.7*	
R08	22.1	24.1	25.6	27.4	26.4	29.5	24.0	24.9	24.6	24.4	25.2	27.1	コ 様々な問題から気をそらすためにネットで時間を過ごすことがある
R07	*23.2*	*24.9*	*24.2*	*25.9*	*25.9*	*28.5*	*20.9*	*24.3*	*23.7*	*24.7*	*24.1*	*26.3*	
R08	9.0	9.9	6.8	6.5	7.1	6.5	7.7	6.4	8.2	8.2	7.4	7.0	サ 該当する選択肢はない
R07	*8.5*	*8.6*	*7.4*	*7.2*	*7.4*	*6.4*	*9.0*	*7.8*	*9.0*	*7.1*	*7.9*	*7.1*	

Q３９　毎日同じくらいの時刻に起きている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	66.9	67.8	67.0	67.1	66.4	67.4	64.1	66.3	61.5	64.3	65.6	66.8	① 当てはまる
R07	*68.4*	*64.0*	*69.3*	*68.4*	*68.4*	*65.6*	*66.4*	*68.3*	*65.4*	*63.6*	*68.0*	*66.4*	
R08	28.6	27.9	28.4	28.8	29.6	28.7	30.9	29.9	33.6	30.7	29.9	29.1	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*28.0*	*32.1*	*26.6*	*27.8*	*27.3*	*30.2*	*30.6*	*28.7*	*29.7*	*31.7*	*28.0*	*29.7*	
R08	3.7	3.3	3.6	3.3	3.2	3.1	4.3	2.9	3.9	3.4	3.6	3.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*2.6*	*3.0*	*3.3*	*3.0*	*3.3*	*3.2*	*2.2*	*2.2*	*4.0*	*3.0*	*3.2*	*2.9*	
R08	0.8	1.1	1.0	0.8	0.7	0.9	0.7	0.9	1.0	1.6	0.8	0.9	④ 当てはまらない
R07	*0.9*	*0.9*	*0.7*	*0.8*	*1.0*	*1.0*	*0.8*	*0.8*	*1.0*	*1.7*	*0.9*	*1.0*	

Q４０　毎日同じくらいの時刻に寝ている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	38.2	41.3	42.4	43.1	41.9	41.7	37.5	39.1	35.3	38.2	40.2	41.2	① 当てはまる
R07	*42.3*	*41.1*	*45.1*	*43.4*	*43.7*	*39.8*	*40.7*	*41.2*	*40.6*	*38.4*	*43.0*	*40.9*	
R08	45.4	42.0	41.7	41.5	42.6	41.7	46.0	43.6	45.6	44.1	43.5	42.3	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*41.2*	*41.6*	*41.0*	*42.0*	*41.3*	*44.0*	*43.8*	*41.8*	*42.9*	*41.9*	*41.8*	*42.6*	
R08	12.7	13.4	13.2	12.4	12.8	13.7	13.3	13.3	14.8	13.1	13.2	13.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*13.0*	*14.5*	*10.7*	*11.8*	*12.0*	*12.7*	*12.9*	*13.7*	*13.0*	*14.2*	*12.0*	*13.0*	
R08	3.7	3.3	2.8	3.0	2.7	2.9	3.3	3.9	4.2	4.5	3.1	3.3	④ 当てはまらない
R07	*3.5*	*2.8*	*3.2*	*2.8*	*3.0*	*3.5*	*2.7*	*3.4*	*3.5*	*5.4*	*3.1*	*3.5*	

Q４１　体調はよい。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	51.5	49.4	54.0	51.1	53.3	50.2	52.4	51.5	50.8	47.8	52.9	50.3	① 当てはまる
R07	*49.7*	*46.6*	*54.5*	*51.7*	*52.2*	*48.4*	*50.7*	*49.1*	*48.8*	*47.4*	*51.9*	*49.1*	
R08	39.8	37.8	36.1	37.5	37.0	38.6	37.3	38.7	39.4	41.4	37.3	38.6	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*40.3*	*40.5*	*35.4*	*37.1*	*37.2*	*39.9*	*39.4*	*39.8*	*41.0*	*40.5*	*37.9*	*39.3*	
R08	7.8	11.1	8.6	9.3	8.0	9.4	9.2	8.1	8.2	8.8	8.4	9.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*8.3*	*10.8*	*8.4*	*9.3*	*8.6*	*9.8*	*8.3*	*9.4*	*8.9*	*10.3*	*8.5*	*9.8*	
R08	0.9	1.7	1.3	2.1	1.7	1.8	1.0	1.7	1.6	2.0	1.4	1.9	④ 当てはまらない
R07	*1.7*	*2.1*	*1.6*	*1.8*	*2.0*	*1.9*	*1.6*	*1.6*	*1.3*	*1.7*	*1.7*	*1.8*	

Q４２　熟睡ができている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	29.8	31.4	33.4	34.3	32.4	32.6	31.9	31.7	33.1	31.8	32.5	32.7	① 当てはまる
R07	*32.7*	*29.4*	*36.2*	*35.1*	*34.3*	*32.1*	*32.6*	*32.4*	*33.5*	*33.2*	*34.3*	*32.8*	
R08	42.1	40.8	39.1	39.6	41.2	40.6	42.9	41.9	42.5	43.1	41.1	40.9	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*41.2*	*43.7*	*39.1*	*40.4*	*38.9*	*41.3*	*41.9*	*42.5*	*43.8*	*42.9*	*40.3*	*41.7*	
R08	22.1	21.5	21.6	20.7	20.8	20.8	20.9	20.8	19.6	20.0	21.0	20.8	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*21.5*	*21.4*	*19.2*	*19.4*	*21.5*	*20.4*	*20.8*	*19.8*	*18.1*	*18.2*	*20.4*	*19.9*	
R08	6.0	6.2	6.0	5.5	5.6	5.9	4.3	5.6	4.8	5.1	5.4	5.7	④ 当てはまらない
R07	*4.5*	*5.6*	*5.4*	*5.0*	*5.3*	*6.2*	*4.7*	*5.3*	*4.7*	*5.7*	*5.1*	*5.6*	

Q４３　学校生活に充実感や満足感を感じている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	41.2	34.1	46.2	38.6	43.9	37.4	39.2	36.1	42.3	36.7	43.3	37.1	① 当てはまる
R07	*42.7*	*31.7*	*47.6*	*40.9*	*45.0*	*38.6*	*42.9*	*39.5*	*45.0*	*36.2*	*45.1*	*38.4*	
R08	48.3	47.8	41.7	44.7	43.3	46.5	47.1	47.5	46.9	47.1	44.4	46.4	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*45.1*	*50.9*	*39.9*	*43.6*	*42.5*	*45.4*	*45.5*	*46.1*	*43.4*	*49.8*	*42.7*	*46.1*	
R08	8.3	13.1	9.2	12.0	9.7	11.8	10.2	12.5	8.6	12.4	9.4	12.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*9.2*	*12.3*	*9.2*	*11.3*	*9.4*	*11.9*	*9.2*	*10.9*	*8.9*	*9.7*	*9.2*	*11.3*	
R08	2.2	4.9	2.9	4.6	3.1	4.3	3.5	3.9	2.1	3.8	2.9	4.3	④ 当てはまらない
R07	*2.9*	*5.1*	*3.3*	*4.2*	*3.1*	*4.2*	*2.4*	*3.5*	*2.7*	*4.3*	*3.0*	*4.2*	

Q４４　友達とよく話をする。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	71.7	69.8	73.4	69.6	72.5	69.6	70.4	70.0	71.4	66.8	72.2	69.3	① 当てはまる
R07	*75.8*	*67.9*	*73.5*	*70.0*	*73.0*	*70.0*	*73.1*	*71.8*	*71.5*	*67.6*	*73.2*	*69.8*	
R08	23.8	26.1	22.0	24.6	22.7	24.8	24.8	25.0	24.2	27.6	23.2	25.2	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*19.3*	*26.4*	*21.4*	*24.6*	*22.1*	*24.4*	*22.5*	*23.8*	*23.7*	*27.3*	*21.9*	*24.9*	
R08	3.7	2.8	3.7	4.4	3.9	4.4	4.0	4.2	3.6	4.1	3.8	4.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*3.7*	*4.5*	*4.0*	*4.1*	*3.8*	*4.3*	*3.4*	*3.4*	*3.3*	*3.6*	*3.7*	*4.0*	
R08	0.8	1.4	0.8	1.4	0.8	1.2	0.9	0.8	0.7	1.5	0.8	1.2	④ 当てはまらない
R07	*1.1*	*1.1*	*1.1*	*1.3*	*1.1*	*1.3*	*1.1*	*1.0*	*1.5*	*1.5*	*1.2*	*1.3*	

Q４５　周りの人は、自分の良いところをよく認めてくれていると感じる。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	37.1	36.1	43.9	41.4	43.3	41.2	35.6	35.9	41.5	38.8	41.5	39.6	① 当てはまる
R07	38.1	34.5	45.1	41.6	43.3	40.5	36.6	39.0	40.9	38.8	41.9	39.8	
R08	53.0	51.9	46.7	48.0	47.4	48.6	52.0	53.1	49.9	51.4	48.7	49.8	② どちらかといえば、当てはまる
R07	51.3	51.2	45.1	47.0	46.1	48.7	52.6	51.5	48.1	51.6	47.6	49.3	
R08	7.7	8.8	7.5	8.1	7.3	8.0	9.7	8.6	6.4	7.4	7.6	8.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	8.2	11.6	7.8	8.3	8.2	8.4	8.6	7.3	8.3	6.7	8.2	8.3	
R08	2.2	3.3	1.9	2.5	2.1	2.3	2.6	2.5	2.2	2.4	2.1	2.5	④ 当てはまらない
R07	2.4	2.7	2.0	3.0	2.4	2.3	2.2	2.2	2.7	2.8	2.3	2.6	

Q４６　人が困っている時は、進んで助けるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	41.0	41.0	42.7	40.8	44.3	41.7	41.7	40.9	42.9	38.6	43.0	40.9	① 当てはまる
R07	42.9	37.6	47.2	43.3	44.4	44.0	44.5	39.2	44.0	41.2	45.0	42.1	
R08	52.2	50.9	49.7	50.3	48.0	49.8	50.0	49.7	49.3	52.0	49.3	50.3	② どちらかといえば、当てはまる
R07	48.9	51.7	45.4	48.2	48.2	48.1	48.3	52.7	47.6	49.3	47.5	49.4	
R08	5.5	6.5	6.4	7.5	6.6	7.5	7.0	7.8	6.7	7.7	6.6	7.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	6.2	8.8	6.4	7.2	6.4	6.7	6.0	6.9	6.7	7.4	6.3	7.2	
R08	1.2	1.6	1.3	1.4	1.1	1.1	1.3	1.6	1.1	1.7	1.2	1.4	④ 当てはまらない
R07	2.0	1.9	1.0	1.2	1.0	1.2	1.1	1.2	1.6	2.2	1.2	1.4	

Q４７　新聞やテレビのニュースなどに関心がある。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	14.7	16.4	23.3	22.7	22.1	21.8	16.5	19.5	17.1	18.4	20.3	20.8	① 当てはまる
R07	16.4	17.2	21.4	24.8	21.9	21.5	17.3	19.5	18.5	18.1	20.1	21.2	
R08	46.5	43.6	43.1	42.6	43.4	43.4	41.6	41.6	43.8	43.2	43.3	42.9	② どちらかといえば、当てはまる
R07	41.0	42.0	42.4	41.4	40.8	41.2	41.5	41.3	42.6	39.6	41.6	41.1	
R08	27.6	27.5	23.5	24.7	24.2	23.6	29.5	26.2	26.9	26.4	25.5	25.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	27.5	27.2	25.9	23.1	25.9	26.0	28.5	26.6	25.5	27.2	26.4	25.6	
R08	11.2	12.5	10.1	10.0	10.3	11.3	12.4	12.8	12.3	12.0	10.9	11.4	④ 当てはまらない
R07	15.0	13.5	10.3	10.7	11.4	11.3	12.7	12.6	13.4	15.1	11.9	12.0	

Q４８　心配なことがあり、学校生活に集中できない。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	3.8	5.8	5.2	6.0	4.9	5.6	4.5	5.0	5.0	4.3	4.9	5.5	① 当てはまる
R07	5.5	5.4	4.7	6.7	4.6	4.7	3.6	5.4	4.4	5.6	4.5	5.5	
R08	12.8	16.5	14.0	15.3	15.1	15.0	12.8	13.0	14.6	14.2	14.2	14.8	② どちらかといえば、当てはまる
R07	14.8	14.6	12.8	15.0	14.0	14.9	12.2	13.6	12.1	13.5	13.2	14.5	
R08	39.5	37.5	40.5	37.8	39.2	40.5	38.0	37.7	38.3	37.0	39.3	38.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	33.5	40.5	37.5	38.6	37.8	40.8	34.2	34.5	36.4	39.2	36.6	38.9	
R08	43.9	40.2	40.3	40.9	40.8	38.9	44.6	44.2	42.0	44.6	41.7	41.1	④ 当てはまらない
R07	46.2	39.5	45.0	39.7	43.6	39.7	50.0	46.5	47.0	41.7	45.7	41.1	

Q４９　つまらなく過ごすことが多い。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	6.6	11.5	7.9	10.7	7.0	9.0	8.7	10.3	7.9	9.7	7.6	10.0	① 当てはまる
R07	8.9	11.0	7.0	10.1	7.2	8.6	6.7	9.3	8.4	10.9	7.4	9.6	
R08	18.4	21.8	16.8	20.9	17.5	21.4	17.9	20.6	18.9	22.9	17.6	21.4	② どちらかといえば、当てはまる
R07	17.7	21.6	17.5	19.3	17.6	20.7	17.6	19.4	18.8	21.6	17.7	20.3	
R08	41.0	39.0	40.3	38.5	39.6	39.5	39.0	36.9	38.8	38.8	39.7	38.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	39.2	40.9	37.9	39.0	38.3	39.3	38.7	37.3	38.4	40.2	38.4	39.1	
R08	33.9	27.7	35.0	29.9	36.0	30.1	34.4	32.1	34.4	28.6	35.1	30.0	④ 当てはまらない
R07	34.2	26.5	37.6	31.6	36.9	31.3	36.9	34.0	34.4	27.4	36.5	30.9	

Q５０　感情の起伏を抑えられないことがある。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	5.3	8.8	7.2	8.6	6.7	8.2	5.5	7.2	5.2	7.2	6.3	8.0	① 当てはまる
R07	7.6	9.4	7.5	9.5	7.1	6.8	5.6	8.1	6.9	7.6	7.0	8.1	
R08	15.1	18.3	17.2	18.7	15.5	19.1	17.7	18.1	16.8	18.1	16.4	18.6	② どちらかといえば、当てはまる
R07	17.5	20.3	18.5	20.0	17.6	20.9	15.0	17.1	16.6	20.4	17.3	19.9	
R08	34.7	32.8	34.8	32.7	35.6	33.6	34.1	32.1	33.8	32.6	34.8	32.9	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	35.1	35.5	33.9	33.1	34.5	34.5	32.2	32.0	32.3	32.5	33.8	33.5	
R08	44.8	40.1	40.8	40.1	42.2	39.2	42.7	42.6	44.1	42.1	42.4	40.4	④ 当てはまらない
R07	39.7	34.8	40.0	37.5	40.8	37.8	47.2	42.8	44.2	39.5	41.9	38.5	

Q５１　一度始めたことは最後までやり遂げるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	28.2	30.6	29.2	29.7	29.4	26.5	27.1	29.3	27.4	26.8	28.6	28.2	① 当てはまる
R07	*26.5*	*28.5*	*29.8*	*28.8*	*28.7*	*27.0*	*30.3*	*28.0*	*27.3*	*27.1*	*28.9*	*27.8*	
R08	56.3	53.2	55.0	54.0	54.7	56.1	56.0	55.0	55.1	56.4	55.2	55.2	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*56.6*	*55.8*	*54.0*	*54.5*	*55.2*	*55.7*	*55.3*	*56.8*	*56.2*	*54.1*	*55.1*	*55.4*	
R08	14.1	14.5	13.1	14.4	13.4	14.8	14.8	13.8	15.5	13.9	13.9	14.4	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*15.2*	*13.1*	*13.8*	*14.1*	*13.9*	*14.6*	*12.6*	*12.3*	*14.1*	*15.1*	*13.8*	*14.0*	
R08	1.4	1.7	2.8	1.8	2.4	2.6	2.1	1.9	2.0	2.9	2.3	2.3	④ 当てはまらない
R07	*1.7*	*2.7*	*2.4*	*2.6*	*2.2*	*2.7*	*1.8*	*2.8*	*2.4*	*3.7*	*2.2*	*2.8*	

Q５２　難しいことでも挑戦することが多い。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	19.0	20.4	22.9	22.0	21.9	20.5	18.7	19.0	20.2	19.2	21.2	20.5	① 当てはまる
R07	*20.8*	*18.4*	*22.5*	*22.3*	*23.0*	*20.1*	*21.1*	*18.4*	*18.9*	*17.9*	*21.9*	*20.0*	
R08	47.7	47.7	47.7	46.5	47.9	46.8	47.0	47.2	47.1	46.6	47.6	46.9	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*46.6*	*47.8*	*47.3*	*45.4*	*46.4*	*46.0*	*44.3*	*46.7*	*49.8*	*44.6*	*46.8*	*45.9*	
R08	28.1	26.4	25.2	27.8	26.3	28.3	29.3	29.5	27.2	28.5	26.8	28.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*27.7*	*28.6*	*25.9*	*26.9*	*26.7*	*29.0*	*30.6*	*29.8*	*26.6*	*31.6*	*27.2*	*28.9*	
R08	5.2	5.5	4.3	3.6	3.9	4.4	4.9	4.3	5.4	5.7	4.5	4.4	④ 当てはまらない
R07	*4.8*	*5.2*	*4.3*	*5.4*	*3.9*	*4.9*	*4.1*	*5.1*	*4.7*	*5.9*	*4.2*	*5.2*	

Q５３　人の役に立つ人間になりたいと思っている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	57.9	53.0	57.6	56.8	61.1	57.1	55.6	58.0	58.3	56.2	58.6	56.7	① 当てはまる
R07	*57.4*	*55.6*	*58.5*	*54.5*	*58.7*	*58.3*	*58.7*	*54.4*	*57.6*	*53.1*	*58.4*	*55.7*	
R08	35.1	38.6	36.2	35.6	31.9	35.3	36.6	34.1	36.0	35.9	34.6	35.6	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*35.8*	*36.2*	*34.6*	*36.8*	*34.0*	*33.2*	*34.5*	*37.2*	*35.0*	*37.1*	*34.5*	*35.6*	
R08	5.2	5.7	4.1	5.2	5.0	5.5	5.7	6.0	4.1	5.6	4.8	5.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*4.5*	*5.8*	*4.9*	*5.7*	*5.2*	*5.9*	*4.8*	*5.9*	*5.9*	*7.3*	*5.1*	*6.0*	
R08	1.7	2.7	2.1	2.3	2.0	2.1	2.1	1.9	1.6	2.3	2.0	2.2	④ 当てはまらない
R07	*2.4*	*2.5*	*1.9*	*3.0*	*2.1*	*2.6*	*1.9*	*2.6*	*1.5*	*2.6*	*2.0*	*2.7*	

Q５４　勉強と部活動の両立を目指している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	39.9	34.2	48.3	44.0	48.9	42.4	39.2	36.1	38.9	34.4	45.2	40.1	① 当てはまる
R07	*38.7*	*35.5*	*49.5*	*42.5*	*50.3*	*42.9*	*44.3*	*37.4*	*40.4*	*32.5*	*46.8*	*39.9*	
R08	34.7	32.6	34.3	33.0	33.1	32.0	37.5	35.0	35.9	34.3	34.6	33.1	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*34.2*	*31.4*	*35.1*	*34.4*	*33.0*	*31.7*	*34.6*	*38.0*	*34.8*	*33.3*	*34.2*	*33.6*	
R08	9.8	10.9	9.5	9.2	6.8	8.1	10.5	11.7	12.3	11.5	9.1	9.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*9.9*	*11.9*	*9.0*	*9.0*	*8.3*	*8.8*	*10.0*	*10.9*	*10.8*	*11.1*	*9.2*	*9.8*	
R08	5.9	7.3	5.5	6.1	4.4	5.2	6.5	6.4	6.9	9.1	5.5	6.3	④ 当てはまらない
R07	*6.8*	*6.3*	*4.6*	*7.6*	*3.7*	*5.6*	*5.8*	*7.1*	*8.0*	*10.2*	*5.1*	*7.0*	
R08	9.7	15.0	2.5	7.8	6.8	12.3	6.2	10.8	6.0	10.7	5.7	10.9	⑤ 部活動に所属していない
R07	*10.4*	*14.9*	*1.9*	*6.4*	*4.8*	*11.1*	*5.3*	*6.5*	*6.0*	*13.0*	*4.8*	*9.7*	

Q５５　部活動に集中できている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	46.8	39.7	50.0	41.7	49.7	43.0	47.3	39.9	41.7	37.4	48.1	41.2	① 当てはまる
R07	*47.2*	*38.2*	*52.6*	*42.6*	*52.6*	*43.0*	*49.7*	*41.9*	*45.7*	*37.8*	*50.8*	*41.6*	
R08	33.0	27.3	35.0	34.4	32.4	30.9	33.5	34.1	35.5	32.1	33.7	32.2	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*27.8*	*28.6*	*32.9*	*33.7*	*31.4*	*32.0*	*32.8*	*35.8*	*32.7*	*28.8*	*31.9*	*32.3*	
R08	6.4	10.2	8.0	9.5	7.0	8.3	7.8	10.4	11.2	11.2	7.9	9.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*8.0*	*9.7*	*8.9*	*10.0*	*7.7*	*8.4*	*8.6*	*9.1*	*9.5*	*9.6*	*8.4*	*9.2*	
R08	3.9	6.8	4.6	6.3	3.5	4.9	4.9	4.9	5.1	8.2	4.3	5.8	④ 当てはまらない
R07	*5.8*	*8.0*	*3.6*	*6.9*	*3.4*	*5.0*	*3.5*	*6.3*	*6.1*	*9.7*	*4.0*	*6.6*	
R08	9.9	16.0	2.5	8.2	7.5	13.0	6.5	10.7	6.5	11.2	6.0	11.4	⑤ 部活動に所属していない
R07	*11.1*	*15.6*	*2.0*	*6.9*	*4.9*	*11.7*	*5.4*	*6.9*	*6.1*	*14.0*	*4.9*	*10.3*	

Q５６　自分の個性や適性が分かっている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	28.8	28.6	34.2	32.7	32.7	29.8	27.4	26.4	30.1	29.1	31.6	29.8	① 当てはまる
R07	*32.3*	*26.4*	*36.1*	*32.3*	*32.7*	*29.4*	*28.8*	*26.6*	*32.4*	*27.6*	*32.9*	*29.2*	
R08	46.7	44.9	43.8	44.7	42.0	45.1	44.8	44.6	44.9	46.3	43.7	45.0	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*42.5*	*45.2*	*42.6*	*44.1*	*43.1*	*45.8*	*42.8*	*45.2*	*44.9*	*44.6*	*43.1*	*45.0*	
R08	19.0	19.4	16.8	17.6	19.4	19.1	21.4	21.9	18.7	17.5	18.9	19.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*19.9*	*21.6*	*16.4*	*17.6*	*18.4*	*18.6*	*21.3*	*21.5*	*16.9*	*20.1*	*18.3*	*19.3*	
R08	5.4	7.2	5.2	5.1	6.0	6.0	6.4	7.2	6.3	7.2	5.8	6.2	④ 当てはまらない
R07	*5.4*	*6.8*	*5.0*	*6.1*	*5.8*	*6.1*	*7.1*	*6.7*	*5.9*	*7.8*	*5.8*	*6.5*	

Q５７　自分の個性や適性が、学校や社会でどのように生かせるかをイメージできている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	15.7	17.7	19.3	20.1	17.9	17.7	13.7	15.1	15.9	16.4	17.2	17.8	① 当てはまる
R07	*16.5*	*16.8*	*20.7*	*19.6*	*17.7*	*16.4*	*15.8*	*15.5*	*16.8*	*15.1*	*18.0*	*17.0*	
R08	31.3	32.5	32.7	33.7	32.2	32.0	32.4	32.4	31.2	33.5	32.2	32.8	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*33.7*	*28.5*	*32.4*	*32.5*	*31.1*	*33.9*	*32.2*	*32.0*	*32.2*	*33.4*	*32.0*	*32.6*	
R08	38.1	35.4	34.5	34.4	36.0	36.5	39.1	37.6	38.7	33.8	36.6	35.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*36.9*	*39.9*	*33.5*	*34.0*	*37.2*	*35.8*	*36.4*	*36.9*	*36.9*	*34.9*	*36.0*	*35.7*	
R08	14.9	14.4	13.5	11.8	13.9	13.7	14.8	14.9	14.2	16.3	14.0	13.8	④ 当てはまらない
R07	*12.9*	*14.9*	*13.5*	*13.9*	*14.0*	*14.0*	*15.6*	*15.6*	*14.1*	*16.7*	*14.1*	*14.6*	

Q５８　自分の長所を伸ばそうとしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	37.2	37.4	41.3	38.9	40.9	37.7	37.3	35.5	36.6	36.2	39.6	37.4	① 当てはまる
R07	*40.8*	*35.9*	*41.3*	*38.7*	*42.2*	*37.7*	*39.3*	*36.1*	*41.4*	*36.4*	*41.3*	*37.4*	
R08	45.0	44.6	42.1	43.4	41.6	43.4	44.0	45.4	46.2	45.9	43.0	44.1	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*44.2*	*45.9*	*42.1*	*42.7*	*40.5*	*43.9*	*43.6*	*44.6*	*43.4*	*43.7*	*42.1*	*43.9*	
R08	13.3	14.4	13.2	13.8	13.5	15.1	14.0	14.9	12.8	13.6	13.4	14.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*11.5*	*13.3*	*12.9*	*14.0*	*13.7*	*14.1*	*13.6*	*14.6*	*11.5*	*15.2*	*13.0*	*14.2*	
R08	4.5	3.7	3.4	3.9	4.0	3.8	4.6	4.2	4.4	4.3	4.0	3.9	④ 当てはまらない
R07	*3.5*	*4.9*	*3.7*	*4.6*	*3.6*	*4.4*	*3.5*	*4.6*	*3.7*	*4.8*	*3.6*	*4.6*	

Q５９　相手の言葉や意見に耳を傾けるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	53.9	52.8	58.3	56.6	60.6	57.1	56.5	54.1	52.8	54.7	57.7	55.8	① 当てはまる
R07	*54.9*	*50.9*	*59.1*	*57.2*	*59.9*	*57.7*	*57.6*	*55.1*	*55.9*	*52.3*	*58.3*	*55.8*	
R08	43.9	43.8	38.5	39.9	36.7	39.7	40.9	42.1	44.2	41.6	39.4	40.7	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*41.1*	*44.8*	*37.8*	*39.9*	*37.5*	*39.4*	*39.8*	*42.5*	*40.4*	*43.8*	*38.6*	*41.1*	
R08	1.5	2.5	2.7	2.9	2.3	2.6	2.1	2.9	2.5	2.6	2.3	2.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*3.4*	*3.7*	*2.7*	*2.4*	*2.3*	*2.3*	*2.5*	*2.1*	*2.8*	*3.2*	*2.6*	*2.6*	
R08	0.8	1.0	0.5	0.6	0.4	0.6	0.4	1.0	0.5	1.0	0.5	0.7	④ 当てはまらない
R07	*0.6*	*0.7*	*0.3*	*0.5*	*0.3*	*0.5*	*0.2*	*0.3*	*0.9*	*0.7*	*0.4*	*0.5*	

Q６０　自分の考えを相手に的確に伝えている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	22.5	23.5	28.0	27.7	25.6	26.2	23.5	24.8	22.0	24.7	25.2	26.0	① 当てはまる
R07	*24.1*	*22.0*	*27.9*	*28.3*	*27.5*	*25.8*	*25.9*	*26.2*	*23.0*	*21.6*	*26.5*	*25.6*	
R08	51.8	49.1	49.2	49.4	50.6	48.4	49.7	50.4	52.3	49.4	50.4	49.2	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*48.3*	*45.7*	*49.2*	*49.1*	*49.3*	*51.0*	*49.9*	*48.8*	*51.7*	*51.7*	*49.6*	*49.8*	
R08	22.2	23.6	19.7	19.6	20.8	22.2	23.1	21.3	22.5	20.7	21.2	21.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*24.1*	*27.2*	*19.7*	*19.0*	*19.8*	*19.8*	*20.8*	*21.3*	*22.3*	*22.3*	*20.6*	*20.8*	
R08	3.5	3.8	3.1	3.3	2.9	3.3	3.6	3.6	3.2	5.2	3.2	3.6	④ 当てはまらない
R07	*3.6*	*5.1*	*3.2*	*3.6*	*3.3*	*3.5*	*3.4*	*3.7*	*3.1*	*4.4*	*3.3*	*3.8*	

Q６１　校則や公共のルール・マナーを守っている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	59.3	51.3	56.7	53.5	61.0	54.6	56.0	53.8	54.6	53.7	58.1	53.8	① 当てはまる
R07	*58.5*	*50.7*	*59.0*	*54.3*	*60.1*	*55.2*	*61.1*	*54.7*	*59.7*	*50.5*	*59.8*	*53.8*	
R08	37.1	43.0	39.8	41.9	36.2	40.7	40.2	41.1	41.7	40.9	38.6	41.3	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*37.1*	*43.8*	*37.7*	*40.5*	*37.4*	*40.5*	*35.9*	*41.2*	*37.1*	*43.9*	*37.2*	*41.4*	
R08	3.2	4.7	2.9	3.7	2.4	3.9	3.1	4.5	3.3	4.3	2.8	4.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*4.1*	*4.7*	*2.7*	*4.4*	*2.1*	*3.7*	*2.7*	*3.4*	*2.7*	*4.5*	*2.6*	*4.0*	
R08	0.4	1.0	0.7	1.0	0.4	0.8	0.8	0.6	0.5	1.0	0.6	0.8	④ 当てはまらない
R07	*0.4*	*0.9*	*0.6*	*0.8*	*0.4*	*0.6*	*0.3*	*0.7*	*0.5*	*1.1*	*0.5*	*0.8*	

Q６２　働くことの意義を理解している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	１年生	２年生	
R08	34.4	40.5	42.3	45.3	39.3	41.7	34.5	40.4	35.1	40.1	38.4	42.1	① 当てはまる
R07	*40.7*	*36.8*	*44.2*	*42.7*	*41.5*	*42.3*	*40.2*	*38.1*	*38.3*	*38.9*	*41.5*	*40.8*	
R08	51.1	45.7	45.0	42.2	45.2	45.6	49.6	47.3	49.7	48.6	46.9	45.4	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*46.7*	*48.4*	*44.1*	*44.4*	*45.3*	*44.2*	*46.3*	*48.9*	*47.8*	*47.4*	*45.6*	*45.8*	
R08	11.6	11.9	10.0	10.0	12.8	10.4	13.5	9.1	12.9	8.5	12.1	10.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*10.3*	*12.6*	*9.2*	*10.3*	*11.0*	*10.8*	*11.5*	*11.0*	*11.5*	*11.6*	*10.6*	*11.0*	
R08	2.8	2.0	2.6	2.4	2.6	2.3	2.4	3.2	2.3	2.8	2.6	2.5	④ 当てはまらない
R07	*2.4*	*2.2*	*2.4*	*2.6*	*2.2*	*2.7*	*1.9*	*2.0*	*2.5*	*2.1*	*2.2*	*2.4*	

Q６３　インターンシップ（職業体験）をしたいと考えている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	33.5	39.2	35.5	34.5	35.0	32.9	32.7	38.0	31.2	34.0	34.2	34.9	① 当てはまる
R07	*38.7*	*37.2*	*37.4*	*35.7*	*36.4*	*33.4*	*37.9*	*38.8*	*31.4*	*32.1*	*36.5*	*35.1*	
R08	48.0	36.4	40.3	36.0	42.1	39.8	42.9	41.0	43.6	41.4	42.4	38.9	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*40.8*	*38.3*	*40.1*	*36.2*	*39.4*	*38.8*	*42.5*	*41.4*	*44.3*	*39.4*	*40.8*	*38.6*	
R08	14.5	14.6	18.0	18.4	17.2	19.1	18.8	15.6	19.3	16.7	17.7	17.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*15.8*	*16.3*	*16.9*	*18.2*	*18.3*	*18.7*	*15.0*	*13.4*	*17.0*	*19.8*	*17.0*	*17.6*	
R08	4.0	9.8	6.2	11.0	5.6	8.3	5.6	5.4	5.9	7.9	5.7	8.6	④ 当てはまらない
R07	*4.8*	*8.2*	*5.6*	*10.0*	*5.9*	*9.0*	*4.6*	*6.4*	*7.3*	*8.7*	*5.7*	*8.7*	

Q６４　自分の役割に責任を持って行動している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	36.2	40.2	40.8	41.0	41.3	38.8	37.7	39.1	33.6	38.8	39.2	39.6	① 当てはまる
R07	*40.7*	*38.0*	*42.6*	*42.3*	*40.0*	*39.6*	*40.8*	*38.7*	*38.6*	*37.4*	*40.7*	*39.7*	
R08	54.6	51.3	51.1	50.8	50.2	51.9	53.3	52.1	56.5	51.4	52.1	51.5	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*51.1*	*52.0*	*49.7*	*48.5*	*51.0*	*50.2*	*51.3*	*52.8*	*52.0*	*52.9*	*50.8*	*50.7*	
R08	8.1	6.9	6.3	6.8	7.1	7.7	7.7	7.6	8.4	7.5	7.2	7.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*6.9*	*8.6*	*6.5*	*7.9*	*7.5*	*8.4*	*7.1*	*7.0*	*8.2*	*7.6*	*7.2*	*7.9*	
R08	1.1	1.6	1.8	1.4	1.3	1.6	1.3	1.2	1.5	2.3	1.5	1.6	④ 当てはまらない
R07	*1.3*	*1.4*	*1.1*	*1.3*	*1.5*	*1.8*	*0.8*	*1.5*	*1.2*	*2.2*	*1.2*	*1.6*	

Q６５　クラスや学校の行事等に積極的に取り組んでいる。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	42.5	40.0	46.8	43.5	46.0	43.4	42.3	43.2	43.2	42.2	45.0	42.9	① 当てはまる
R07	*44.1*	*37.4*	*47.0*	*42.4*	*45.3*	*42.4*	*45.7*	*43.0*	*44.2*	*41.9*	*45.6*	*42.0*	
R08	45.4	46.1	41.6	42.2	42.1	42.4	44.5	43.9	44.0	43.8	42.9	43.1	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*43.3*	*45.5*	*41.4*	*43.2*	*42.1*	*41.5*	*41.5*	*43.8*	*42.1*	*44.0*	*41.9*	*43.0*	
R08	10.1	10.3	9.4	11.6	9.9	11.6	10.6	10.2	10.7	10.6	10.0	11.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*10.9*	*13.0*	*9.7*	*11.7*	*10.6*	*12.5*	*10.6*	*10.6*	*11.6*	*10.6*	*10.5*	*11.8*	
R08	2.0	3.6	2.2	2.7	2.0	2.6	2.7	2.7	2.0	3.4	2.2	2.8	④ 当てはまらない
R07	*1.7*	*4.2*	*1.9*	*2.7*	*2.0*	*3.6*	*2.2*	*2.6*	*2.1*	*3.6*	*2.0*	*3.2*	

Q６６　ボランティア活動に進んで参加している（参加したいと思っている）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	13.3	13.3	15.9	17.5	16.8	18.7	14.6	19.3	14.0	17.1	15.5	17.8	① 当てはまる
R07	*12.8*	*14.0*	*16.4*	*17.4*	*17.0*	*18.6*	*16.0*	*18.8*	*13.4*	*14.7*	*15.8*	*17.4*	
R08	33.0	33.0	31.5	31.5	33.2	33.0	33.8	34.8	31.8	32.9	32.6	32.9	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*29.2*	*28.4*	*33.3*	*31.2*	*33.1*	*34.0*	*34.8*	*34.4*	*29.9*	*31.9*	*32.7*	*32.6*	
R08	34.1	28.9	31.8	28.3	30.5	27.2	32.9	25.0	32.1	25.4	31.8	27.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*33.2*	*31.2*	*30.9*	*29.3*	*30.8*	*26.8*	*27.9*	*26.3*	*32.7*	*30.3*	*30.8*	*28.2*	
R08	19.7	24.8	20.8	22.7	19.5	21.1	18.8	21.0	22.1	24.5	20.1	22.3	④ 当てはまらない
R07	*24.7*	*26.4*	*19.4*	*22.1*	*19.2*	*20.6*	*21.4*	*20.5*	*24.1*	*23.1*	*20.7*	*21.8*	

Q６７　地域の行事に進んで参加している（参加したいと思っている）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R08	11.6	14.4	16.4	16.1	15.6	14.9	13.8	15.5	14.0	15.4	15.0	15.3	① 当てはまる
R07	*14.8*	*13.4*	*16.8*	*17.0*	*16.2*	*14.7*	*15.7*	*14.1*	*13.0*	*12.2*	*15.7*	*14.8*	
R08	35.4	30.5	31.3	31.2	33.6	32.5	33.6	34.3	32.9	31.0	33.0	32.1	② どちらかといえば、当てはまる
R07	*31.6*	*29.5*	*34.1*	*29.4*	*33.3*	*33.0*	*32.5*	*32.6*	*33.4*	*30.7*	*33.3*	*31.4*	
R08	30.4	30.3	30.1	28.0	29.3	28.5	32.7	26.7	30.1	27.5	30.3	28.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R07	*30.5*	*31.2*	*28.7*	*29.9*	*29.1*	*29.1*	*30.9*	*29.9*	*28.8*	*29.7*	*29.4*	*29.7*	
R08	22.6	24.7	22.2	24.7	21.5	24.0	19.9	23.5	23.0	26.2	21.7	24.4	④ 当てはまらない
R07	*23.1*	*25.9*	*20.4*	*23.7*	*21.4*	*23.2*	*20.9*	*23.3*	*24.7*	*27.4*	*21.6*	*24.2*	

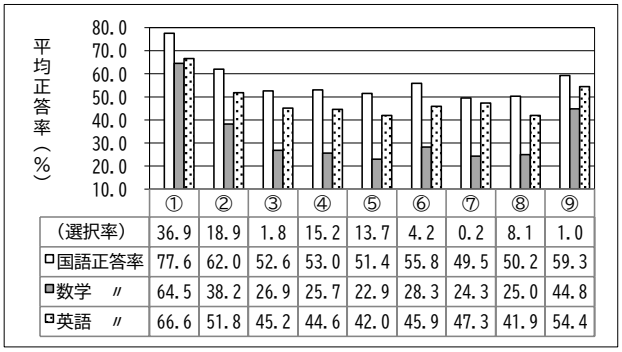
Ⅵ　学習状況に関する調査の回答 と 学力状況に関する調査の共通問題正答率 の関係

※　質問調査各設問（Ｑ８～３８）について、回答（マークした選択肢）群ごとに学力状況調査（教科に関する調査）共通問題の正答率をみたもの。ただし、無回答・マークミス群については、表示を省略している。

Ｑ８　高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものはどれですか。

＜選択肢＞

① ４年制国公立大学
② ４年制私立大学
③ 短期大学
④ 専修学校（専門学校等）・各種学校
⑤ 民間就職
⑥ 公務員就職
⑦ 家業
⑧ 未定
⑨ その他

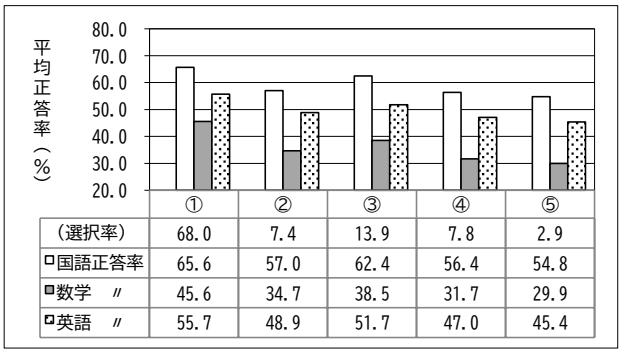


	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
（選択率）	36.9	18.9	1.8	15.2	13.7	4.2	0.2	8.1	1.0
□国語正答率	77.6	62.0	52.6	53.0	51.4	55.8	49.5	50.2	59.3
■数学　〃	64.5	38.2	26.9	25.7	22.9	28.3	24.3	25.0	44.8
□英語　〃	66.6	51.8	45.2	44.6	42.0	45.9	47.3	41.9	54.4

Ｑ９　自分の進路希望の達成について、どのように考えていますか。

＜選択肢＞

① 卒業までに達成しようと思っている
② 達成するまで、卒業後１、２年かかってもかまわないと思っている
③ 達成が困難な場合、卒業までに他の進路に変えてもいいと思っている
④ 何とかなるだろうと思っている
⑤ あまり考えないようにしている

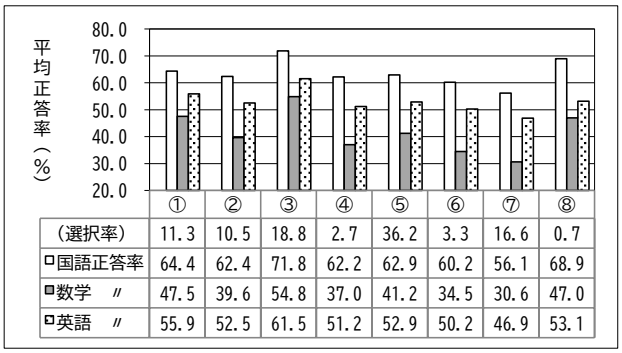


	①	②	③	④	⑤
（選択率）	68.0	7.4	13.9	7.8	2.9
□国語正答率	65.6	57.0	62.4	56.4	54.8
■数学　〃	45.6	34.7	38.5	31.7	29.9
□英語　〃	55.7	48.9	51.7	47.0	45.4

Ｑ１０　普段どんな気持ちで勉強していますか。

＜選択肢＞

① わからないことでも自分の力で答えを見つけられるようになりたい
② 多くのことを知り、社会に出て役立つ力を身に付けたい
③ 入学試験や就職試験に備えたい
④ 親や先生にほめられたい
⑤ 成績を上げたい
⑥ 先生や家族に言われているから勉強している
⑦ 特に考えていない
⑧ その他

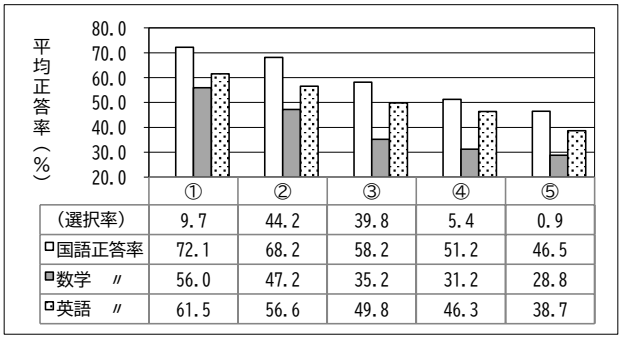


	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
（選択率）	11.3	10.5	18.8	2.7	36.2	3.3	16.6	0.7
□国語正答率	64.4	62.4	71.8	62.2	62.9	60.2	56.1	68.9
■数学　〃	47.5	39.6	54.8	37.0	41.2	34.5	30.6	47.0
□英語　〃	55.9	52.5	61.5	51.2	52.9	50.2	46.9	53.1

Ｑ１１　授業の内容がどの程度理解できますか。

＜選択肢＞

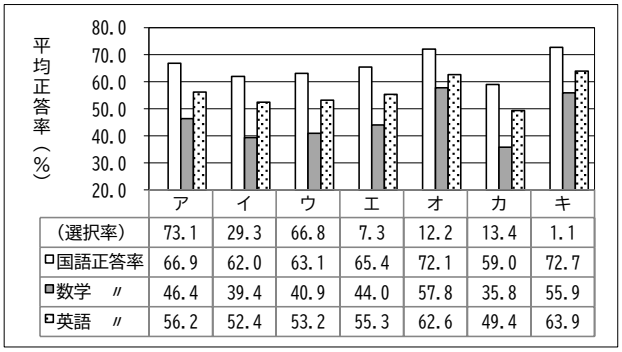
① ほとんどの授業がよく理解できる
② 理解できる授業の方が多い
③ 理解できる授業と理解できない授業が半分くらいずつある
④ 理解できない授業の方が多い
⑤ ほとんどの授業が理解できない



	①	②	③	④	⑤
（選択率）	9.7	44.2	39.8	5.4	0.9
□国語正答率	72.1	68.2	58.2	51.2	46.5
■数学　〃	56.0	47.2	35.2	31.2	28.8
□英語　〃	61.5	56.6	49.8	46.3	38.7

Q１２　授業でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。（該当するものをすべて選んでください。）
＜選択肢＞

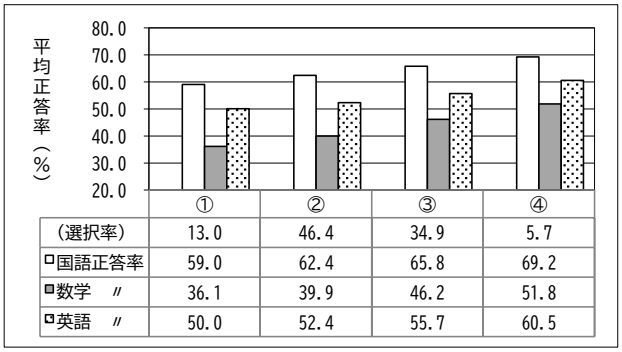
ア　自分で調べる
イ　学校の先生に質問する
ウ　友達に聞く
エ　家族に聞く
オ　塾・予備校や家庭教師の先生に質問する
カ　そのままにしておく
キ　その他



	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
（選択率）	73.1	29.3	66.8	7.3	12.2	13.4	1.1
□国語正答率	66.9	62.0	63.1	65.4	72.1	59.0	72.7
■数学　〃	46.4	39.4	40.9	44.0	57.8	35.8	55.9
□英語　〃	56.2	52.4	53.2	55.3	62.6	49.4	63.9

Q１３　授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか。
＜選択肢＞

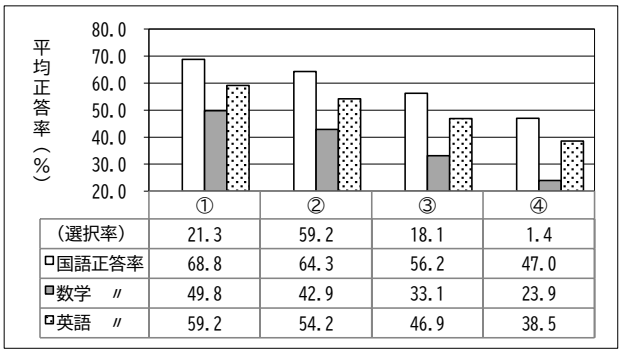
①　ほとんどの授業で行われている
②　多くの授業で行われている
③　行われている授業は少ない
④　行われている授業はほとんどない



	①	②	③	④
（選択率）	13.0	46.4	34.9	5.7
□国語正答率	59.0	62.4	65.8	69.2
■数学　〃	36.1	39.9	46.2	51.8
□英語　〃	50.0	52.4	55.7	60.5

Q１４　授業の中で、自分の考えを発表したり、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか。
＜選択肢＞

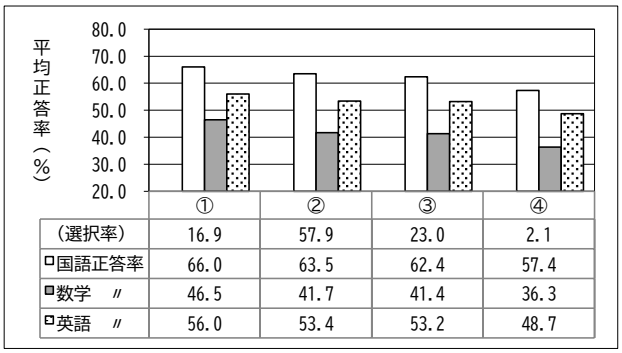
①　ほとんどの授業でそのような時間がある
②　多くの授業でそのような時間がある
③　そのような時間がある授業は少ない
④　そのような時間がある授業はほとんどない



	①	②	③	④
（選択率）	21.3	59.2	18.1	1.4
□国語正答率	68.8	64.3	56.2	47.0
■数学　〃	49.8	42.9	33.1	23.9
□英語　〃	59.2	54.2	46.9	38.5

Q１５　授業の中で、あなたが課題を見つけたり、解決したりする時間がありますか。
＜選択肢＞

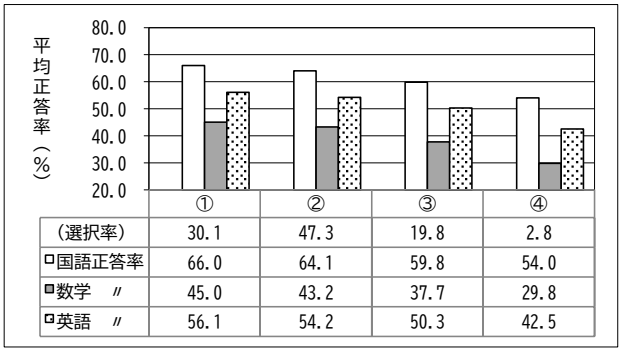
①　ほとんどの授業でそのような時間がある
②　多くの授業でそのような時間がある
③　そのような時間がある授業は少ない
④　そのような時間がある授業はほとんどない



	①	②	③	④
（選択率）	16.9	57.9	23.0	2.1
□国語正答率	66.0	63.5	62.4	57.4
■数学　〃	46.5	41.7	41.4	36.3
□英語　〃	56.0	53.4	53.2	48.7

Ｑ１６　授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのＩＣＴ機器を使用していますか。
＜選択肢＞

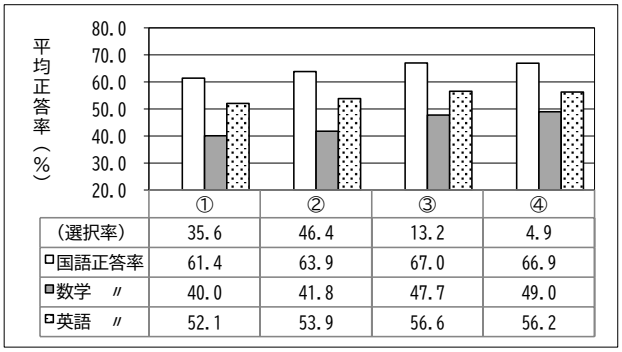
① ほとんどの授業で使用している
② 多くの授業で使用している
③ 使用している授業は少ない
④ 使用している授業はほとんどない



	①	②	③	④
（選択率）	30.1	47.3	19.8	2.8
□国語正答率	66.0	64.1	59.8	54.0
■数学　〃	45.0	43.2	37.7	29.8
□英語　〃	56.1	54.2	50.3	42.5

Ｑ１７　授業でもっとタブレットやパソコンなどのＩＣＴ機器を活用したいと思いますか。
＜選択肢＞

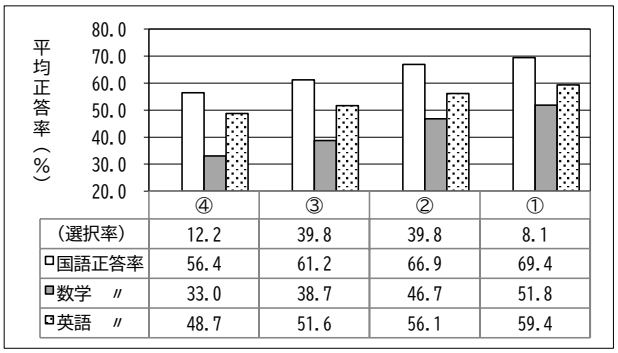
① 活用したいと思う
② どちらかといえば、活用したいと思う
③ どちらかといえば、活用したいと思わない
④ 活用したいと思わない



	①	②	③	④
（選択率）	35.6	46.4	13.2	4.9
□国語正答率	61.4	63.9	67.0	66.9
■数学　〃	40.0	41.8	47.7	49.0
□英語　〃	52.1	53.9	56.6	56.2

Ｑ１８　学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか。
＜選択肢＞

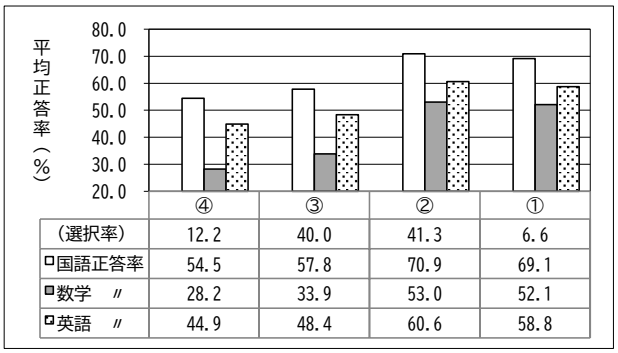
① ほとんど毎日出ている
② 週に２～３回出ている
③ 週に１回くらい出ている
④ ほとんど出ていない



	④	③	②	①
（選択率）	12.2	39.8	39.8	8.1
□国語正答率	56.4	61.2	66.9	69.4
■数学　〃	33.0	38.7	46.7	51.8
□英語　〃	48.7	51.6	56.1	59.4

Ｑ１９　学校ではどのくらいの割合でテスト（小テストや確認テストを含む。）がありますか。
＜選択肢＞

① ほとんど毎日ある
② 週に２～３回ある
③ 週に１回くらいある
④ ほとんどない

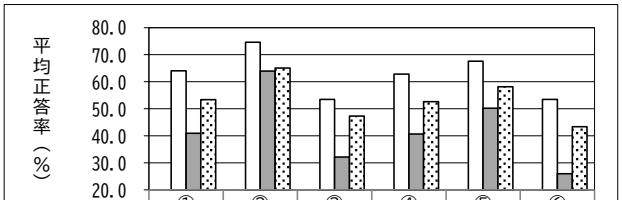


	④	③	②	①
（選択率）	12.2	40.0	41.3	6.6
□国語正答率	54.5	57.8	70.9	69.1
■数学　〃	28.2	33.9	53.0	52.1
□英語　〃	44.9	48.4	60.6	58.8

Ｑ２０　あなたが受けたい授業はどんな授業ですか。

＜選択肢＞

① 基礎・基本からじっくりわかるまで教えてくれる授業
② 発展的な内容まで教えてくれる授業
③ ペアやグループで自分の考えを発表したり、話し合ったりする授業
④ 興味や関心がもてるような授業
⑤ 進路希望達成につながる授業
⑥ 資格取得につながる授業

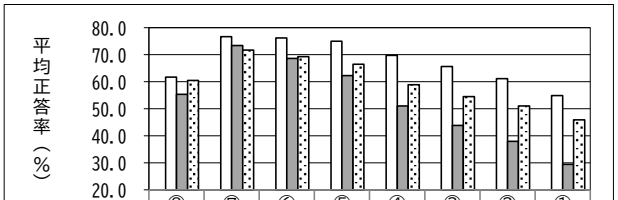


	①	②	③	④	⑤	⑥
（選択率）	42.3	7.5	9.8	24.4	12.4	3.7
□国語正答率	64.0	74.6	53.5	62.9	67.6	53.5
■数学　〃	40.9	63.9	32.1	40.7	50.2	25.9
□英語　〃	53.4	65.1	47.3	52.7	58.1	43.3

Ｑ２１　平日（テスト期間や長期休業中などを除く、通常の月曜日から金曜日）、学校の授業時間以外に１日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

＜選択肢＞

① 全く、またはほとんどしない
② ３０分より少ない
③ ３０分～
④ １時間～
⑤ ２時間～
⑥ ３時間～
⑦ ４時間～
⑧ ５時間以上

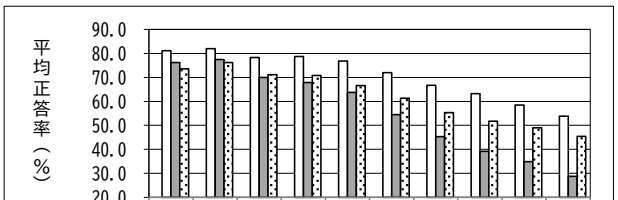


	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
（選択率）	0.2	0.4	1.9	9.2	21.8	18.7	16.0	31.6
□国語正答率	61.7	76.6	76.2	74.9	69.7	65.7	61.1	54.9
■数学　〃	55.4	73.4	68.6	62.3	51.0	43.9	38.0	29.4
□英語　〃	60.5	71.7	69.3	66.4	58.9	54.5	51.0	45.9

Ｑ２２　休日に、１日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

＜選択肢＞

① 全く、またはほとんどしない
② ３０分より少ない
③ ３０分～
④ １時間～
⑤ ２時間～
⑥ ３時間～
⑦ ４時間～
⑧ ５時間～
⑨ ６時間～
⑩ ７時間以上

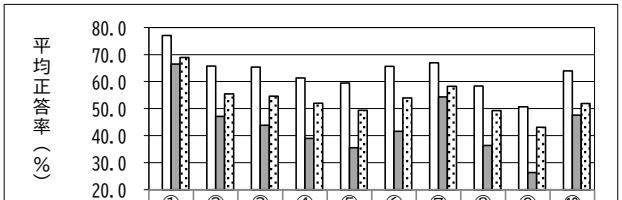


	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
（選択率）	0.8	0.7	1.8	3.0	7.1	12.3	18.9	12.9	11.7	30.9
□国語正答率	81.2	82.0	78.3	78.7	76.8	72.0	66.7	63.3	58.5	53.9
■数学　〃	76.2	77.4	69.9	67.8	63.7	54.5	45.3	39.2	34.8	28.8
□英語　〃	73.5	76.2	71.2	70.8	66.6	61.3	55.3	51.8	49.0	45.4

Ｑ２３　家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか。

＜選択肢＞

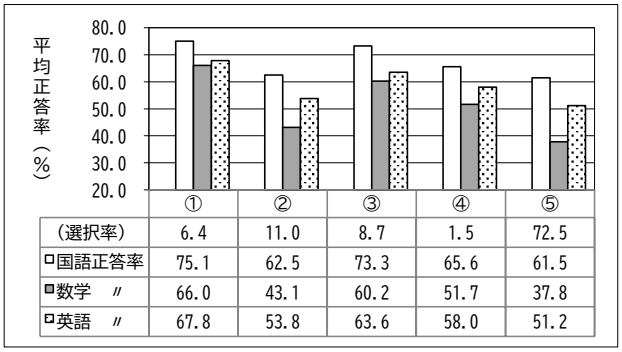
① ほぼ毎日している
② 主に平日にしている
③ 主に休日にしている
④ 主に定期考査前にしている
⑤ 主に宿題・課題のあるときにしている
⑥ 主に宿題・課題があるときと定期考査前にしている
⑦ 主に塾・予備校のあるときや家庭教師の先生が来るときにしている
⑧ 気が向いたときにしている
⑨ 家庭学習はほとんどしない
⑩ その他



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
（選択率）	11.9	4.5	6.5	19.8	5.2	28.4	1.7	12.2	9.7	0.2
□国語正答率	77.1	65.7	65.4	61.3	59.5	65.6	67.0	58.4	50.7	64.0
■数学　〃	66.5	47.1	43.9	39.0	35.6	41.6	54.4	36.3	26.4	47.6
□英語　〃	68.9	55.5	54.6	52.0	49.4	54.0	58.2	49.2	43.1	51.9

Q２４　学習塾等（家庭教師の先生に教わっている場合も含む。）で、どのように勉強していますか。
＜選択肢＞

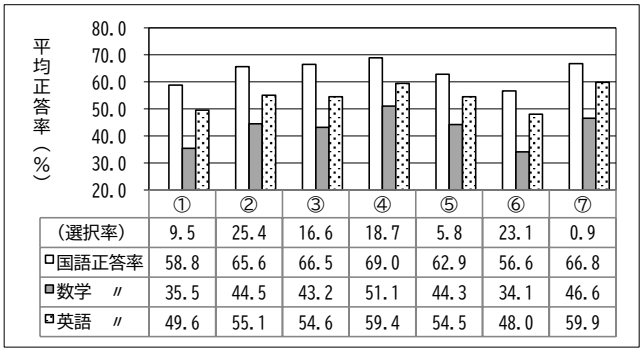
① 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している
② 学校の勉強でよくわからなかった内容を勉強している
③ 上記①、②の両方の内容を勉強している
④ 上記①、②の内容のどちらともいえない
⑤ 学習塾等に通っていない



	①	②	③	④	⑤
（選択率）	6.4	11.0	8.7	1.5	72.5
□国語正答率	75.1	62.5	73.3	65.6	61.5
■数学　〃	66.0	43.1	60.2	51.7	37.8
□英語　〃	67.8	53.8	63.6	58.0	51.2

Q２５　家庭学習をする上で悩んでいることはありますか。
＜選択肢＞

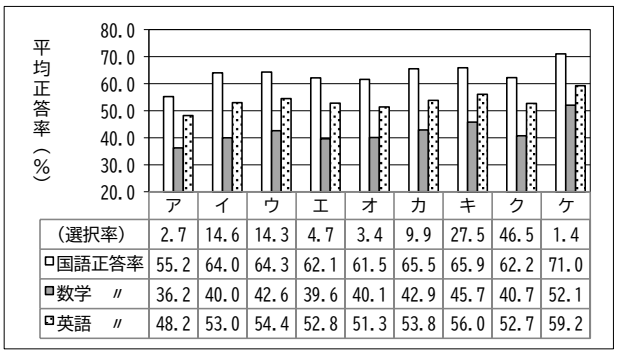
① 家庭学習の方法が分からない
② 家庭学習に集中できない
③ 学習の計画を立てても長続きしない
④ 家庭学習と部活動の両立が難しい
⑤ 家庭学習を一生懸命やっても成績が伸びない
⑥ 特に悩みはない
⑦ その他



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
（選択率）	9.5	25.4	16.6	18.7	5.8	23.1	0.9
□国語正答率	58.8	65.6	66.5	69.0	62.9	56.6	66.8
■数学　〃	35.5	44.5	43.2	51.1	44.3	34.1	46.6
□英語　〃	49.6	55.1	54.6	59.4	54.5	48.0	59.9

Q２６　自宅でＩＣＴ機器やオンラインを用いた学習を実施する（した）場合に、自分にとって不都合なこと（不都合だったこと）は何ですか。（該当するものをすべて選んでください。）
＜選択肢＞

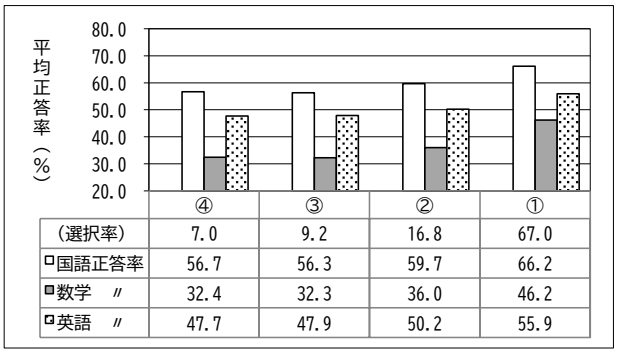
ア パソコンやタブレット、スマホなどの機器がない（使用できない）
イ 課題を印刷する機器がない（印刷できない）
ウ 通信速度が遅い
エ 通信料金が高額になる
オ セキュリティが心配
カ 操作の方法がわからない
キ 集中できない、やる気が起きない
ク 不都合なことはない
ケ その他



	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
（選択率）	2.7	14.6	14.3	4.7	3.4	9.9	27.5	46.5	1.4
□国語正答率	55.2	64.0	64.3	62.1	61.5	65.5	65.9	62.2	71.0
■数学　〃	36.2	40.0	42.6	39.6	40.1	42.9	45.7	40.7	52.1
□英語　〃	48.2	53.0	54.4	52.8	51.3	53.8	56.0	52.7	59.2

Q２７　学校に行く前に朝食をとりますか。
＜選択肢＞

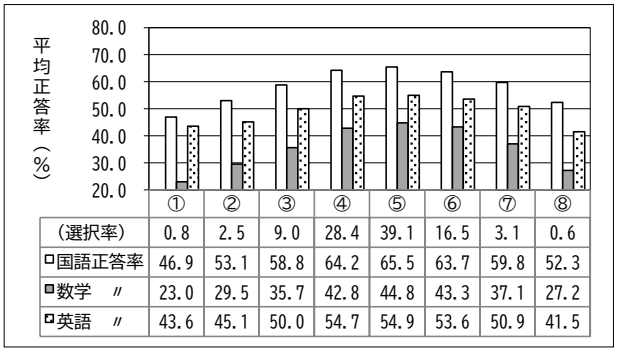
① 必ずとる
② たいていとる
③ とらないことが多い
④ 全く、またはほとんどとらない



	④	③	②	①
（選択率）	7.0	9.2	16.8	67.0
□国語正答率	56.7	56.3	59.7	66.2
■数学　〃	32.4	32.3	36.0	46.2
□英語　〃	47.7	47.9	50.2	55.9

Ｑ２８　平日の睡眠時間は１日当たり、どのくらいですか。
＜選択肢＞

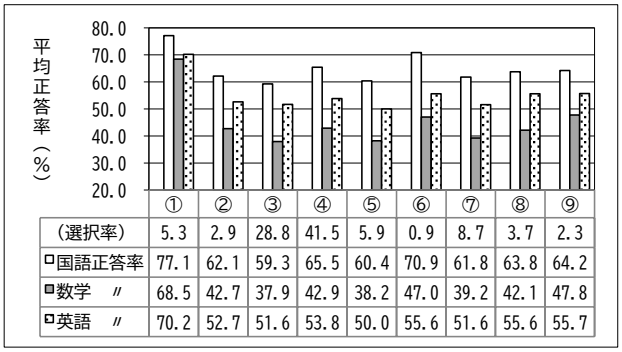
① ３時間より少ない
② ３時間～４時間未満
③ ４時間～５時間未満
④ ５時間～６時間未満
⑤ ６時間～７時間未満
⑥ ７時間～８時間未満
⑦ ８時間～９時間未満
⑧ ９時間以上



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
（選択率）	0.8	2.5	9.0	28.4	39.1	16.5	3.1	0.6
□国語正答率	46.9	53.1	58.8	64.2	65.5	63.7	59.8	52.3
■数学　〃	23.0	29.5	35.7	42.8	44.8	43.3	37.1	27.2
□英語　〃	43.6	45.1	50.0	54.7	54.9	53.6	50.9	41.5

Ｑ２９　平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。
＜選択肢＞

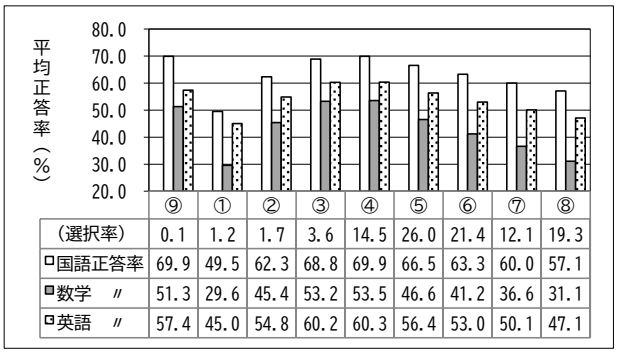
① 家庭学習
② テレビ（録画を含む）やＤＶＤ等
③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、ＳＮＳ等
④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
⑥ 読書
⑦ 趣味（①～⑥を除く）
⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
⑨ その他



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
（選択率）	5.3	2.9	28.8	41.5	5.9	0.9	8.7	3.7	2.3
□国語正答率	77.1	62.1	59.3	65.5	60.4	70.9	61.8	63.8	64.2
■数学　〃	68.5	42.7	37.9	42.9	38.2	47.0	39.2	42.1	47.8
□英語　〃	70.2	52.7	51.6	53.8	50.0	55.6	51.6	55.6	55.7

Ｑ３０　平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は１日当たりどのくらいですか。
＜選択肢＞

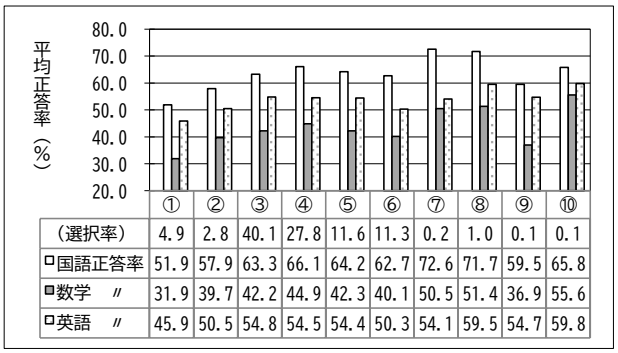
① 全く使わない
② ３０分より少ない
③ ３０分～１時間未満
④ １時間～２時間未満
⑤ ２時間～３時間未満
⑥ ３時間～４時間未満
⑦ ４時間～５時間未満
⑧ ５時間以上
⑨ スマートフォンや携帯電話を持っていない



	⑨	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
（選択率）	0.1	1.2	1.7	3.6	14.5	26.0	21.4	12.1	19.3
□国語正答率	69.9	49.5	62.3	68.8	69.9	66.5	63.3	60.0	57.1
■数学　〃	51.3	29.6	45.4	53.2	53.5	46.6	41.2	36.6	31.1
□英語　〃	57.4	45.0	54.8	60.2	60.3	56.4	53.0	50.1	47.1

Ｑ３１　平日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。
＜選択肢＞

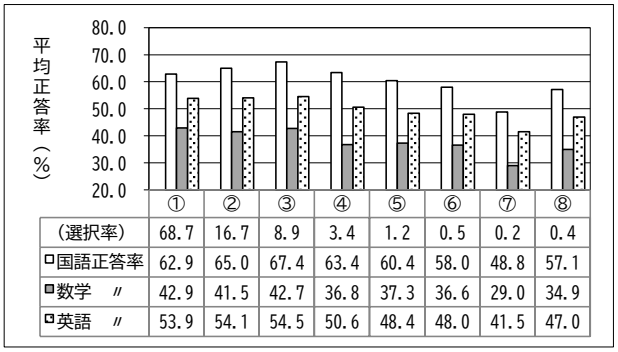
① 相手との通話
② メール
③ ＳＮＳ（ＬＩＮＥ、Ｘ［旧ツイッター］、インスタグラム等）
④ 動画サイト
⑤ 音楽サイトや音楽プレーヤー
⑥ オンラインゲーム
⑦ ブログや掲示板
⑧ 情報・ニュース等の検索
⑨ 静止画や動画の撮影
⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
（選択率）	4.9	2.8	40.1	27.8	11.6	11.3	0.2	1.0	0.1	0.1
□国語正答率	51.9	57.9	63.3	66.1	64.2	62.7	72.6	71.7	59.5	65.8
■数学　〃	31.9	39.7	42.2	44.9	42.3	40.1	50.5	51.4	36.9	55.6
□英語　〃	45.9	50.5	54.8	54.5	54.4	50.3	54.1	59.5	54.7	59.8

Ｑ３２　平日に、１日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。
＜選択肢＞

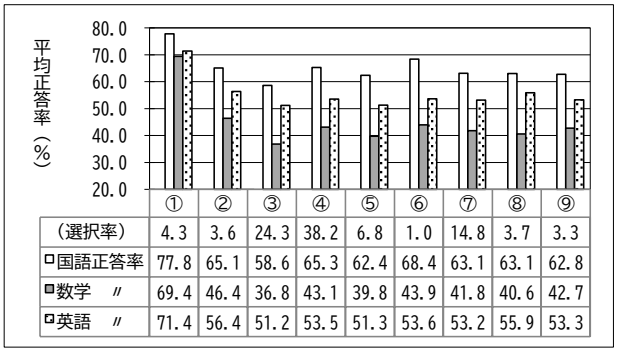
① 全く、またはほとんどしない
② ３０分より少ない
③ ３０分～１時間未満
④ １時間～２時間未満
⑤ ２時間～３時間未満
⑥ ３時間～４時間未満
⑦ ４時間～５時間未満
⑧ ５時間以上



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
（選択率）	68.7	16.7	8.9	3.4	1.2	0.5	0.2	0.4
□国語正答率	62.9	65.0	67.4	63.4	60.4	58.0	48.8	57.1
■数学　〃	42.9	41.5	42.7	36.8	37.3	36.6	29.0	34.9
□英語　〃	53.9	54.1	54.5	50.6	48.4	48.0	41.5	47.0

Ｑ３３　休日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。
＜選択肢＞

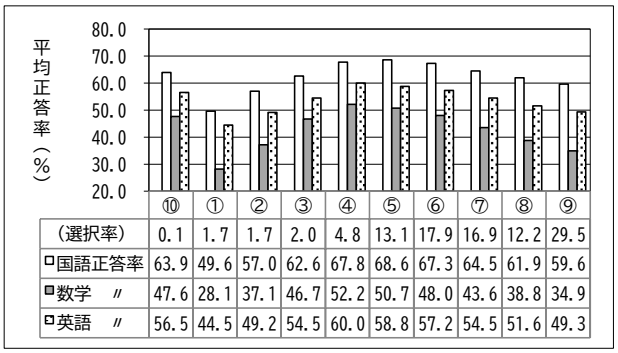
① 家庭学習
② テレビ（録画を含む）やＤＶＤ等
③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、ＳＮＳ等
④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
⑥ 読書
⑦ 趣味（①～⑥を除く）
⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
⑨ その他



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
（選択率）	4.3	3.6	24.3	38.2	6.8	1.0	14.8	3.7	3.3
□国語正答率	77.8	65.1	58.6	65.3	62.4	68.4	63.1	63.1	62.8
■数学　〃	69.4	46.4	36.8	43.1	39.8	43.9	41.8	40.6	42.7
□英語　〃	71.4	56.4	51.2	53.5	51.3	53.6	53.2	55.9	53.3

Ｑ３４　休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は１日当たりどのくらいですか。
＜選択肢＞

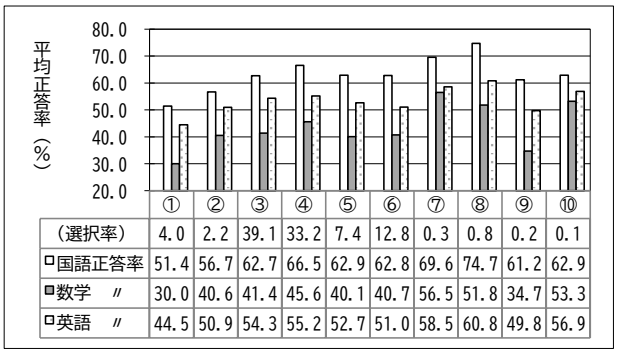
① 全く使わない
② ３０分より少ない
③ ３０分～１時間未満
④ １時間～２時間未満
⑤ ２時間～３時間未満
⑥ ３時間～４時間未満
⑦ ４時間～５時間未満
⑧ ５時間～６時間未満
⑨ ６時間以上
⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



	⑩	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
（選択率）	0.1	1.7	1.7	2.0	4.8	13.1	17.9	16.9	12.2	29.5
□国語正答率	63.9	49.6	57.0	62.6	67.8	68.6	67.3	64.5	61.9	59.6
■数学　〃	47.6	28.1	37.1	46.7	52.2	50.7	48.0	43.6	38.8	34.9
□英語　〃	56.5	44.5	49.2	54.5	60.0	58.8	57.2	54.5	51.6	49.3

Ｑ３５　休日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。
＜選択肢＞

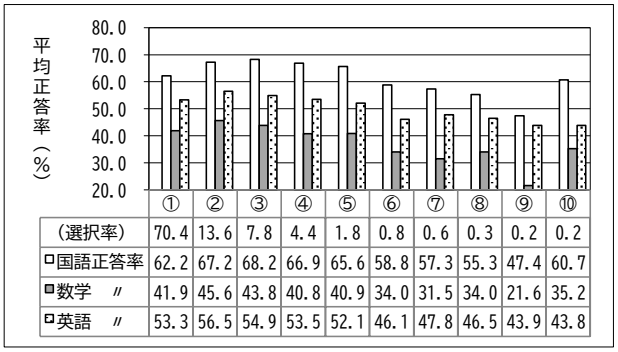
① 相手との通話
② メール
③ ＳＮＳ（ＬＩＮＥ、Ｘ［旧ツイッター］、インスタグラム等）
④ 動画サイト
⑤ 音楽サイトや音楽プレーヤー
⑥ オンラインゲーム
⑦ ブログや掲示板
⑧ 情報・ニュース等の検索
⑨ 静止画や動画の撮影
⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
（選択率）	4.0	2.2	39.1	33.2	7.4	12.8	0.3	0.8	0.2	0.1
□国語正答率	51.4	56.7	62.7	66.5	62.9	62.8	69.6	74.7	61.2	62.9
■数学　〃	30.0	40.6	41.4	45.6	40.1	40.7	56.5	51.8	34.7	53.3
□英語　〃	44.5	50.9	54.3	55.2	52.7	51.0	58.5	60.8	49.8	56.9

Q３６　休日に、１日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。
＜選択肢＞

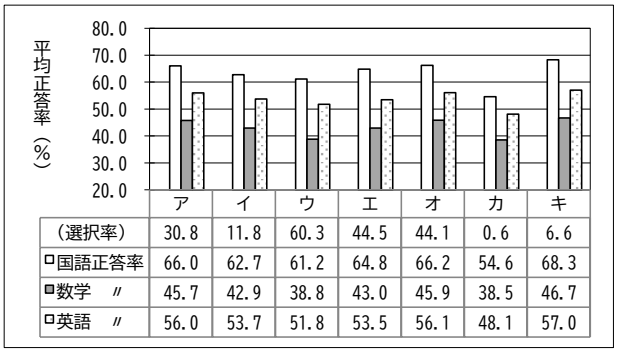
① 全く、またはほとんどしない
② ３０分より少ない
③ ３０分～１時間未満
④ １時間～２時間未満
⑤ ２時間～３時間未満
⑥ ３時間～４時間未満
⑦ ４時間～５時間未満
⑧ ５時間～６時間未満
⑨ ６時間～７時間未満
⑩ ７時間以上



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
（選択率）	70.4	13.6	7.8	4.4	1.8	0.8	0.6	0.3	0.2	0.2
□国語正答率	62.2	67.2	68.2	66.9	65.6	58.8	57.3	55.3	47.4	60.7
■数学　〃	41.9	45.6	43.8	40.8	40.9	34.0	31.5	34.0	21.6	35.2
□英語　〃	53.3	56.5	54.9	53.5	52.1	46.1	47.8	46.5	43.9	43.8

Q３７　普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でメールやメッセージ（ＬＩＮＥ等）のやりとりをすることがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）
＜選択肢＞

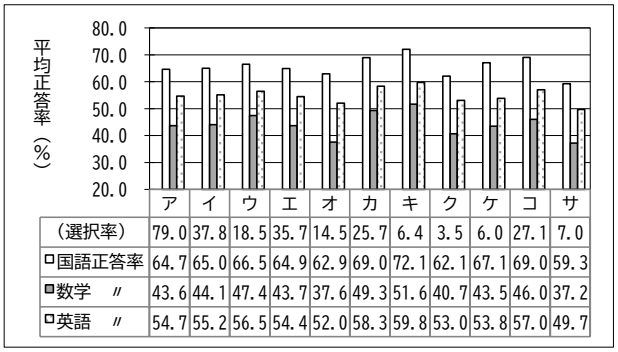
ア 家庭で勉強しているとき
イ 家族と一緒に食事をしているとき
ウ 夜、ふとんやベッドに入ってから
エ パソコンやゲームをしているとき
オ テレビを見ているとき
カ スマートフォンや携帯電話を持っていない
キ その他



	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
（選択率）	30.8	11.8	60.3	44.5	44.1	0.6	6.6
□国語正答率	66.0	62.7	61.2	64.8	66.2	54.6	68.3
■数学　〃	45.7	42.9	38.8	43.0	45.9	38.5	46.7
□英語　〃	56.0	53.7	51.8	53.5	56.1	48.1	57.0

Q３８　インターネットの利用に関して、どのような経験をしたことがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）
＜選択肢＞

ア 気がつくと、思ったより長い時間ネットをしていることがある
イ やるべき事があっても、まず先にSNSサイトやメールをチェックする
ウ ネットが原因で、勉強に悪影響が出て成績が下がった
エ 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている
オ ネットで新しく知り合いを作ることがある
カ ネットをする時間や頻度を減らそうとしても、できないことがある
キ ネットをする時間や回数、内容を家族や先生に隠そうとすることがある
ク ネットをしていない時はイライラしたり憂鬱な気持ちになったりする
ケ 家族や友人と外出するよりもネットを利用することを選ぶことがある
コ 様々な問題から気をそらすためにネットで時間を過ごすことがある
サ 該当する選択肢はない



	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ
（選択率）	79.0	37.8	18.5	35.7	14.5	25.7	6.4	3.5	6.0	27.1	7.0
□国語正答率	64.7	65.0	66.5	64.9	62.9	69.0	72.1	62.1	67.1	69.0	59.3
■数学　〃	43.6	44.1	47.4	43.7	37.6	49.3	51.6	40.7	43.5	46.0	37.2
□英語　〃	54.7	55.2	56.5	54.4	52.0	58.3	59.8	53.0	53.8	57.0	49.7

みやぎ県立高校将来ビジョン2026→2040第1期実施計画
県民との意見交換会における主な意見及び第1期実施計画中間案(案)について

課 長 報 告 (2)

1 これまでの経緯

令和6年2月 ～令和8年3月	○みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040の策定 ・地区別在り方懇話会(市町村教育長等) ・地区別在り方説明会(広く県民) ・市町村長訪問による意見交換 ・中学生への意見聴取 ・産業界への意見聴取 ・パブリックコメント
令和8年4月	○第1期実施計画策定開始
令和8年 7～9月	○文教警察委員会報告(R21学級数の公表) ・第1回地区別在り方懇話会(市町村教育長等) ・第1回地区別意見交換会(広く県民) ・第1回、第2回中学生への意見聴取
令和8年 10～11月	○文教警察委員会報告(R21高校数の公表) ・第2回地区別在り方懇話会(市町村教育長等) ・第2回地区別意見交換会(広く県民) ・説明動画の公表及びウェブからの御意見募集

詳細は別冊2

2 第1期実施計画の構成

→ 詳細は別冊1

第1章 みやぎ県立高校将来ビジョン2026→2040の概要
- 1 基本理念
- 2 基本方針
- 3 各圏域における再構築後の姿

第2章 実施計画の策定
- 1 策定の趣旨
- 2 実施計画の期間

第3章 各圏域における学びの質の向上
- 1 普通科系の学び
  - (1)進学系拠点校
  - (2)普通科の改革の推進
- 2 専門学科系の学び
  - (1)先端技術に関する学び
  - (2)実社会に直結する実践的な学び
  - (3)各専門分野の主な学び
- 3 多様な学び
  - (1)idealスクール
  - (2)定時制・通信制
  - (3)特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応
- 4 オンラインの効果的な活用による教育空間の拡張

第4章 各圏域における高校配置
- 1 高校配置の基本的な考え方
- 2 令和２１年度までの高校配置の見通し
- 3 令和１３年度までに実施する学級数や学科の変更

第５章 教育環境の整備
- 1 生徒に対する支援体制
- 2 教職員に対する支援体制

第６章 計画の進行管理と公表
- 1 中期的な公表
- 2 短期的な公表
- 3 実施計画の更新

別冊１

みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040
第1期実施計画中間案（案）

令和8年11月

宮城県教育委員会

目 次

第1章 みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040 の概要
1 基本理念
2 基本方針
3 各圏域における再構築後の姿

第2章 実施計画の策定
1 策定の趣旨
2 実施計画の期間

第3章 各圏域における学びの質の向上
1 普通科系の学び
（1）進学系拠点校
（2）普通科の改革の推進

2 専門学科系の学び
（1）先端技術に関する学び
（2）実社会に直結する実践的な学び
（3）各専門分野の主な学び

3 多様な学び
（1）idealスクール
（2）定時制・通信制
（3）特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応

4 オンラインの効果的な活用による教育空間の拡張

第4章 各圏域における高校配置
1 高校配置の基本的な考え方
2 令和21年度までの高校配置の見通し
3 令和13年度までに実施する学級数や学科の変更

第5章 教育環境の整備
1 生徒に対する支援体制
2 教職員に対する支援体制

第6章 計画の進行管理と公表
1 中期的な公表
2 短期的な公表
3 実施計画の更新

第1章　みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040 の概要

1　基本理念

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら自分の人生を舵取りすることができる力を育むことが必要であり、ふるさと宮城の理解を深めながら、異なる価値観や文化を尊重し、的確な情報活用と課題解決を通じて新たな価値を創造する資質・能力を持つ生徒を育成していきます。

（1）高校教育の創造的再構築

○　各圏域に必要となる学びの在り方を一から考え、生徒が切磋琢磨し合い全ての生徒の可能性を最大限に引き出すことができる学習環境を整備し、現在の高校全体を作り変えて、新たな魅力ある高校教育を創造していきます。

（2）生徒を主語にした高校教育の実現

○　生徒が学びに対してより高い意欲を持ち、自立して活躍するための力を育む、生徒を主語にした高校教育を実現します。

（3）質の高い高校教育の実現

○　全ての生徒の可能性を最大限に引き出す質の高い高校教育を実現するため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

2　基本方針

（1）県内全ての地域において生徒の興味・関心や多様な進路希望に対応できる教育機会を確保します。

・　多様化する生徒のニーズやライフスタイルにきめ細かく対応するため、生徒が学びを継続できる環境の構築に向け、県立高校における転編入や課程間の移動の仕組みの見直しについて検討します。

（2）スクール・ミッションの再定義を行い、各校の特色を強く打ち出すことで、生徒の多様な学習ニーズに応じた、質の高い学びの機会を提供します。

（3）少子化の進行による生徒数の減少や学校の小規模化の中でも生徒が切磋琢磨し、刺激し合うことができる環境を整えます。

（4）デジタル技術を活用した学びと、対面によるリアルな学びを効果的に組み合わせ、多様化・グローバル化する社会の中で、主体的に課題に取り組み、未来を切り拓く資質・能力を育む新たな学びの環境を整えます。

（5）地域資源を活用するなどして専門性・応用力を高め、より実践的に学べる環境を整備します。

（6）多様な状況の生徒、配慮や支援が必要な生徒が取り組みやすい環境づくりを進めます。

・　生徒一人一人に合わせた学びの手助けとして、学習のつまずきを解消する取り組みの推進などにより、希望する進路を諦めることなく自ら未来を切り拓けるよう、きめ細かなサポート体制構築を検討します。

3 各圏域における再構築後の姿

○ 宮城県全体を一つの「学校」としてとらえ、どこに住んでいても質の高い学びにアクセスできる環境を整える。

VRを活用した授業のイメージ

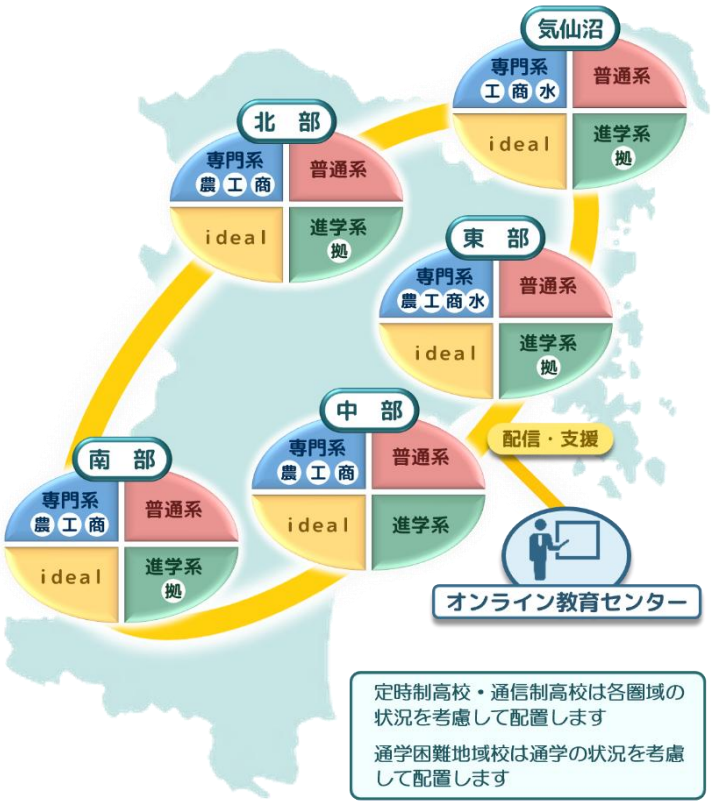


オンライン活用・海外交流のイメージ



栽培実習のイメージ





操船シミュレーター実習のイメージ



科学技術高校のイメージ



ｉｄｅａｌスクールのイメージ



第2章　実施計画の策定

1　策定の趣旨

○　ビジョンに掲げる「高校教育の創造的再構築」や「生徒を主語にした高校教育の実現」、「質の高い高校教育の実現」に向けて、構想を着実に推進し、急速な少子化の進展やそれに伴う高校教育に対するニーズが変化する中においても、新たな魅力ある高校教育の創造に向けて、具体的な取組や今後の高校配置を示すものです。

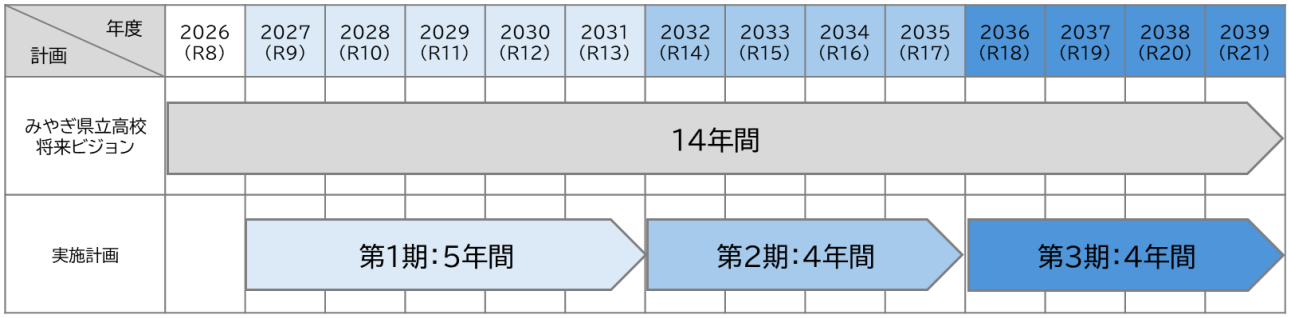
2　実施計画の期間

○　実施計画については、具体的な取組を段階的かつ着実に進めるため、令和９年度から令和 21 年度までの 13 年間を次の３つの期間に区分します。

第１期実施計画　令和９年度から令和 13 年度まで

第２期実施計画　令和 14 年度から令和 17 年度まで

第３期実施計画　令和 18 年度から令和 21 年度まで



第3章　各圏域における学びの質の向上

1 普通科系の学び

（1）進学系拠点校

○ 急速な少子化が進行し、学校規模が縮小する中においても、生徒が切磋琢磨し合い、全ての生徒の可能性を最大限引き出すことができる学習環境を整備するため、どの圏域においても生徒が授業等を通じて、主体的に多様な他者と協働しながら資質・能力を高め、希望する進路の実現につなげることができるよう、教育支援体制を確立することが重要です。

○ そのため、オンラインを活用しながら、学校という物理的な教室や校舎の枠を越えた横断的な教育活動や、学習のつまずきを解消するコンテンツの提供により、大学等の進路目標達成の支援の充実を図ります。

○ 具体的には、県内の4圏域（南部、北部、東部、気仙沼・本吉）ごとに、各1校を進学系拠点校に位置付け、中部地区の進学系高校とピアグループを形成します。これにより、SSH※（スーパーサイエンスハイスクール）や国際バカロレア・ディプロマプログラムなど各校が有する特色ある教育プログラムの充実を図るとともに、その指導ノウハウを「教育資源」として共有するネットワークを構築し、オンライン等を活用した課外講習や STEAM 教育※、合同学習、協働的な探究活動などを拡大していきます。

○ また、STEAM教育の推進に当たり、科学的思考力や理数的素養を基盤として、多様な知識や見方・考え方を関連付け、実社会の課題解決や新たな価値の創造に挑戦する資質・能力の育成を図ります。そのため、学校間連携や大学・企業等との協働を通じて、教科横断的な授業や探究的・実践的な学習活動を推進するとともに、これらの学びを支える施設・設備等の教育環境の充実を図ります。

○ 大学との連携を一層強化し、大学での特別講義の受講や大学生との合同探究活動などを通じて、高度な知識や最先端の研究に触れることのできる機会を設定し、学問への関心や探究心を高めます。
　特に、宮城大学とは、大学の専門的知見を活かした高校3年間と大学4年間を見据えた教育課程の設計や、 高校・大学・学生の三者が共創的に関わる探究活動など、特別なプログラムを通じて、高大連携の取組を推進した上で、将来的に系属高校として位置付けることを検討します。

（2）普通科の改革の推進

○ 国において、高等学校設置基準が改正され、令和4年度から、これまでの「普通科」の他に、「学際領域学科」、「地域社会学科」、「その他普通科」という新しい普通科の設置が可能となったことから、生徒の興味・関心や適性、地域の実情に応じて学校ごとに特色化・魅力化を図ることが求められています。

○ これからの普通科においては、生徒一人一人の多様な進路希望や学習ニーズに応じた学びを実現するとともに、地域や社会との連携を重視した教育を行っていく必要があります。その実現のため、各校がどのような生徒を育て、地域にどう貢献するのかという、目指すべき姿を示すスクール・ミッションの再定義に向けた検討を行います。

※SSH…文部科学省が将来の国際的な科学技術人材の育成を図るため、平成 14 年度より科学技術、理科・数学教育に関する研究開発等を行う高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」に指定し、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的な探究能力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組のことです。

※STEAM教育…科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広義の文芸（Art）、数学（Mathematics）の諸領域・各教科等を横断しながら、実社会で課題発見・解決に必要となる本質を見抜き考える力や新たな価値を生み出す創造力等を育む教育のこと。

○ その上で、再定義されたミッションに基づき、新しい普通科の設置検討や学校設定教科の開設、市町村や企業等との協働体制の構築を進め、生徒一人一人の進路希望に応じた柔軟で主体的な学びを実現します。

2 専門学科系の学び

(1) 先端技術に関する学び

○ 科学技術高校(工業系)の設置に向けて、工業高等学校に次世代技術統合センターを開設し、高校・企業・大学・地域をつなぐ教育ネットワークの拠点とします。その際、学校全体を一つの「スマートファクトリー」としてとらえ、従来の学科の枠を越えた横断的な学びや、既存の専門教育(機械・電気・化学工業等)に情報制御の視点を取り入れた授業改善、半導体技術・ロボティクス・AI 等の先端技術に対応した教育を推進するとともに、半導体に関わる学校設定科目の新設や、産学官連携による実践的な共同研究開発を導入します。

○ また、次世代技術統合センターに配備した先端機器や教育リソースを県域全体で有効活用するため、県域シェアリング制度等を通じて県内工業系高校と実習手順書、設定データ等を共有し、県全体の工業教育の質的向上と持続的な発展を図ります。これらの取組により、単なる要素技術の習得にとどまらず、生産管理、プロセス設計、品質保証といった一連の企業活動に関わる高次の資質・能力を養い、急速な産業構造や企業の変化に即応し、新たな価値を創出・実装できる高度技能者及び研究開発技術者の育成を目指します。

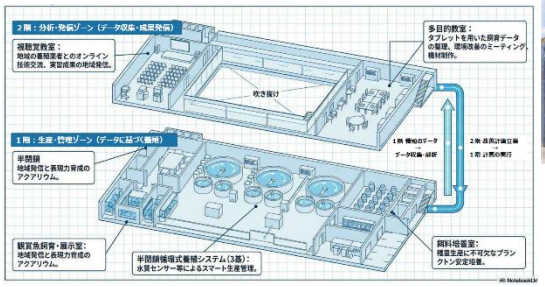
○ 科学技術高校(農業系)の設置に向けて、ICTやドローン、ロボットトラクタ等の先端技術等を活用した「スマート農業」に関する教育環境を整備します。その際、オンラインを活用して、基幹校を中心に教育リソースを共有し、県全体の農業教育の質的向上と持続的な発展を図ります。また、農業法人や大学・研究機関等と連携した高度で実践的なプログラムを導入し、持続可能な次世代の農業を牽引して地域の農産業における課題解決や新たな価値創造に貢献できるスペシャリストの育成を目指します。

○ 本県の基幹産業である水産業を支える人材を数多く輩出してきた水産高等学校を、次世代型の「陸上養殖・水産イノベーション教育拠点」として再構築します。具体的には、半閉鎖循環式陸上養殖施設を整備し、ICT を活用した水質管理や自動制御等、陸上養殖に必要とされる先進的な技術の習得等、海洋デジタル技術を活用しながら、持続可能な水産業と海洋環境の創造に資する実践的な教育を展開し、地域産業を支える人材の育成を目指します。

○ また、他校と連携し、生産・加工・販売・データ分析・生産改善を循環させる分散型6次産業化を通じて、他者との協働により付加価値を創出できる人材の育成を目指します。



次世代技術統合センター整備イメージ



陸上養殖施設整備イメージ





（2）実社会に直結する実践的な学び

○ 地域資源に触れながら課題解決型の学習に取り組むことや、6次産業化を含む生産から製造、販売までの一連の流れに関する総合的な学習を通じて、異なる分野の学びを組み合わせることや、連携することで、複数分野にまたがる知識や技術を身に付け、より実社会と結び付いた総合的な力を育む学びの機会を提供します。

○ 大崎創成高等学校を令和9年4月に開校し、食をテーマとした様々な職業専門的な学びを展開し、社会的・職業的自立に必要な能力を育成するとともに、農業・家庭・商業の各専門分野の特色ある取組をとおして、生徒の多様な個性や能力の伸長を図ります。

○ 白石工業高等学校に土木系人材の育成に向けた学科を設置し、地元企業等と連携した実習やインターンシップを充実させることで、地域のインフラ整備や防災・減災を最前線で支える能力を育むなど、実社会に通じる学びを推進します。

（3）各専門分野の主な学び

○ 家庭に関する学びは、生活産業に関する事象を『生活の質の向上』の視点で捉え、衣食住や保育等の基礎的・専門的な知識・技能を習得します。AI・データサイエンス等を活用した学びの充実とともに、手仕事や伝統産業に息づく技の価値を理解し、生活産業や地域社会の発展を後押しする高度専門人材を育成します。

○ 看護に関する学びは、デジタル機器を効果的に活用しながら、基礎的・専門的な知識・技術を身に付ける学習を充実させるとともに、病院における実習などの実践的な学びによって高度な専門性を養い、高い倫理観と人間の尊厳に基づき、地域の保健医療福祉を支える高度専門人材を育成します。

○ 福祉に関する学びは、人間の尊厳と自立を根幹に置きながら、介護テクノロジー等の効果的な活用に関する学びを深めるとともに、多様な人材との協働を支えるチームマネジメントを身につけ、地域住民や現場との協働を通して地域福祉の課題解決に参画し、地域共生社会の実現を牽引する高度専門人材を育成します。

○ 体育に関する学びは、スポーツの実践を通して心身ともに健全な人間の育成を目指すとともに、専門的な理解と高度な技能修得により、スポーツの振興発展に寄与できる資質や能力を育成します。さらに、外部の専門指導者による実践的かつ高度な講義や実技指導等を通じて、より専門性の高い学習環境を整え、スポーツを通じた社会課題の解決やスポーツ文化の発展を担う人材の育成を目指します。

○ 美術に関する学びは、地域文化や社会的課題との関わりを重視しながら、表現と鑑賞の教育を一体的に展開し、創造性や感性、主体的に課題を探究する力の育成を図ります。また、多様なメディアを活用して、異なる分野を連携・統合させた表現を追求し、地域資源を活用した実践的な学習や外部機関との連携を通じて、学びの充実を推進します。

○ 英語に関する学びは、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、特色ある専門科目の学習をとおして、外国の事情や異文化を幅広く学び、異なる文化を持つ人々と交流するための基礎を養い、AI やデジタル学習基盤を効果的に活用しながら、相手の意向を理解し自分の考えを表現する実践的コミュニケーション能力を伸ばします。

○　理数に関する学びは、課題を把握し解決を図る一連の過程を通して、数理的・科学的な探究の方法や課題の解決や新たな価値の創造に挑戦しようとする態度を身に付けるとともに、特色ある専門科目や「理数探究」等における主体的な実験・観察により、事象や社会の課題を数理的・科学的な手法を用いて解決し、表現する力と多様な他者と対話・協働し、粘り強く試行錯誤しながら探究に取り組む態度を養い、将来の本県の科学技術の振興や学術研究を通じた知の創出、イノベーションをけん引する創造性豊かな人材を育成します。

○　観光に関する学びは、観光の基礎知識や技術を学ぶだけでなく、観光ガイドに必要な英会話の習得のほか、地域と連携した実習などにより、観光分野にとどまらず、様々な接客・サービス分野全般で広く活躍できる実践的な力を育てます。

○　災害科学に関する学びにおいては、特色のある学校設定教科・科目の授業に加え、フィールドワークや専門機関との連携を通して自然災害を科学的にとらえる知識や技能を身に付けます。持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の考えを取り入れ、防災・減災を切り口とした自然科学や社会科学、国際理解教育、課題研究などを幅広く学習し、防災・減災のリーダーとして国際的に活躍できる人材を育成します。

3 多様な学び

（1）idealスクール

○ 生徒の多様な学習ニーズに応じて、フレキシブルに学ぶことのできる全日制・普通科・単位制の新たなタイプの学校として、令和9年4月に広瀬ideal高等学校が開校します。

○ 1校時～8校時という幅広い時間帯で時間割の「枠」を設定し、生徒一人一人の進路希望、興味関心、学びのスタイルに合わせて柔軟なカリキュラム選択が可能となることや、固定した学級を設けず、チューターの先生が生徒一人一人に対応するなど、充実したサポート体制で安全・安心な環境を整備します。

○ また、広瀬 ideal 高等学校の成果を検証しながら他圏域への展開を検討します。

（2）定時制・通信制

○ 定時制課程は、働きながら学ぶ生徒への教育機会の保障という役割を果たしつつ、学習面や生活面で配慮を要する生徒が学ぶ場としての役割も果たしていることから、生徒の学習ニーズや個々の状況に応じた学校の在り方について検討します。

○ 通信制課程は、年齢や職業、学力等が多様な生徒に学習機会を提供できることもあり、近年、進学者数が増加傾向にあります。そのため、美田園高等学校における生徒の在籍状況や学習状況、教育活動の実態を踏まえながら、需要に応じて、スクーリング拠点の整備や通信制高校の増設など、体制の充実・強化について検討します。

（3）特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応

○ 高校と特別支援学校が隣接しているという特性を生かし、大河原産業高等学校川崎校と岩沼高等学園川崎キャンパスを併置と位置づけ、行事や課外活動、授業等を共同で実施することで、両校の生徒の積極的な交流を通じて、インクルーシブ教育についての理解を深め、相互に尊重し合える環境を整備します。

○ 通級による指導においては、入学前からの情報共有について中学校との連携を一層強化し、指導体制の充実を図るとともに、生徒一人一人の状況に応じて、本人の意思を尊重しながら必要な配慮を行います。

○ 特別な配慮や支援を必要とする生徒が、自身の特性を理解し、卒業後に社会的・職業的に自立できるよう、個々の教育的ニーズに応じた切れ目ない支援体制を構築します。

○ 全ての生徒に分かりやすいユニバーサルデザインの視点を取り入れた学級経営や授業づくり、ICT の活用等により、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導の充実を図ります。

○ 教室での集団活動に不安や困難を抱える生徒に対しては、別室支援等を柔軟に活用することなど、様々な方策により心理的な負担軽減に努め、教育環境の充実を図ります。

○ フレキシブルに学べるidealスクールや、生徒のライフスタイルに合わせて学習できる定時制課程など、個々の生徒に応じた学習環境を整備するとともに、学校に登校していない生徒の学習機会の確保と社会的自立を支援するため、学びの多様化学校の設置に向けた具体的な検討を進めます。

○ 高校入試の受験においては、障害の状態や本人の教育的ニーズ、保護者の希望等を踏まえ、中学校での支援実績等を共有するなど、中高の連携を図りながら、別室受験や試験時間の延長、デジタル技術の活用等を含め、志願者一人一人に応じた受験上の合理的配慮を適切に提供します。

4 オンラインの効果的な活用による教育空間の拡張

○ 県内のどこに住んでいても専門的な学びや希望する進路を実現に向けて、学びの質の向上や生徒の多様なニーズに対応できるよう、オンライン教育センターを設置し、これまでの遠隔授業配信の実績を踏まえながら、単独の学校だけでは成し得ない充実した学びの機会を提供します。

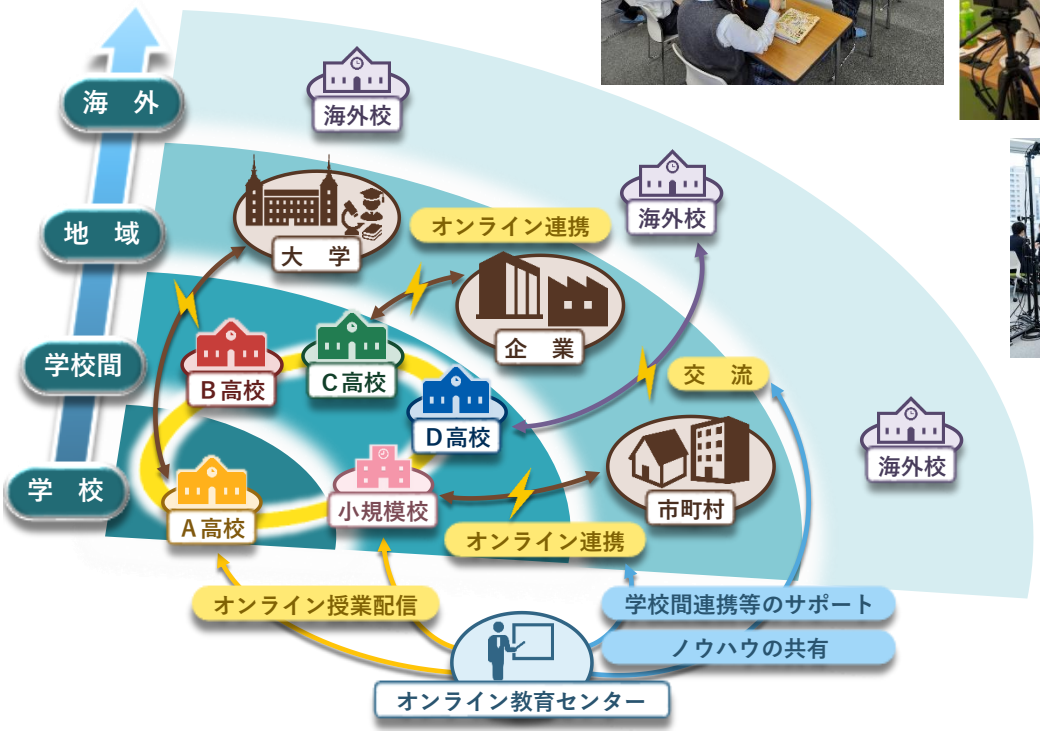
○ オンライン教育センターを中心とした、リアルタイムの授業配信のほか、オンデマンドによる学習支援やオンライン教育に関するコンテンツの作成など、効果的な授業方法や ICT 機器の活用方法を研究します。また、学校同士をオンラインでつなぎ、学校間連携や海外との交流をサポートするなどし、オンラインの活用による広がりのある学習環境を構築します。

○ 小規模校については、生徒の人間関係の固定化が生じやすいことや、多様な価値観に触れる機会が少ないこと、教職員が少人数となることなど、教育資源に限りがあります。そのため、オンライン教育センターから授業を配信することにより、専門教員による多様な教科・科目開設や習熟度別授業を実施します。また、学びと実社会の接続を実感できるようにするため、動画等のコンテンツを通じて、生徒の興味・関心を起点に視野を広げ、多様な価値観に触れる機会を創出します。









第4章　各圏域における高校配置

1　高校配置の基本的な考え方

（1）全体方針

○　ビジョンの終期となる令和 21 年度の高校配置を見据えながら、従来の生徒数の減少に合わせた単なる学級減等ではなく、教育内容や学びの方法等を踏まえた学校規模の見直しや学科改編により、高校教育の抜本的な見直しを行います。

（2）学校規模

○　1学年当たりの適正な学校規模（学級数）は定めないものの、圏域ごとに必要な学級数を設定し、一定の学校規模を確保します。

○　本計画における学級数は 40 人学級で推計していますが、今後、制度の変更が行われた場合には、35 人学級や 30 人学級などの学級規模で推計を行います。

○　少子化の進展や高校教育に対するニーズの変化等を踏まえて、毎年、中学校卒業者見込数及び必要学級数を見直します。

（3）高校配置

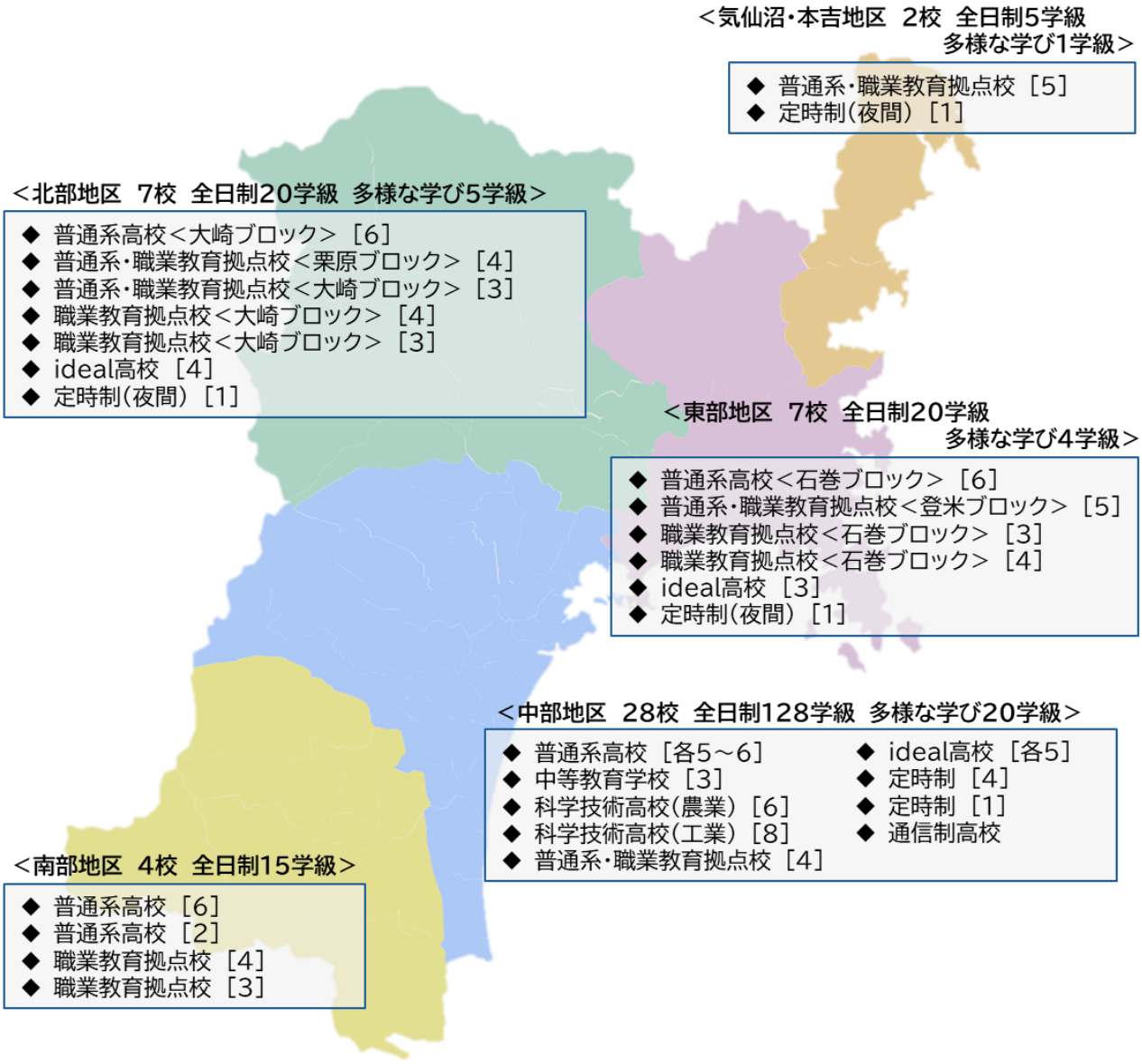
○　専門系の学びについては、フィールドの関係から、キャンパス校の活用も検討します。

○　早朝に公共交通機関に乗車しなければ始業に間に合わない地域や、通学に一定の時間を要する「通学困難地域」には、通学困難地域校としての継続配置、又はスクールバス等の通学・移動手段の確保を検討します。

（4）スケジュール

○　具体的な高校配置については、再編・統合となる約4～5年前に公表し、検討を進めます。

2　令和21年度までの高校配置の見通し



※［ ］内の数字は1学年当たりの学級数

※上記の学校数及び学級数には、仙台市立5校24学級程度、石巻市立1校2学級程度を含みます。

※上記に記載のほか、学校に登校していない生徒への対応として、学びの多様化学校について別途検討します。

宮城県

R7の配置状況　中学校卒業者見込数(R7.3):19,265人

○全日制設置学級数:338学級　※R7全日制必要学級数:305学級
○定時制設置学級数:25学級　○通信制:500名

1 全日制

	学校数	圏域別						
		南部	中部	大崎	栗原	石巻	登米	気仙沼
普通系高校		5	24	7	2	3	2	2
農業高校			1	1				
工業高校		1	1	1		1		
商業高校				1	1	1		
水産高校						1		
複数学科を有する専門高校		1					1	1
総合学科		2		1	1	1		1
県立学校数計	**64**	9	26	11	4	7	3	4
市立仙台			1					
市立仙台工業			1					
市立仙台商業			1					
市立桜坂						1		
市立学校数計	4		3			1		
県立＋市立計	68	9	29	11	4	8	3	4

※普通系高校には、普通科と専門学科が併設されている高校を含む。
※複数学科を有する専門高校とは、農業科及び商業科、水産科及び商業科などの学科が併設されている高校を指す。

2 定時制等

	学校数	圏域別						
		南部	中部	大崎	栗原	石巻	登米	気仙沼
定時制(昼間)		1		1		1		
定時制(夜間)			2	1			1	1
定時制(昼間・夜間)			1			1		
県立学校数計	**10**	1	3	2		2	1	1
市立仙台大志			1					
市立仙台工業			1					
市立学校数計	2		2					
県立＋市立計	12	1	5	2		2	1	1
通信制	1		1					

R21年春の姿　中学校卒業者見込数(R21.3):12,240人

○全日制必要学級数見込み:188学級(40人学級換算)※ideal高校の再掲分含む
○多様な学びへの対応:30学級　○通信制:500名

1 全日制

	学校数	圏域別				
		南部	中部	北部	東部	気仙沼
普通系高校		2	14	1	1	
中等教育学校			1			
普通系・職業教育拠点校			1	2	1	1
職業教育拠点校		2		2	2	
科学技術高校			2			
(再掲)ideal高校			2			
県立学校数計	**34**	4	20	5	4	1
市立仙台			1			
市立仙台工業			1			
市立仙台商業			1			
市立桜坂					1	
市立学校数計			3		1	
県立＋市立計	38	4	23	5	5	1

2 多様な学び

	学校数	圏域別				
		南部	中部	北部	東部	気仙沼
ideal高校			2	1	1	
定時制(夜間)			1	1	1	1
定時制(昼間・夜間)			1			
県立学校数計	9		4	2	2	1
市立仙台大志			1			
市立仙台工業			1			
市立学校数計	2		2			
県立＋市立計	11		6	2	2	1
通信制	1		1			

※全日制高校と定時制(夜間)を併置する場合には1校とする場合もあります。
※上記に記載のほか、学校に登校していない生徒への対応として、学びの多様化学校について別途検討します。

南部地区

R7の配置状況　中学校卒業者見込数(R7.3):1,349人

学校数	学級数	学科別						
		普通	体育	農業	工業	商業	看護	総合
9								
白石	7	6					1	
角田	4	4						
柴田	4	3	1					
白石蔵王	1	1						
大河原産業川崎	1	1						
大河原産業	6			2		4		
白石工業	6				6			
村田	3							3
伊具	3							3
全日制計	**35**	15	1	2	6	4	1	6
必要学級数	**28**	43%	3%	6%	17%	11%	3%	17%

学校数	学級数	学科別						
		普通	体育	農業	工業	商業	看護	総合
1								
白石七ヶ宿(昼間)	1	1						
定時制計	**1**	1						

R21年春の姿　中学校卒業者見込数(R21.3):641人

学校数	学級数	学びの類型					
		進学系	普通系	農業系	工業系	商業系	看護系
4							
①普通系高校	6	1	4				1
②普通系高校	2		2				
③職業教育拠点校	4			1		3	
④職業教育拠点校	3				3		
全日制計	**15**	1	6	1	3	3	1
必要学級数見込み	**15**	7%	40%	7%	20%	20%	7%

※圏域でアイデアルの要素を取り入れ、多様な生徒へのニーズに対応します。
※通学困難地域校を最終的な配置を踏まえて検討します。

<参考:R7→R21の中学校卒業者見込数>　(人)

市町村	R7	R21	市町村	R7	R21
白石市	251	119	村田町	79	38
角田市	244	116	柴田町	307	146
蔵王町	93	44	川崎町	49	23
七ヶ宿町	12	6	丸森町	86	41
大河原町	228	108	計	1,349	641

※中学校卒業者見込数は幼児人口(1歳から5歳)及び小中学校の在籍者数に直近5年間の社会増減の平均値を考慮して推計しています。
※みやぎ県立高校将来ビジョン2026→2040に用いているR6.5時点の推計値です。

中部地区その1

R7の配置状況　中学校卒業者見込数(R7.3):13,315人

学校数		学級数 学科別										
		普通系										
29		普通	理数	体育	美術	英語	国際	災害	農業	工業	商業	家政
仙台第一	8	8										
仙台第二	8	8										
仙台第三	8	6	2									
塩釜	8	6									2	
宮城第一	7	5	1				1					
仙台南	7	7										
仙台三桜	7	7										
多賀城	7	6						1				
利府	7	5		2								
名取	7	6										1
仙台二華	6	6										
泉館山	6	6										
泉松陵	6	6										
仙台西	6	6										
宮城広瀬	6	6										
富谷	6	6										
名取北	6	6										
宮城野	6	5				1						
仙台東	6	5					1					
泉	6	5					1					
仙台向山	5	4	1									
黒川	5	2								3		
亘理	4	2							1			1
松島	4	2									2	
農業	6								6			
工業	8									8		
市立仙台	8	8										
市立仙台工業	6									6		
市立仙台商業	8										8	
全日制計	188	139	4	2	1	2	1	1	7	17	12	2
必要学級数	189	74%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	4%	9%	6%	1%

R21年春の姿　中学校卒業者見込数(R21.3):9,263人

学校数		学級数 学びの類型						
23		進学系	普通系	農業系	工業系	商業系	家政系	ideal
①普通系高校	6	6						
②普通系高校	6	6						
③普通系高校	6	6						
④普通系高校	6	6						
⑤普通系高校	6	6						
⑥普通系高校	6	6						
⑦普通系高校	6	6						
⑧普通系高校	5	5						
⑨普通系高校	6		6					
⑩普通系高校	5		5					
⑪普通系高校	5		5					
⑫普通系高校	5		5					
⑬普通系高校	5		5					
⑭普通系高校	5		3			2		
⑮中等教育学校	3	3						
⑯科学技術高校(農業)	6			6				
⑰科学技術高校(工業)	8				8			
⑱普通系・職業教育拠点校	4		1		3			
⑲(再掲)ideal高校	5	※ideal高校は次頁多様な学びの再掲						5
⑳(再掲)ideal高校	5						1	4
県立全日制計	109	50	30	6	11	2	1	9
	−	46%	28%	5%	10%	2%	1%	8%
㉑市立仙台 ㉒市立仙台工業 ㉓市立仙台商業		※市立のため、市教委と学級数等について、今後調整						
市立全日制計								
県立＋市立計	128							
必要学級数見込み	128							

※理数、体育、美術、英語、国際、災害科学の学びは進学系・普通系に含まれます。
※上記学級数に仙台市立の中等教育学校の学級数は含まれません。
※学びの類型ごとの学級数及び全体の学級数は、仙台市教育委員会との調整の結果、変動する可能性があります。

R7の配置状況

学校数		学級数 学科別	
6		普通	工業
貞山(昼3、夜1)	4	4	
市立仙台大志(Ⅰ部3、Ⅱ部1)	4	4	
第二工業(夜間)	2		2
市立仙台工業(夜間)	2		2
名取(夜間)	1	1	
定時制計	13	9	4
美田園		500	※定員数

R21年春の姿

学校数		学級数 学びの類型			
7		普通系	工業系	家政系	ideal
①ideal高校	5				5
②ideal高校	5			1	4
③定時制(昼3、夜1)	4	4			
④定時制(夜間)	1	1			
県立計	15	5		1	9
⑤市立仙台大志(Ⅰ部、Ⅱ部) ⑥市立仙台工業(夜間)		※市立のため、市教委と学級数等について、今後調整			
市立計					
県立＋市立計	20				
⑦通信制高校		500	※定員数		

※学びの類型ごとの学級数及び全体の学級数は、仙台市教育委員会との調整の結果、変動する可能性があります。
※全日制高校と定時制(夜間)を併置する場合には1校とする場合もあります。
※通学困難地域校を最終的な配置を踏まえて検討します。

<参考:R7→R21の中学校卒業者見込数>　(人)

市町村	R7	R21	市町村	R7	R21	市町村	R7	R21
仙台市	9,145	6,362	富谷市	634	441	利府町	379	264
塩竈市	398	277	亘理町	292	203	大和町	265	184
名取市	819	570	山元町	75	52	大郷町	64	44
多賀城市	525	365	松島町	96	67	大衡村	47	33
岩沼市	411	286	七ヶ浜町	165	115	計	13,315	9,263

※中学校卒業者見込数は幼児人口(1歳から5歳)及び小中学校の在籍者数に直近5年間の社会増減の平均値を考慮して推計しています。
※みやぎ県立高校将来ビジョン2026→2040に用いているR6.5時点の推計値です。

北部地区

R7の配置状況（大崎）　中学校卒業者見込数（R7.3）：1，669人

学校数	学級数	学科別					
11		普通	農業	工業	商業	家政	総合
古川	6	6					
古川黎明	6	6					
涌谷	3	3					
中新田	3	3					
岩出山	2	2					
鹿島台商業・松山・南郷	6	2	1		2	1	
加美農業	3		3				
小牛田農林	5		2				3
古川工業	6			6			
全日制計	40	22	6	6	2	1	3
必要学級数	30	55%	15%	15%	5%	3%	8%

学校数	学級数	学科別					
2		普通	農業	工業	商業	家政	総合
田尻さくら	3	3					
古川工業（夜間）	2			2			
定時制計	5	3		2			

R7の配置状況（栗原）　中学校卒業者見込数（R7.3）：447人

学校数	学級数	学科別		
4		普通	商業	総合
築館	4	4		
岩ヶ崎	2	2		
築館一迫商業	1		1	
迫桜	4			4
全日制計	11	6	1	4
必要学級数	9	55%	9%	36%

R21年春の姿　中学校卒業者見込数（R21.3）：1，096人

学校数	学級数	学びの類型					
5		進学系	普通系	農業系	工業系	商業系	家庭系
①普通系高校 <大崎ブロック>	6	1	5				
②普通系・職業教育拠点校 <栗原ブロック>	4				4		
				※キャンパス校活用想定			
③普通系・職業教育拠点校 <大崎ブロック>	3		1	1		1	
				※キャンパス校活用想定			
④職業教育拠点校 <大崎ブロック>	4					4	
⑤職業教育拠点校 <大崎ブロック>	3				3		
全日制計	20	1	7	4	4	3	1
必要学級数見込み	20	5%	35%	20%	20%	15%	5%

※②、④の高校の学びの類型ごとの学級数は、生徒の希望により変動する可能性があります。その結果、学びの類型ごとの学級数が変動する可能性があります。

学校数	多様な学びへの対応	学びの類型					
2		ideal	普通系	農業系	工業系	商業系	家庭系
①ideal高校（全日制）	4	4					
②定時制（夜間）	1		1				
多様な学び計	5	4	1				

※ideal高校と定時制（夜間）を併置する場合には1校とする場合もあります。
※通学困難地域校を最終的な配置を踏まえて検討します。
※専門系の学びは、フィールドの関係から、キャンパス校の活用も想定しています。

<参考：R7→R21の中学校卒業者見込数>　（人）

市町村	R7	R21	市町村	R7	R21
栗原市	447	194	涌谷町	105	57
大崎市	1,163	629	美里町	193	104
色麻町	64	34	計	2,116	1,096
加美町	144	78			

※中学校卒業者見込数は幼児人口（1歳から5歳）及び小中学校の在籍者数に直近5年間の社会増減の平均値を考慮して推計しています。
※みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040に用いているR6.5時点の推計値です。

東部地区

R7の配置状況（石巻）　中学校卒業者見込数（R7.3）：1，403人

学校数	学級数	学科別				
8		普通	工業	商業	水産	総合
石巻	6	6				
石巻好文館	5	5				
石巻西	4	4				
石巻工業	5		5			
石巻商業	4			4		
水産	3				3	
石巻北	4					4
市立桜坂	4	4				
全日制計	35	19	5	4	3	4
必要学級数	28	54%	14%	11%	9%	11%

学校数	学級数	学科別				
2		普通	工業	商業	水産	総合
東松島（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	3	3				
石巻北飯野川（昼間）	1	1				
定時制計	4	4				

R7の配置状況（登米）　中学校卒業者見込数（R7.3）：615人

学校数	学級数	学科別				
3		普通	農業	工業	商業	福祉
佐沼	6	6				
登米	2	2				
登米総合産業	6		1	3	1	1
全日制計	14	8	1	3	1	1
必要学級数	11	57%	7%	21%	7%	7%

学校数	学級数	学科別				
1		普通	農業	工業	商業	福祉
佐沼（夜間）	1	1				
定時制計	1	1				

R21年春の姿　中学校卒業者見込数（R21.3）：1，029人

学校数	学級数	学びの類型					
5		進学系	普通系	農業系	工業系	商業系	水産系
①普通系高校 <石巻ブロック>	6	1	5				
②普通系・職業教育拠点校 <登米ブロック>	5		3	1	1		
				※キャンパス校活用想定			
③職業教育拠点校 <石巻ブロック>	3				3		
④職業教育拠点校 <石巻ブロック>	4					2	2
全日制計	18	1	8	1	4	2	2
	–	6%	44%	6%	22%	11%	11%
⑤市立桜坂		※市立のため、市教委と学級数等について、今後調整					
市立全日制計							
県立＋市立計	20						
必要学級数見込み	20						

※学びの類型ごとの学級数及び全体の学級数は、石巻市教育委員会との調整の結果、変動する可能性があります。

学校数	多様な学びへの対応	学びの類型					
2		ideal	普通系	農業系	工業系	商業系	水産系
①ideal高校（全日制）	3	3					
②定時制（夜間）	1		1				
多様な学び計	4	3	1				

※ideal高校と定時制（夜間）を併置する場合には1校とする場合もあります。
※通学困難地域校を最終的な配置を踏まえて検討します。
※専門系の学びは、フィールドの関係から、キャンパス校の活用も想定しています。

<参考：R7→R21の中学校卒業者見込数>　（人）

市町村	R7	R21	市町村	R7	R21
石巻市	1,062	560	女川町	30	16
登米市	615	290	計	2,018	1,029
東松島市	311	163			

※中学校卒業者見込数は幼児人口（1歳から5歳）及び小中学校の在籍者数に直近5年間の社会増減の平均値を考慮して推計しています。
※みやぎ県立高校将来ビジョン 2026→2040に用いているR6.5時点の推計値です。

気仙沼・本吉地区

R7の配置状況　中学校卒業者見込数(R7.3):467人

学校数		学級数					
		学科別					
4		普通	工業	商業	水産	総合
気仙沼	6	6				
南三陸	3	2		1		
気仙沼向洋	3		1		2	
本吉響	3					3
全日制計	15	8	1	1	2	3
必要学級数	10	53%	7%	7%	13%	20%

学校数		学級数					
		学科別					
1		普通	工業	商業	水産	総合
気仙沼(夜間)	1	1				
定時制計	1	1				

R21年春の姿　中学校卒業者見込数(R21.3):211人

学校数		学級数			
		学びの類型			
1		進学系	普通系	工業系 商業系 水産系	
普通系・職業教育拠点校	5	1	2	2 ※キャンパス校活用想定	
全日制計	5	1	2	2	
必要学級数見込み	5	20%	40%	40%	

学校数		多様な学びへの対応			
		学びの類型			
1		普通系	工業系	商業系	水産系
定時制(夜間)	1	1			
多様な学び計	1	1			

※圏域でアイデアルの要素を取り入れ、多様な生徒へのニーズに対応します。
※通学困難地域校を最終的な配置を踏まえて検討します。

＜参考:R7→R21の中学校卒業者見込数＞　(人)

市町村	R7	R21
気仙沼市	399	180
南三陸町	68	31
計	467	211

※中学校卒業者見込数は幼児人口(1歳から5歳)及び小中学校の在籍者数に直近5年間の社会増減の平均値を考慮して推計しています。
※みやぎ県立高校将来ビジョン2026→2040に用いているR6.5時点の推計値です。

3 令和13年度までに実施する学級数や学科の変更

○ 令和9年2月時点において、次のとおり学級数や学科の変更を予定しています。なお、令和11年度から令和13年度までに実施するものについては、別に定めます。

（1）南部地区

R9	―
R10	白石工業高校 設備工業科 1学級40人 → 社会基盤エンジニアリング科 1学級40人 村田高校 総合学科 3学級120人 → 2学級80人 伊具高校 総合学科 3学級120人 → 2学級80人

※上記のうち学科改編を伴うもの。

白石工業高校

【令和9年度】 機械科 2学級80人 電気科 1学級40人 工業化学科 1学級40人 建築科 1学級40人 設備工業科 1学級40人	⇨	【令和10年度】 機械科 2学級80人 電気科 1学級40人 工業化学科 1学級40人 建築科 1学級40人 社会基盤エンジニアリング科 1学級40人

村田高校

【令和9年度】 総合学科 3学級120人 言語・自然科学系列 介護福祉系列 商業実践系列 機械・自動車系列	⇨	【令和10年度】 総合学科 2学級80人 総合教養系列 介護福祉系列 機械技術系列

伊具高校

【令和9年度】 総合学科 3学級120人 農学系列 機械系列 情報系列 福祉系列	⇨	【令和10年度】 総合学科 2学級80人 農業環境系列 創造機械系列 保育福祉系列

（2）中部地区

R9	宮城広瀬高校 普通科 6学級240人 → 募集停止 工業高校 電気科 2学級80人 → 1学級40人 広瀬ideal高校 普通科 200人(新設)

（3）北部地区

R9	松山高校　普通科　1学級40人、家政科　1学級40人　→　募集停止 鹿島台商業高校　商業科　2学級80人　→　募集停止 南郷高校　普通科　1学級40人、産業技術科　1学級40人　→　募集停止 大崎創成高校　アグリ・フード・ビジネス科　4学級160人（新設）
R10	加美農業高校　農業科　1学級40人、生活技術科　1学級40人　→　農業共創科　1学級40人

※上記のうち学科改編を伴うもの。

加美農業高校

【令和9年度】
農業科　1学級40人
生活技術科　1学級40人
農業機械科　1学級40人

⇨

【令和10年度】
農業共創科　1学級40人
農業機械科　1学級40人

（4）東部地区

R9	石巻高校　普通科　6学級240人　→　5学級200人
R10	石巻北高校　総合学科　4学級160人　→　3学級120人 登米総合産業高校　電気科　1学級40人、情報技術科　1学級40人　→　情報電気科　1学級40人

※上記のうち学科改編を伴うもの。

石巻北高校

【令和9年度】
総合学科　4学級160人
　食農系列
　家庭系列
　経情系列
　教養系列
　進学系列

⇨

【令和10年度】
総合学科　3学級120人
　食農系列
　家庭系列
　経情系列
　志学系列

登米総合産業高校

【令和9年度】
農業科　1学級40人
機械科　1学級40人
電気科　1学級40人
情報技術科　1学級40人
商業科　1学級40人
福祉科　1学級40人

⇨

【令和10年度】
農業科　1学級40人
機械科　1学級40人
情報電気科　1学級40人

商業科　1学級40人
福祉科　1学級40人

（5）気仙沼・本吉地区

R9	―
R10	本吉響高校　総合学科　3学級120人 → 2学級80人

※上記のうち学科改編を伴うもの。

本吉響高校

【令和9年度】
総合学科　3学級120人
　進学教養系列
　産業情報系列
　人間環境系列
　生活表現系列



【令和10年度】
総合学科　2学級80人
　進学教養系列
　福祉系列
　農業系列

第5章　教育環境の整備

1　生徒に対する支援体制

○　早朝に公共交通機関に乗車しなければ始業に間に合わない地域や、通学に一定の時間を要する地域等については、学校までの距離や交通手段等の制約を受けることなく、生徒が安心して学ぶことができるよう、市町村と協議しながらスクールバス等の通学・移動手段の導入基準や具体的な運行条件について検討します。

○　生徒の多様な背景や状況に対応できるよう、スクールカウンセラーを効果的に配置し、多様化・複雑化した教育課題に対する相談体制を強化します。また、スクールソーシャルワーカーの積極的な活用により、地域の関係機関や家庭と連携した指導の充実を図ります。

○　家庭環境や心身の状況等、多様な背景や困難を抱える生徒に対し、小・中学校からの切れ目ない支援を行うため、義務教育との接続をこれまで以上に強化し、学校と市町村等が連携して対応するなど、教育分野にとどまらない関係機関との協働を推進します。

2　教職員に対する支援体制

○　新たな魅力ある高校の設置に向け、学校現場が実践の初期段階において優先的に取り組むべき事項や、段階的な移行手順を明示することにより、現場の円滑な導入を支援するとともに、教職員が特色ある教育内容の検討に専念できる支援体制を整備します。

○　令和8年4月に設置した「オンライン教育センター」をデジタル技術を活用した効果的な教育手法を県内の各校に普及させるための教職員の学びの拠点とします。また、オンライン教育センターで開発・実践されたコンテンツを活用することにより、効果的な授業の実践を支援するとともに、教員の指導力向上と業務負担軽減を図ります。

○　遠隔授業に専従する教員や、時程調整等を担う遠隔教育コーディネーター、遠隔授業の配信準備、動画収録・編集等を行うサポートスタッフを配置し、教員が授業運営等に注力できる体制を構築します。さらに、AI 授業支援アプリを活用した学習状況の把握等の効率化を図るほか、受信校における専門外教科の指導負担を解消し、持続可能な執務環境を実現します。

○　また、専門知識を有する外部人材を活用し、より専門的な授業を展開するとともに、動画作成や学習意欲を高める画面構成などの実践的なスキル習得を支援する研修を実施し、県全体の学びの充実と、それを担う教員の育成を図ります。

○　産学連携による各種講座や校内組織を核とした定期研修等を通じて教員の資質・専門性の向上を図るとともに、支援人員の配置、教材のアーカイブ化、生成 AI 等を活用した校務の効率化を推進することで、教員が教育の質向上や新たな挑戦に注力できる持続可能な執務環境を構築します。

○　大学と連携した STEAM 型授業設計等の体系的な研修を通じて教員の指導力向上を図るとともに、授業モデルの共同開発やデータベース化、学校間での教育リソース共有、外部連携窓口の集約等による業務の効率化を推進し、持続可能な STEAM 教育を推進する環境を構築します。

第6章　計画の進行管理と公表

1　中期的な公表

○　個別の具体的な高校配置については、約4～5年前の7月頃に公表し、検討します。

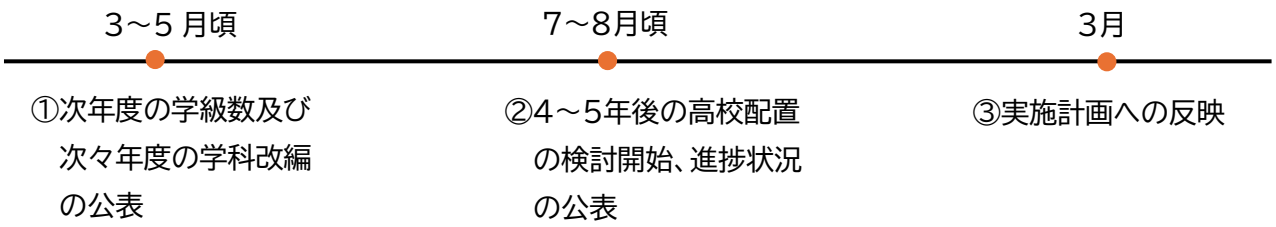
2　短期的な公表

○　上記1とは別に、各年度の中学校卒業者見込数等に対応する学級数の調整は1年前の5月頃に、学科改編は2年前の5月頃に公表します。

3　実施計画の更新

○　上記1及び2の内容を反映し、3月頃に実施計画を更新します。

＜各年度の流れ＞



別冊２

✓ 中学生や県民を対象とした意見交換会及び、市町村長や市町村教育委員会教育長、PTA関係者等を対象とした地区別高校在り方懇話会を開催した。各圏域における実績は下記のとおり。

名称	対象	実施期間	実施回数等
中学生への意見聴取	中学生	①令和8年7月10日～7月16日	5圏域／5回／計16人
		②令和8年9月9日～9月16日	5圏域／5回／計17人
県民との意見交換会	県民	①令和8年7月25日～8月2日	5圏域／5回／計49人
		②令和8年10月24日～11月7日	5圏域／5回／計60人
地区別高校在り方懇話会	市町村長 市町村教育委員会教育長 PTA関係者　等	①令和8年7月10日～7月15日	5圏域／4回／計78人
		②令和8年10月23日～10月29日	5圏域／4回／計68人

1　主な御意見の概要
・中学生への意見聴取 ……3
・県民との意見交換会 ……4
・地区別高校在り方懇話会 ……6

2　中学生への意見聴取
・ オンライン教育 ……8
・ 学校規模 ……10
・ 通学時間・距離 ……13
・ 高校で興味・関心のある学びや活動 ‥15
・ その他 ……18

3　県民との意見交換会
・ 高校魅力化・学びの在り方 ……19
・ 拠点校・オンライン ……22
・ 通学手段 ……23
・ 学校規模 ……24
・ 学級規模 ……25
・ 転入・編入等 ……26
・ 学校に登校していない生徒への対応 ‥27
・ 義務教育との連携 ……28
・ 生徒を主語にした高校教育の実現 …28
・ 学区の在り方 ……29
・ 教職員の確保 ……29
・ その他 ……30

4　地区別高校在り方懇話会
・ 高校魅力化・学びの在り方 ……32
・ 拠点校 ……35
・ 学校規模 ……36
・ 通学手段 ……37
・ 義務教育との連携 ……38
・ 周知・理解促進 ……39
・ 多様な学びの在り方 ……40
・ 転入・編入等 ……41
・ その他 ……42

中学生への意見聴取における主な御意見の概要

＜オンライン教育＞

○ オンラインで授業を受けられるようになることで、専門の先生から授業を受けられ、勉強の質が上がりそう。
○ すべてをオンライン化するのではなく、対面授業が適している内容と、オンラインで実施できる内容を分けるべき。

＜学校規模＞

○ 40人×5クラスの200人程度の規模が良い。
○ 高校ではさまざまな人と出会うことが社会人になったときにもよい経験になると思う。
○ 少人数の方が先生方も目が届きやすいと思う。

＜通学時間・距離＞

○ 通学時間は1時間くらいを目安にしている。
○ 高校は近い方が理想だが、本当にやりたいことができる高校であれば、多少遠くても通いたい。

＜高校で興味・関心のある学びや活動＞

○ 学校の中だけでなく、実社会とつながりながら学べる環境が理想。
○ 高校は偏差値だけでなく、数学Ⅲの授業や、理科・数学に力を入れているかなどのカリキュラムを重視したい。
○ 学力の近い仲間と切磋琢磨しながら学びたい。

県民との意見交換会における主な御意見の概要

＜高校魅力化＞

○　どうすれば生徒から選ばれる学校になるのかという視点が必要。特別な魅力のある学校を作ってほしい。
○　普通科の充実とともに、専門高校の魅力向上や教育の充実についても検討いただきたい。

＜オンライン＞

○　オンラインを使って受けられる授業の選択肢が増えるのであれば、仙台まで行かなくても勉強ができるというメリットになるのではないか。
○　オンライン授業について、週30時間の授業のうち、2時間から4時間程度ではないか。

＜通学手段＞

○　高校や中学校を検討する上で通学や学習の手段がないと、選択肢が非常に狭まってしまう。
○　公共交通機関の維持や、通学困難地域への対策は合わせて考慮されているのか。

＜学校規模＞

○　定員に余裕がありすぎる状況になると、受験競争も弱まり、学習意欲への影響も心配。一定の緊張感は必要だと思う。
○　少人数すぎるとクラス替えもなく社会に出たとき怖さもあるので、ある程度の人数を集めたほうが良い。
○　あまり大規模になり過ぎない方が、生徒にとって良い面もあると思う。

＜学級規模＞

○　少人数化を図り、現在の学級数を維持することはできないのか。
○　県独自に少人数学級を進めていくというビジョンはないか。

県民との意見交換会における主な御意見の概要

＜転入・編入等＞

○　専門的な知識を持つ教員を配置し、高校中退を防ぐ取り組みを強化していただきたい。

＜学校に登校していない生徒への対応＞

○　不登校が増えている背景も考えた上で、新しい案を作っていくべき。

＜義務教育との連携＞

○　中学校と高校の連携を強化していただきたい。

＜生徒を主語にした高校教育の実現＞

○　これから通わせる保護者や子どもたちの声を重点的に拾って考えていただきたい。

地区別高校在り方懇話会における主な御意見の概要

＜高校魅力化・学びの在り方＞

○　公立高校においても、宮城大学等との強い接続を示すことができれば、公立高校の大きな強みと魅力になる。

○　「高校でこういうことを学んだから、大学卒業後は地元に戻って働こう」と思えるような、魅力ある高校づくりを進めていただきたい。

○　職業教育拠点校などを選択した場合であっても、大学進学に対応できる教育環境や学習支援体制をしっかりと整えていただきたい。

＜拠点校＞

○　中部地区以外の圏域で学力を高める拠点を充実させることは、県全体の魅力を高め、一極集中を緩和させることにつながる。

＜学校規模＞

○　少子化による学級減は避けられないと思うが、一定の集団規模は必要だと感じる。

○　子どもたちが競争を経験せずに高校生活を終え、大学受験や就職で初めて厳しい競争に直面した場合のダメージを懸念している。ある程度の競争ができる環境を整えることが望ましい。

＜通学手段＞

○　交通アクセスというのも非常に大きい意味を持つ。

地区別高校在り方懇話会における主な御意見の概要

＜義務教育との連携＞

○　ぜひ小学校・中学校・町のPTA保護者の方々も巻き込んで進めていただければ、よりリアルに繋いでいけるのではないか。

＜周知・理解促進＞

○　今回の再編は現在0～5歳の幼児を持つ保護者に直接関わる問題。早い段階から関心を持ってもらえるような工夫をお願いしたい。

＜多様な学びの在り方＞

○　多様な背景を持つ子供たちの受け皿としての機能も高校の役割に含めていただきたい。

＜転入・編入等＞

○　県立高校から別の県立高校へ柔軟に編入・再チャレンジできるシステムを構築していただきたい。

中学生への意見聴取

＜オンライン教育＞

○ ここにいると交通の便で目指すのが難しかったり、家族が反対してしまったりすることがあるので、**どこにいても同じような教育をオンラインで受けられるというのは嬉しい。**

○ オンライン学習は有効である。ただし、**すべてをオンライン化するのではなく、対面授業が適している内容と、オンラインで実施できる内容を分けるべきである。**生成AIも、使い方によっては役立つため活用を進めるとよい。

○ **オンラインで授業を受けられるようになることで、専門の先生から授業を受けられる、勉強の質が上がりそうだと感じた。**

○ **生徒数が減少して近くの高校がなくなっても、オンラインで授業を受けられれば、学びの機会を確保できると思う。**

○ オンラインのシステムは便利だと思うが、学校の校舎の雰囲気やクラスで学ぶのも高校の楽しみなので、対面でも受けたい。

○ **オンラインにより普段交流のないような人や他校の人と勉強できるのは楽しみが増えると思う。**

中学生への意見聴取

＜オンライン教育＞

○ オンライン授業を受けている生徒も発言できる環境であれば、導入していくのはよいと思う。また、教科書は重いため、デジタル教材を活用するなど、学習環境のデジタル化も必要である。

○ **オンラインは、違う環境の人と意見を共有できる。**全部同じ考えじゃなくて「ちょっと違う考え」があると思うので、それを共有できるのはとてもいいし、そういう学校が増えてほしい。

○ 先生が別の場所からオンラインで授業を配信する仕組みに驚いた。様々な先生の話を聞くことができるのであれば、良い学びのきっかけになると思う。**新しい学び方を知ることができ、高校生活が楽しみになった。**

○ オンライン教育センターで、どこの高校でも同じ授業が受けられたら、すごく便利だし、その仕組みは面白いと思う。

中学生への意見聴取

＜学校規模＞

○ 高校に入学したら、**文学などが好きなので、それについて同じような仲間と一緒に勉強できたら嬉しい。いろんな人の考え方に触れたい。**

○ **40人×5クラスの200人程度の規模が良い。**体育祭や文化祭で盛り上がれる人数がいい。少人数は意見がまとまりやすいといったメリットがあるが、勉強面ではいろんな考えに触れる機会が少ないと感じる。

○ **学校規模はできれば4クラス以上がよい。**小学校のときも最低3クラスはあったため、できれば4クラス程度あってほしい。

○ 学校規模は1クラスだけは避けたい。3クラス以上がよい。**高校ではさまざまな人と出会うことが社会人になったときにもよい経験になると思う。また、クラス替えによる緊張感や楽しさも味わいたい。**

○ **大人数だからこそコミュニケーションの幅が広がる**と思うので、人数が減るのは怖い。

○ **生徒数は多い方がよい。10クラス程度あってもよいと思う。友人がたくさんできる方が、学校生活を楽しめるからである。**

○ **5～6クラス程度がよい。**生徒数が多い方が、自分の性格に合う友人を見つけやすいと思う。

○ 人数が多い学校も楽しそうだと思う。新しい出会いが増えるし、学校が広いことも魅力だと思う。

中学生への意見聴取

＜学校規模＞

○ ある程度、生徒数が多い学校がよい。学校行事や部活動は、人数が少ないと実施できないことがある。一定の人数がいる方が、行事や部活動を充実させられると思う。

○ 勉強も部活も両方力を入れて、どっちも一生懸命できる高校が良いと思う。

○ 部活動や学校行事で地域の方々と交流する機会がある。こうした活動は高校に入ってからも続けられたら楽しいと思うし、人と関わりながら学ぶことの大切さを感じる。

○ 人が減ると人との関わりが少なくなって、社会人になったときに知らない人と話せなくなるのではないか、という心配がある。

○ 大きい学校には多くの人と出会えるという魅力がある。一方で小規模校には顔や名前を覚えやすい良さもあるが、様々な人と関わる経験ができるので、比較的大きい学校の方が良いと思う。

○ 4クラス程度がよい。自分は大人数があまり得意ではないため、4クラス程度がちょうどよいと思う。

○ 私は小学校が全校生徒100人いないくらいの小さな学校だったので、人数が減ることへの不安はあまりない。むしろ人数に合わせた新しい形に変えていけばいいのかなと思う。

○ 学校規模は全員の顔が見たことある程度の、1学年100人から120人くらいが希望。今60人くらいであり、達成感があるのでその倍くらいがいい。少人数の方が先生方も目が届きやすいと思う。

中学生への意見聴取

＜学校規模＞

○　生徒数が減ることで生徒会費の収入が減ったり、運動会などの学校行事の運営が難しくなると思う。

○　学校が統合することによって人数が増えれば、学校行事や部活動が活発になるという良さもあると思う。また、**統合した学校同士の良いところを取り入れることで、さらに魅力的な学校になる可能性もあると思う。**

○　**学級数は4～5学級程度がちょうど良いと思う。学級数が多すぎると全員を把握することが難しくなる。少なすぎると学校行事や部活動の運営に支障が出る可能性がある。**そのため、4～5学級程度がバランスの取れた規模だと思う。

○　**5～6クラス程度がよい。**部活動や学校行事を考えると、競い合う相手やライバルが多い方がよい。**生徒数が多ければ、競技や活動の中で互いに競い合うことができる。**

○　学級数が減少すると、学校行事が心配である。学校行事は、大人になってから振り返っても思い出に残るものだと思う。行事の規模が小さくなり、内容があまり面白くなくなることは残念である。

○　**高校の生徒数はあまり人数が多くなくてもいいと思う。**せっかく仲良くなった友達と離れるのは寂しいので、みんなで仲良く頑張れる環境が良い。

○　小さい頃から少人数の環境で過ごしてきたので、**大人数の学校に馴染めるか少し不安はある。**

○　学校規模は3～4クラス程度がよい。**クラス替えを経験し、さまざまな人と関わる機会が増えることを楽しみにしている。**

○　3～4クラス程度は欲しいが、**これまでずっと1クラスだったため、友達との絆が強いという良さもある。クラス数が増えることで、その関係が変わることには不安もある。**

中学生への意見聴取

＜通学時間・距離＞

○ **通学時間は1時間くらいを目安にしている。**以前、2時間かかる高校を検討したが家族と相談して諦めた。

○ **通学時間は1時間から1時間半程度までは大丈夫だと思う。**2時間を超えると朝早く出なければならず厳しい。部活動を続ける場合は荷物も多く、満員電車も考えると、1時間から1時間半程度が限界だと思う。

○ 現時点では、将来やりたいことが決まっていないため、進路を迷っている。**高校に進学してからさまざまな経験をし、自分のやりたいことを見つけたい。**そのため、普通科に進学して選択肢を広く持つことも考えている。**通学時間は、1時間程度が望ましい。**

○ 近い方がよいが、**遠くても1時間半程度までである。**栗原は公共交通機関が少ないため、特にバスの本数を増やしてほしい。バスに乗り遅れると本当に大変である。

○ 自宅から高校に到着するまでの**総時間で1時間半程度が限度**である。自宅近くから利用できる公共交通機関が少ないため、通学手段を増やしてほしい。公共交通機関が整っていてこそ、遠方の高校にも通学できると思う。

○ 通学時間は部活動に入るかどうかによっても異なる。**運動部に入る場合は、片道1時間程度が限度だと思う。部活動に入らないのであれば、もう少し長くてもよい。**

中学生への意見聴取

＜通学時間・距離＞

○　興味のある分野を調べると仙台方面が多いが、通学や一人暮らしを考えると大変。家族ともあまり離れたくないので、**まずは通える範囲の高校を考えている。**

○　家庭の事情もあるため、**できるだけ徒歩や自転車など自力で通える範囲の学校が良い。**

○　**あまり遠い高校には通いたくない。**負担なく通学できる距離は、30分程度だと思う。

○　なるべく通いやすい場所にある高校が良い。兄が仙台の高校に通っていたが、朝早く出て帰宅も遅く、とても大変そうであった。

○　高校は家から近い方が良い。仙台は遠いと感じるので、通えても大河原や角田あたりまでと思う。また大学を目指せる高校を志望する。

○　高校が統合されると通学距離が遠くなり、さまざまな地域から通うことで通学時間も長くなることが心配である。**新しい高校をつくる場合は、できるだけ通いやすい場所に設置してほしい。**

○　**高校は近い方が理想だが、本当にやりたいことができる高校であれば、多少遠くても通いたい。**

○　**遠くても、自分を高められる学校であれば通いたい。**

○　県内であれば、仙台圏までも通学できると思う。県外の場合は寮生活が必要になる可能性がある。**県内で自分のやりたいことを実現できる高校であれば、遠くても頑張って通いたい。**

中学生への意見聴取

＜高校で興味・関心のある学びや活動＞

○　高校では勉強や実習に力を入れたい。工業高校の機械関係の学科に進学して技術を学び、その後は専門学校などでさらに知識や技術を身に付けたい。将来は機械関係の仕事に就きたいと思っている。

○　実際の社会や地域に出て学べる機会が多い高校が良いと思う。**学校の中だけでなく、実社会とつながりながら学べる環境が理想。**

○　**大崎創成高校**に興味を持った。農産物の栽培だけでなく、加工や販売まで学べることが将来に役立つと思う。**実践的な学習ができる点が良いと思う。**

○　普通科の高校でも、農業や商業など、将来の職業に結び付く学びを選択できるようにしてほしい。高校卒業後の進学や職業を考えると不安になることがあるため、**普通科の中でも将来の職業に役立つ学びを選択できるといい。**

○　将来は建築士になりたい。そのため大学進学を目指して普通科高校に進学し、**学力の近い仲間と切磋琢磨しながら学びたい。**

○　高校では将来の選択肢を狭めないように、勉強だけでなくコミュニケーション能力やAI、パソコンなどの技術も身に付けたい。

○　物を作るだけではなく、それを販売したりプレゼンテーションしたりする力を学べる授業があると良い。また、職場体験の機会も増えると良いと思う。

中学生への意見聴取

＜高校で興味・関心のある学びや活動＞

○ 将来は大学へ進学して資格を取得し、その資格を生かした職業に就きたい。そのため、大学進学を実現できる高校かどうかを重視している。各高校の進路実績を確認し、卒業生がどの大学や専門学校へ進学しているかを高校選びの判断材料にしている。

○ 将来は薬剤師になりたいので、それにつながる学びができれば良い。

○ 建築士を目指している。そのため、高校ではしっかり勉強して、建築士の資格取得につながる大学へ進学したい。

○ 将来は魚の研究者になりたいので、**高校は偏差値だけでなく、数学Ⅲの授業や、理科・数学に力を入れているかなどのカリキュラムを重視したい。**

○ 県外など東京の大学とかの情報を、高校にいながらもっと聞けるような機会があったら楽しいと思う。

○ 高校では**さまざまな人と出会い、自分とは異なる価値観を学びたい。**

○ 高校では、部活動や学校行事にも関わりたいが、勉強を最も頑張りたい。高校でさまざまな体験や人との関わりを通して興味のある分野を探したい。

○ 大学進学よりは就職をメインに頑張りたいと思っているので、**就職に必要なことを学べる高校で、部活にも力を入れたいと思っている。**

中学生への意見聴取

＜高校で興味・関心のある学びや活動＞

○ **将来につながる学びを選択できる高校がよい。**また、学校行事が充実していることも重要である。高校生活を楽しみ、さまざまな思い出をつくりたい。校舎がきれいであることや、校則が厳しすぎず、生活しやすいことも魅力である。

○ 高校を選ぶ際には、学校の雰囲気を最も重視している。オープンスクールで、自分が学びたいことを学べるか、学科、学校行事、部活動などを確認している。また、地域の課題や自然環境など、地域とのつながりを学べる学校にも興味がある。

○ 中学校に入る前は部活動や人間関係に不安もあったが、実際に入ってみると楽しいことがたくさんあった。高校でもいろいろな部活動に挑戦したい。

○ クラブチームで野球をしているため、野球に力を入れている高校、野球が強い高校に進学したい。自宅からある程度離れた高校も考えており、家族と相談している。

○ クラブチームでサッカーをしているため、スポーツについて学べる高校に進学したい。寮に入らず通学できるのであれば、多少遠くても構わない。

○ 今の学校には運動部しかないが、高校では生徒数も増えて部活動の種類も増えると思うので、文化部に興味がある。選択肢が増えることを楽しみにしている。

○ 高校では吹奏楽部に入りたい。高校では生徒数が増えるため、部活動も変わると思う。吹奏楽部などの部活動の様子を重視したい。

中学生への意見聴取

＜その他＞

○　学びの内容については限られたクラス数の中で考える必要があるため難しい部分もあるが、**バランスは良いと感じる。**今後、工業系や商業系にどのくらいの生徒が興味を持っているかも、学科配置を考える上で重要なのだと思う。

○　**定時制の学級数が、想像していたより多い**と感じた。

○　工業系や農業系の学級数が、比較的多いと感じた。

○　専門学科を選ぶことにはハードルの高さを感じる。普通科の学びと専門的な学びを組み合わせるなど、最初から一つの分野に限定せず、**複数の分野を学べる仕組みがあれば、専門学科を選びやすくなる**と思う。

○　学びの内容については、普通系と専門系のバランスを考える必要がある。人口減少により専門系の学びを選ぶ生徒が減る可能性があるため、普通系を少し減らしてでも、機械・農業・水産など、将来地域に必要となる専門系の学びを残した方がよい。

県民との意見交換会

＜高校魅力化・学びの在り方＞

○　今後は学校を減らす議論だけではなく、**どうすれば生徒から選ばれる学校になるのかという視点が必要。地域の特色を生かした学びや、地域課題解決型の学習などをもっと充実させるべき。**

○　**農業、商業、水産などの専門高校は、将来の経営的視点を考慮すると、ある程度まとめて一体的に学ぶ必要があるのではないか。**

○　先日、大学生に高校選びや通学について話を聞いた。通学時間（1時間程度）や距離は友達と通うためそれほど苦にならず、**高校選びの基準は「学びたい内容」「偏差値（学力）」「家からの距離」**の3点であった。子供たちは時代の変化に柔軟に対応して成長していくので、大人の役割は建物や学校の存廃だけでなく、地域自体の魅力をどう作っていくかだと感じた。

○　少子化による学校減少は避けられない現状だからこそ、「子供たちのせいではない少子化」をネガティブに伝えるのではなく、生徒一人一人のウェルビーイングや明るい未来にどうつながるかというポジティブな視点で伝えることが大切。

○　学校がなくなるからこそ、近くの学校にとりあえず行くのではなく、「将来何をしたいか」を真剣に考えるようになり、遠くても特色ある学校を選ぶようになるのではないか。地元に産業系の学校があることは、地域の商店や企業で活躍する人材育成にも重要。

○　地域の生徒が進学のために流出している現状を見ると、**何とか地域に残れる魅力ある仕組みを作ってほしい。また、生徒数が減ることで部活動などの選択肢も減っている。やりたい活動ができないために仙台へ進学する生徒もいる。そうした教育環境の充実も重要。**

県民との意見交換会

＜高校魅力化・学びの在り方＞

○　気仙沼の子供たちが地元に残って地元の学校に通うのを求めているが、今は仙台やよその学校、通信制を選ぶ子も多い。地元に残る子ってどのくらいのか。**気仙沼にある1校の中で色んな選択肢がある学校であれば、逆によそからも『気仙沼のあの学校に行きたいな』と思えるような魅力ある学校に気仙沼の高校をしていただいて、地元の子供たちがここに残って通おうと思ってくれるような学校にしていただきたい。**

○　せっかく気仙沼に学校を準備しても、魅力がなければ仙台に流れてしまう。**中学校3年生が「頑張って入らなければならない」と思える、特別な魅力のある学校を作ってほしい。**よそから気仙沼に来るくらいの魅力があれば良い。

○　工業系や水産系のクラス数が減少していく見込みとなっている点については、**普通科の充実とともに、専門高校の魅力向上や教育の充実についても検討いただきたい。**

○　今回提示された計画案では、気仙沼圏域だけ専門学科における「農業系」の学びが含まれていない。圏域内には、昔から農業科や産業技術科、総合学科の中で農業教育が行われてきた。

○　今後は全国から生徒を募集するという考え方も必要ではないか。地域には魅力的な学びの素材があり、寮や下宿などの体制が整えば、県外から生徒を受け入れることも可能だと思う。地域みらい留学のような取組をもっと進めてもよいのではないか。

○　全国募集は全国で500校以上がやっていて生徒の取り合いになっている。県レベルでしっかり予算や誘致、寮の整備などを自治体と一緒にやっていかないと太打ちできない。

県民との意見交換会

＜拠点校・オンライン＞

○　地域拠点校でオンライン授業などを併用し、仙台まで行かなくても同等の質の高い授業が受けられる環境を作れば、地元に残る生徒も増えると思う。

○　オンライン教育センターについて、ナンバースクールのハイレベルな授業を配信するというやり方は、**先生と生徒の触れ合いが希薄になり置き去りになる生徒が増えるのではないか。**

○　進学を希望する生徒が地域外へ流出する状況が続けば、生徒数減少がさらに加速すると思う。**学力向上や進学実績の向上を地域高校の魅力として打ち出していく必要があるのではないか。**

○　**栗原地域としては「大崎地域に吸収されてしまうのではないか」という不安がある。**栗原の子どもたちは古川にも多く進学しているし、学力上位層も少なくない。地域として進学需要がないわけではないので、十分考慮してほしい。

○　登米市には身近に目標となるロールモデルが存在しないという課題がある。本来であればもっと能力を伸ばせるはずの生徒が、挑戦せずに終わってしまう現状を打開する必要がある。だからこそ、**仙台周辺の高校生や大学生と上手く繋がっていけるような仕掛けがあれば良い。**

○　栗原地域からは古川方面や仙台方面へ進学する生徒が多くいる。新幹線通学や家族の送迎など、大きな負担をかけながら進学しているケースもある。そのため、栗原地域にも進学を重視する学びの選択肢がほしい。

県民との意見交換会

＜拠点校・オンライン＞

○　現在中学生と小学生の子どもがおり、仙台への通学は大変であり、体調や塾のことを考えると、地元の高校などに入ってオンラインコンテンツや充実した授業で次の進学を目指せるのが一番良い形であると思っている。経済的な理由で諦める保護者もいると思うので、**今回の計画のように拠点校が全県一区の中で盛り上がっていける取り組みには賛成であり、ありがたい。**

○　気仙沼の子供たちは選択肢の少ない中から学校を選ばなければならない。仙台であれば私立など選択肢が多く、通学も容易だが、気仙沼では中学校3年生で夢が固まっていない中で数少ない選択肢から選ぶことになる。**オンラインを使って受けられる授業の選択肢が増えるのであれば、仙台まで行かなくても勉強ができるというメリットになるのではないか。**

○　高校生と話をすると、「この中から選ぶしかなかった」という子もいる。入学してから「何か違う」と悩み、中学生のときにもっとよく選べば良かったと言う子もいる。そうした子たちが将来を考えるときに、**「こういう授業も受けられるんだ」という選択肢が少しでも増えれば、将来が広がると思う。そういうところにオンラインを活用してほしい。**

○　オンラインについて、時間割のほとんどは学校にいる先生から教わり、一部の専門的な教科だけがオンラインになるのか。週30時間の授業のうち、せいぜい2時間から4時間程度ではないか。

県民との意見交換会

＜通学手段＞

○　我が家で一番上の子が小学6年生だが、昨年中学受験を検討した際、周辺に塾がないことに気づいた。**高校や中学校を検討する上で通学や学習の手段がないと、選択肢が非常に狭まってしまうと感じる。**

○　全体的に生徒数が減っていく方向であれば学校統合も理解できるが、遠隔地からの通学が発生すると思う。その場合、公共交通機関の維持や、通学困難地域への対策は合わせて考慮されているのか。

○　地区ごとで見てもかなり高校が少ないところもあるので、**場所によっては本当に通いづらいとか、そういったところが気になる。部活動はどうなるのか。**

○　交通の便については、小中学校のバスとかに乗せることや、単独校での存続という方法もあるが、乗り継いで通えるように（バス等の）選択肢は考えられるか。

○　キャンパス校の活用や再編を進める場合、スクールバスなど通学手段の確保も重要になる。

○　現在、気仙沼中心部に志津川から通っている子もいる。志津川の子の多くは登米市内の高校に進学する。志津川からBRTも出ているが、1時間では難しい。

○　電車も時間に限りがあるし、志津川から気仙沼に通うのは大変だろうと思った。1校だと大変なので、できたら、2校でお願いしたい。

○　北部アイデアルができることで、県北から仙台へ通う生徒を減らし、県北の生徒は県北で学べるようにする考え方もあるのか。

県民との意見交換会

＜学校規模＞

○ 定員に余裕がありすぎる状況になると、受験競争も弱まり、学習意欲への影響も心配。一定の緊張感は必要だと思う。

○ 郡部から仙台へ生徒が流れる背景には、学校規模の問題もある。生徒数が減ると部活動の選択肢も少なくなる。ある程度の学校規模があれば、部活動や学校行事なども活発になるので、その点も考えてほしい。

○ 地域づくりのところでも高校生は引っ張りだこで、イベントでの演奏やボランティアを頼まれるが、生徒数が少ないので参加が難しいことがあり、小規模校では限界がある。圏域を広く捉えることで子どもたちの活躍の場が広がるのではないかというイメージを持っている。横にどんどん繋いでいかないと無理だなというのが現状。

○ 少人数すぎるとクラス替えもなく社会に出たとき怖さもあるので、ある程度の人数を集めたほうが良い。

○ 大規模校では生徒数が多いため、一人一人への細かな対応が難しい場合がある。不登校傾向になった生徒への支援が十分行き届かず、結果的に退学につながるケースもあると聞く。あまり大規模になり過ぎない方が、生徒にとって良い面もあると思う。

県民との意見交換会

＜学級規模＞

○　令和21年の必要学級数は40人学級を前提に設定されていると思うが、令和21年までずっと40人学級が続くという想定なのか。少人数化を図り、現在の学級数を維持することはできないのか。

○　国の方針に沿って少人数学級が決まったらそれに沿ってやっていくということだが、県独自に少人数学級を進めていくというビジョンはないか。

○　保護者も本人も「学力を上げたい」と思っている人は多くいる。少子化でクラス数が減っていく中で、自分の子の学力に合った学校をどう選ぶかは難しいと感じる。仕事で学習塾をしているが、生徒たちも「ここは無理だからここ」といった選び方をしていて、入学後の学習内容にギャップを感じる子もいる。少人数授業などを生かして対面で手厚く見ていただけると、満足度も学力も上がるのではないか。

○　少子化だからこそ手厚い教育環境を作るべきであり、国を待たずに県独自で20人学級などの少人数化を行い、地域校を残してあげるプレゼントをしてほしい。

県民との意見交換会

＜転入・編入等＞

○ 「高校中退の削減」を行政目標として明確に設定していただきたい。私どもの調査で、就労している発達障害の方のうち、37%が高校中退を経験していた。現場の高校では退学を防ぐため手厚い配慮を行っている学校もある。**専門的な知識を持つ教員を配置し、高校中退を防ぐ取り組みを強化していただきたい。**

○ 不登校の問題を非常に心配している。学校に通える生徒は良いが、高校に進学したものの途中で通えなくなり、ドロップアウトしてしまうケースがある。中学校は義務教育のため、出席日数に関わらず教員がなんとか学校へ復帰させようと支援するが、**高校は出席日数が満たないと退学になってしまうという厳しいイメージがある。そうした生徒たちを取りこぼすことなく、他の学びの場へスライドさせたり、学びの多様化学校へ転入させたりするなどして、なんとかすくい上げられるような高校教育のシステムになってほしい。**

○ 最近、広域の通信制高校がすごく増えており、県立高校を希望する子が少なくなっている現状についてどう考えているか。通信制高校の実態として、本当に全員が3年間で卒業できているのか、途中でドロップアウトしていないかという懸念もある。

○ 家庭の事情（親の介護等）で県外から宮城県へ戻る際、長男の転入学を相談したところ、「履修科目が異なる」という理由で何校にも受け入れを断られた。最終的に私立にお世話になったが、移住や引っ越し等のケースにおいて、補講などの柔軟な代替措置が制度・運用面で講じられなかったのだろうか。学力基準を満たしているのであれば、受け入れ体制を柔軟にしていただきたい。

県民との意見交換会

＜学校に登校していない生徒への対応＞

○　少子化に伴ってこの案が出されたということばかりが印象に残ってしまって、実際は不登校の子どもが多いことや、学校が減ったら先生の数も減る。少人数学級にすれば問題もなく、ここまで学校を減らさなくてもいいのではないかと思う。**不登校が増えている背景も考えた上で、新しい案を作っていくべき。**

○　学校を統合して学校規模を大きくするのではなく、**少人数で手厚く教育するという方向もある**のではないか。人数が少なければ、生徒一人一人に目が届きやすくなり、不登校や学習支援にも対応しやすくなると思う。

○　不登校や発達障害を抱えながら普通高校に在籍する生徒が急増している現状において、特別支援学校と普通高校との連携や繋がりがますます重要になっている。普通高校側においても特別支援教育の分野を重点化することが強く求められている。その点を明確にして、是非取り組んでいただきたい。

○　不登校の生徒は真面目な子が多く、学力や生活態度に問題がなくても不登校になるケースが結構ある。成績も非常に良い場合が多く、アイデアル的な環境があれば進学希望の生徒とも対等にできる力を持っている。**アイデアルの要素を取り入れる場合は教員の定数を増やすなど検討を**いただきたい。

県民との意見交換会

＜義務教育との連携＞

○　学力が達していない生徒を入学させた結果、途中でリタイアしてしまうケースも散見される。義務教育の段階では周囲がサポートするが、高校に入るとそこまできめ細やかな対応は難しく、結果的にドロップアウトしてしまう生徒もいる。提言としては、**中学校と高校の連携を強化していただきたい。**現状、義務教育と高等教育の間で断絶があるように感じる。高校側はオープンな姿勢で働きかけているものの、小中学校側が閉鎖的で、評価を気にしているのか連携に消極的な印象を受ける。この壁を突破できれば良いのではないか。

＜生徒を主語にした高校教育の実現＞

○　地域の声や伝統も大事だが、「学校はそもそも誰のためのものなのか」という原点をしっかり考えないと、ただの設置場所の議論になってしまう。**これから通わせる保護者や子どもたちの声を重点的に拾って考えていただきたい。**

○　これだけ子どもの人数が減っていれば、こうした学校再編の流れはやむを得ないことだと受け止めている。今回4校という案だが、人口が多い地域や通いやすいエリアなどが考慮されて選定されていくのだと思う。ただ、地域から上がってくる声と、今後子供を通わせたい保護者の声は必ずしも一致していないと思っている。地域の方々が「学校を残してほしい」という声が大きいのも分かるが、保護者からすると「通いやすさ」や「特色がある学校」に通わせたいという現実がある。

県民との意見交換会

＜学区の在り方＞

○　全県一学区であると、より一層郡部の学校を魅力に感じなくなって、仙台集中になっていくのではないか。少なくなればなるほど、そこに行きたいと思う子どもたちがいるのかと思う。**地域にたくさんの高校があり、選べるという状況になってほしい。**

○　全県一学区化により仙台圏の高校に流出する傾向があるが、各地域に学びの拠点を残し、学区のあり方も再検討すべきではないか。

○　宮城県では仙台への一極集中が顕著。成績上位層がこぞって仙台を目指す状況では、各地域で優秀な人材が育つ循環が生まれにくくなる。**石巻などの地域でも、東京の大学に進学するような生徒がコンスタントに輩出される学校があっても良いのではないか。**高校の力量のバランスを考慮していただきたい。

＜教職員の確保＞

○　今後の高校教育における教師の役割の位置付け、そしてその教師をどのくらいの人数確保していくのかということを前提にしなければ質の向上は望めない。

○　郡部の高校の魅力を高めるためには、施設だけではなく教員配置も重要。例えば進学指導や探究活動に力を入れるのであれば、それに対応できる教員が必要になる。**地域の学校にもしっかり予算を配分し、人材を配置してほしい。**

県民との意見交換会

＜その他＞

○　地区の呼び方について、**「北部」「東部」「中部」「南部」とある中で、なぜここだけ「気仙沼地区」なのか。「北東部地区」などにするのが自然ではないか。本吉や南三陸も含めた地域のため、名称の変更をご検討いただきたい。**

○　統合によって新しい学校ができる際、校名や校歌が変わることで地域とのつながりが強くなるケースもあると思う。**早めに将来の姿を示し、地域住民と一緒にワークショップなどで新しい学校の在り方を考える機会があると良い。**

○　気仙沼は人口減少が著しいので、魅力ある学校づくりや中学校との連携を早めに進めて、ワークショップなどを立ち上げて、新しい高校の姿を、地域のみんなで議論していきたい。

○　再編によって地域と高校とのつながりが弱くなり、地域の活力そのものが失われてしまうことは避けてほしい。

○　普通科の見直しにおいて「地域と協力して」という探究活動のお話があったが、生徒が集まる地域自体も過疎化している。**地域と連携するという言葉は素晴らしいが、本当に地域に根ざした研究や探究ができるのか**疑問である。

○　ストレスフリーな学校を目指しているのか。近年、若者が就職後に早期離職してしまうことを聞くが、学生時代にストレスが過度に軽減された結果、就職後の負担に耐えられないのではないか。すべての学校をストレスフリーにしてしまうと、社会に出てからより苦労するのではないか。

○　アイデアルスクールのような学びを深めることも大事だが、社会で活躍する上で最も大切なことは「人との関わり」である。体育祭や合唱コンクールといった学校行事は、人間関係や絆を育むために大事な機会であるが、そうした行事は実施されるのか。

県民との意見交換会

＜その他＞

○　普通科、農業、工業、商業など、すべてを一つの学校にまとめる考え方については心配もある。進学を目指す生徒と職業教育を受ける生徒が同じ学校にいることで、学校の方向性が曖昧になるのではないか。普通科高校は普通科高校として残した方が良いという考えもある。

○　白石高校の看護科について、市外からも生徒が来ており、昔とは環境も変わってきている。時代の変化とともに必要性がどう変わっているか迷うところだが、県内で集まりやすい場所に配置した方が良いのではないか。

○　今現在の学校で必要なものすら揃わないのに、早ければ1年でハード面でもソフト面でも、その方針が必要とされる。本当の意味で必要な予算が割り当たっていない教育を、本当**にたった14年で予算を確保して、そしてその先10年、20年と、サステナブルな感じで行けるのか**どうか。

○　適正規模を維持するためにという論理で考えてきているのは分かるが、今から先、その考え方でやっていくと、地域ごとの消滅をますますスピードアップさせる。そうすると教育委員会だけでは手に負えなくなるかもしれないが、県全体として周縁化が進んでいる地域の中にどういう県の力を注入していくのか、それを是非考えてほしい。

○　より良い学校作り、子供たちが良くなって将来的に元気になって宮城を元気にしていく、一人一人が充実して元気にしていくという計画であり、この計画に賛成する。

○　公立だけ再編して、私立には何も求めないというのは難しい。補助金も出ているし、全体としてのバランスを考える必要があるのではないか。

地区別高校在り方懇話会

＜高校魅力化・学びの在り方＞

市町村

○　自治体として職員の確保が難しい状況にあるので、土木の技術者を養成するような内容も考慮に入れていただけると、市町村としては助かる。

○　南部地区の自治体の中学校3年生の多くが、中部地区（仙台圏）の高校に進学している。令和21年、生徒数がさらに減った際、南部地区に「通いたくなる魅力ある学校」があるかどうかがポイントになる。

○　公立高校にお願いしたいことは「出口」をしっかりと示してほしいということ。つまり特色。大学進学は様々なバリエーションができる、自己達成ができる普通高校や就職に強い高校。公立高校の出口をはっきりとした学校作りということが大きい。

○　公立の宮城大学等との高大連携において、県立高校向けの優先枠・推薦枠を設定することはできないのか。私立高校が強いのは系列大学の存在があるからであり、**公立高校においても、宮城大学等との強い接続を示すことができれば、公立高校の大きな強みと魅力になる。**

○　大学進学だけがゴールではなく、専門高校からの進学も含め、子どもたち一人ひとりが「生きる力」を育み地域を支える人づくりとなるような大局的な視点で高校教育の在り方を提示していただきたい。定員・倍率による緊張感といった旧来の意識にとらわれず、質の高い学びの環境整備をお願いしたい。

○　子どもたちが明確な将来の夢や目標を持って目指せる「魅力ある高校づくり」をお願いしたい。**学力偏差値だけでなく、特定の分野で突出した強みや関心を持つ子どもたちが個性を伸ばせるような魅力的な選択肢を地方圏域にも広げていただきたい。**

地区別高校在り方懇話会

＜高校魅力化・学びの在り方＞

市町村

○ 「地域に必要な高校をどう残すか」と考えた際、学びの類型で学級数をカウントしてしまうと、今後の展開が苦しくなるのではないかと感じる。農業系、工業系、商業系といった従来の枠組みで学級数を固定することが、10年先の高校生にとって適切なのか。

○ これから10年先を見据えた計画としては、「普通」という言葉を変えた方が良いのではないか。例えば実業系からでも大学へ推薦で行ける時代。考え方を変えて示した方が良いのではないか。

○ 町内唯一の高校について、町と大学、高校との包括連携協定を結び、探究学習「地域創造学」の展開や全国募集への支援などを行ってきた。今回の計画案で示された将来の学級数削減や再編は、町民に「学校が無くなるのではないか」という大きな不安を与えている。単に学級数を減らすだけでなく、既存の高校を維持しながら中学生が魅力的な学びを選べるような視点も取り入れて検討していただきたい。

地区別高校在り方懇話会

＜高校魅力化・学びの在り方＞

PTA関係者

○　子供たちがなりたいものになれる学びの選択肢が維持されていることが重要。

○　早期に夢を持てない生徒やモラトリアム期にある生徒に対しても、多様な選択肢とチャンスを残す仕組みをお願いしたい。

○　主役である子供たちの未来を支えるため、家庭・学校・地域・産業界（産学官民）の連携が不可欠。県立高校が「産学官民連携のフィールド」となり、企業と高校が対等に協力し合えるプラットフォームを構築していただきたい。大人が魅力的な社会の姿を子供たちに示すことで、生徒の主体的な学びを引き出していただきたい。

○　現在の高校進学は、文系・理系といった区分や偏差値に基づく受験によって、高校に入学した時点で将来の進路がある程度固定化されてしまう傾向があると感じる。偏差値ありきの学校選びから脱却し、各地域・各学校ならではの学びを提供していただきたい。そして**「高校でこういうことを学んだから、大学卒業後は地元に戻って働こう」と思えるような、魅力ある高校づくり**を進めていただきたい。

○　県内どこに住んでいても希望する進路を実現できる仕組みづくりは、保護者にとって非常に重要である。定員や倍率による圧力や脅しのような進路指導ではなく、生徒自身が将来の生き方を能動的・主体的に考え、自己実現に向かって学べる教育環境・仕組みづくりを学校教育の中で推進していただくようお願いしたい。

○　現在、大学進学率は非常に高くなっている。普通系高校はもちろんのこと、**職業教育拠点校などを選択した場合であっても、生徒が希望すれば大学進学に対応できる教育環境や学習支援体制をしっかりと整えていただきたい。**

地区別高校在り方懇話会

＜拠点校＞

市町村

○　進学系拠点校は面白いと感じた。**中部地区以外の圏域で学力を高める拠点を充実させることは、県全体の魅力を高め、一極集中を緩和させることにつながる。**

○　**進学拠点化やアイデアル校のような新しい取り組みは非常に良いと思う。**しかし、各地区に残る普通科の高校について、どのような特色や位置づけを持たせるのかが課題だと感じる。専門学科や新しい枠組みの学校は特色が分かりやすいが、従来の普通科高校については、教育委員会として明確な方針を示し、校長が代わっても継続して特色ある教育を実現できるような担保が必要である。

○　中部に進学系がほぼ半分くらい集まっているということで、このままだと大学に進学したい子は仙台にみんな集まってしまうのではないかという懸念がある。

地区別高校在り方懇話会

＜学校規模＞

市町村

○　学校の在り方を検討していく中で、学級数、先生の人数ということになってくる。理科であれば物理・化学・生物・地学、社会であれば日本史・世界史・地理・倫理・政経とたくさんある。**再編をしたとしても、マイナーな科目についても先生が配置できるような、そんなビジョンで考えていただければ、入学した子供たちがそれぞれの科目を選ぶ余地が出てくる。ひいては子供の将来の選択肢を広げることになる。**そうした余地を残すような学校であってほしいと思う。

○　石巻市では長年、全国学力テストの結果が県平均を下回る状態が続いている。その要因の一つとして、少子化により定員割れしている高校が多く、「勉強しなくても高校に入れる」という意識が子どもたちに広がっていることが挙げられる。**競争がない環境では、学習意欲を喚起することが非常に困難。定員割れの状況を解消し、ある程度の競争性を維持することが、子どもたちに学習の動機付けを与える上で必要**だと考える。

PTA関係者

○　**少子化による学級減は避けられないと思うが、一定の集団規模は必要だと感じる。**複数学科を1つのクラスで運営するなど、工夫しながら子供の数を確保するような検討をお願いしたい。

○　保護者目線としても、1倍を切る定員割れの状態が当たり前になることには危機感を持っている。**子どもたちが競争を経験せずに高校生活を終え、大学受験や就職で初めて厳しい競争に直面した場合のダメージを懸念している。ある程度の競争ができる環境を整えることが望ましい。**

地区別高校在り方懇話会

＜通学手段＞

市町村

○　学校が少なくなると行くところが限られてくるので、街の子供たちと地域の子供たちでは経費が違う。地域の子供たちの通学を補助するようなシステムなどができると保護者も安心すると考える。10年後には半分の生徒になるので、考慮していただければと思う。

○　これくらい学級が減るとなると、少なからず集約ということが考えられるかと思うが、自分の自治体でも私立に行く子が増えている。無償化になる前から増えているが、理由は私立高校はスクールバスを出すので、通学のメリットが大きいからである。私立に行く子が半分くらいいるような状況。 地元に県立高校があり、公立を志望する子はその県立高校に行く子が多いが、「自力で通えるから」という理由が大きい。**観点の1つとして交通アクセスというのも非常に大きい意味を持つ**というところは、考えていただけるとありがたい。

○　広域通学となる地域においては、スクールバスの予算面での難しさも踏まえ、**「フレックスタイム制」の導入など柔軟な登校・対面機会の確保を**ご検討いただきたい。

○　圏域統合に伴う広域化においては、交通アクセスと合わせて寮などの受け入れ態勢の整備方針を明確に示していただく必要がある。また、これからの時代に対応する半導体やIT関連分野の教育内容を具体的にどのように取り入れていくのか、さらに私立高校との役割分担やすみ分けについてどのような見通しを持っているのか、より分かりやすい具体策の提示をお願いしたい。

○　郡部では交通アクセスの整備が極めて重要な課題となる。また、地元の高校の魅力を高めるため、かつて登米総合産業高校を設立した際のように、**産業界・小中学校・地域代表者などを巻き込んだ「パートナーシップ会議」のような検討組織を早急に立ち上げて、地域ぐるみの魅力ある学校づくりを**進めていただきたい。

○　人口減少は県全体の横断的な課題。**教育界だけで解決できない交通アクセスや産業界との連携については、県庁横断的に産業界等のパートナーと協議して進めていただきたい。**

地区別高校在り方懇話会

＜義務教育との連携＞

市町村

○　今回単なる従来の生徒数の減少に合わせた学級減や統合再編ではなく、教育や学びの方法、地域との連携のあり方を含めた抜本的な見直しといった高校改革を進めていく中でぜひとも中学校との学びの連続性であったり、教育課程との切れ目ない学びの連続性のところも含めた形で高校改革を進めていただきたい。

PTA関係者

○　本計画は長期間にわたる計画であるため、**次の世代へ引き継いでいくことが非常に重要かつ困難**であると感じている。**ぜひ小学校・中学校・町のPTA保護者の方々も巻き込んで進めていただければ**、よりリアルに繋いでいけるのではないかと思うので、ご検討をお願いしたい。

○　小・中学校での探究学習や個別最適な学びの変化が高校再編へとつながっているストーリーを保護者に分かりやすく伝える必要がある。

○　偏差値や学力検査だけでなく、小・中段階で育んだ興味・関心や学びの意欲・課題解決能力を適切に評価できる入試制度（面接や意欲重視の選抜等）を整備・提示していただきたい。

地区別高校在り方懇話会

＜周知・理解促進＞

市町村

○ **今回の再編は現在0～5歳の幼児を持つ保護者に直接関わる問題**である。説明会への参加者が少ないとのことだが、保育所・幼稚園・小中学校やPTAの機会を通じた積極的なチラシ配布や情報提供を行い、**早い段階から関心を持ってもらえるような工夫を**お願いしたい。

○ いくら立派なビジョンや指導要領を作っても、現場の教員がその理念を理解し実践しなければ意味がない。教員の意識改革と新しい教育スタイルへの理解促進を強く意識して進めていただきたい。

○ 現状を受け止めた上で地元の高校の魅力をどう高めていくかが課題である。未来の保護者層へしっかりと届くよう、町と連携して広報・意見収集を進めていただくようお願いしたい。

○ 実質負担の増大などが指摘される中でも私立高校への流出が見られるが、**公立高校が果たしている多角的な進路指導や手厚い教育活動の魅力を、もっと積極的にアピール・宣伝していくべき**ではないか。

PTA関係者

○ 子供たちに「何がやりたい？」と聞いても、「分からない。とりあえず普通科」となる。中学生でもやりたいことが見えている子は良いが、そうでない子もたくさんいる。「こういうことがしたいから私立に行きたい」というのであれば親はバックアップするが、そうでなければ情報が必要。これだけ真剣に考えてくださっていることは、一般の保護者には伝わっていないのが現状。**ぜひ一般の方々へのアピール**をお願いしたい。

○ 学校の再編統合は、子供たちにとって生活環境や将来に直結する大きな変化であり、大人が思う以上に不安を感じる部分である。取り組みの段階から、当事者である子供たちに対して丁寧に周知を図っていただきたい。

○ 少子化の中で学校再編が避けられない現状について、**丁寧な説明を通じて理解者を増やすことが最も大切**であると考える。

地区別高校在り方懇話会

＜多様な学びの在り方＞

市町村

○　生徒数自体は減少していても学級数は減っていない。特別支援学級に在籍する生徒や、通常の学級にも配慮を要する子供たちが増加しているためである。外国籍の子供たちや、不登校の子供たちも増えつつある。そうした**多様な背景を持つ子供たちの受け皿としての機能も高校の役割**に含めていただきたい。

○　現在、小中学校で日本語指導が必要な外国籍の児童生徒が増えている。ひらがなや漢字の習得には時間を要し、未消化のまま高校年代を迎えるケースも少なくない。これから地域で働いていく外国籍の方々が語学や基礎を身につけて社会に出るための出口として、高校教育が大きな役割を果たしていると感じている。学びの多様化学校や高校の機能の中に、外国籍の方々が地域で活躍できるための受け皿や教育機能を含めていただきたい。

地区別高校在り方懇話会

＜転入・編入等＞

市町村

○　特定の専門学科に入学した後で進路変更を希望した場合、単位の互換性がないために身動きが取れなくなるのは非常にもったいない。**地区内だけでも単位の共通化を図るなど、柔軟な仕組みが必要ではないか。大学進学を目指しながら農業の現場を知るといった、分野横断的な学びが今後さらに重要になると思う。**こうした教育内容の柔軟性についても合わせて検討いただきたい。

○　生徒が高校進学後に進路変更や学び直しを行えるよう、学校間での「単位の互換性」や柔軟な転学システムなど、マルチステージな機会を保障する高校教育の理念を前面に打ち出していただきたい。

PTA関係者

○　中学校時代に不登校だった生徒が高校で心機一転スタートしても、人間関係等で再び通えなくなってしまうケースがある。現在、県立高校間での転校・編入は保護者の転勤等に限られているため、私立高校へ転校せざるを得ない現状がある。**県立高校から別の県立高校へ柔軟に編入・再チャレンジできるシステムを構築していただきたい。**また、通信制高校が現在中部地区にしか設置されていない点についても、各圏域のアイデアル高校内に通信制機能を盛り込むなど、多様な子どもたちに対応できるようご検討をお願いしたい。

地区別高校在り方懇話会

＜その他＞

市町村

○　地元の生徒は半々くらい、半分が管内に進学している状況。ただ、仙台管内からもこちらの方にだいぶ来ているということで、隣接する圏域とかなり動きがある。県内1つの学校とお話しされているが、大きく捉えての再編が大事なのかなと捉えている。

○　この将来ビジョンを見ると、宮城県の高校教育についての大きな改革のようにも感じる。地方自治体の協力もないとできないのではないか。

○　高校再編の必要性については理解している。普通校と実業校（商業・工業・水産・農業等）のバランスについて、各圏域のニーズに合わせた適切な配置バランスをしっかり確保していただきたい。

○　高校の再編自体はやむを得ない面があると認識しているが、**地域から高校が消滅した場合、教育環境の低下や人口減少への拍車、地域社会・地域連携への甚大な影響が懸念**される。社会情勢や地域に与える影響をどこまで加味して計画を策定しているのか。また、高校がなくなった地域との連携をどのように継続していくのか、教育委員会だけでなく県庁全体・全庁的な取り組みとして検討していただきたい。

○　管内においても水産業や農業などの専門教育や遠方通学などの課題が多いので、地域の実情に応じた学びの場が維持できるよう、十分にご相談させていただきながら進めていただきたい。

○　14年間で統合再編を進めていくにあたっては、第1期・第2期・第3期と3つの期に分けて、第1期目でここの学校、第2期目でここの学校という風に割り当てられると思うが、まずどこから取りかかるのかはどういう基準で行うのか。

地区別高校在り方懇話会

＜その他＞

市町村

○　気仙沼市のような郡部では小規模化やキャンパス校化が懸念されており、郡部校において思い切った魅力化を行わないと、仙台圏への生徒集中や人口流出がさらに加速してしまうのではないかと懸念している。県として運用面や制度面（定員枠の設定や教員配置の柔軟化など）で従来の枠組みを超えた柔軟な対応を行う考えがあるか伺いたい。

○　学科で進路を選び、遠くになってしまったために中学校までやっていた部活動を続けられなくなったという子がいる。また、部活動を続けたいから、どの高校に行こうか検討している子もいる。子供たちにとっては、将来を見越した学科選びも大きな選択肢だが、同時に部活動を続けたいという思いもかなり持っている。